



平成 27 年度

第 50 回

県政に関する世論調査

報 告 書

平成 27 年 12 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は平成27年度第1回目の調査で、県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、今年8月に、郵送法で実施しました。

具体的内容としては、環境と生活、健康、福祉、観光、千葉県の農林水産物、防災に関する取り組み、地方分権、広報・広聴活動について意識調査を行い、さらに、「県政への要望」について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成27年12月

千葉県総合企画部長 鶴巻 郁夫

目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	15
1 環境と生活について	17
(1) 今後の居住意向	17
(1-1) 住み続けたい理由	20
(1-2) 移りたい理由	22
(2) 生活環境について	24
(3) 生活環境全般の満足度	28
(4) 自然・周辺環境について	30
(5) 自然・周辺環境全般の満足度	34
(6) 基盤整備について	36
(7) 現在の生活の満足度	40
(8) 住生活全般の満足度	52
(9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度	54
(10) 市民活動団体の活動への参加経験	56
(11) ボランティア活動経験	58
2 健康について	60
(1) 健康づくりに取り組むことができる環境	60
(2) 健康づくりのための運動	62
(3) 安心して受診できる医療体制	64
(4) かかりつけ医の有無	66
3 福祉について	70
(1) 安心して子育てできる環境	70
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について	72
(3) 安心して暮らせる地域社会づくりについて	74
(4) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて	76
4 観光について	78
(1) 千葉県の魅力	78
(2) 県内で旅行に行きたいエリア	81
(3) 県内を観光する際に事前に知りたい情報	83
(4) 県内を観光する際の不満	85
(5) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの	87

5	千葉県の農林水産物について-----	89
	(1) 千葉県産農林水産物の購入意向 -----	89
	(1-1) 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由 -----	91
	(1-2) 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由 -----	93
	(2) 「ちばエコ農産物」の認知度 -----	95
	(3) 「千葉ブランド水産物」の認知度 -----	97
6	防災に関する取り組みについて-----	99
	(1) 大地震や風水害への不安 -----	99
	(2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度 -----	101
	(3) 飲料水や食料の備蓄状況 -----	103
	(4) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度 -----	105
	(5) 地震の被害を防ぐための対策 -----	107
7	地方分権について-----	109
	(1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か -----	109
	(1-1) 「地方分権」で期待する主な効果 -----	111
8	広報・広聴活動について-----	113
	(1) 県の施策や政策などについての関心度 -----	113
	(2) 県政に関する情報を得る手段 -----	115
	(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 -----	117
	(3-1) 「ちば県民だより」の内容について -----	119
	(4) 千葉県ホームページの利用頻度 -----	121
	(4-1) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ -----	123
	(5) 県の広報番組の視聴状況 -----	125
	(6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況 -----	127
	(7) 県の知りたい情報 -----	129
	(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験 -----	131
	(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと -----	132
	(10) 県政への意見の反映 -----	134
9	県政への要望-----	136
	(1) 県政への要望 -----	136
	(1-1) 各政策への具体的な要望 -----	141
10	自由回答-----	160
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	167

調査の概要

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

(1) 県民意識調査

- ①環境と生活について
- ②健康について
- ③福祉について
- ④観光について
- ⑤千葉県の農林水産物について
- ⑥防災に関する取り組みについて
- ⑦地方分権について
- ⑧広報・広聴活動について

(2) 県政への要望

3. 調査の設計

(1) 調査地域 千葉県全域

(2) 調査対象 満 20 歳以上の男女個人

(3) 標本数 3,000 人

(4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

(5) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回収）

(6) 調査時期 平成 27 年 8 月 12 日～8 月 31 日

4. 調査機関

株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

5. 回収結果

標本数	(A)	3,000件
総回収数	(B)	1,586件
	有効回収数 (C)	1,580件
	無効回収数	6件
回収率	(B / A)	52.87%
有効回収率	(C / A)	52.67%

標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満 20 歳以上の男女個人
 標 本 数 : 3,000 人
 地 点 数 : 市 部 193 地点
 郡 部 7 地点
 計 200 地点
 抽 出 法 : 層化二段無作為抽出法

〔層 化〕

1. 県内を、次の 11 地域に分類した。

地 域 名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
 さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
 平成27年 4 月 1 日現在市制施行の
 地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満20歳以上の人口（平成26年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

[抽出]

1. 平成22年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。

2. 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right] \text{を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。}$$

3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成22年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

4. 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,018,431 585 39	0 0 0	1,018,431 585 39
②葛南地域	1,319,454 765 51	0 0 0	1,319,454 765 51
③東葛飾地域	1,203,020 705 47	0 0 0	1,203,020 705 47
④印旛地域	556,040 330 22	36,864 15 1	592,904 345 23
⑤香取地域	69,313 45 3	31,521 15 1	100,834 60 4
⑥海匝地域	147,411 90 6	0 0 0	147,411 90 6
⑦山武地域	139,299 75 5	43,000 30 2	182,299 105 7
⑧長生地域	77,381 45 3	53,992 30 2	131,373 75 5
⑨夷隅地域	52,186 30 2	15,832 15 1	68,018 45 3
⑩安房地域	107,414 60 4	7,639 0 0	115,053 60 4
⑪君津地域	272,657 165 11	0 0 0	272,657 165 11
計	4,962,606 2,895 193	188,848 105 7	5,151,454 3,000 200

（注）上段は満20歳以上の人口（平成26年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区港町	15	①	市原市田淵旧日竹	15
	千葉市中央区青葉町	15		市原市国分寺台中央3丁目	15
	千葉市中央区松波1丁目	15	②葛南地域	市川市南八幡1丁目	15
	千葉市中央区星久喜町	15		市川市平田4丁目	15
	千葉市中央区川戸町	15		市川市若宮2丁目	15
	千葉市中央区蘇我5丁目	15		市川市大和田5丁目	15
	千葉市中央区新宿2丁目	15		市川市東菅野2丁目	15
	千葉市花見川区花園5丁目	15		市川市原木2丁目	15
	千葉市花見川区幕張町3丁目	15		市川市市川南4丁目	15
	千葉市花見川区宮野木台1丁目	15		市川市曾谷1丁目	15
	千葉市花見川区長作町	15		市川市妙典2丁目	15
	千葉市花見川区花見川	15		市川市大野町4丁目	15
	千葉市花見川区瑞穂2丁目	15		市川市富浜3丁目	15
	千葉市稲毛区黒砂3丁目	15		市川市日之出	15
	千葉市稲毛区小仲台3丁目	15		市川市新浜1丁目	15
	千葉市稲毛区作草部町	15		市川市福栄2丁目	15
	千葉市稲毛区柏台	15		市川市新井2丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台5丁目	15		市川市中山1丁目	15
	千葉市若葉区桜木7丁目	15		船橋市湊町3丁目	15
	千葉市若葉区西都賀1丁目	15		船橋市東船橋3丁目	15
	千葉市若葉区貝塚町	15		船橋市浜町1丁目	15
	千葉市若葉区小倉台4丁目	15		船橋市二子町	15
	千葉市若葉区多部田町	15		船橋市西船4丁目	15
	千葉市緑区古市場町	15		船橋市北本町1丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘4丁目	15		船橋市旭町3丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野中央4丁目	15		船橋市古作4丁目	15
	千葉市美浜区磯辺5丁目	15		船橋市金杉7丁目	15
	千葉市美浜区磯辺4丁目	15		船橋市八木が谷1丁目	15
	千葉市美浜区高浜3丁目	15		船橋市松が丘5丁目	15
	千葉市美浜区打瀬3丁目	15		船橋市新高根6丁目	15
	市原市加茂2丁目	15		船橋市高根台2丁目	15
	市原市郡本4丁目	15		船橋市習志野台8丁目	15
	市原市潤井戸	15		船橋市飯山満町3丁目	15
	市原市飯沼	15		船橋市薬円台2丁目	15
	市原市西五所	15		船橋市田喜野井5丁目	15
	市原市ちはら台南2丁目	15		船橋市前原東2丁目	15
	市原市椎の木台2丁目	15		船橋市湊町2丁目	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
② 葛南地域	習志野市津田沼7丁目	15	③ 東葛飾地域	野田市東高野	15
	習志野市秋津5丁目	15		柏市富里2丁目	15
	習志野市藤崎2丁目	15		柏市豊四季台3丁目	15
	習志野市花咲2丁目	15		柏市柏	15
	習志野市東習志野5丁目	15		柏市永楽台2丁目	15
	八千代市大和田新田	15		柏市豊四季216～217番地	15
	八千代市米本団地	15		柏市宿連寺	15
	八千代市下市場1丁目	15		柏市逆井／逆井5丁目	15
	八千代市八千代台北16丁目	15		柏市東山2丁目	15
	八千代市八千代台北10丁目	15		柏市加賀2丁目	15
	八千代市八千代台南3丁目	15		柏市柏の葉3丁目	15
	浦安市北栄1丁目	15		柏市向原町	15
	浦安市富士見3丁目	15		柏市大津ヶ丘3丁目	15
	浦安市堀江4丁目	15		流山市野々下5丁目	15
	浦安市入船3丁目	15		流山市南流山1丁目	15
	浦安市猫実3丁目	15		流山市西初石4丁目	15
③ 東葛飾地域	松戸市緑ヶ丘2丁目	15		流山市江戸川台西1丁目	15
	松戸市松戸	15		流山市大字東深井	15
	松戸市南花島2丁目	15		我孫子市寿1丁目	15
	松戸市稔台	15		我孫子市並木7丁目	15
	松戸市下矢切	15		我孫子市湖北台9丁目	15
	松戸市中根115番地	15		我孫子市布佐平和台1丁目	15
	松戸市金ヶ作	15		鎌ヶ谷市道野辺中央3丁目	15
	松戸市牧の原	15		鎌ヶ谷市初富	15
	松戸市西馬橋幸町	15		鎌ヶ谷市馬込沢	15
	松戸市新松戸北2丁目	15		鎌ヶ谷市南初富5丁目	15
	松戸市中根435～452番地	15	④ 印旛地域	成田市並木町	15
	松戸市栗ヶ沢	15		成田市美郷台3丁目	15
	松戸市五香2丁目	15		成田市山之作／吉倉	15
	松戸市新松戸北1丁目	15		成田市本三里塚	15
	松戸市小金	15		成田市多良貝	15
	松戸市西馬橋4丁目	15		佐倉市宮小路町	15
	松戸市中根10番地	15		佐倉市石川	15
	野田市大殿井	15		佐倉市新臼井田	15
	野田市山崎	15		佐倉市中志津5丁目	15
	野田市上花輪／上花輪新町	15		佐倉市上志津	15
	野田市蕃昌	15		四街道市さちが丘2丁目	15

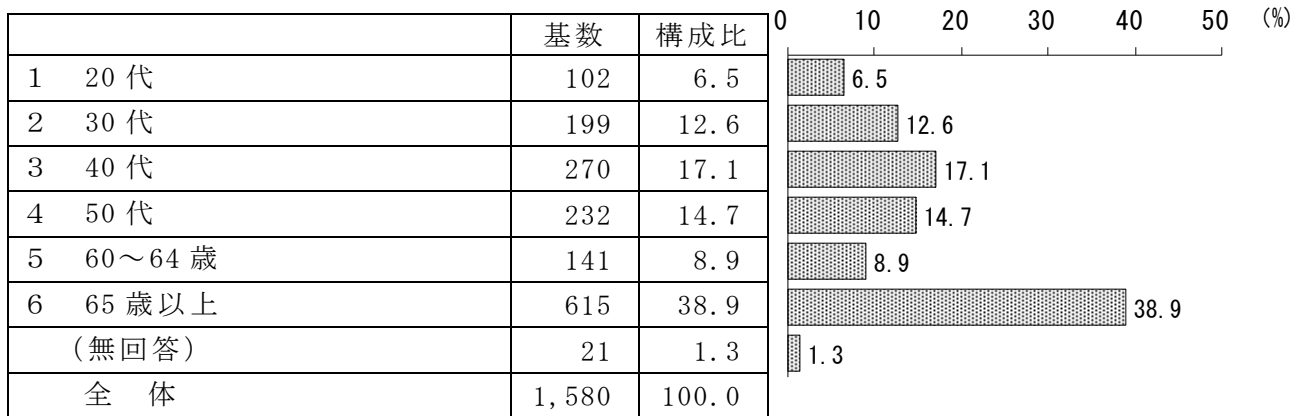
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	四街道市四街道	15	⑨ 夷隅地域	勝浦市浜行川	15
	四街道市千代田4丁目	15		いすみ市日在	15
	八街市八街ほ	15		夷隅郡大多喜町栗又	15
	八街市八街は	15	⑩ 安房地域	館山市北条	15
	印西市小林	15		館山市東長田／西長田／出野尾	15
	印西市高花4丁目	15		鴨川市内浦5区	15
	印西市平賀学園台3丁目	15		南房総市千倉町白子	15
	白井市堀込1丁目	15	⑪ 君津地域	木更津市中央2丁目	15
	白井市けやき台1丁目	15		木更津市清見台南2丁目	15
	富里市七栄	15		木更津市桜井／港南台1丁目	15
	富里市日吉台6丁目	15		木更津市高柳2丁目	15
	印旛郡酒々井町下岩橋	15		君津市東坂田4丁目	15
⑤ 香取地域	香取市佐原ホ	15		君津市人見	15
	香取市野田	15		君津市塚原	15
	香取市長岡	15		富津市上飯野／下飯野	15
	香取郡東庄町栗野	15		富津市富津	15
⑥ 海匝地域	銚子市海鹿島町	15		袖ヶ浦市福王台3丁目	15
	銚子市陣屋町	15		袖ヶ浦市三箇	15
	銚子市三崎町1丁目	15			
	旭市足川	15			
	旭市上永井	15			
	匝瑳市八日市場イ	15			
⑦ 山武地域	東金市台方	15			
	東金市求名	15			
	山武市富口	15			
	山武市蓮沼ロ	15			
	大網白里市季美の森南4丁目	15			
	山武郡九十九里町栗生	15			
	山武郡横芝光町栗山	15			
⑧ 長生地域	茂原市高師／高師町3丁目	15			
	茂原市大芝	15			
	茂原市六田台	15			
	長生郡長生村信友	15			
	長生郡長柄町高山	15			

回答者の属性

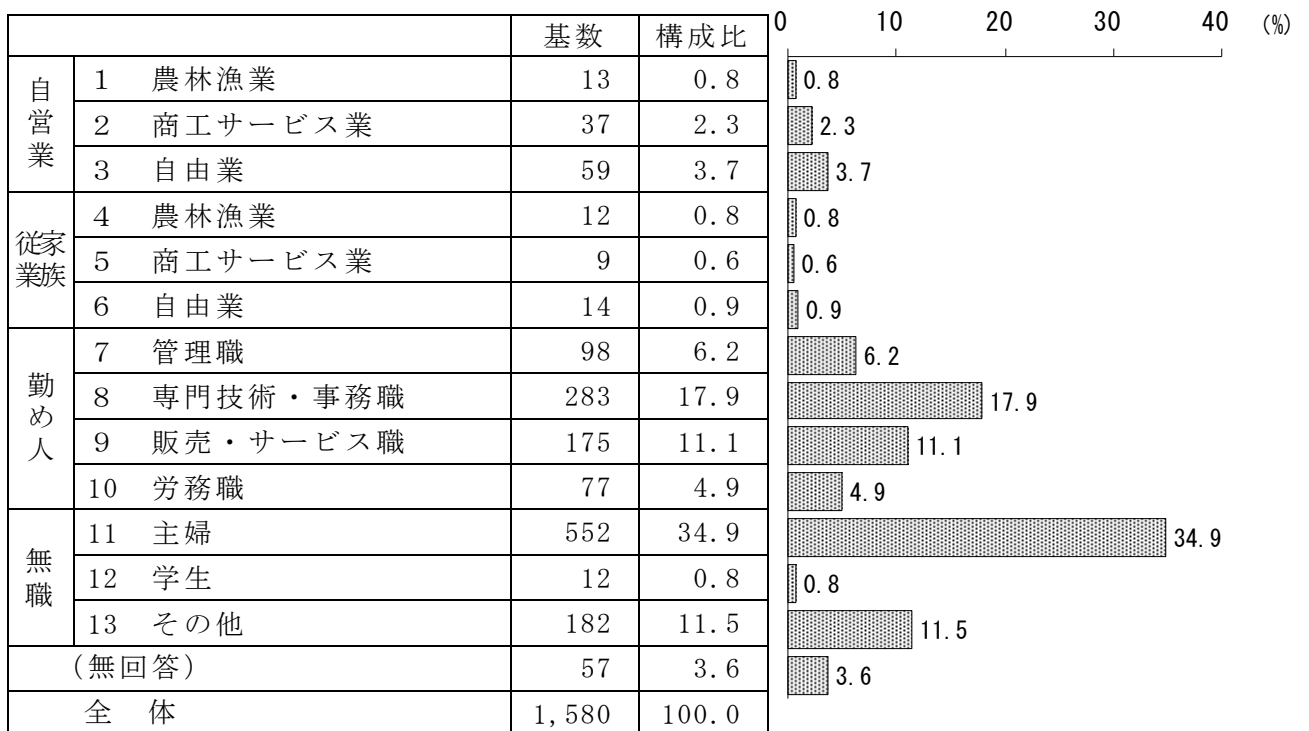
1. 性



2. 年 代



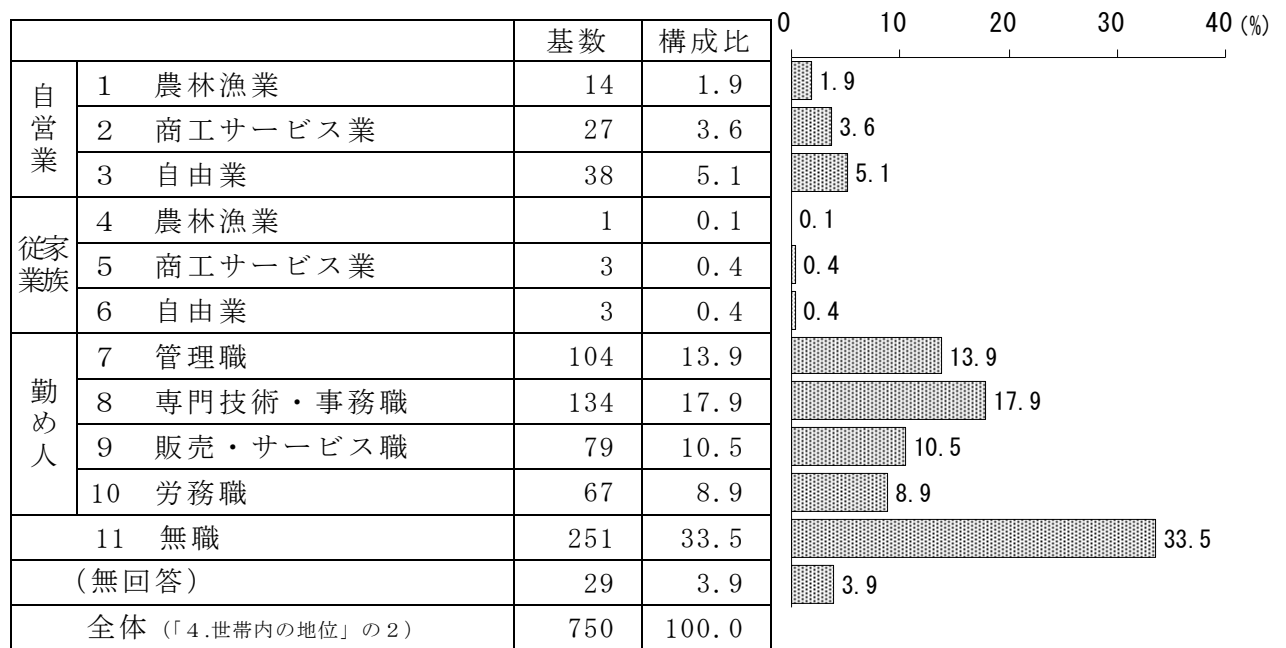
3. 本人職業



4. 世帯内の地位



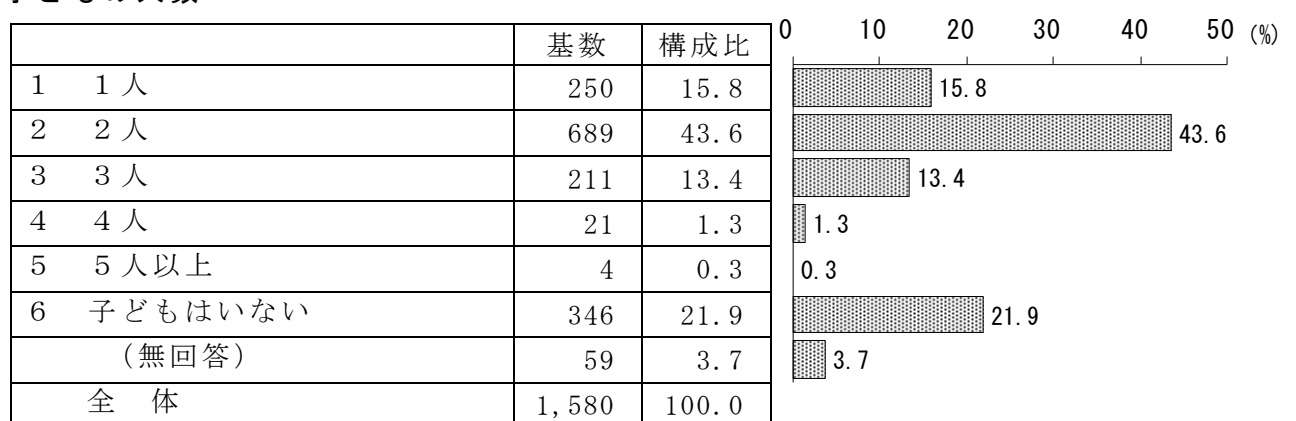
5. 世帯主職業



6. 未既婚

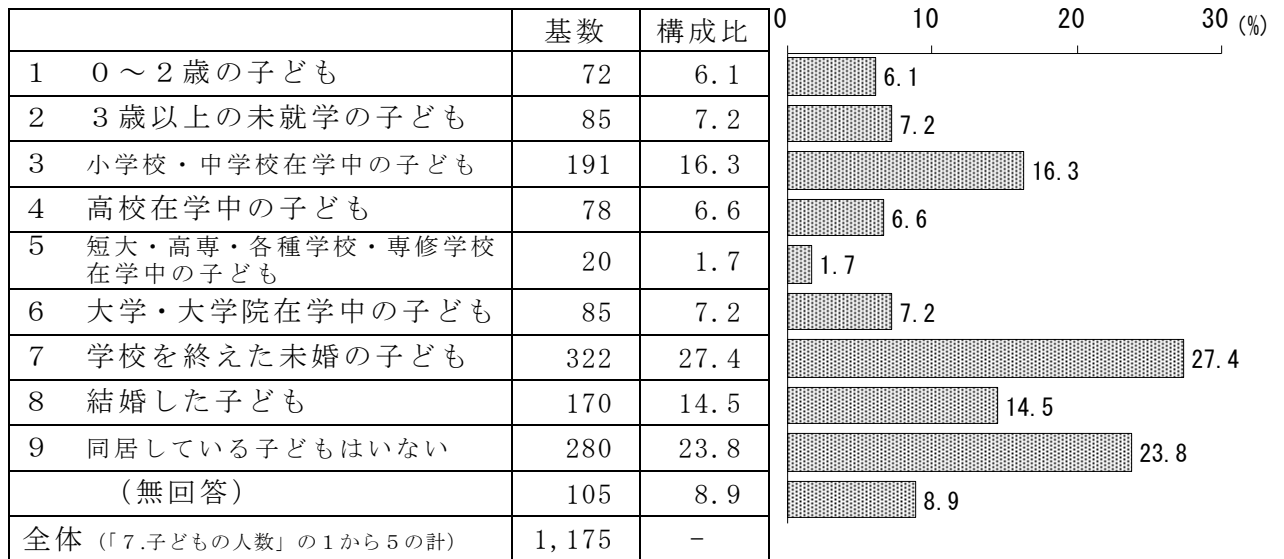


7. 子どもの人数

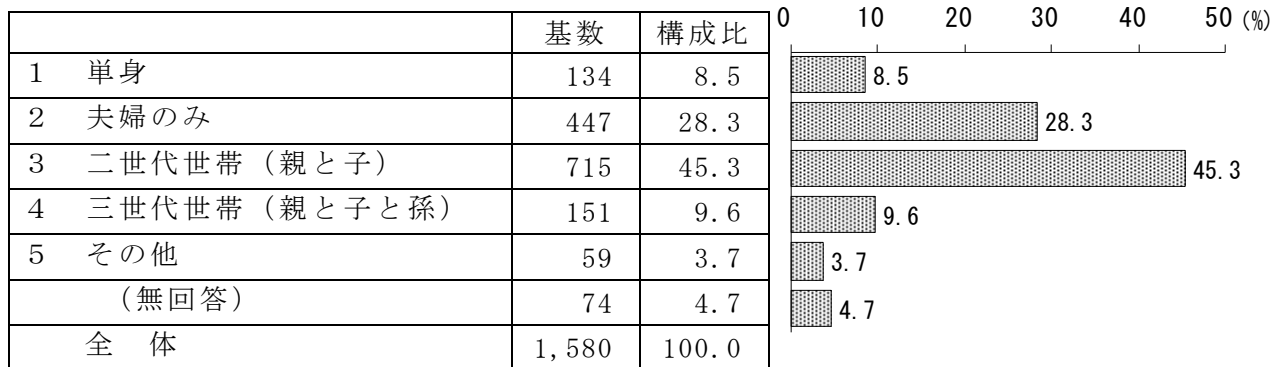


8. 子どもの成長段階

※1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。



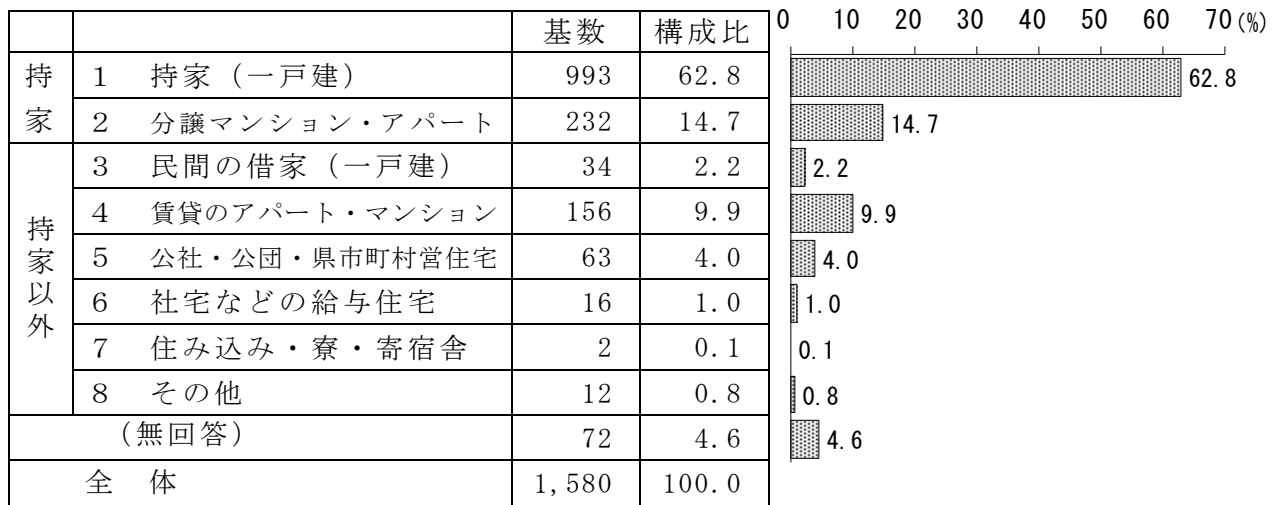
9. 家族構成



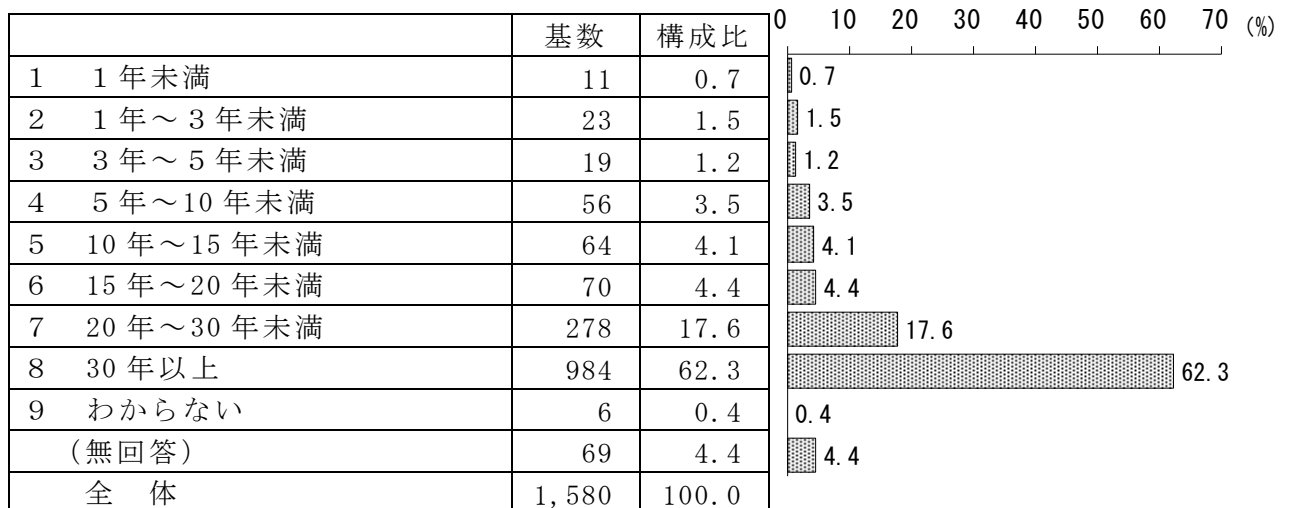
10. 高齢者の同居の有無



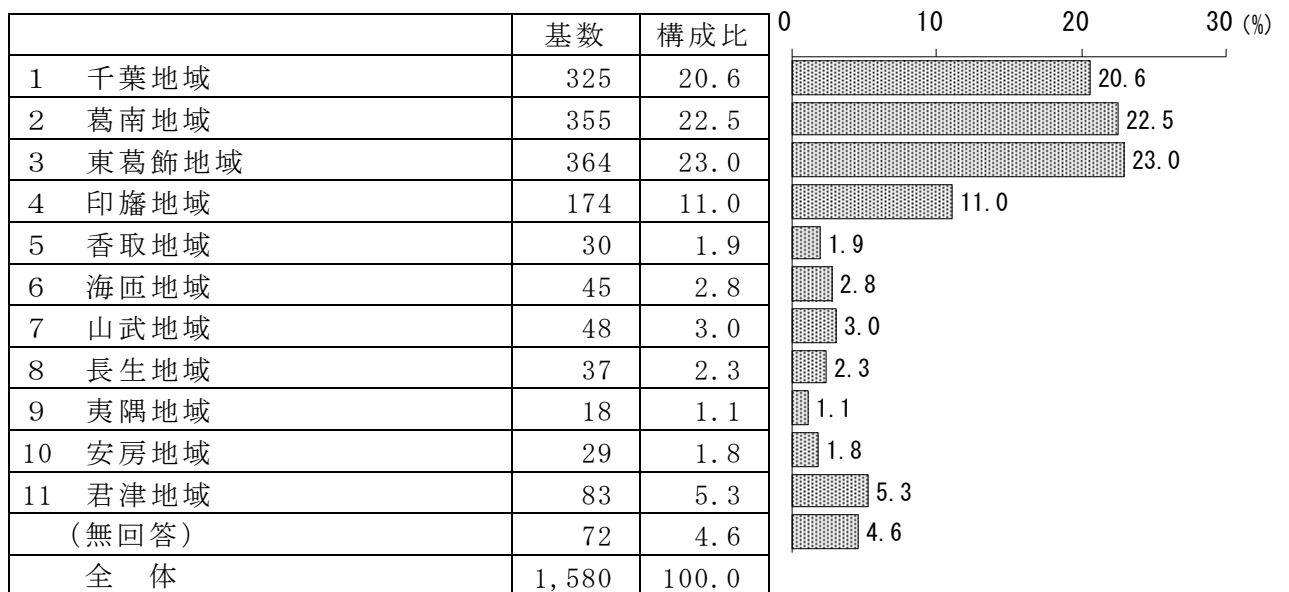
11. 住 宅



12. 県内居住年数



13. 地 域



(報告書の見方)

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 前回調査の設問から、分かりやすく実態に合わせたものにするため、表現等を変更したものがある。
- (5) 地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (6) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (P)		10%または90%前後		20%または80%前後		30%または70%前後		40%または60%前後		50%前後	
基数 (n)											
総数	1,580 人	±	2.13%	±	2.85%	±	3.26%	±	3.49%	±	3.56%
千葉地域	325	±	4.71%	±	6.27%	±	7.19%	±	7.68%	±	7.84%
葛南地域	355	±	4.50%	±	6.00%	±	6.88%	±	7.35%	±	7.50%
東葛飾地域	364	±	4.45%	±	5.93%	±	6.79%	±	7.26%	±	7.41%
印旛地域	174	±	6.43%	±	8.58%	±	9.82%	±	10.50%	±	10.72%
香取地域	30	±	15.49%	±	20.65%	±	23.66%	±	25.29%	±	25.82%
海匝地域	45	±	12.65%	±	16.86%	±	19.32%	±	20.65%	±	21.08%
山武地域	48	±	12.25%	±	16.33%	±	18.71%	±	20.00%	±	20.41%
長生地域	37	±	13.95%	±	18.60%	±	21.31%	±	22.78%	±	23.25%
夷隅地域	18	±	20.00%	±	26.66%	±	30.55%	±	32.66%	±	33.33%
安房地域	29	±	15.75%	±	21.01%	±	24.07%	±	25.73%	±	26.26%
君津地域	83	±	9.31%	±	12.42%	±	14.22%	±	15.21%	±	15.52%
男性	685	±	3.24%	±	4.32%	±	4.95%	±	5.29%	±	5.40%
女性	874	±	2.87%	±	3.83%	±	4.38%	±	4.69%	±	4.78%

調 査 の 結 果

調査結果の解説

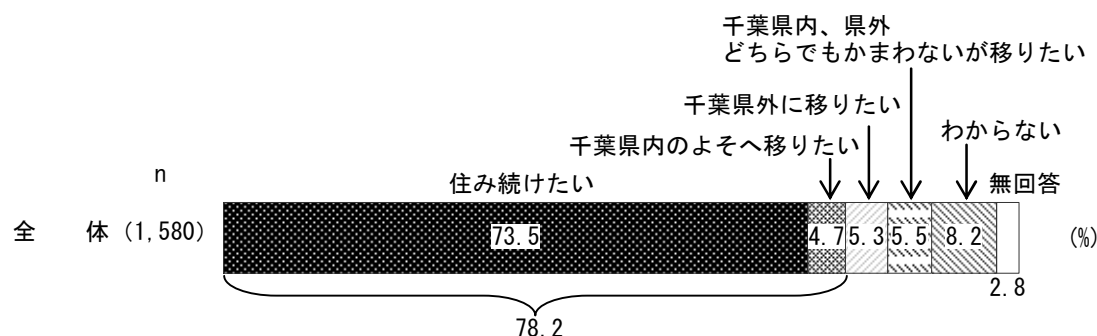
1 環境と生活について

(1) 今後の居住意向

◇「住み続けたい」が7割台半ば

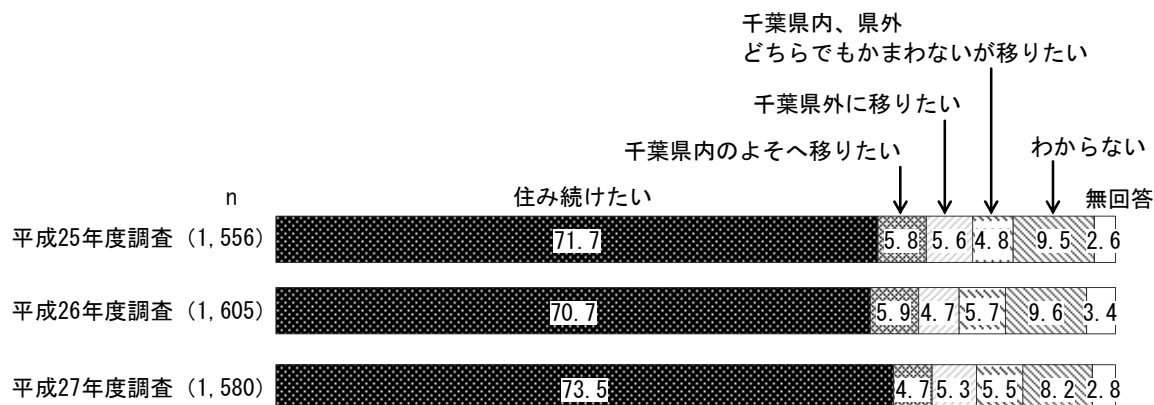
問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-1>今後の居住意向



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(73.5%)は7割台半ば、「千葉県内のよそへ移りたい」(4.7%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(78.2%)は約8割である。一方、「千葉県外に移りたい」は5.3%となっている。(図表1-1)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



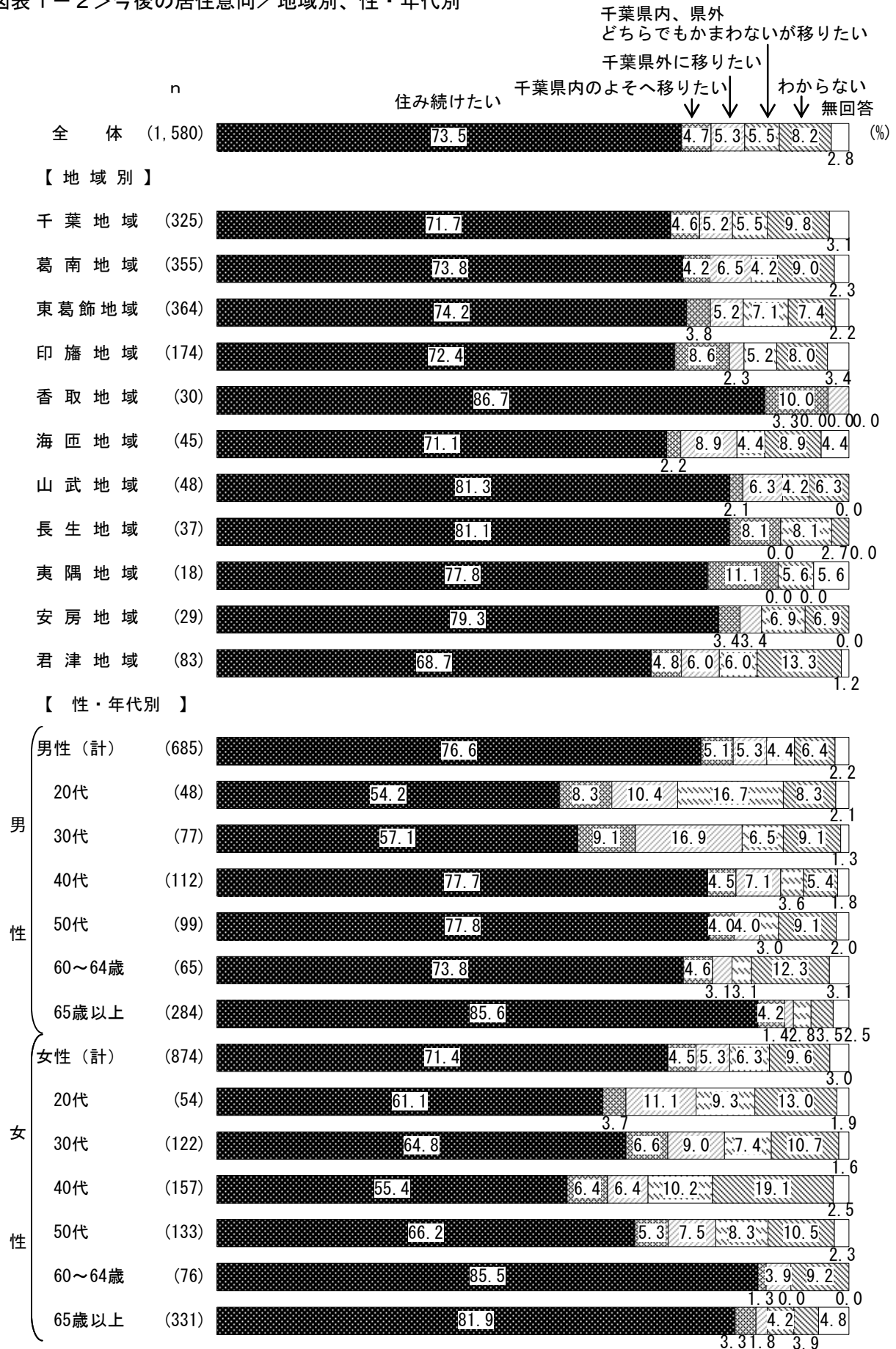
【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“香取地域”(86.7%)で8割台半ばと最も高く、“山武地域”(81.3%)、“長生地域”(81.1%)で8割を超えて高くなっている。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(85.6%)と女性の60~64歳(85.5%)で8割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-2)

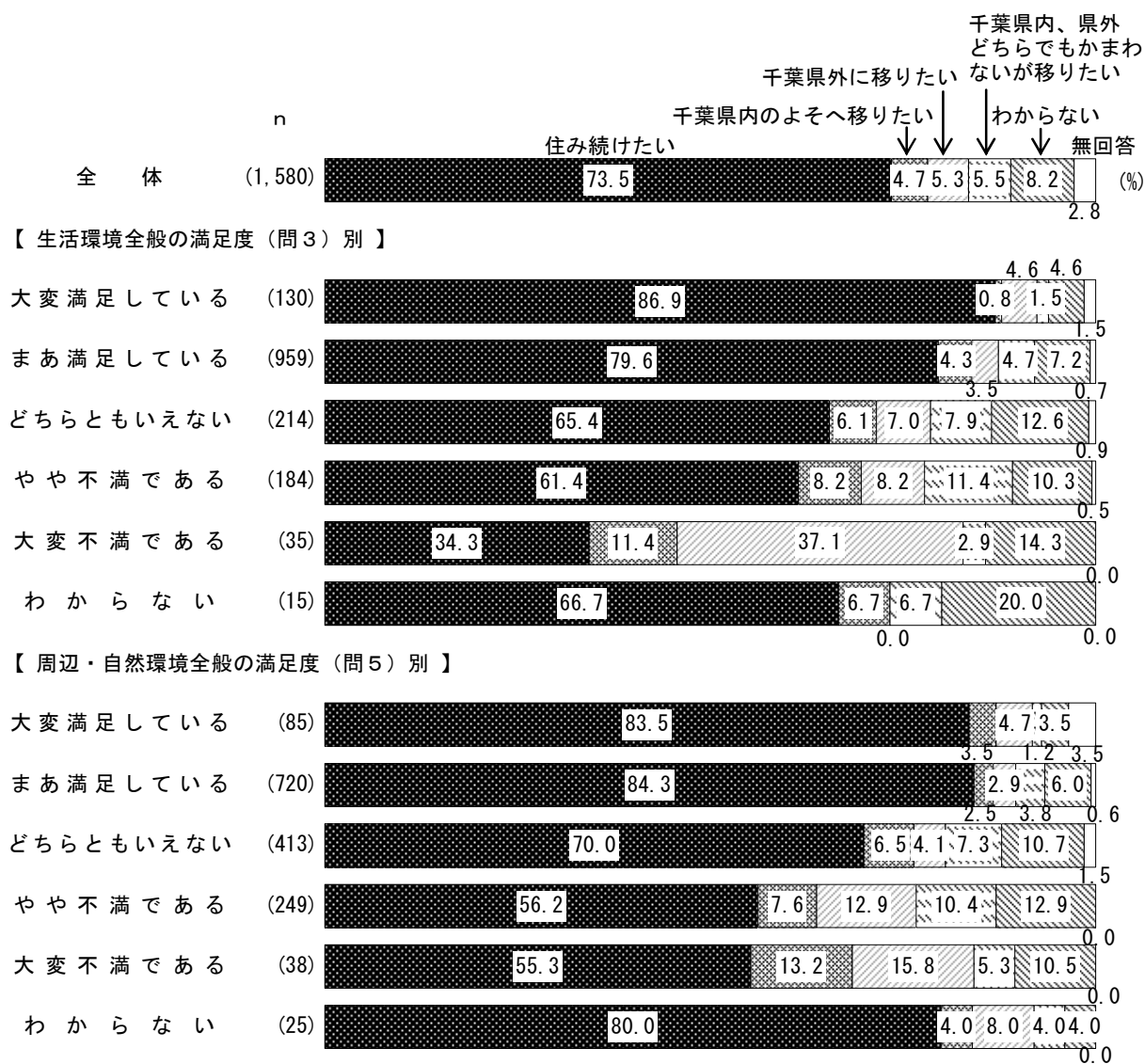
<図表 1-2> 今後の居住意向／地域別、性・年代別



<今後の居留意向と各環境の満足度>

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

<図表1-3>今後の居留意向と各環境の満足度



(1-1) 住み続けたい理由

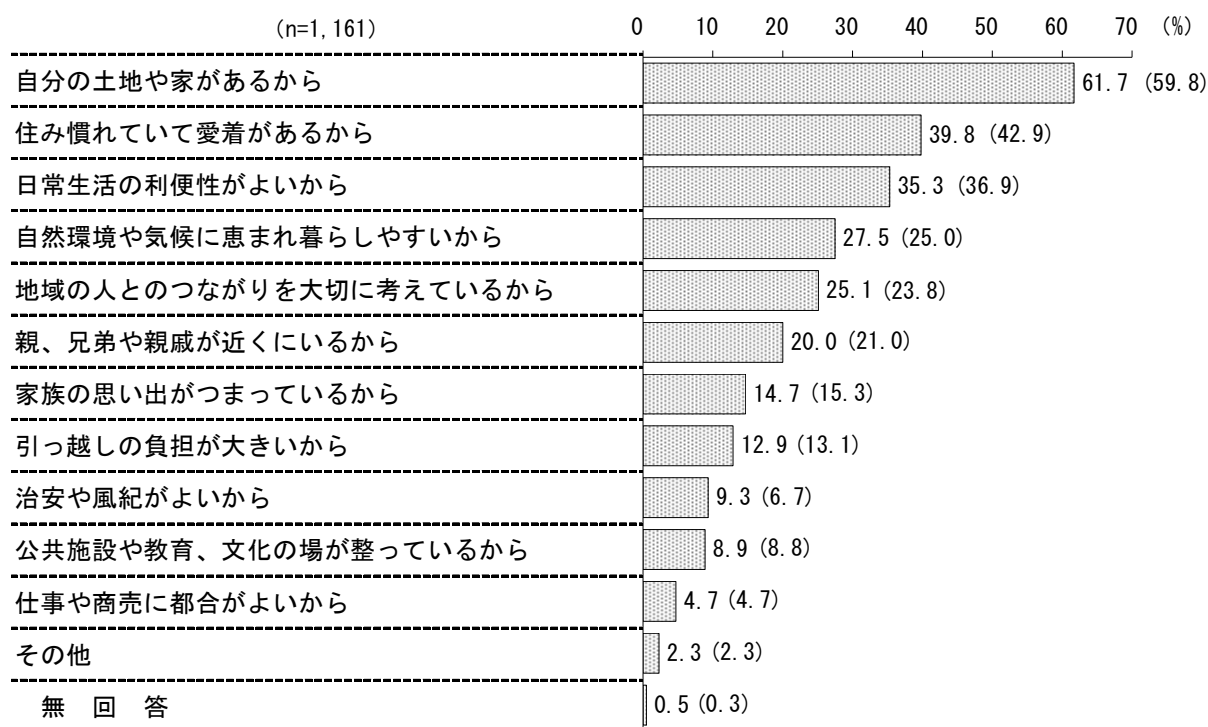
◇「自分の土地や家があるから」が6割を超える

(問1で「住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(〇は3つまで)

<図表1-4>住み続けたい理由(複数回答)



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,134

「住み続けたい」と回答した1,161人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(61.7%)が6割を超えて最も多く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(39.8%)、「日常生活の利便性がよいから」(35.3%)が続く。(図表1-4)

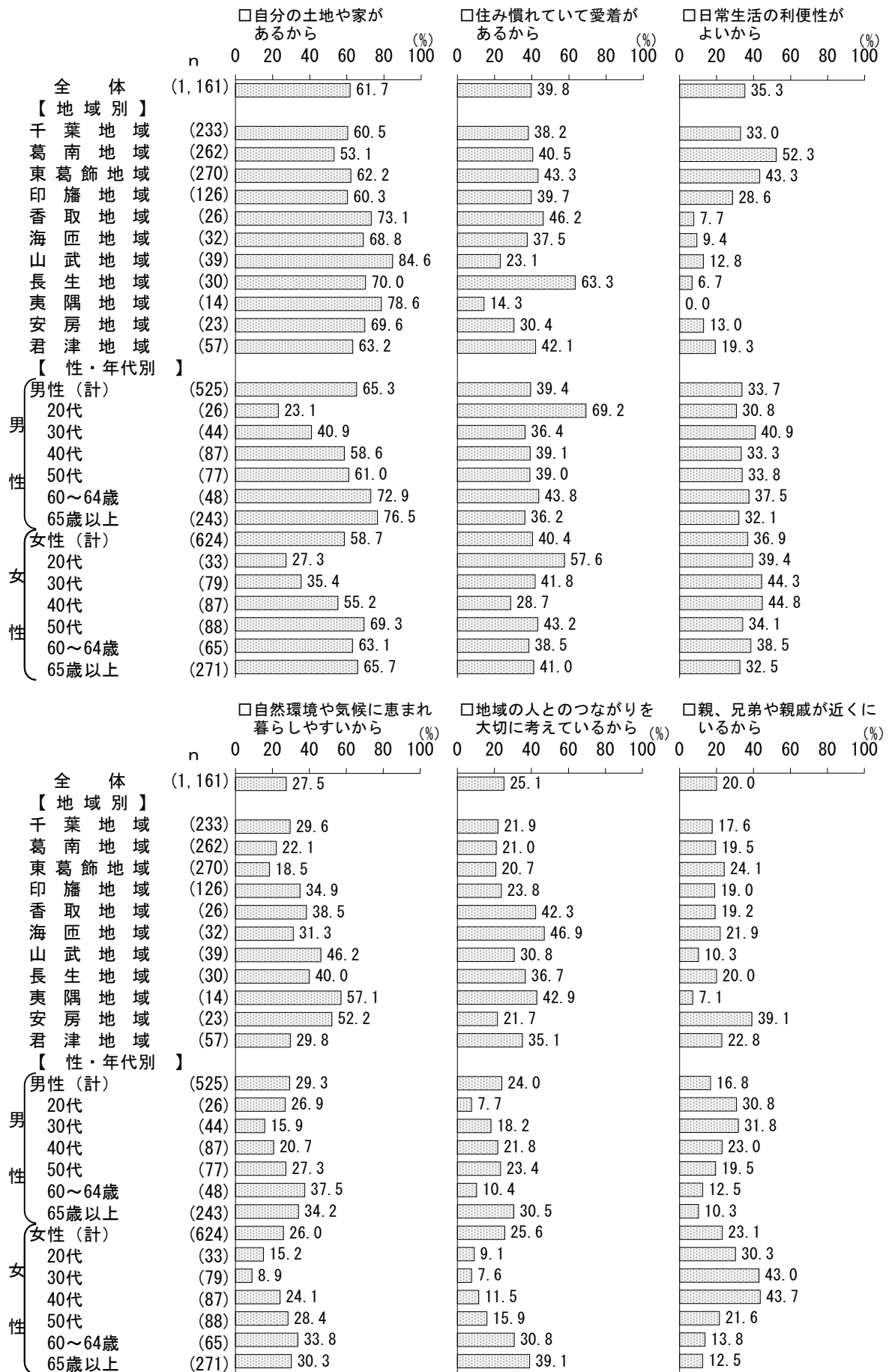
【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“山武地域”(84.6%)で8割台半ば、「住み慣れていて愛着があるから」は“長生地域”(63.3%)で6割台半ば、「日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(52.3%)で5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表1-5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の65歳以上(76.5%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は男性の20代(69.2%)で約7割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-5)

<図表 1-5> 住みたい理由／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



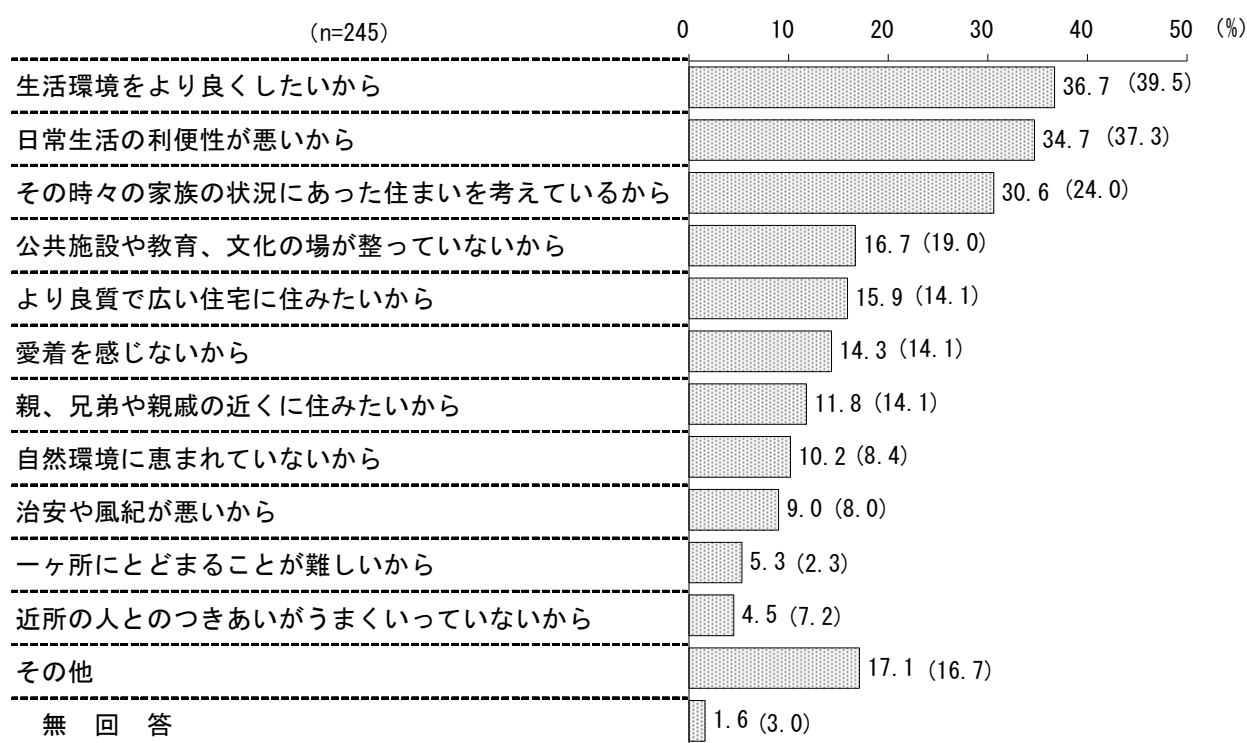
(1-2) 移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が3割台半ば

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

＜図表1-6＞移りたい理由（複数回答）



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=263

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した245人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境をより良くしたいから」(36.7%)が3割台半ばと最も高く、以下、「日常生活の利便性が悪いから」(34.7%)、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」(30.6%)が続く。(図表1-6)

【地域別】

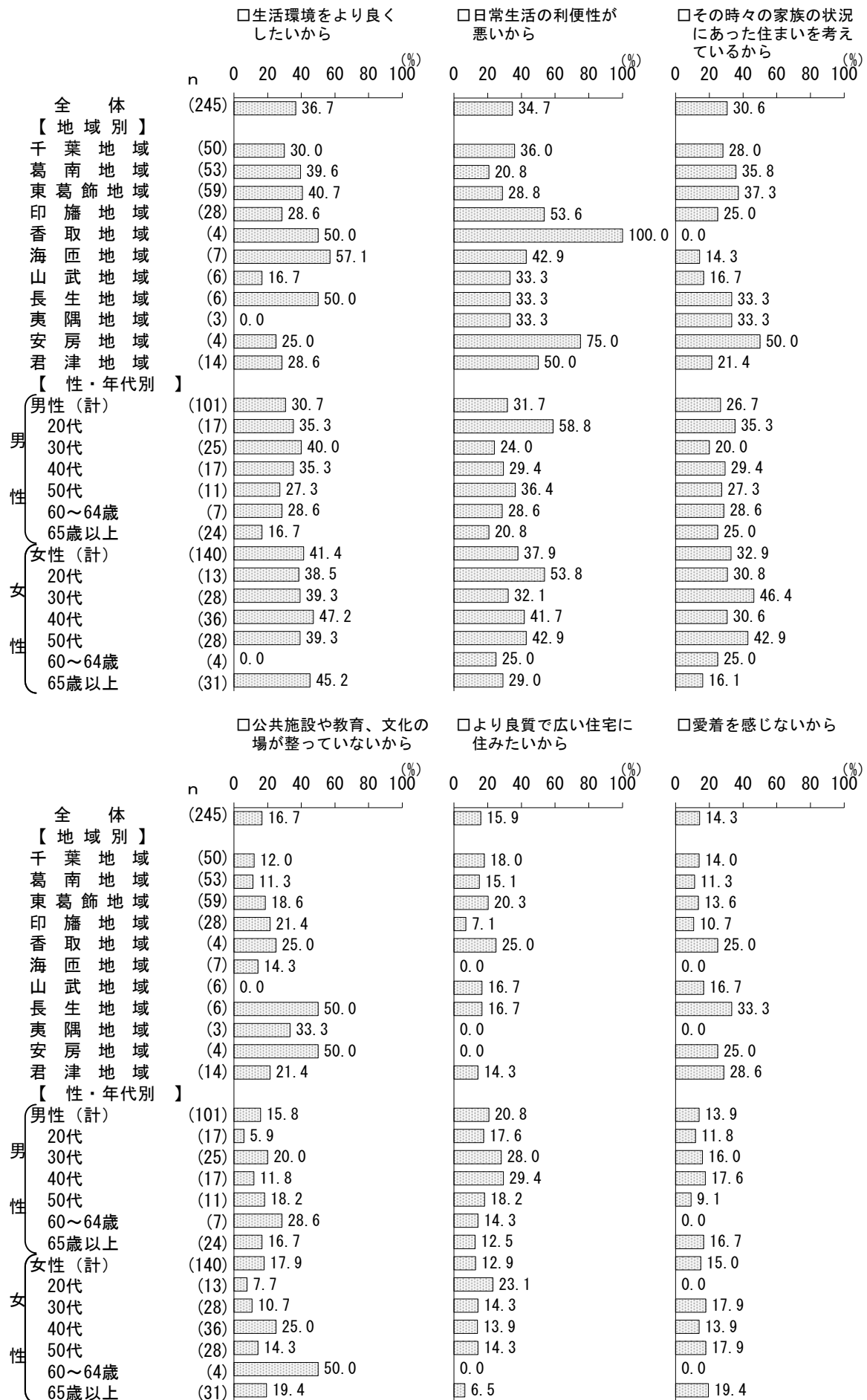
地域別にみると、「日常生活の利便性が悪いから」は“印旛地域”(53.6%)で5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-7)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「日常生活の利便性が悪いから」は男性20代(58.8%)で約6割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-7)

(※サンプル数の少ない属性の分析については、「報告書の見方」を参照)

<図表 1-7> 移りたい理由／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



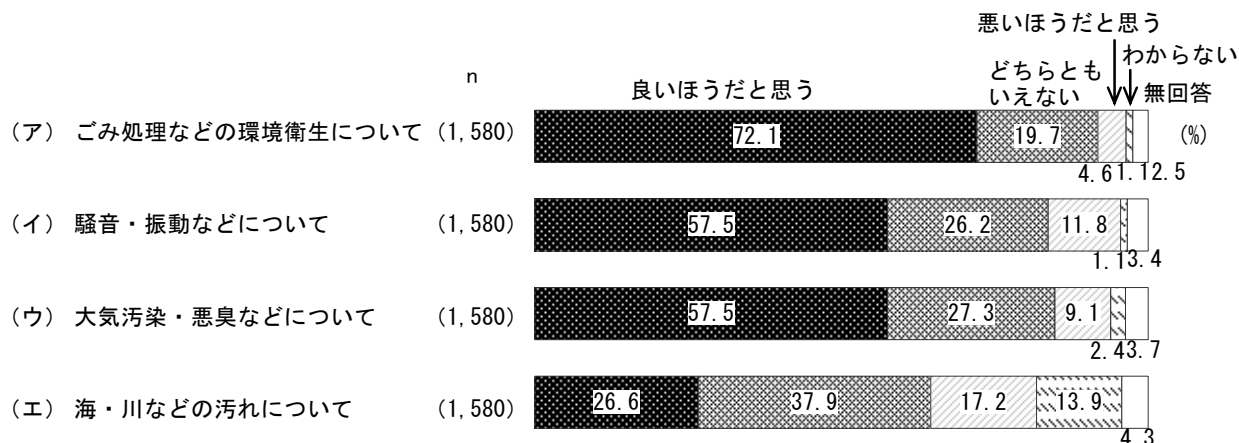
(2) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で7割を超える

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

＜図表1－8＞生活環境について



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(72.1%)で7割を超え、以下〈騒音・振動などについて〉、〈大気汚染・悪臭などについて〉(同57.5%)が約6割となっている。一方、〈海・川などの汚れについて〉は、「良いほうだと思う」(26.6%)と「悪いほうだと思う」(17.2%)の差がわずかとなっている。(図表1－8)

【地域別】

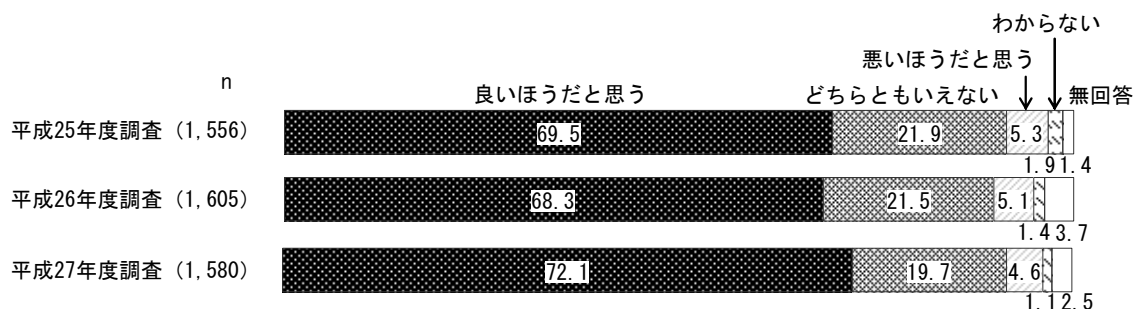
地域別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は、“印旛地域”(78.2%)で約8割、“葛南地域”(76.3%)が7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉においては、“夷隅地域”(72.2%)で7割を超えて高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉においては、“長生地域”(75.7%)で7割台半ば、“山武地域”(70.8%)、“印旛地域”(70.7%)で7割、〈海・川などの汚れについて〉においても、“山武地域”(41.7%)で4割を超え、他の地域に比べて高くなっている。(図表1－9)

【性・年代別】

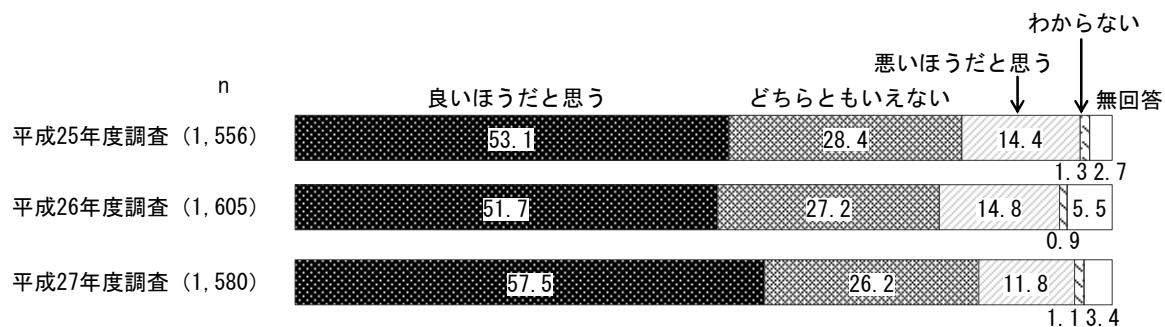
性・年代別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(82.4%)で8割を超え、女性の65歳以上(77.9%)で約8割と、他の年代に比べて高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉においては、男性の60～64歳(63.1%)、男性の65歳以上(63.0%)が6割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。〈海・川などの汚れについて〉において、「悪いほうだと思う」は男性の20代(43.8%)で4割台半ば、女性の20代(35.2%)が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1－9)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較 （単位：％）

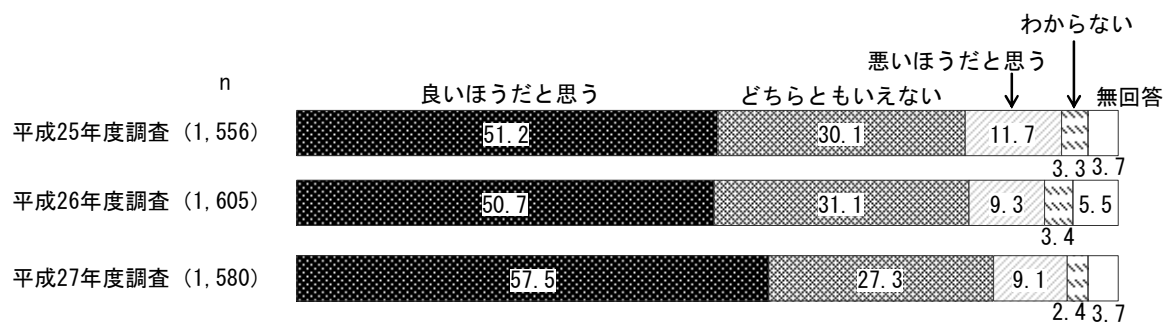
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



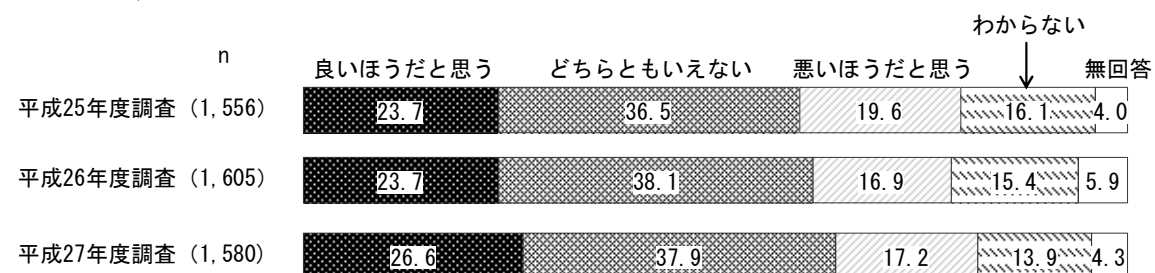
（イ）騒音・振動などについて



（ウ）大気汚染・悪臭などについて

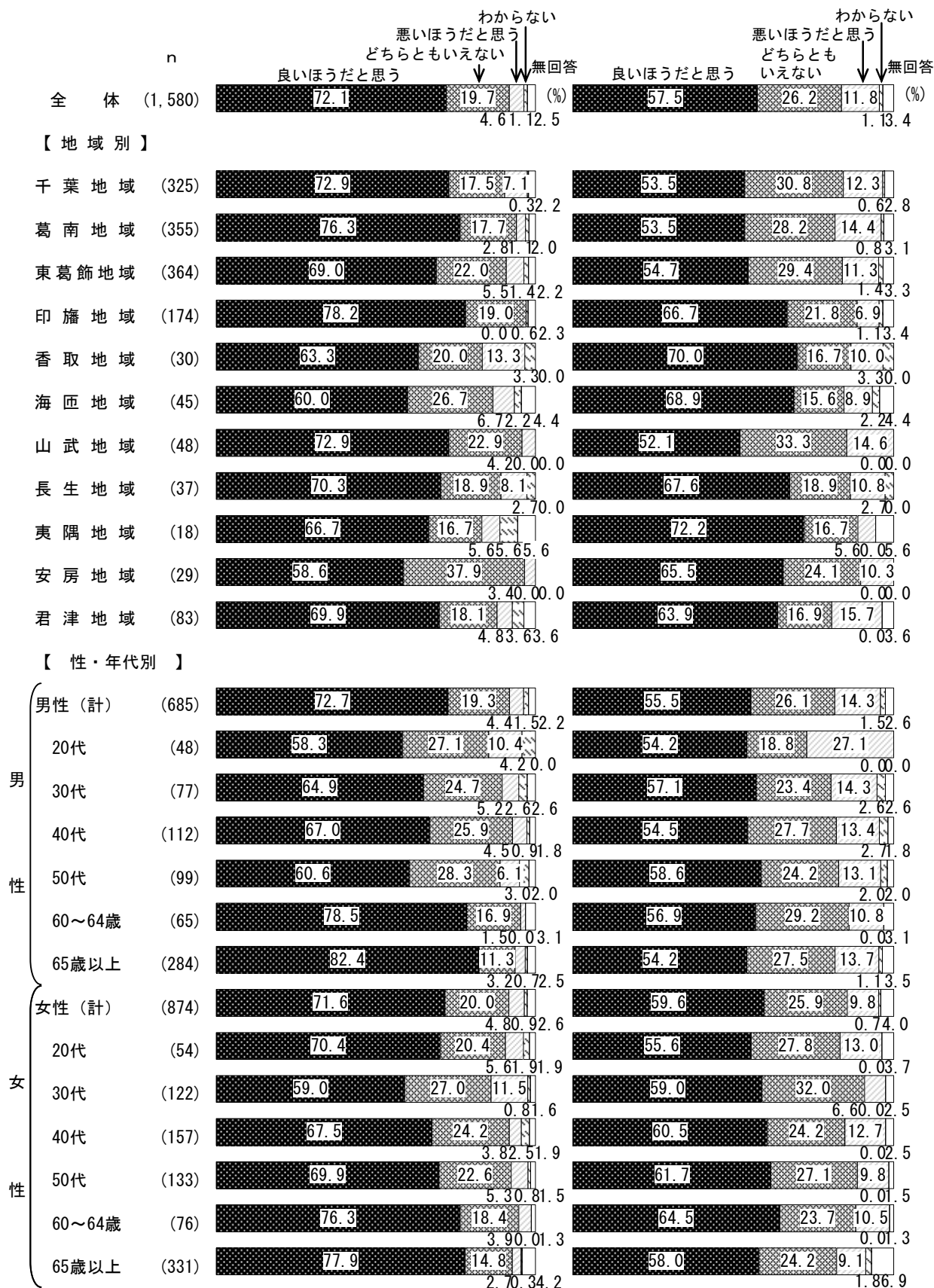


（エ）海・川などの汚れについて

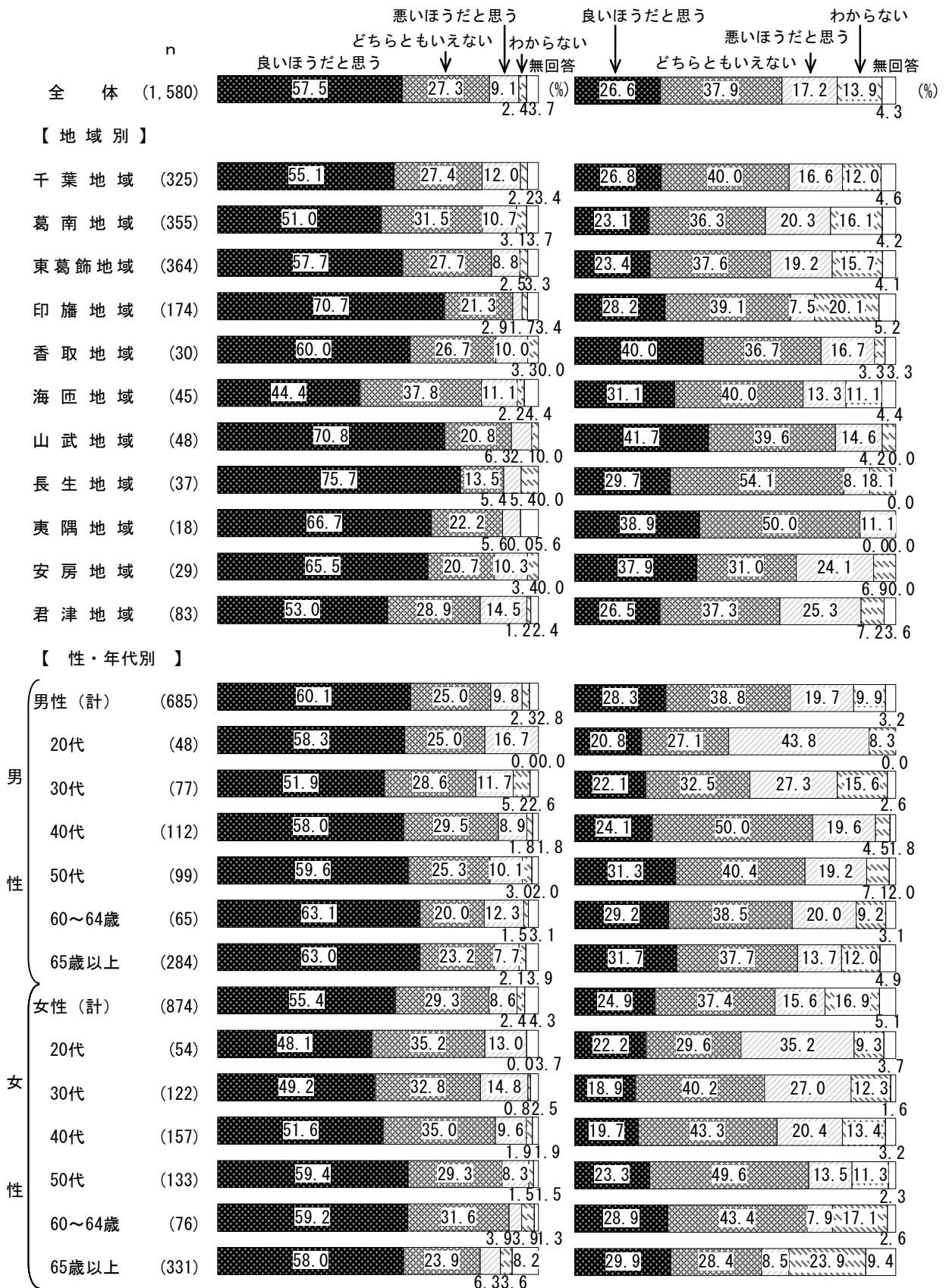


<図表 1-9> 生活環境について／地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(エ) 海・川などの汚れについて

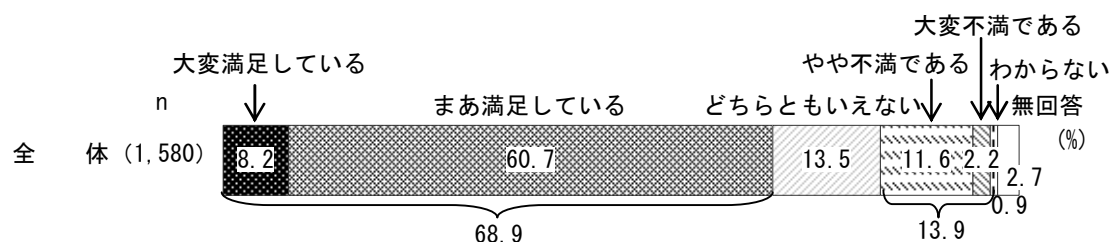


(3) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』は約7割

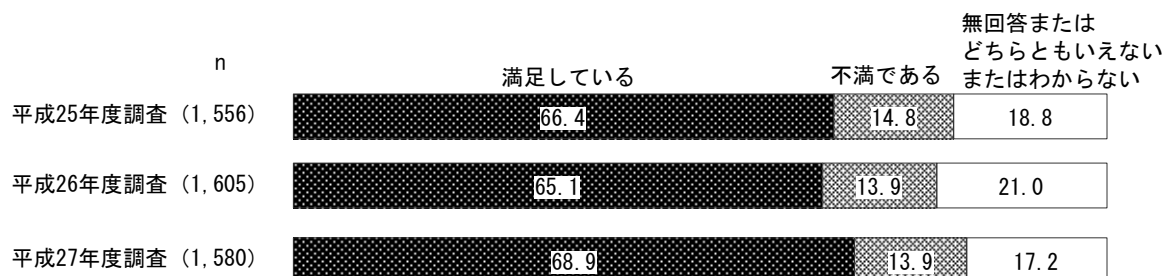
問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。
(○は1つ)

<図表1-10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(8.2%)と「まあ満足している」(60.7%)を合わせた『満足している』(68.9%)は約7割となっている。一方、「やや不満である」(11.6%)と「大変不満である」(2.2%)を合わせた『不満である』(13.9%)は1割台半ばとなっている。(図表1-10)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



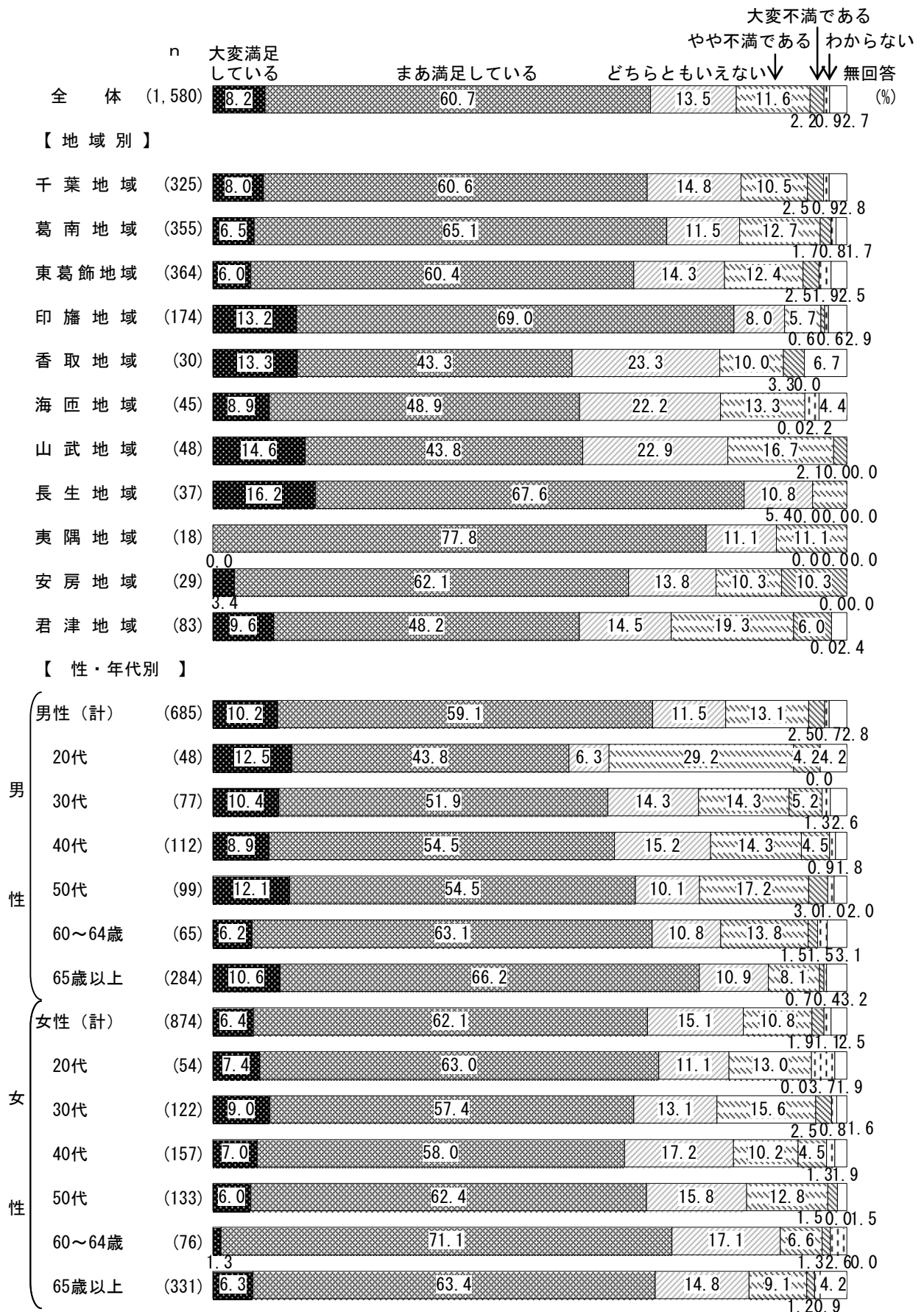
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は、“長生地域”(83.8%)で8割台半ば、“印旛地域”(82.2%)で8割を超え、他の地域に比べて高くなっている。一方、『不満である』は“君津地域”(25.3%)で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-11)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(76.8%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-11)

<図表 1-11>生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



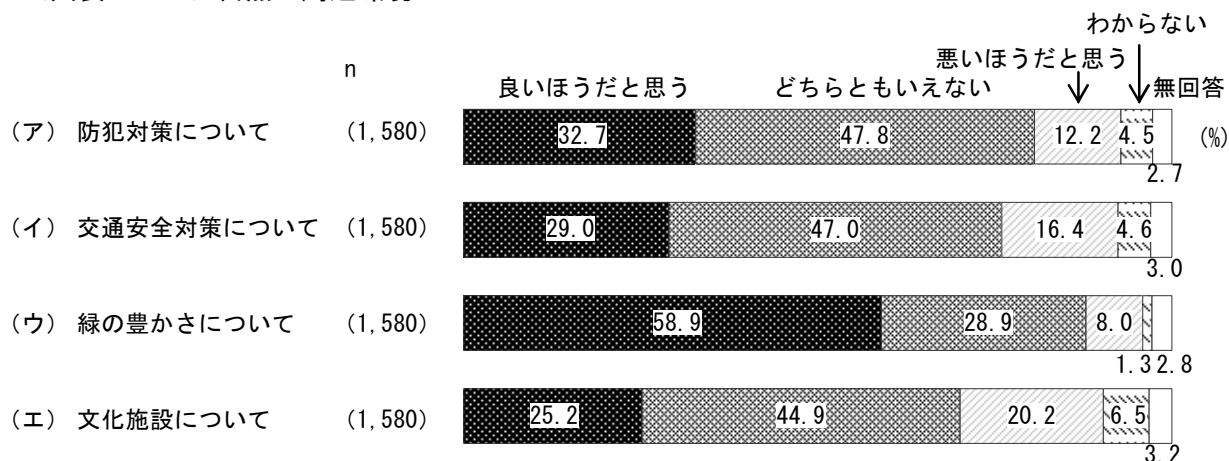
(4) 自然・周辺環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で約6割

問4 あなたは、現在お住まいの地域の自然・周辺環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

＜図表1-12＞自然・周辺環境について



自然・周辺環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(58.9%)が約6割となっており、以下、〈防犯対策について〉(32.7%)、〈交通安全対策について〉(29.0%)が続いている。(図表1-12)

【地域別】

地域別にみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(40.2%)で4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は“香取地域”(40.0%)で4割と高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は“香取地域”(96.7%)で9割台半ばと高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は“葛南地域”(31.8%)で3割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表1-13)

【性・年代別】

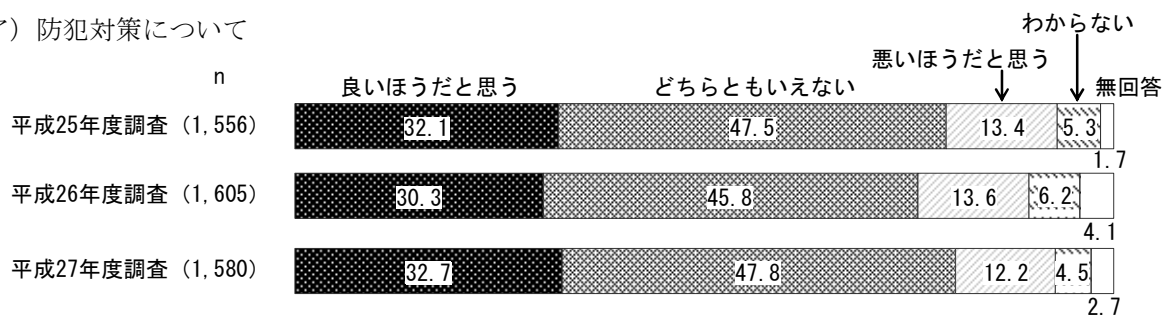
性・年代別でみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(45.1%)で4割台半ば、女性65歳以上(41.4%)で4割を超えて高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性20代(27.1%)、女性30代(27.0%)で約3割と、他の年代に比べて高くなっている。

〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は、女性の65歳以上(38.4%)で約4割、男性の65歳以上(34.9%)で3割台半ばと高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代(37.5%)で約4割、男性の30代(26.0%)、女性の30代(25.4%)、男性の40代(25.0%)で2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

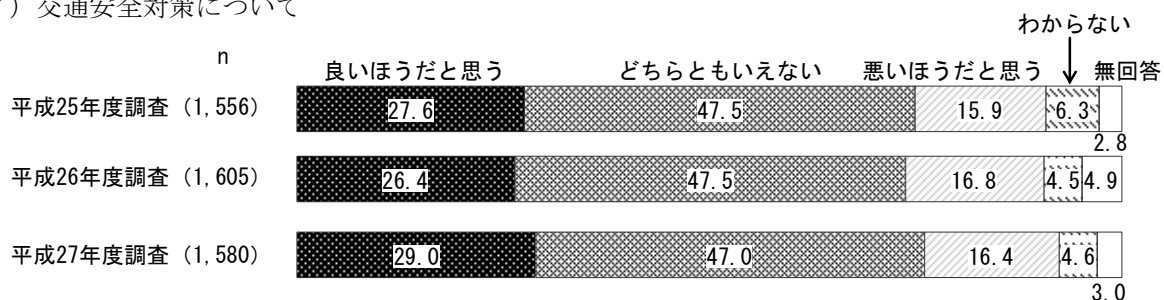
〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は女性の50代(66.9%)で6割台半ばと高く、〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(31.3%)で3割を超え、他の年代に比べて幾分高くなっている。(図表1-13)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

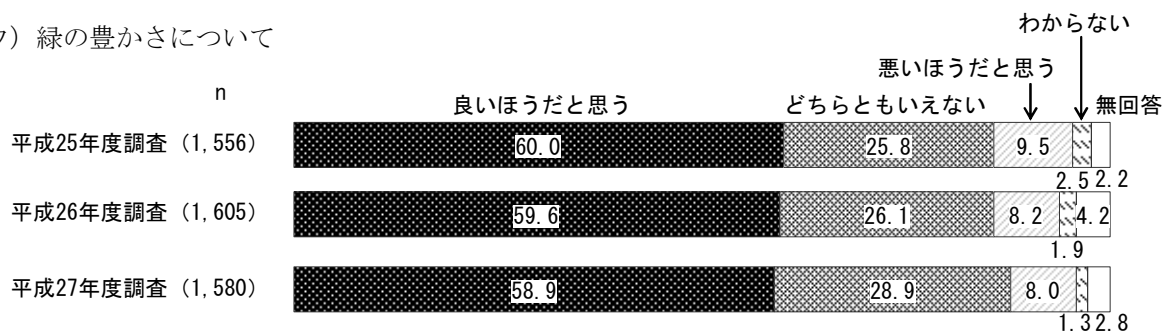
（ア）防犯対策について



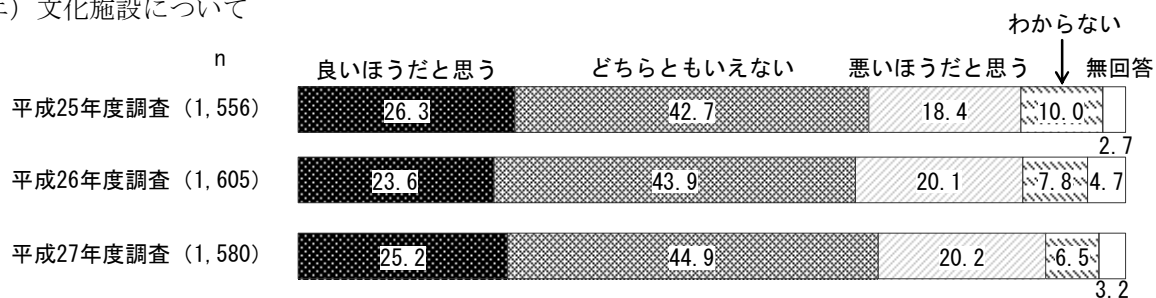
（イ）交通安全対策について



（ウ）緑の豊かさについて



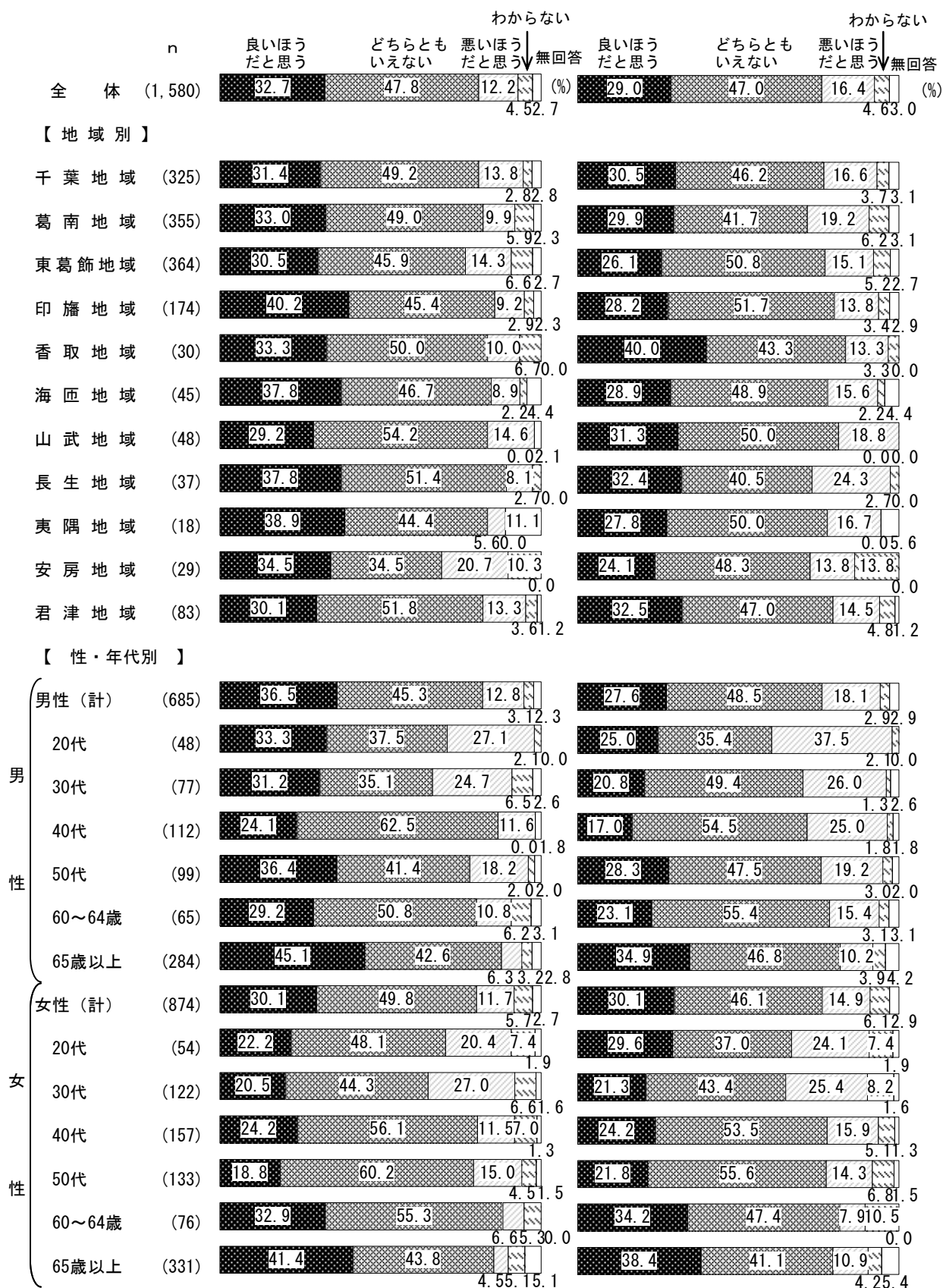
（エ）文化施設について



＜図表 1－13＞ 自然・周辺環境について／地域別、性・年代別

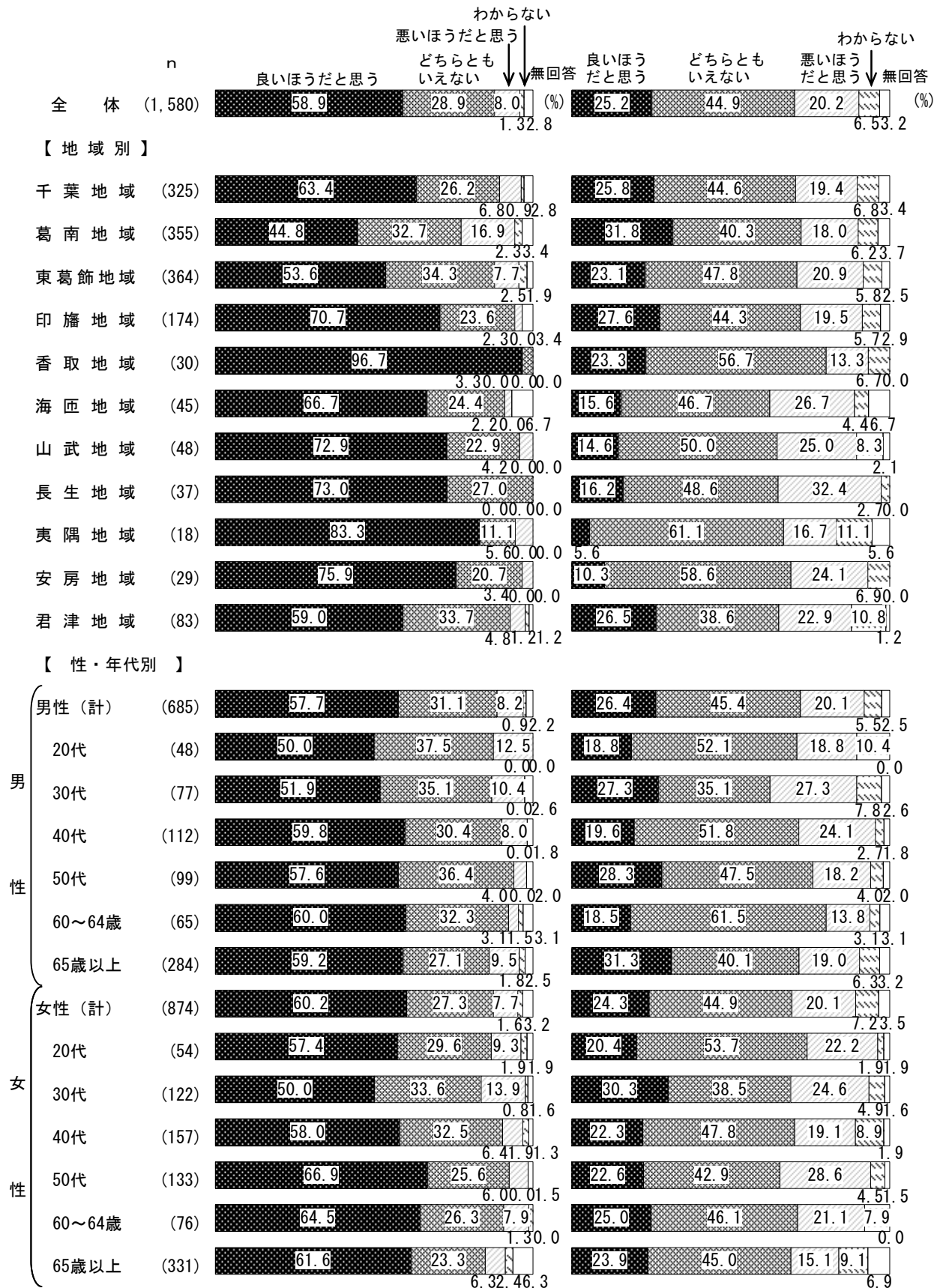
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

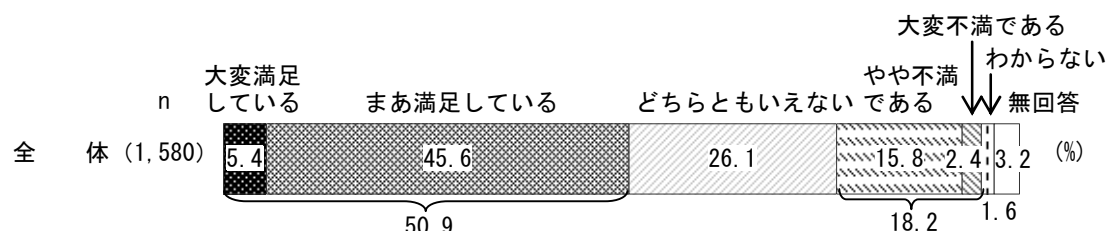


(5) 自然・周辺環境全般の満足度

◇『満足している』は5割を超える

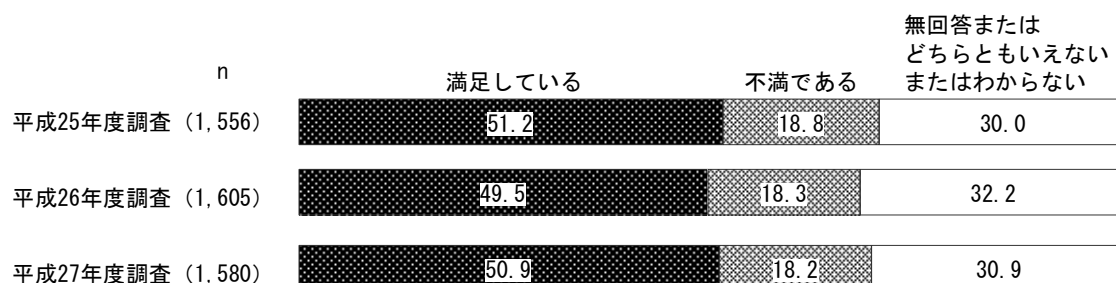
問5 あなたは、問4の（ア）～（エ）のような自然・周辺環境全般について満足していますか。（○は1つ）

<図表1-14>自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.4%)と「まあ満足している」(45.6%)を合わせた『満足している』(50.9%)は5割となっている。一方、「やや不満である」(15.8%)と「大変不満である」(2.4%)を合わせた『不満である』(18.2%)は約2割となっている。(図表1-14)

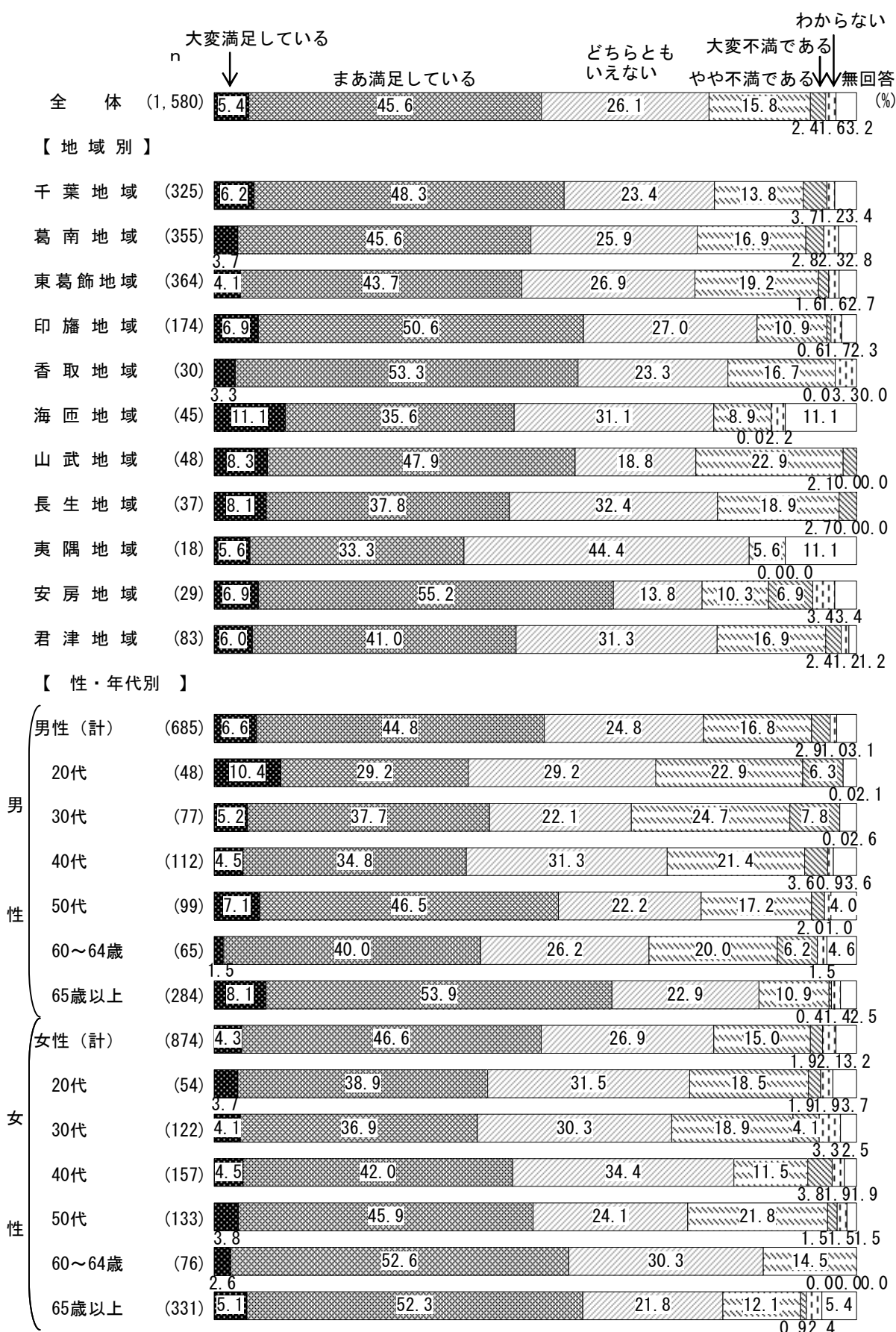
〔参考〕平成25年度・平成26年度調査の同様の項目による調査結果との比較



【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(62.0%)で6割を超え、女性の65歳以上(57.4%)で約6割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の30代(32.5%)で3割を超え、他の年代に比べて高くなっている。(図表1-15)

<図表 1-15> 自然・周辺環境全般の満足度／地域別、性・年代別



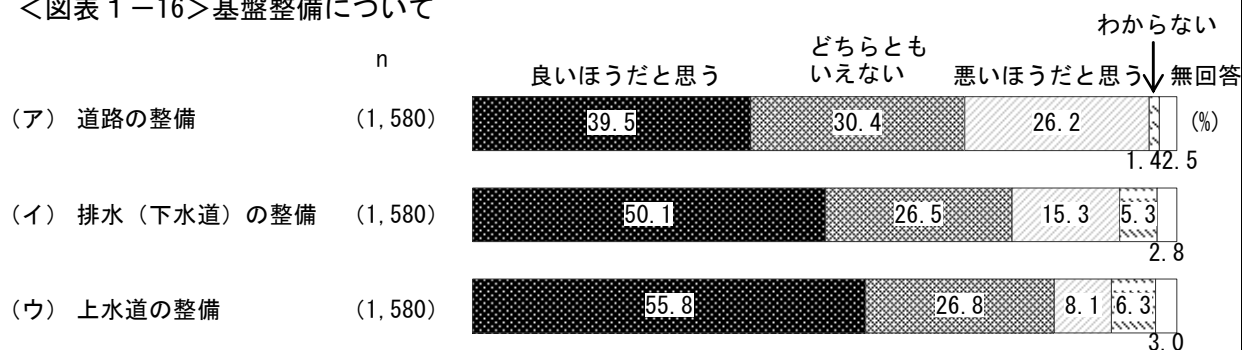
(6) 基盤整備について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で5割台半ば

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

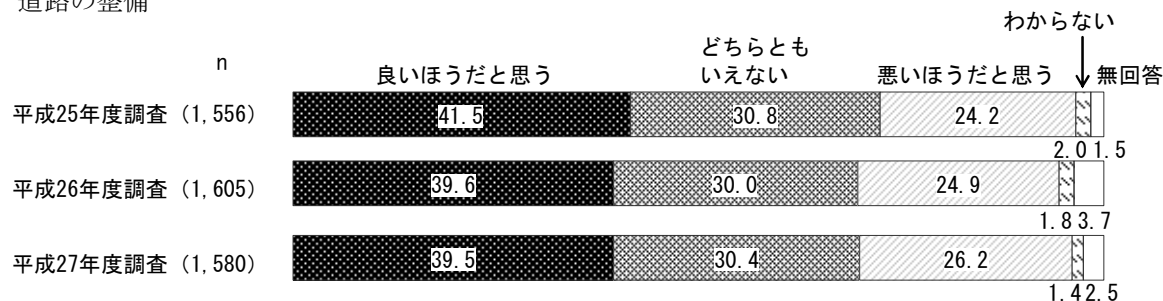
<図表1-16> 基盤整備について



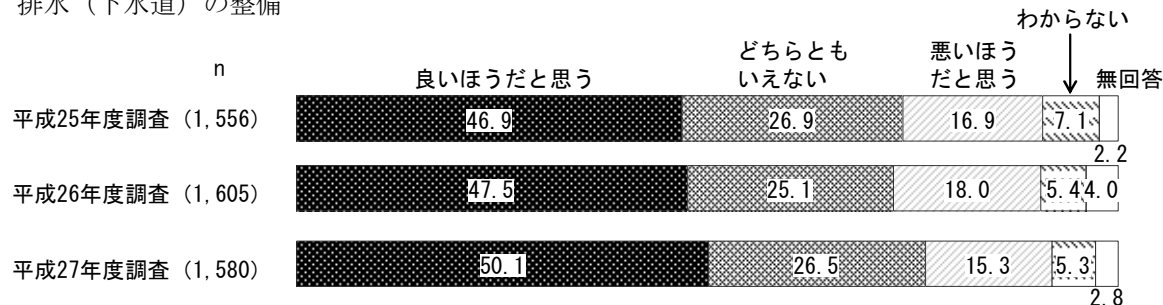
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(55.8%)で5割台半ばとなっている。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(50.1%)が5割、〈道路の整備〉(39.5%)が約4割となっている。(図表1-16)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

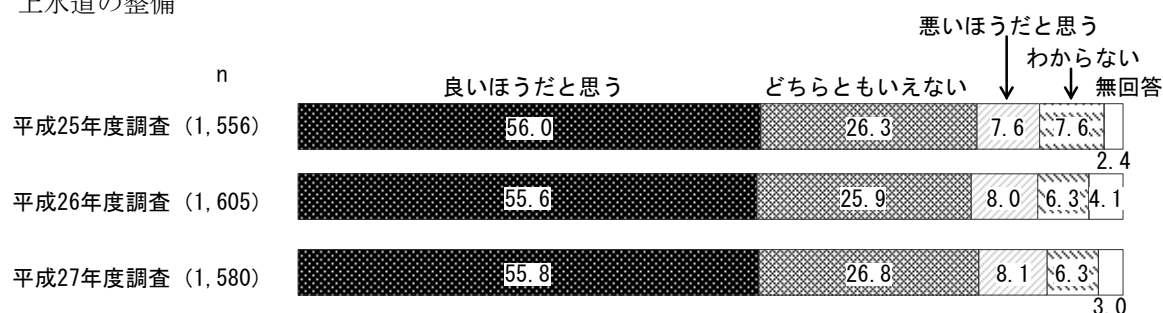
(ア) 道路の整備



(イ) 排水(下水道)の整備



(ウ) 上水道の整備



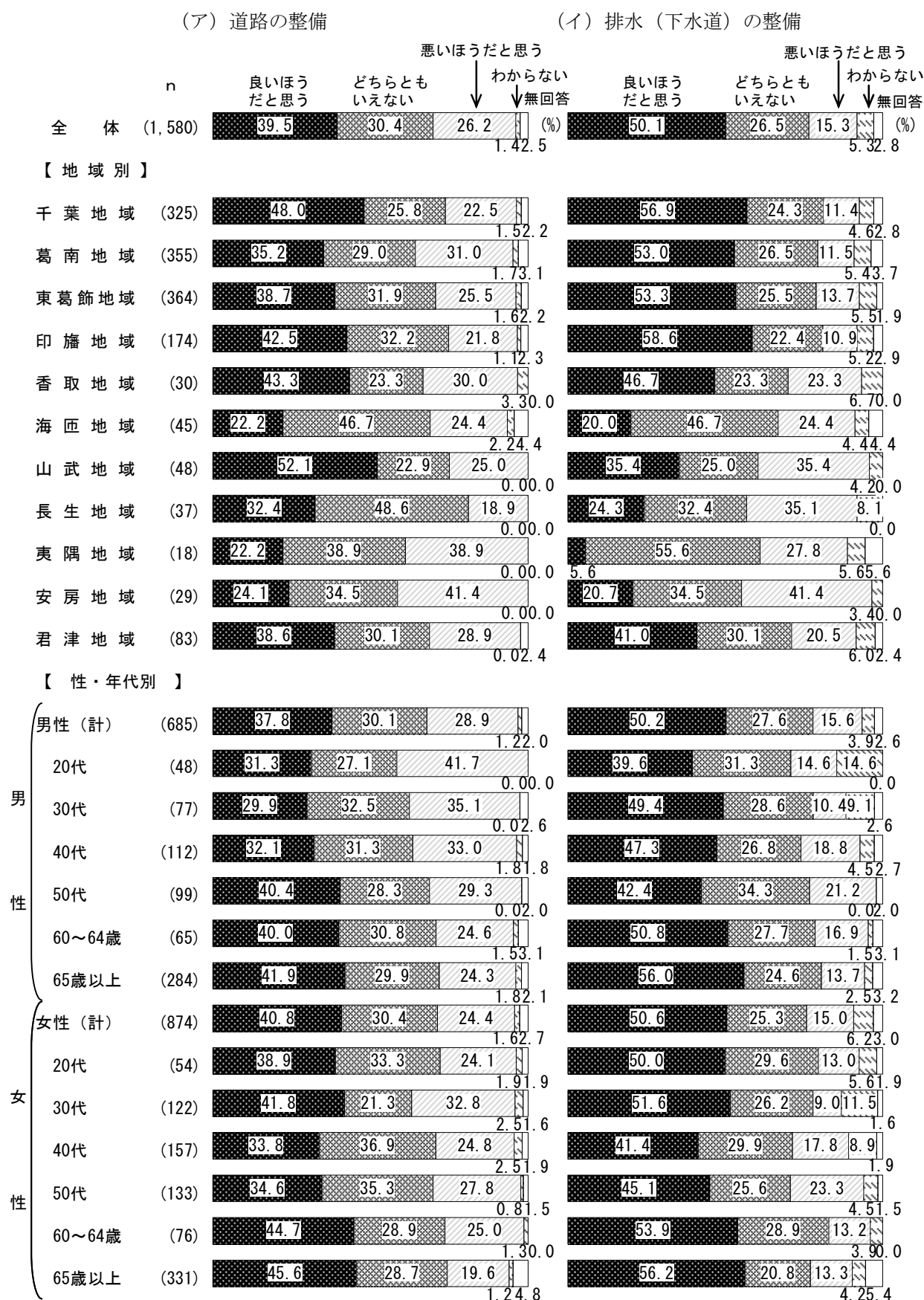
【地域別】

地域別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は“山武地域”（52.1％）で5割を超え、“千葉地域”（48.0％）でも約5割と高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は“安房地域”（41.4％）で4割を超えて高い。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”（58.6％）で約6割、「悪いほうだと思う」は“安房地域”（41.4％）で4割を超え、“山武地域”（35.4％）、“長生地域”（35.1％）で3割台半ばと高い。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（61.2％）で6割を超えて高くなっている。（図表1－17）

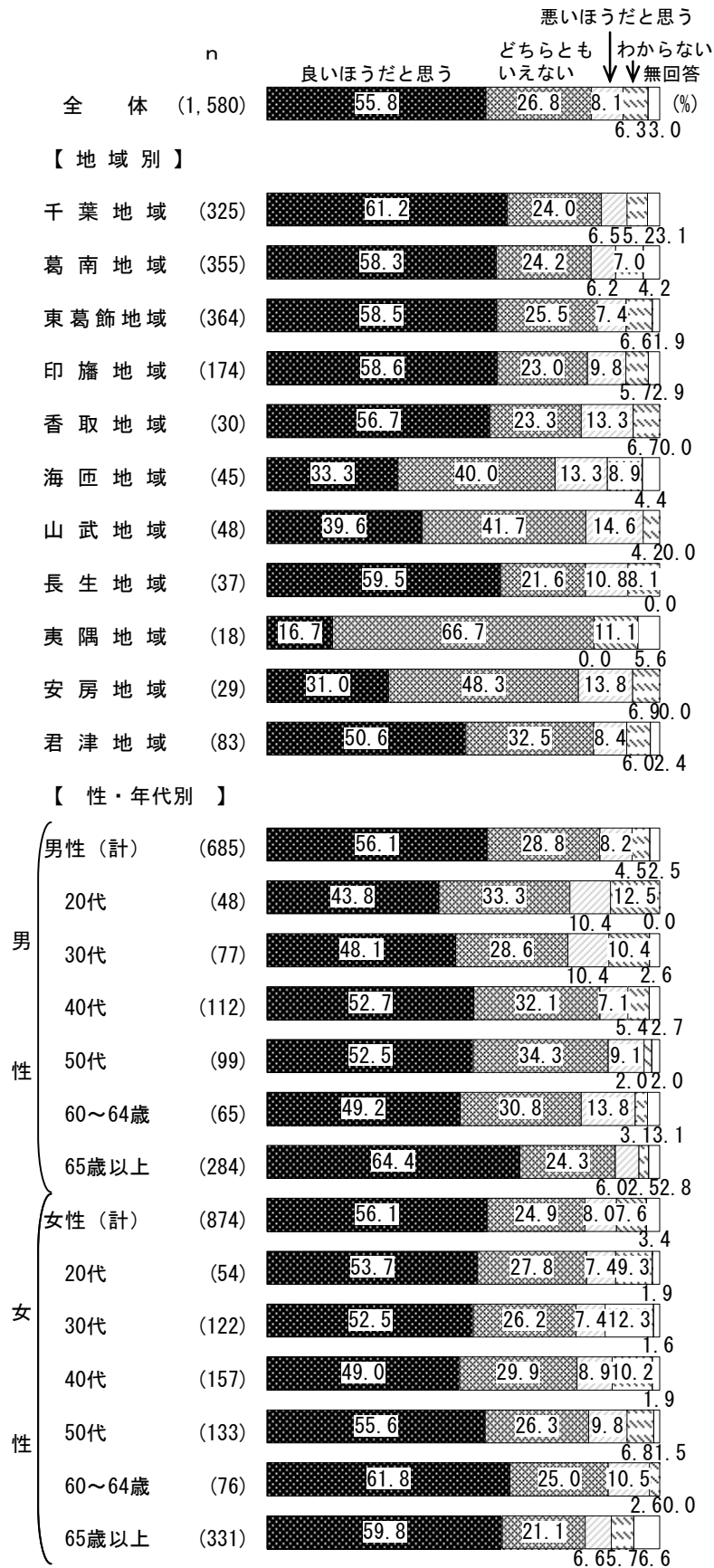
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上（45.6％）で4割台半ばと高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代（41.7％）で4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上（56.2％）、男性の65歳以上（56.0％）で5割台半ばと高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（64.4％）で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。（図表1－17）

<図表 1-17> 基盤整備について／地域別、性・年代別



(ウ) 上水道の整備

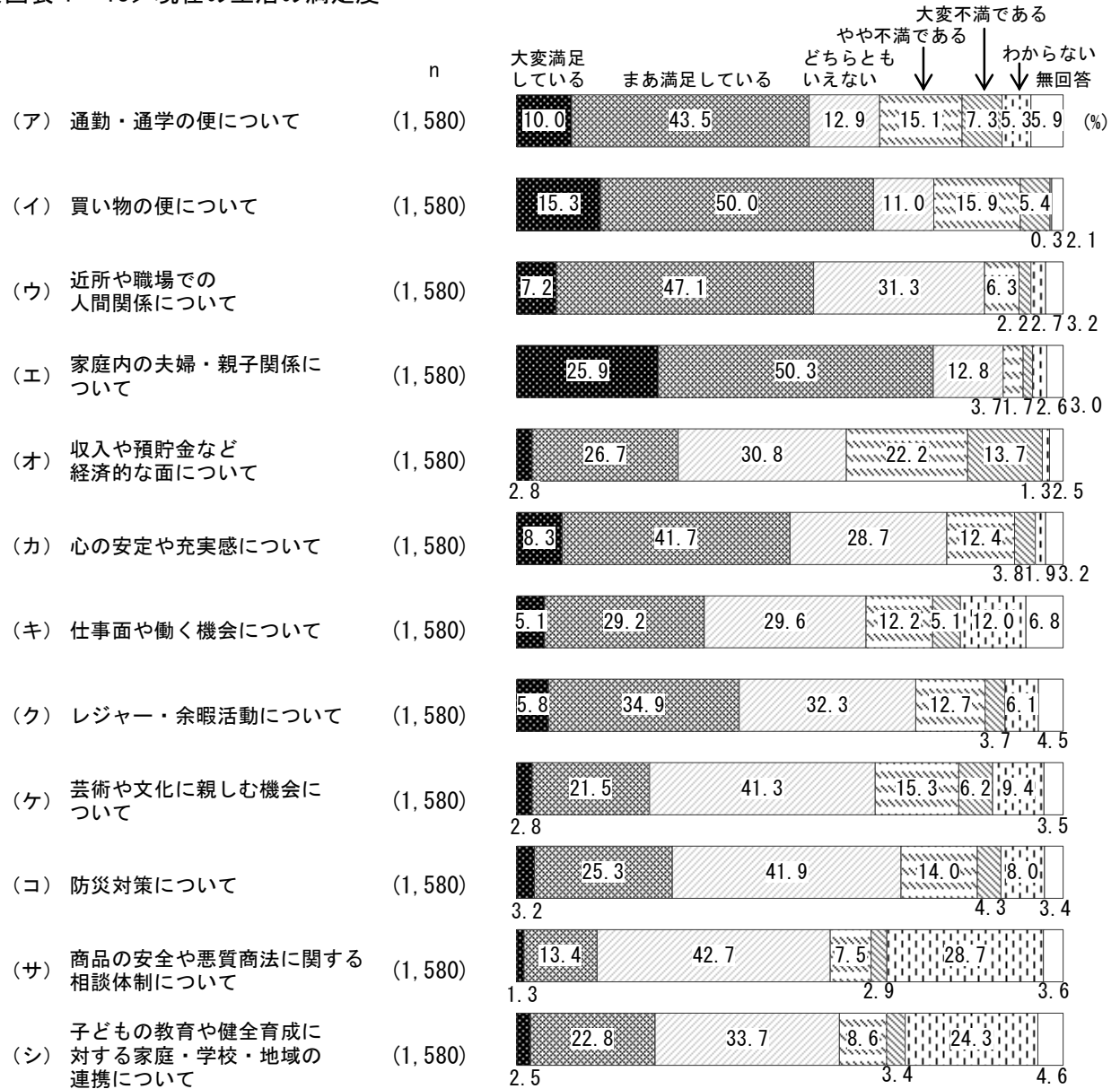


(7) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で7割台半ば

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

＜図表1－18＞現在の生活の満足度

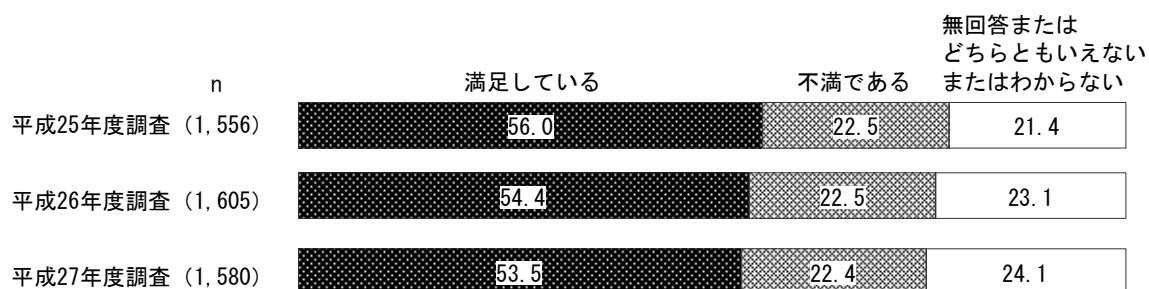


現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(76.2%)が7割台半ばとなっている。以下、〈買い物の便について〉(65.3%)、〈近所や職場での人間関係について〉(54.2%)、〈通勤・通学の便について〉(53.5%)と続く。

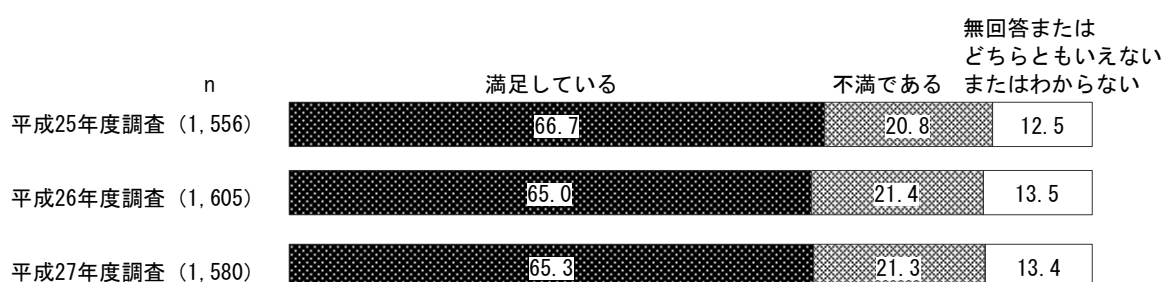
一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である』の割合は、〈収入や預貯金など経済的な面について〉(35.9%)が3割台半ばとなっており、12個の項目でこの〈収入や預貯金など経済的な面について〉のみ、『不満である』が『満足している』を上回っている。(図表1－18)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

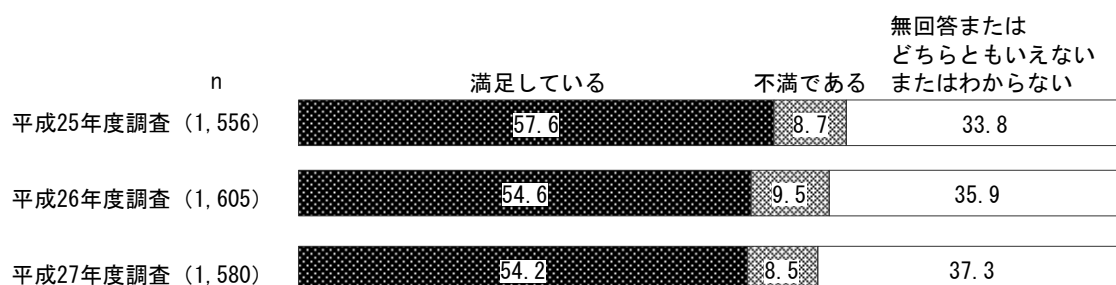
（ア）通勤・通学の便について



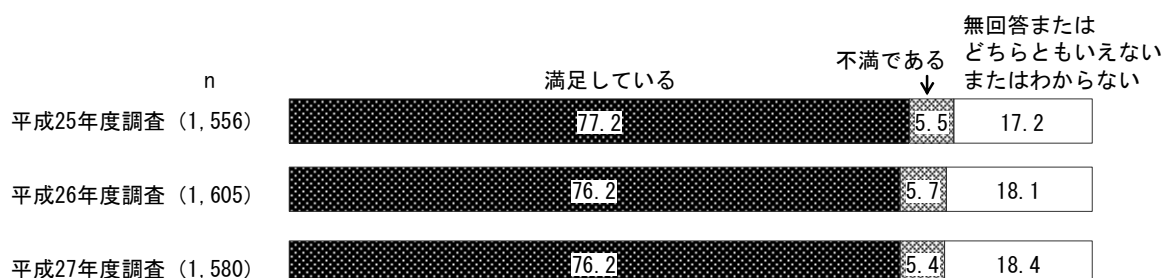
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について

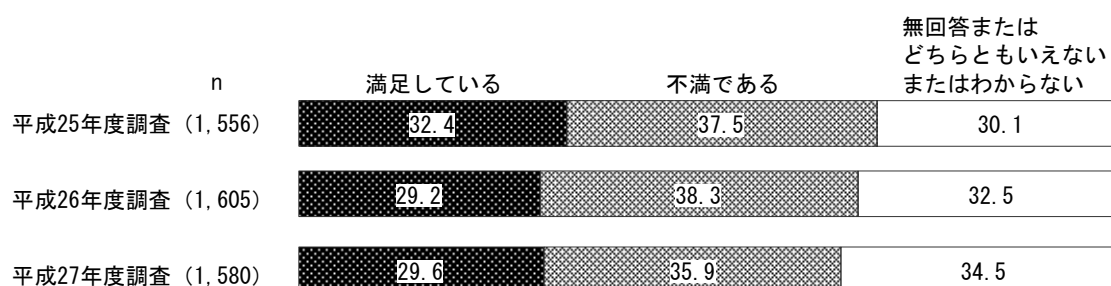


（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

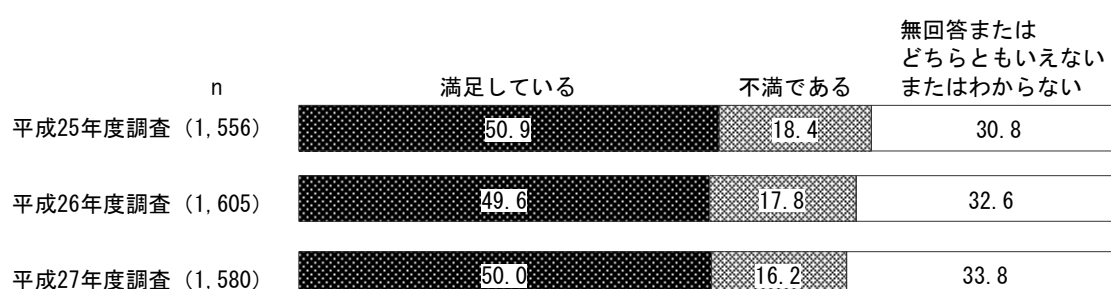


〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

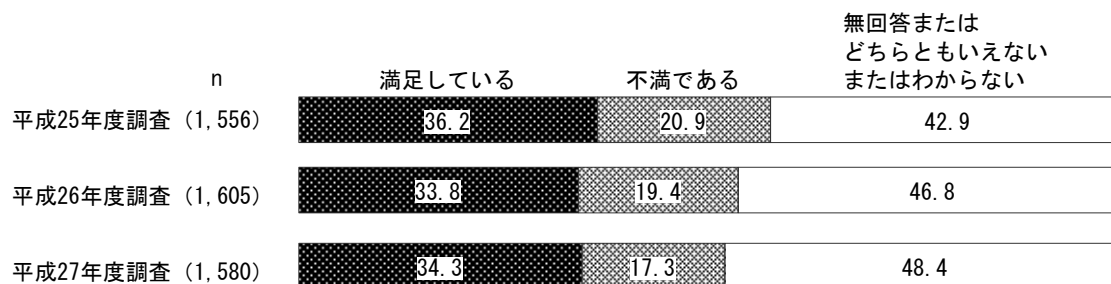
（オ）収入や預貯金など経済的な面について



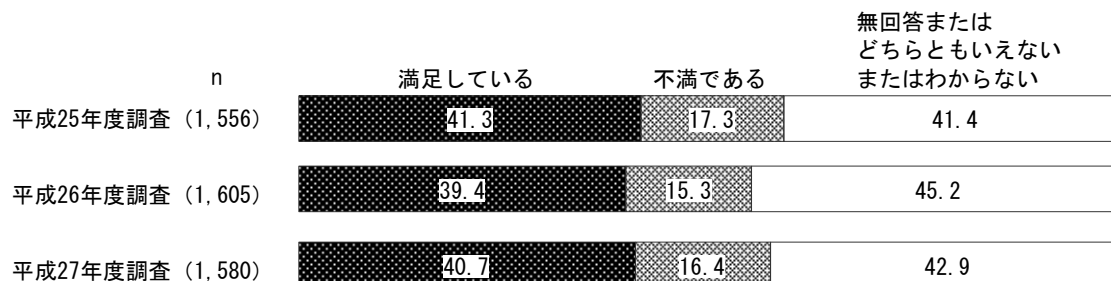
（カ）心の安定や充実感について



（キ）仕事面や働く機会について



（ク）レジャー・余暇活動について



〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

（ケ）芸術や文化に親しむ機会について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成25年度調査（1,556）	24.1	21.1	54.8
平成26年度調査（1,605）	22.4	19.4	58.2
平成27年度調査（1,580）	24.2	21.5	54.3

（コ）「防災対策について」 ※平成26年度から聴取

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）	26.2	17.7	56.1
平成27年度調査（1,580）	28.5	18.3	53.2

（サ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成25年度調査（1,556）	13.9	11.8	74.2
平成26年度調査（1,605）	12.7	10.8	76.5
平成27年度調査（1,580）	14.6	10.4	75.0

（シ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成25年度調査（1,556）	26.2	10.3	63.6
平成26年度調査（1,605）	23.6	9.8	66.6
平成27年度調査（1,580）	25.4	12.0	62.6

【地域別】

地域別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（67.6％）で約7割となっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（50.0％）が5割、“安房地域”（44.8％）で4割台半ばと高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（76.6％）で7割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（66.7％）で6割台半ば、“安房地域”（55.2％）で5割台半ばと高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は“千葉地域”、“香取地域”（同率60.0％）で6割と高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は“千葉地域”（35.1％）、“葛南地域”（34.6％）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は“安房地域”（58.6％）で約6割と高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は“葛南地域”（56.9％）で5割台半ばと高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（40.6％）で4割と高くなっている。一方、『不満である』は“安房地域”（41.4％）で4割を超え、“香取地域”（33.3％）で3割台半ば、“海匝地域”（31.1％）で3割を超えて高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『不満である』は“海匝地域”、“夷隅地域”（同率33.3％）で3割台半ば、“安房地域”（31.0％）で3割を超えて高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（30.1％）で3割と高くなっている。一方、『不満である』は“長生地域”（35.1％）、“君津地域”（34.9％）、“安房地域”（34.5％）で3割台半ばと高くなっている。

〈防災対策について〉において、『満足している』は“印旛地域”（35.1％）で3割台半ばと高くなっている。（図表1－19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は女性の20代（75.9％）で7割台半ば、男性の50代（63.6％）で6割台半ばと高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は女性の20代（79.6％）で約8割と高く、「大変満足している」が女性の30代（25.4％）で2割台半ばと高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、「大変満足している」は女性の20代（16.7％）で1割台半ばと高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、「大変満足している」は男性の30代（39.0％）、女性の30代（36.1％）で3割台半ばと高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は男性の50代（35.4％）、男性の65歳以上（35.2％）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は男性の20代（52.1％）、男性の30代（51.9％）で5割を超えて高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は男性の60～64歳（61.5％）で6割を超え、男性の65歳以上（57.7％）で約6割と高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は女性の20代（59.3％）で約6割、男性の60～64歳（52.3％）で5割を超えて高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は女性の20代（55.6%）で5割台半ば、男性の60～64歳（52.3%）で5割を超え、女性の30代（50.8%）で5割と高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は女性の30代（35.2%）で3割台半ばで高くなっている。一方、『不満である』は男性の20代（33.3%）で3割台半ば、女性の50代（29.3%）が約3割と高くなっている。

〈防災対策について〉では、『満足している』は男性の65歳以上（37.0%）で約4割、女性の65歳以上（33.8%）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は女性の30代（32.8%）で3割を超え、女性の20代（29.6%）も約3割と高くなっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において全ての性・年代で「どちらともいえない」の割合が最も高い。一方、『不満である』は男性の50代（20.2%）で2割と高くなっている。

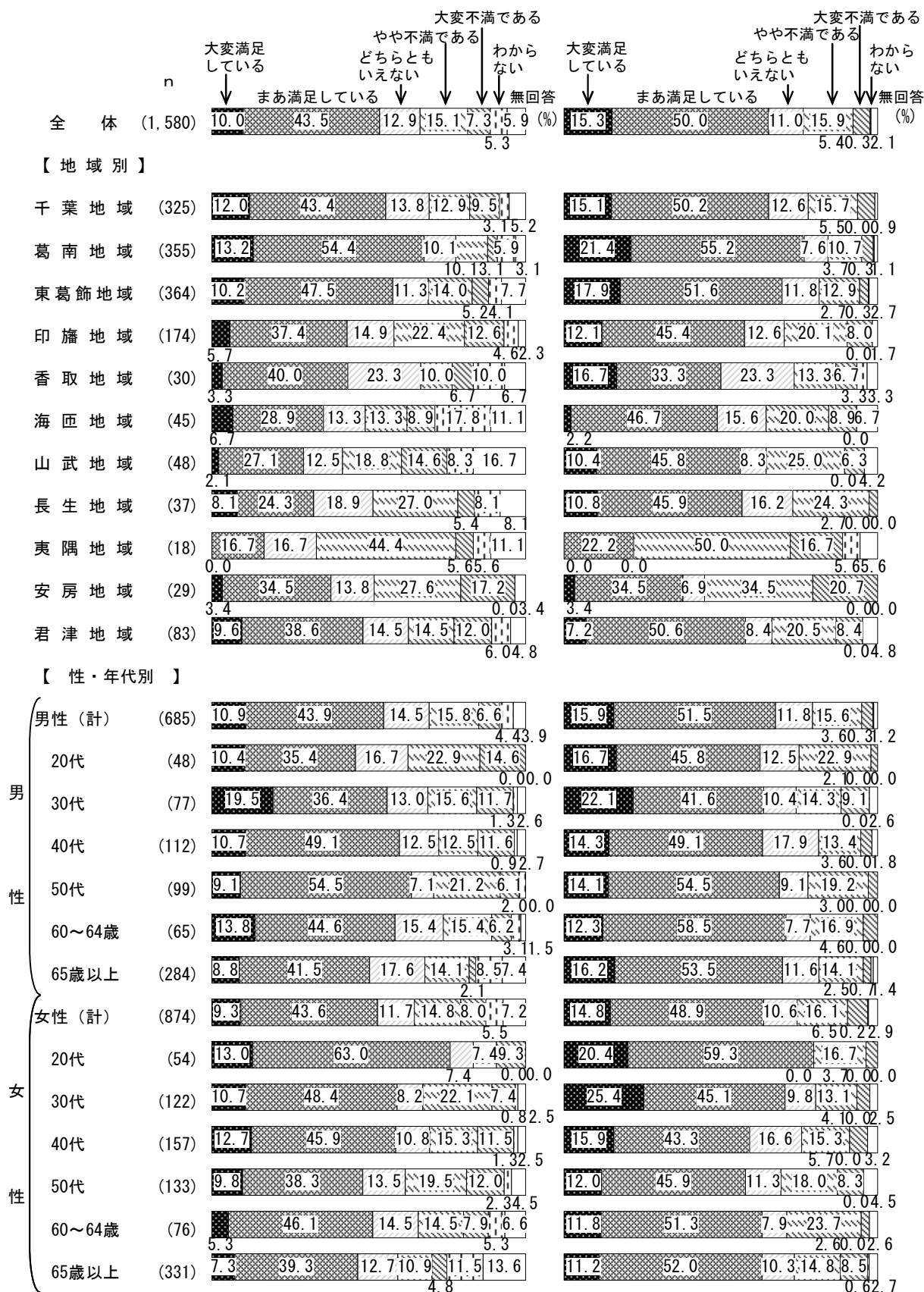
〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は男性の50代（35.4%）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は男性の20代（25.0%）で2割台半ば、女性の30代（20.5%）で2割と高くなっている。

（図表 1－19）

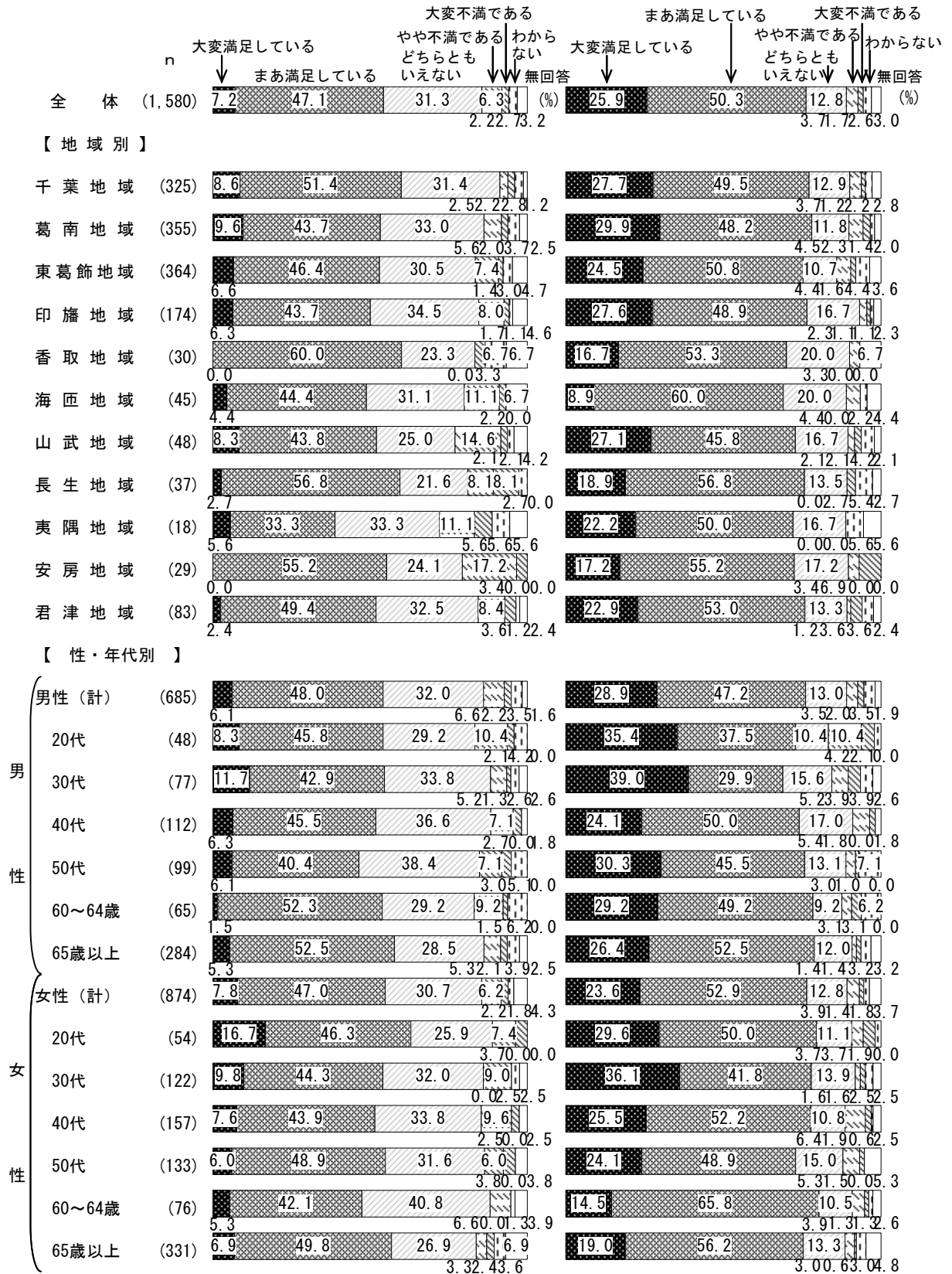
<図表 1-19> 現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について

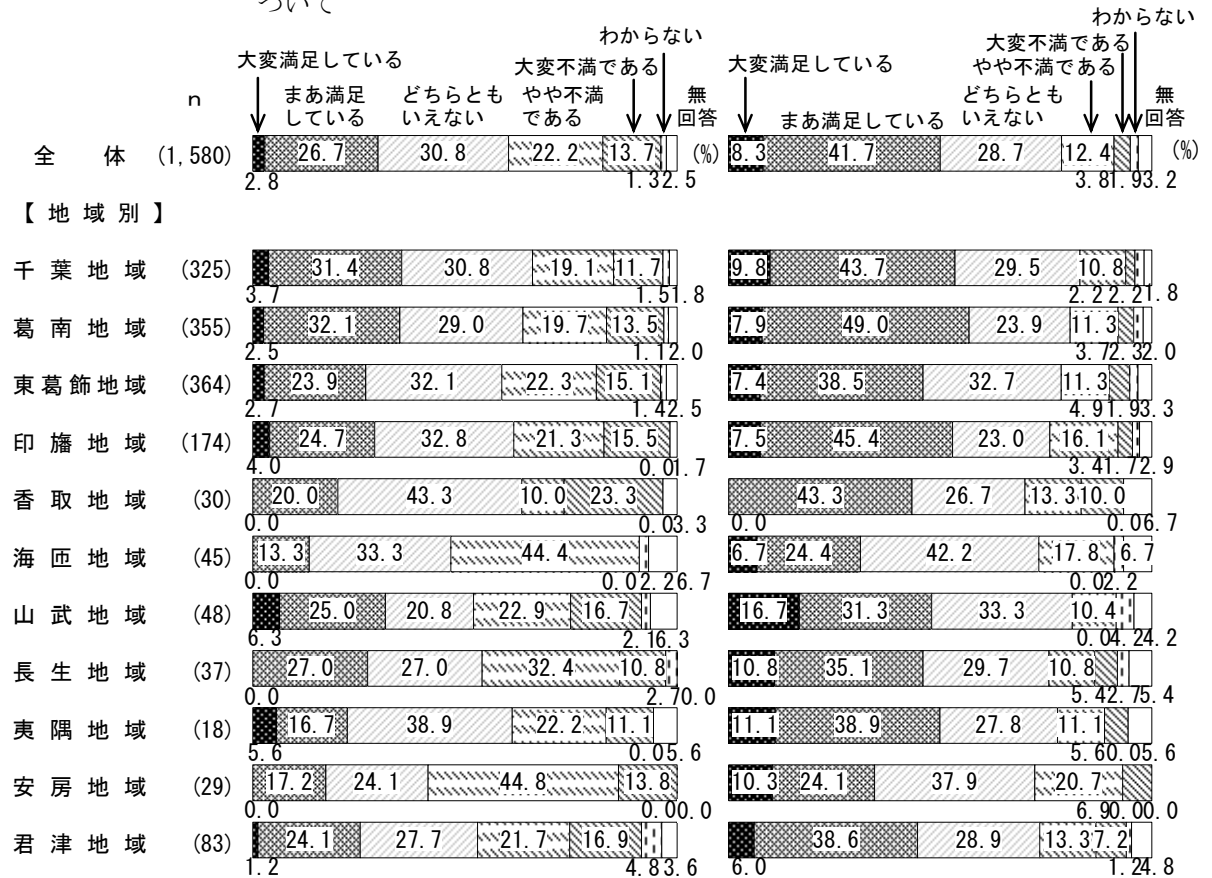


(ウ) 近所や職場での人間関係について (エ) 家庭内の夫婦・親子関係について

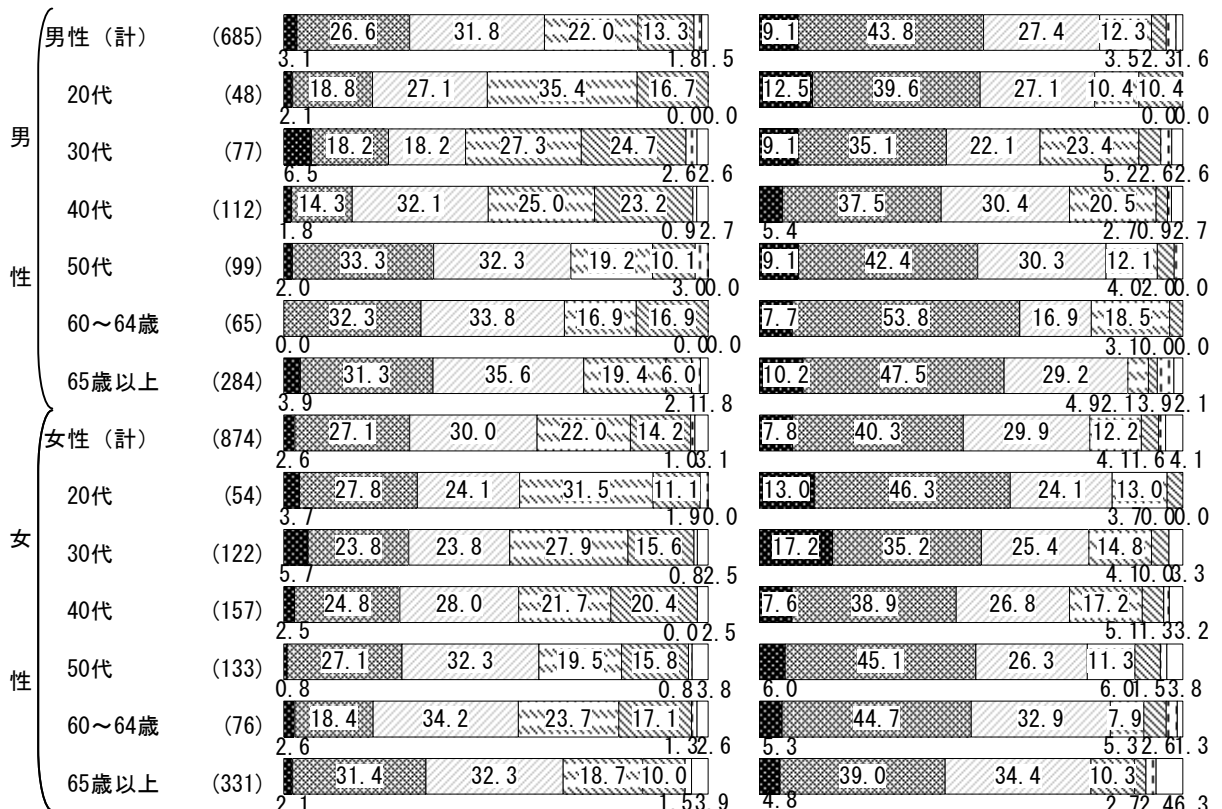


(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

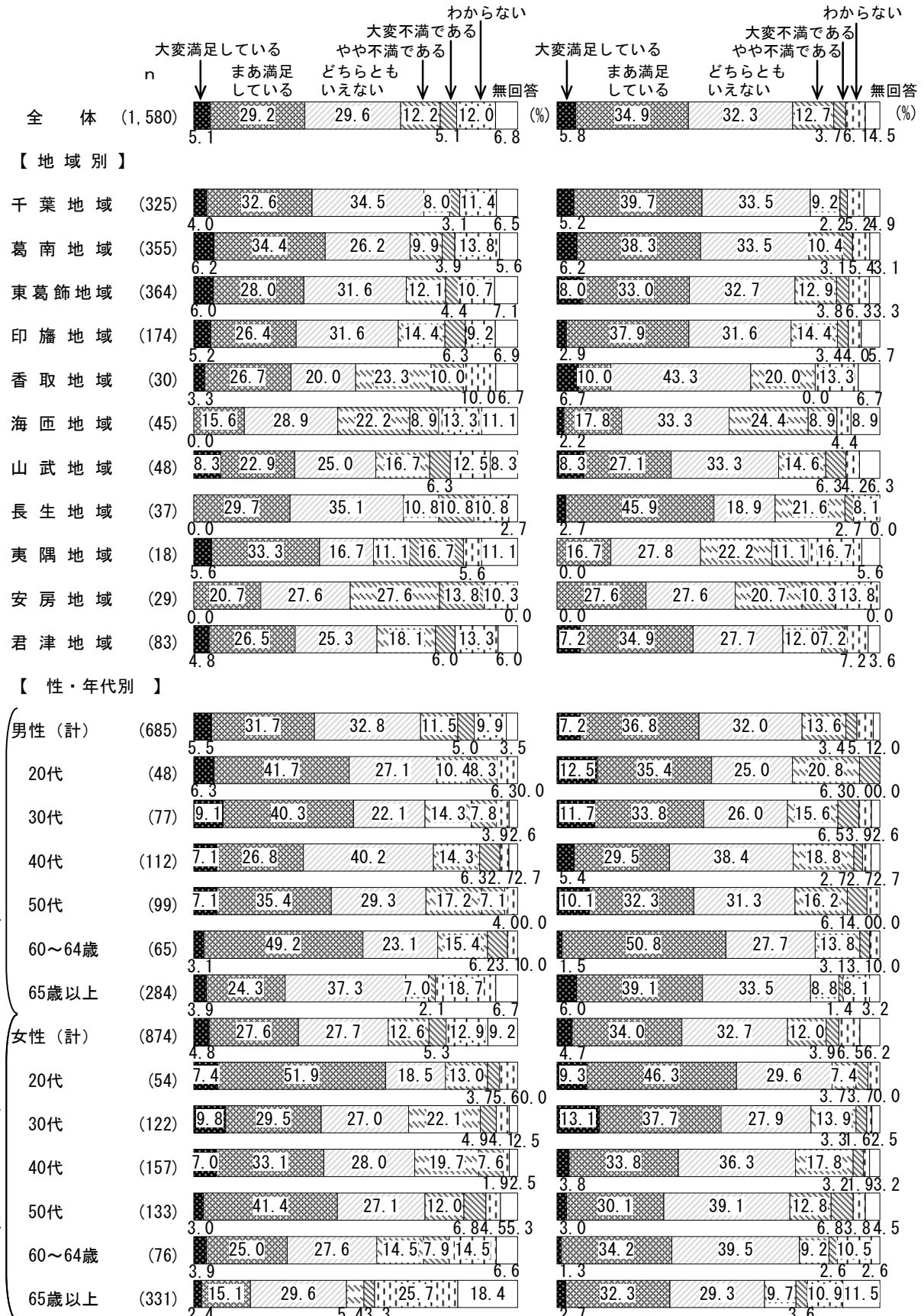
(カ) 心の安定や充実感について



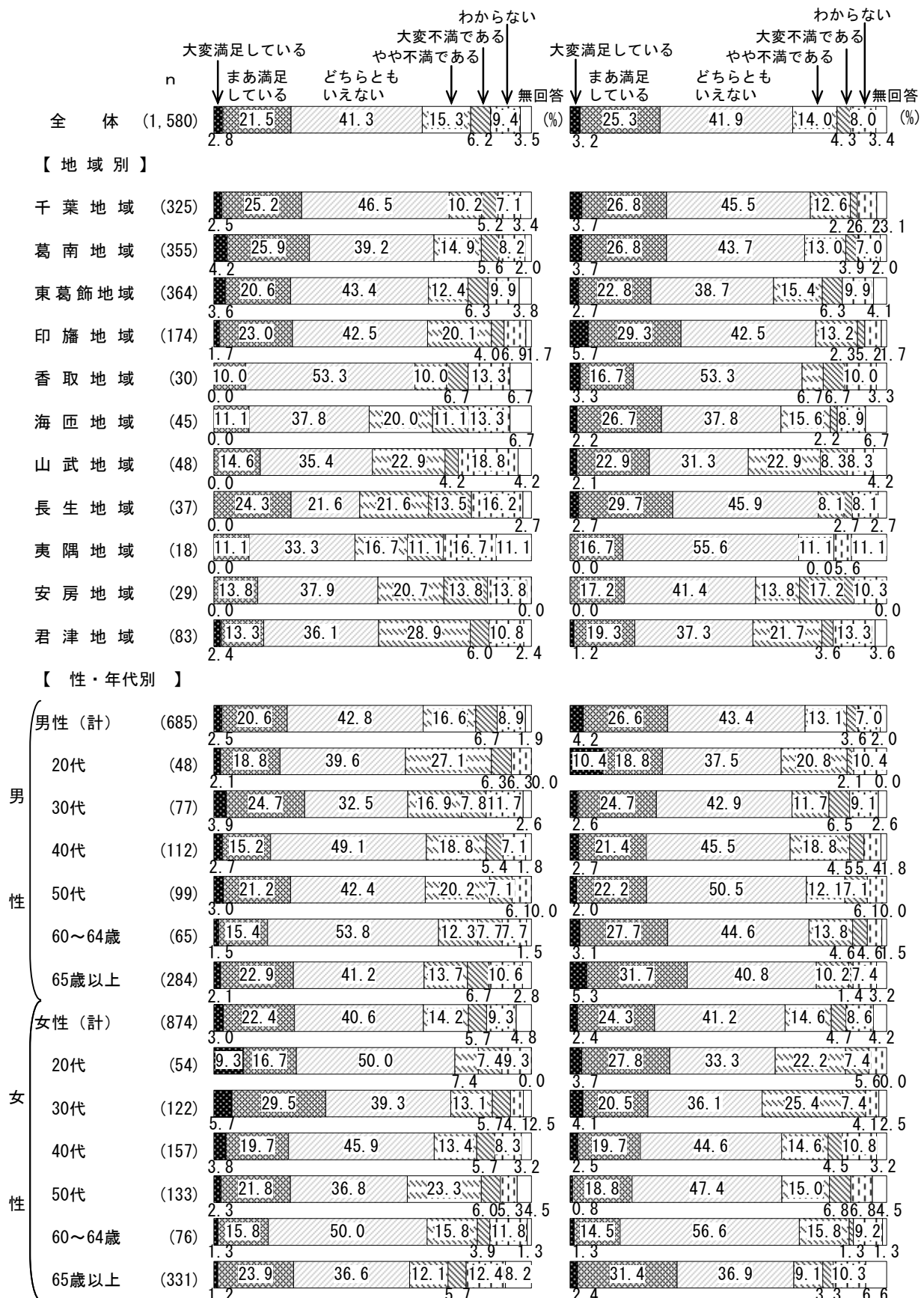
【性・年代別】



(ク) レジャー・余暇活動について

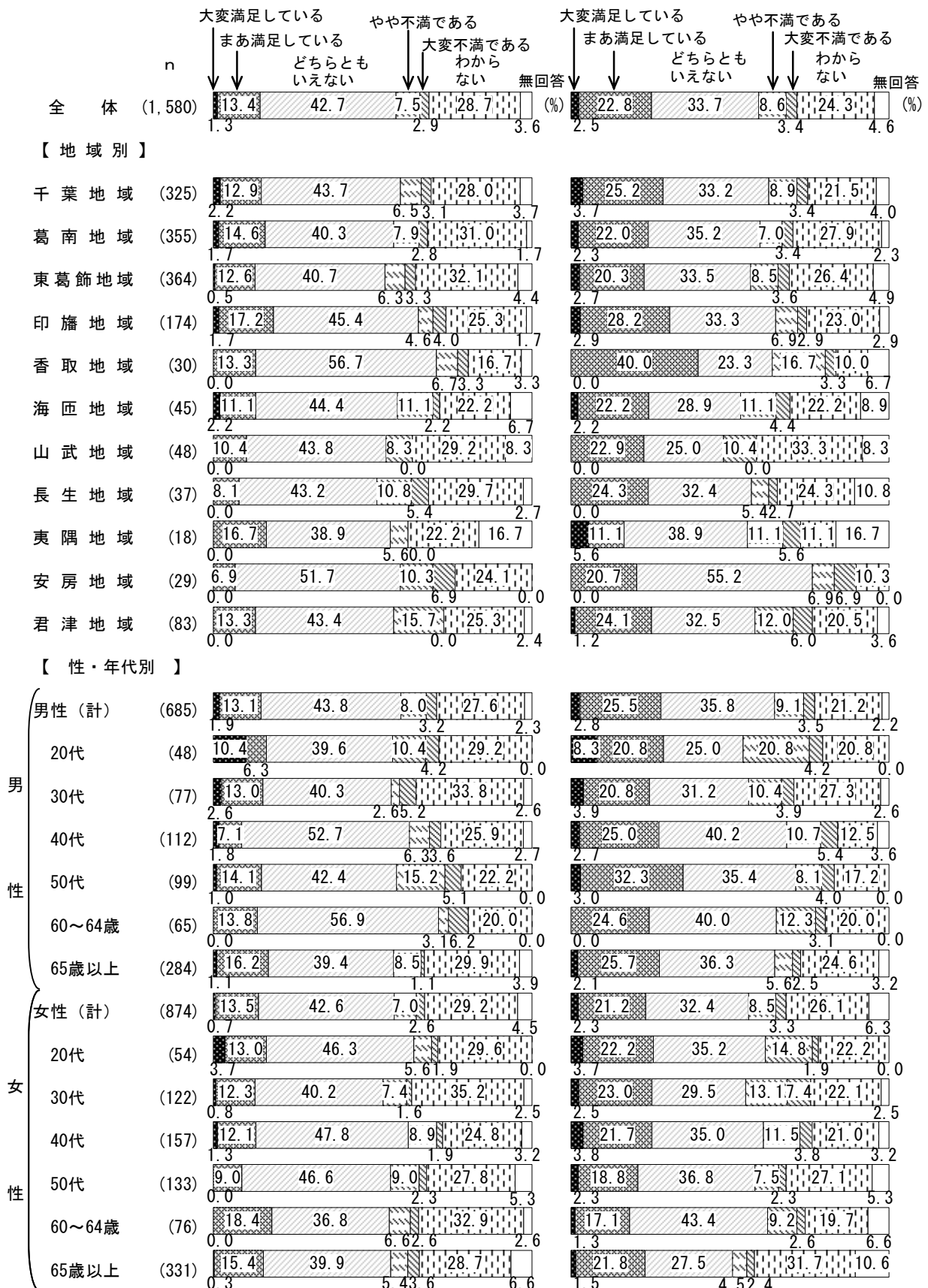


(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 防災対策について



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する
相談体制について

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する
家庭・学校・地域の連携について



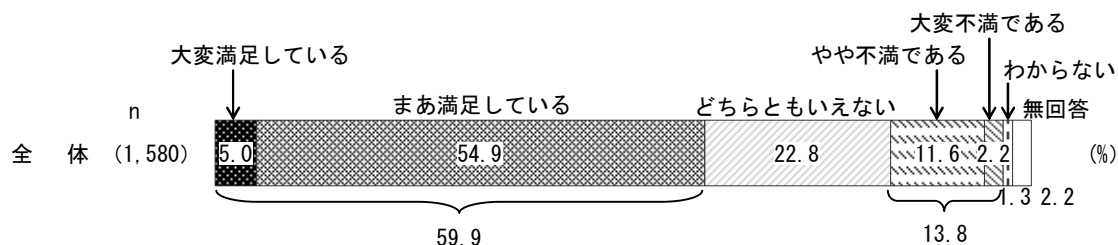
(8) 住生活全般の満足度

◇『満足している』が約6割

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

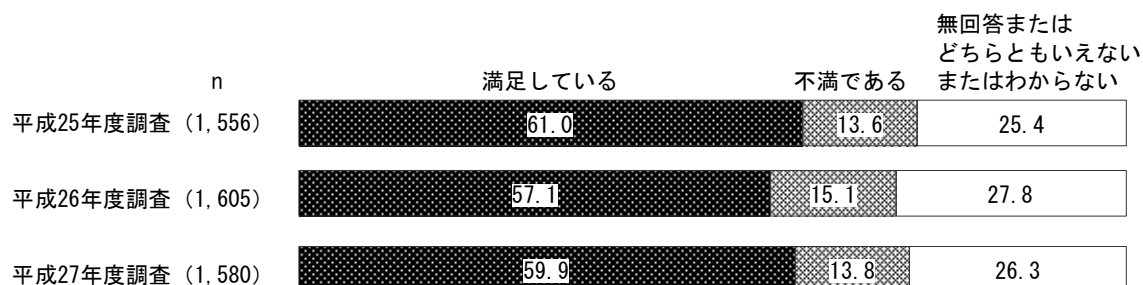
(○は1つ)

<図表1-20>住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.0%)と「まあ満足している」(54.9%)を合わせた『満足している』(59.9%)は約6割となっている。一方、「やや不満である」(11.6%)と「大変不満である」(2.2%)を合わせた『不満である』(13.8%)は1割台半ばとなっている。(図表1-20)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果（単位：%）



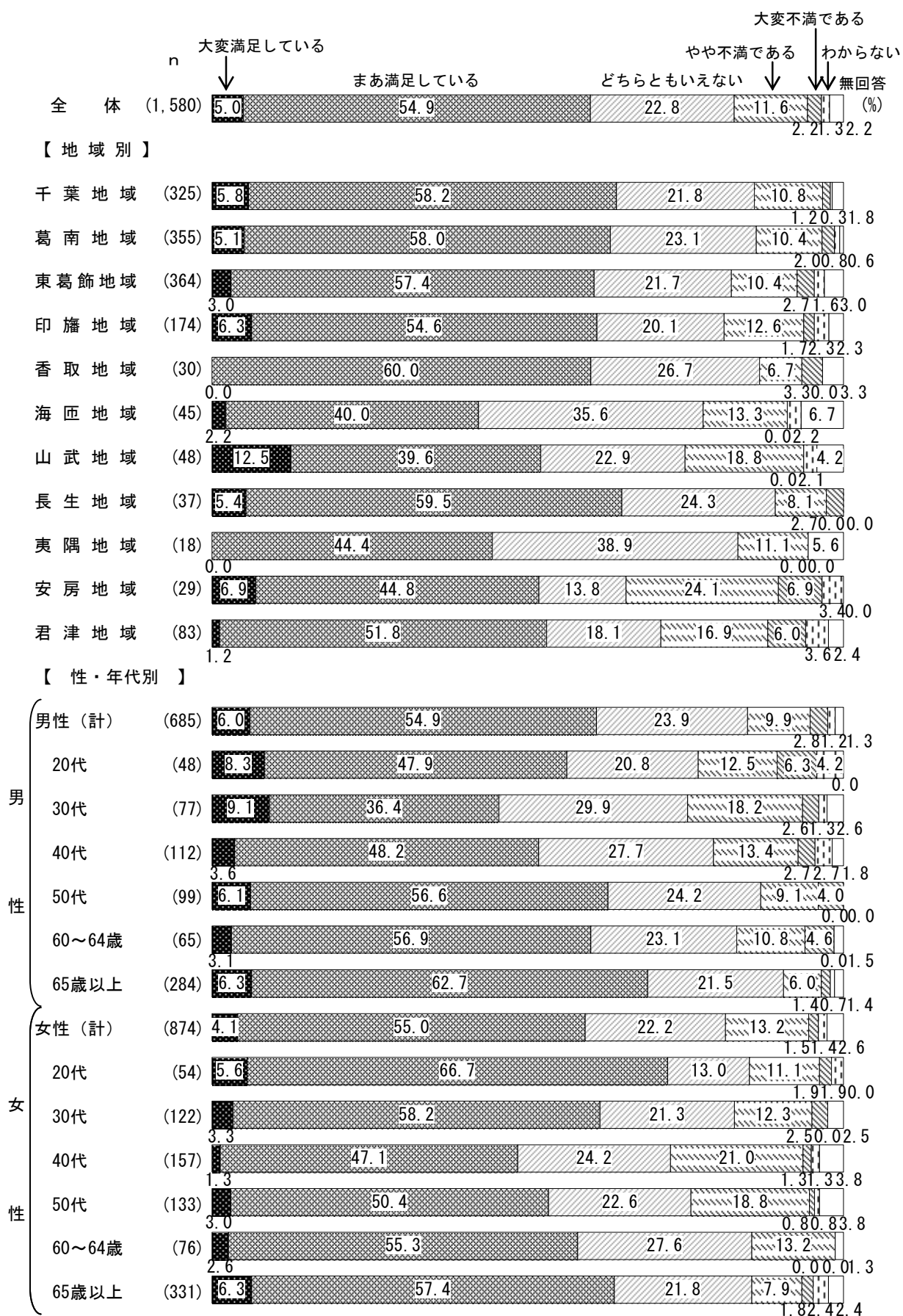
【地域別】

地域別にみると、『不満である』は“安房地域” (31.0%) で3割を超えて、他の地域に比べて高くなっている。(図表1-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の20代 (72.2%) で7割を超え、男性の65歳以上 (69.0%) で約7割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は女性の40代 (22.3%) で2割を超えて高くなっている。(図表1-21)

＜図表 1－21＞住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

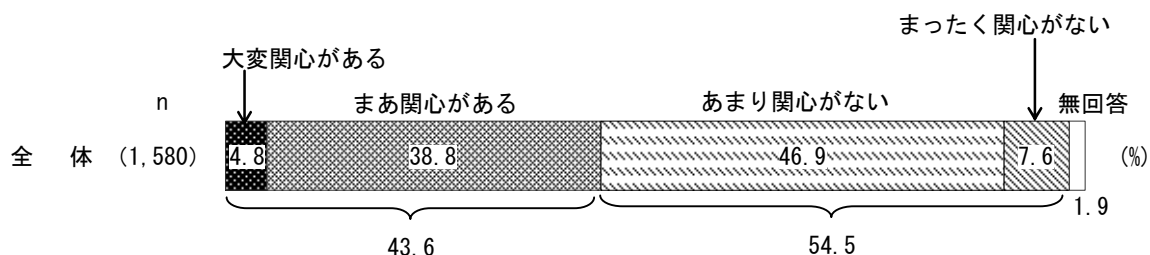


(9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある』は4割台半ば

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。(○は1つ)

＜図表1-22＞市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体やボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(4.8%)、「まあ関心がある」(38.8%)となっており、2つを合わせた『関心がある』(43.6%)は4割台半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(46.9%)、「まったく関心がない」(7.6%)を合わせた『関心がない』(54.5%)は5割台半ばとなっており、『関心がない』割合が『関心がある』を上回っている。

(図表1-22)

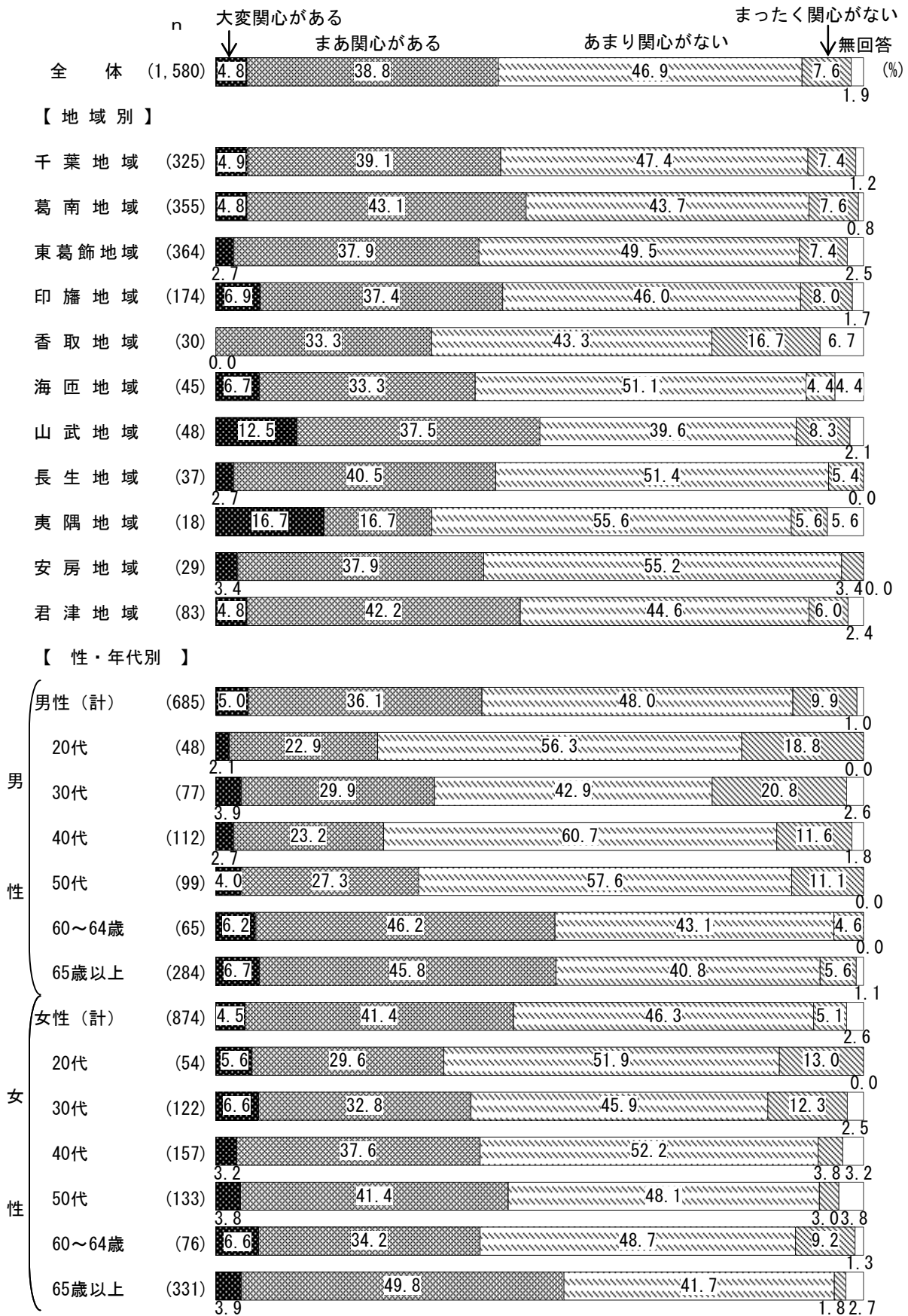
【地域別】

地域別にみると、「大変関心がある」は“夷隅地域”(16.7%)が1割台半ば、“山武地域”(12.5%)で1割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表1-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は女性の65歳以上(53.8%)が5割台半ば、男性の65歳以上(52.5%)、男性の60～64歳(52.3%)で5割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-23)

＜図表１－23＞市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



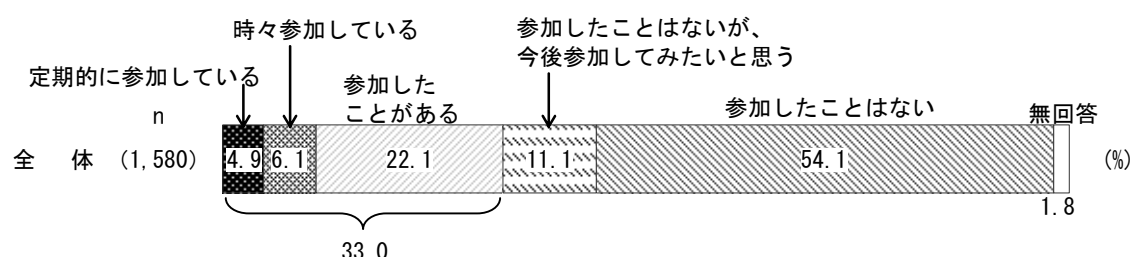
(10) 市民活動団体の活動への参加経験

◇「参加したことはない」は5割台半ば

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

(注) ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

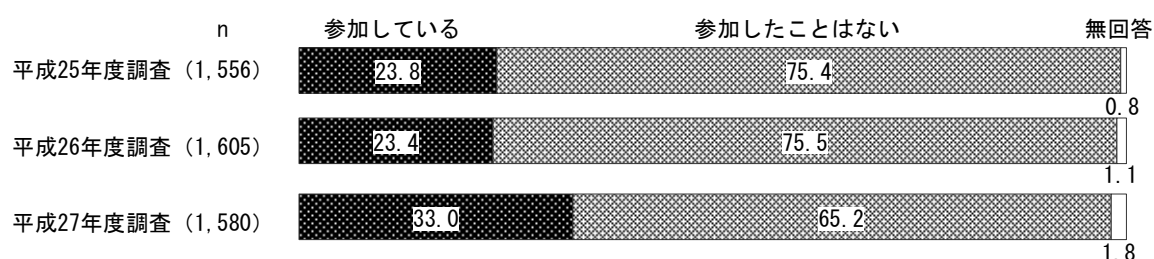
<図表 1-24>市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(4.9%)と「時々参加している」(6.1%)、「参加したことがある」(22.1%)の3つを合わせた『参加している』(33.0%)は3割台半ばとなっている。過去の調査結果と比較すると『参加している』割合は大きく上昇した。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(11.1%)は1割を超え、「参加したことはない」(54.1%)は5割台半ばとなっている。(図表 1-24)

【参考】平成 25 年度・平成 26 年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



【地域別】

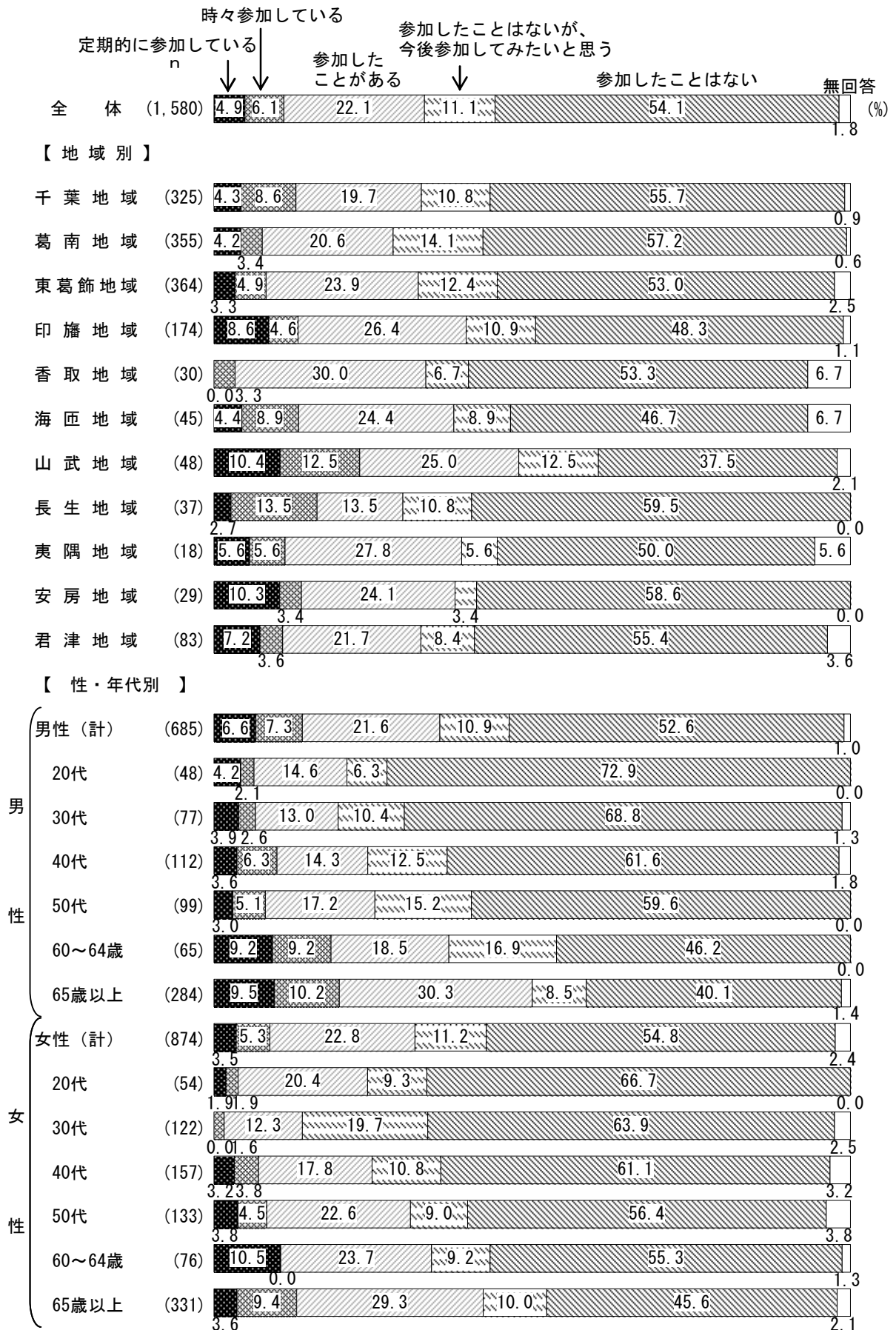
地域別にみると、『参加している』は“山武地域”(47.9%)が約5割、“印旛地域”(39.7%)で約4割と他の地域に比べて高くなっている。(図表 1-25)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加している』は男性の65歳以上(50.0%)が5割、女性の65歳以上(42.3%)で4割を超えてと他の年代に比べて高くなっている。一方、「参加したことはない」は男性の20代(72.9%)で7割を超え、男性の30代(68.8%)で約7割と他の年代に比べて高くなっている。

(図表 1-25)

<図表 1-25> 市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別

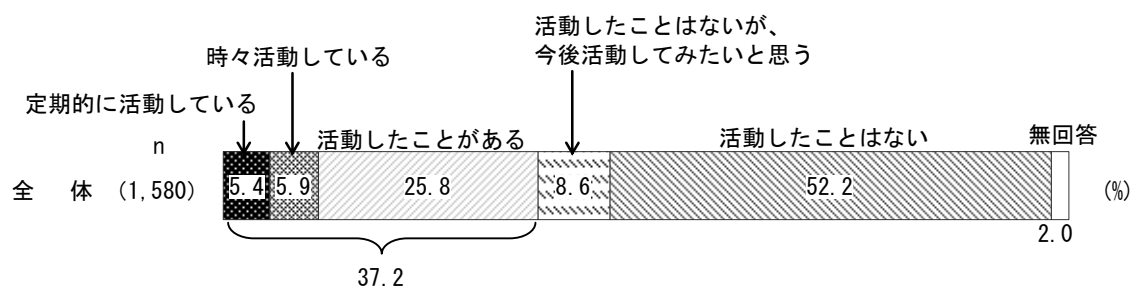


(11) ボランティア活動経験

◇「活動したことがある」は約4割

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。(○は1つ)

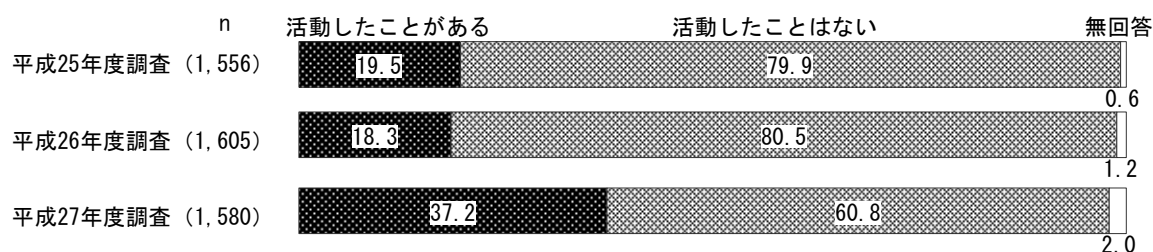
＜図表 1－26＞ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるかを聞いたところ、「定期的活動している」(5.4%)、「時々活動している」(5.9%)、「活動したことがある」(25.8%)を合わせた『活動したことがある』(37.2%)は約4割となっている。一方、「活動したことはない」(52.2%)は5割を超えている。

(図表 1－26)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)



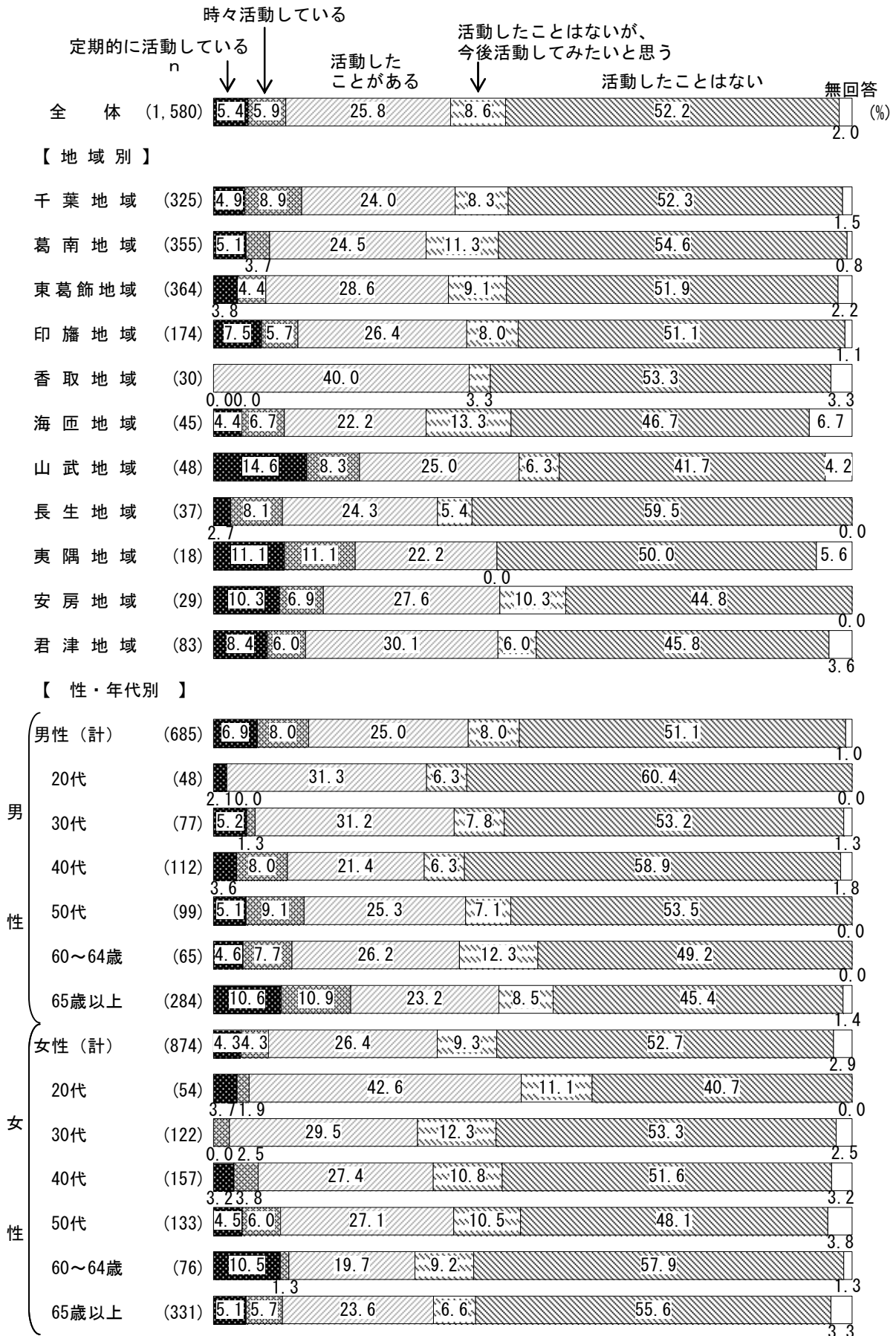
【地域別】

地域別にみると、「定期的活動している」は“山武地域”(14.6%)で1割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表 1－27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「定期的活動している」は男性の65歳以上(10.6%)、女性の60～64歳(10.5%)で1割と他の年代に比べて高くなっている。(図表 1－27)

<図表 1-27> ボランティア活動経験／地域別、性・年代別



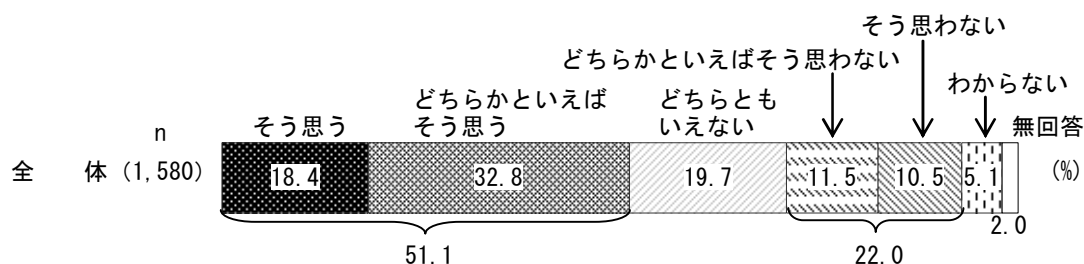
2 健康について

(1) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が5割を超える

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。
(○は1つ)

<図表2-1>健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(18.4%)と「どちらかといえばそう思う」(32.8%)を合わせた『そう思う』(51.1%)は5割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.5%)と「そう思わない」(10.5%)を合わせた『そう思わない』(22.0%)は2割を超えている。(図表2-1)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成25年度調査 (1,556)	50.7	21.7	27.6
平成26年度調査 (1,605)	48.9	23.7	27.4
平成27年度調査 (1,580)	51.1	22.0	26.9

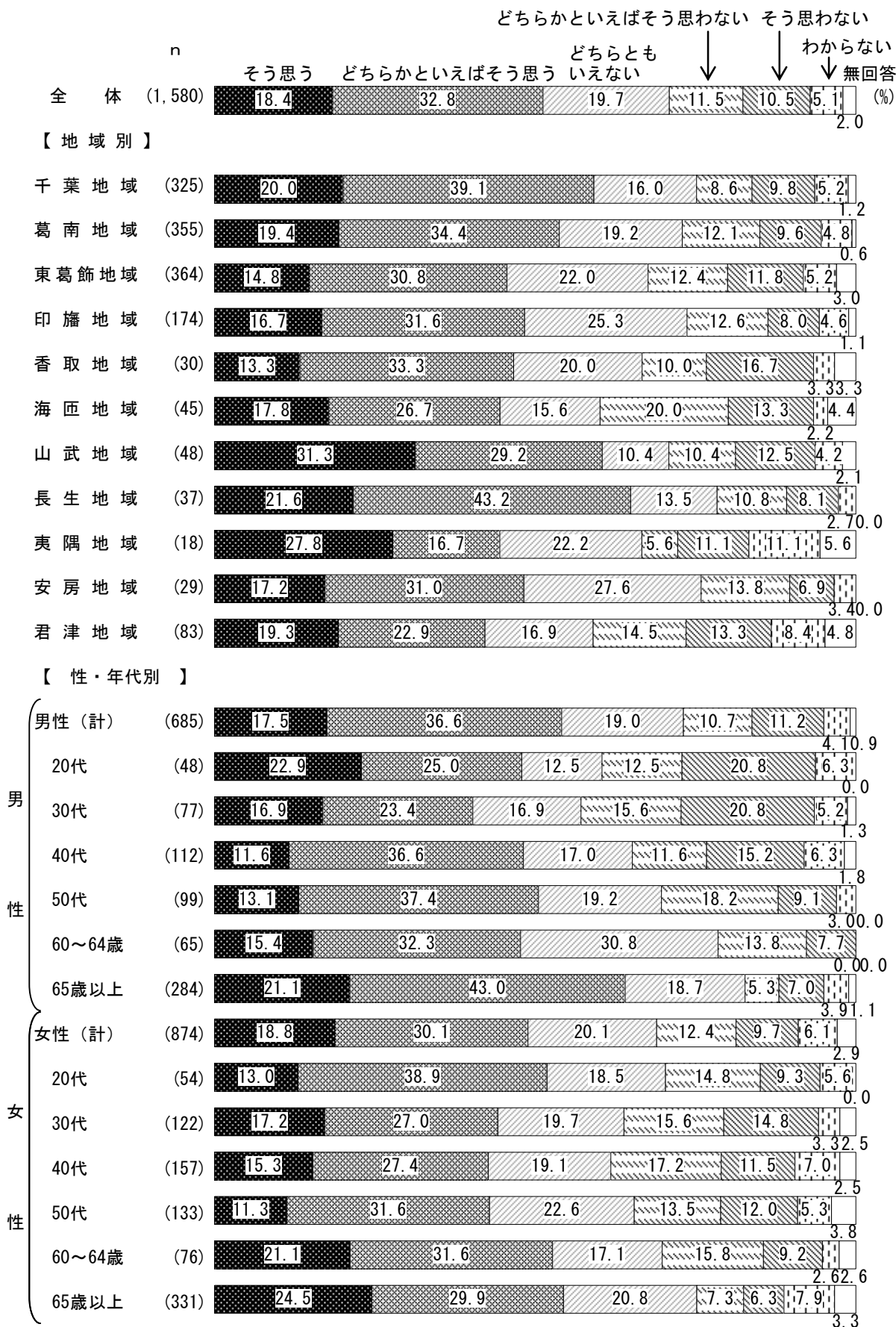
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“長生地域”(64.9%)が6割台半ば、“山武地域”(60.4%)で6割、“千葉地域”(59.1%)で約6割と他の地域に比べて高くなっている。(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(64.1%)で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性30代(36.4%)で3割台半ば、女性30代(30.3%)で3割、女性40代(28.7%)で約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表2-2)

＜図表２－２＞健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別

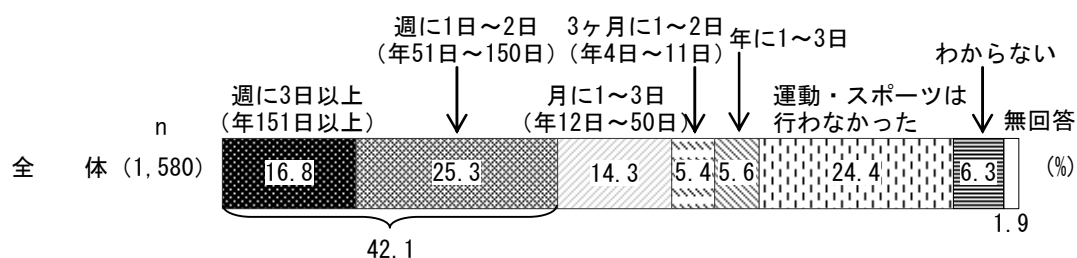


(2) 健康づくりのための運動

◇『健康づくりのために週1日以上運動した』は4割を超える

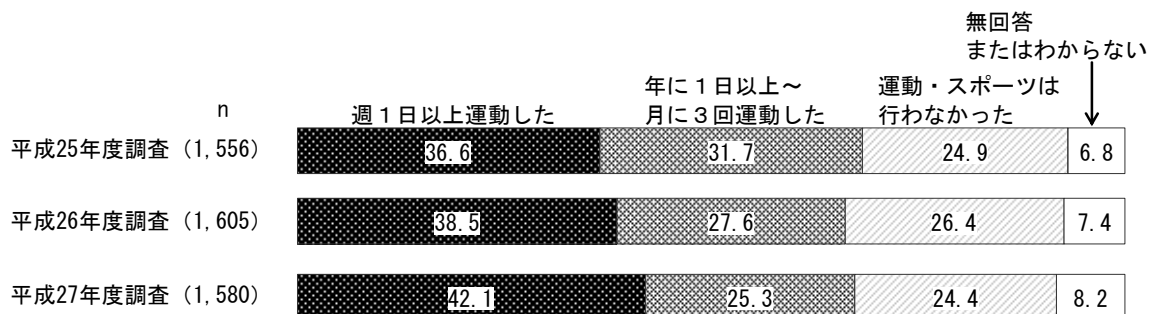
問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
(○は1つ)

<図表2-3>健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、「週に3日以上 (年151日以上)」(16.8%)、「週に1日~2日 (年51日~150日)」(25.3%)を合わせた『健康づくりのために週1日以上運動した』(42.1%)は4割を超えている。一方、「運動・スポーツは行わなかった」(24.4%)は2割台半ばとなっている。(図表2-3)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



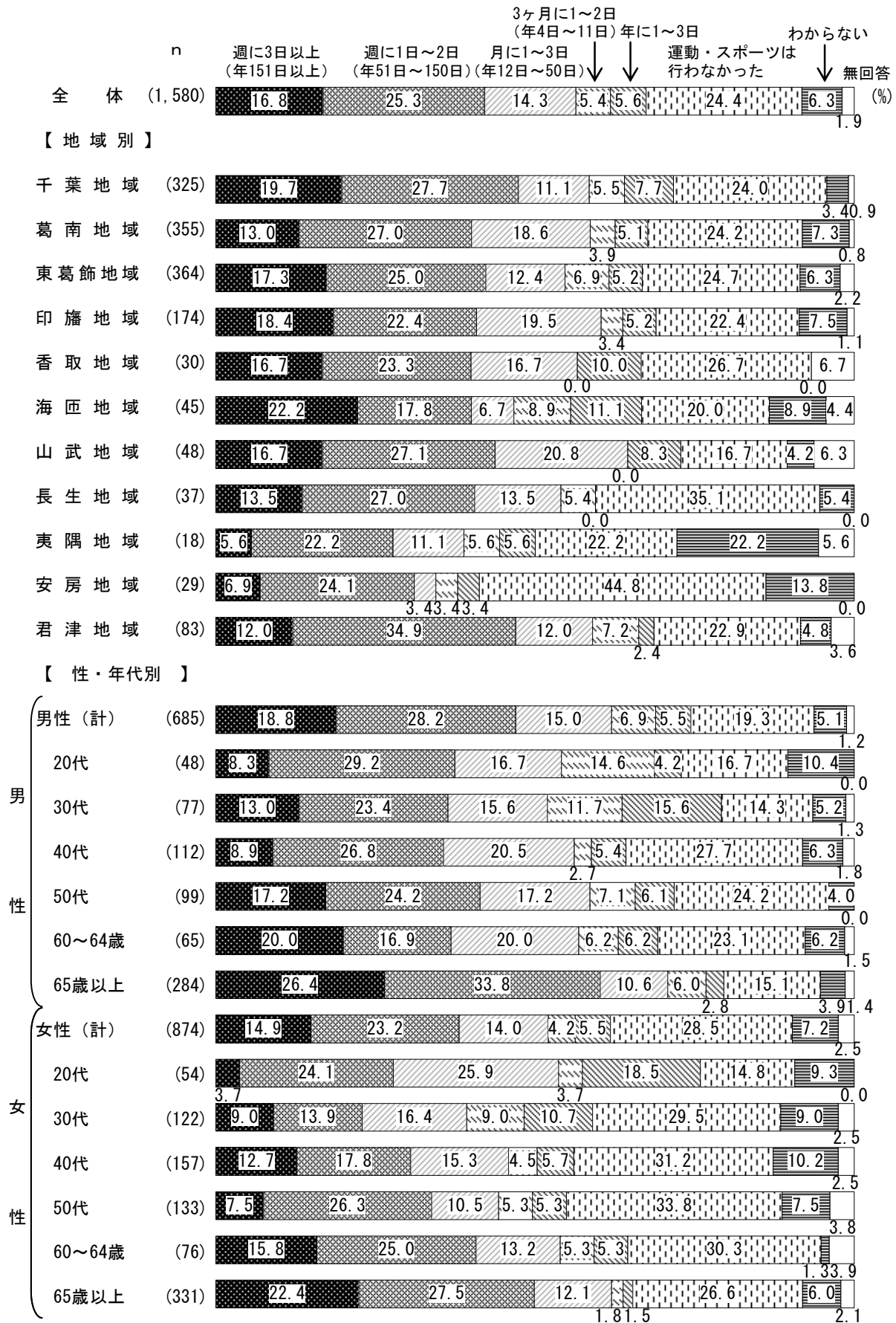
【地域別】

地域別にみると、『週1日以上運動した』は“千葉地域”(47.4%)で約5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表2-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1日以上運動した』は男性の65歳以上(60.2%)で6割、女性の65歳以上(49.8%)で5割と他の年代と比べて高くなっている。(図表2-4)

＜図表２－４＞健康づくりのための運動／地域別、性・年代別

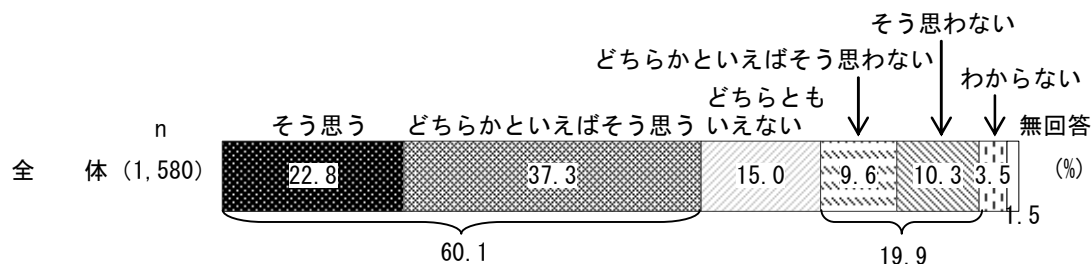


(3) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』は6割

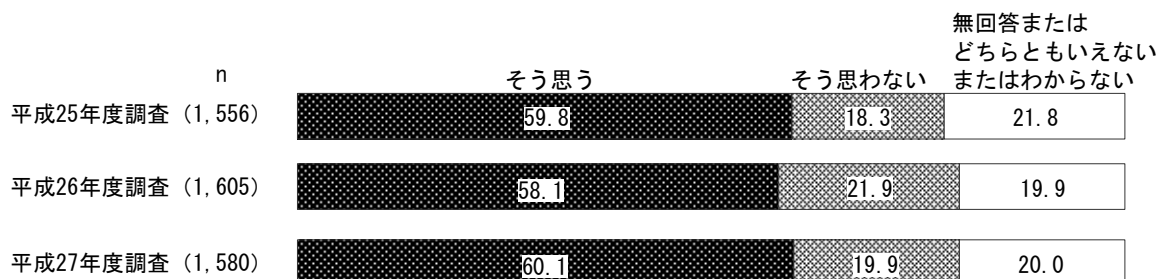
問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
(○は1つ)

＜図表2－5＞安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(22.8%)と「どちらかといえばそう思う」(37.3%)を合わせた『そう思う』(60.1%)は6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.6%)と「そう思わない」(10.3%)を合わせた『そう思わない』(19.9%)は約2割となっている。(図表2－5)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



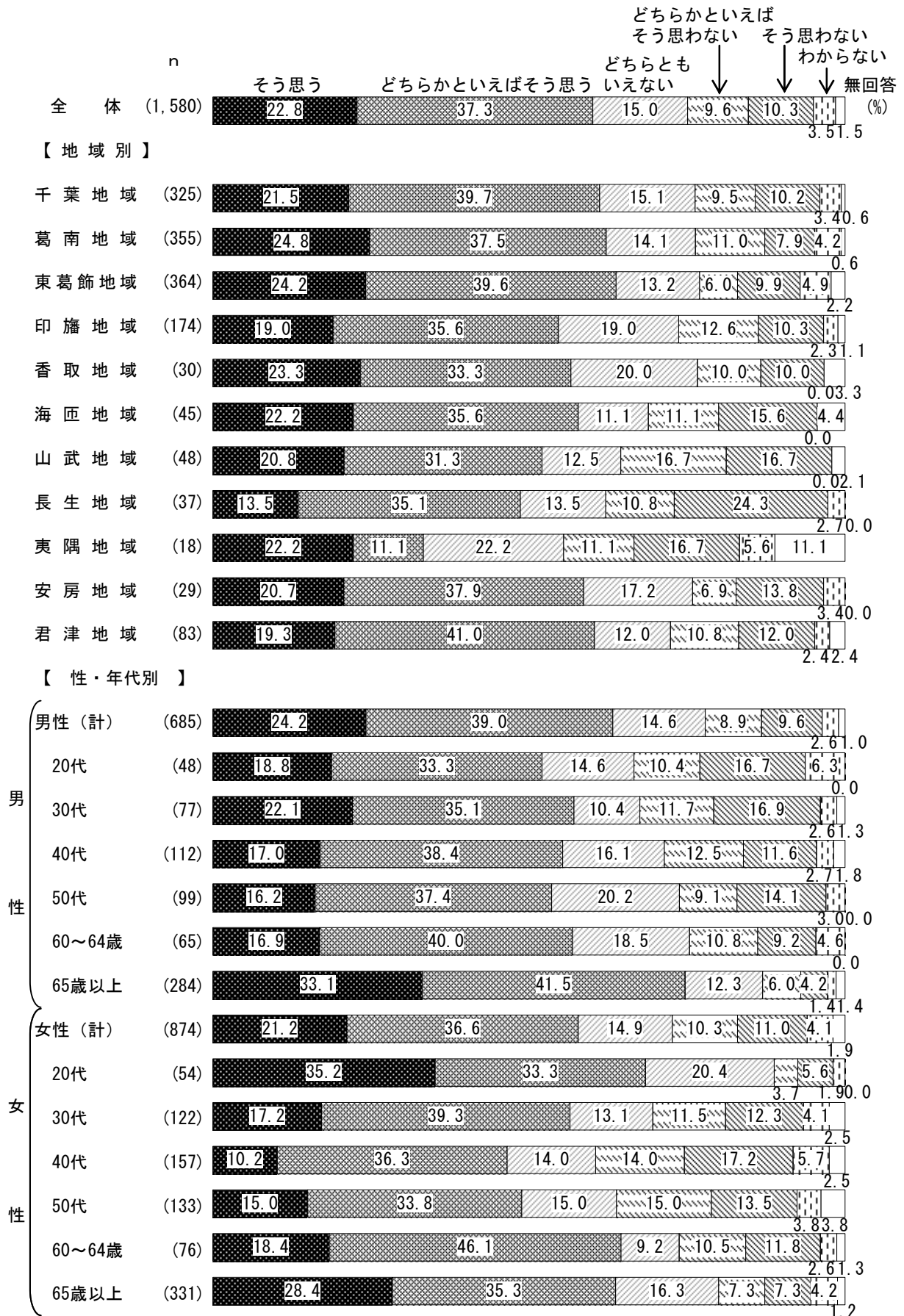
【地域別】

地域別にみると、『そう思わない』は“長生地域”(35.1%)、“山武地域”(33.3%)で3割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表2－6)

【性・年代別】

性別でみると、『そう思う』は男性(63.2%)が6割台半ばと高くなっており、性・年代別にみると男性の65歳以上(74.6%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は女性40代(31.2%)で3割を超え、女性50代(28.6%)で約3割と高くなっている。(図表2－6)

<図表2-6>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



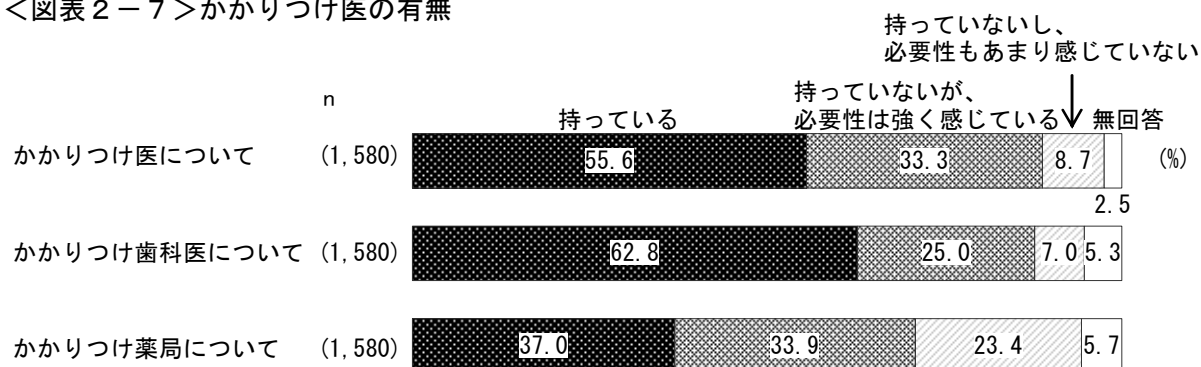
(4) かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

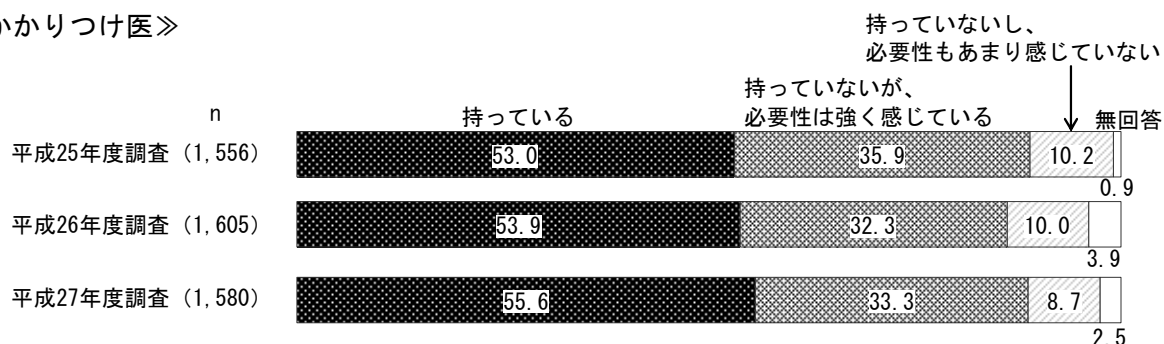
＜図表2－7＞かかりつけ医の有無



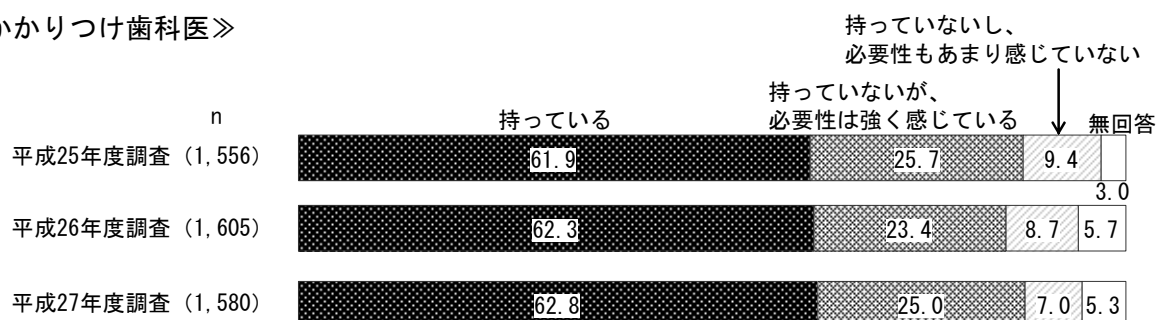
かかりつけの医師、歯科医師、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は歯科医師（62.8%）が6割を超え、医師（55.6%）は5割台半ば、薬局（37.0%）は約4割となっている。「持っていないが、必要性は強く感じている」は薬局（33.9%）と医師（33.3%）が3割を超えている。一方、「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は薬局（23.4%）が2割台半ばとなっている。（図表2－7）

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

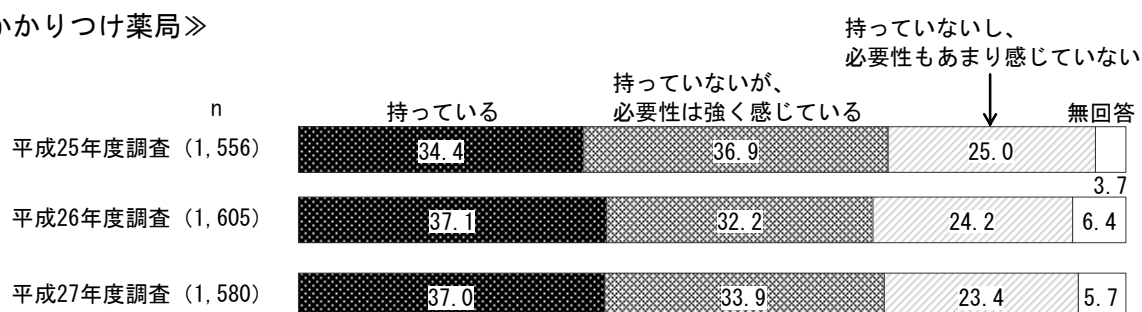
《かかりつけ医》



《かかりつけ歯科医》



《かかりつけ薬局》



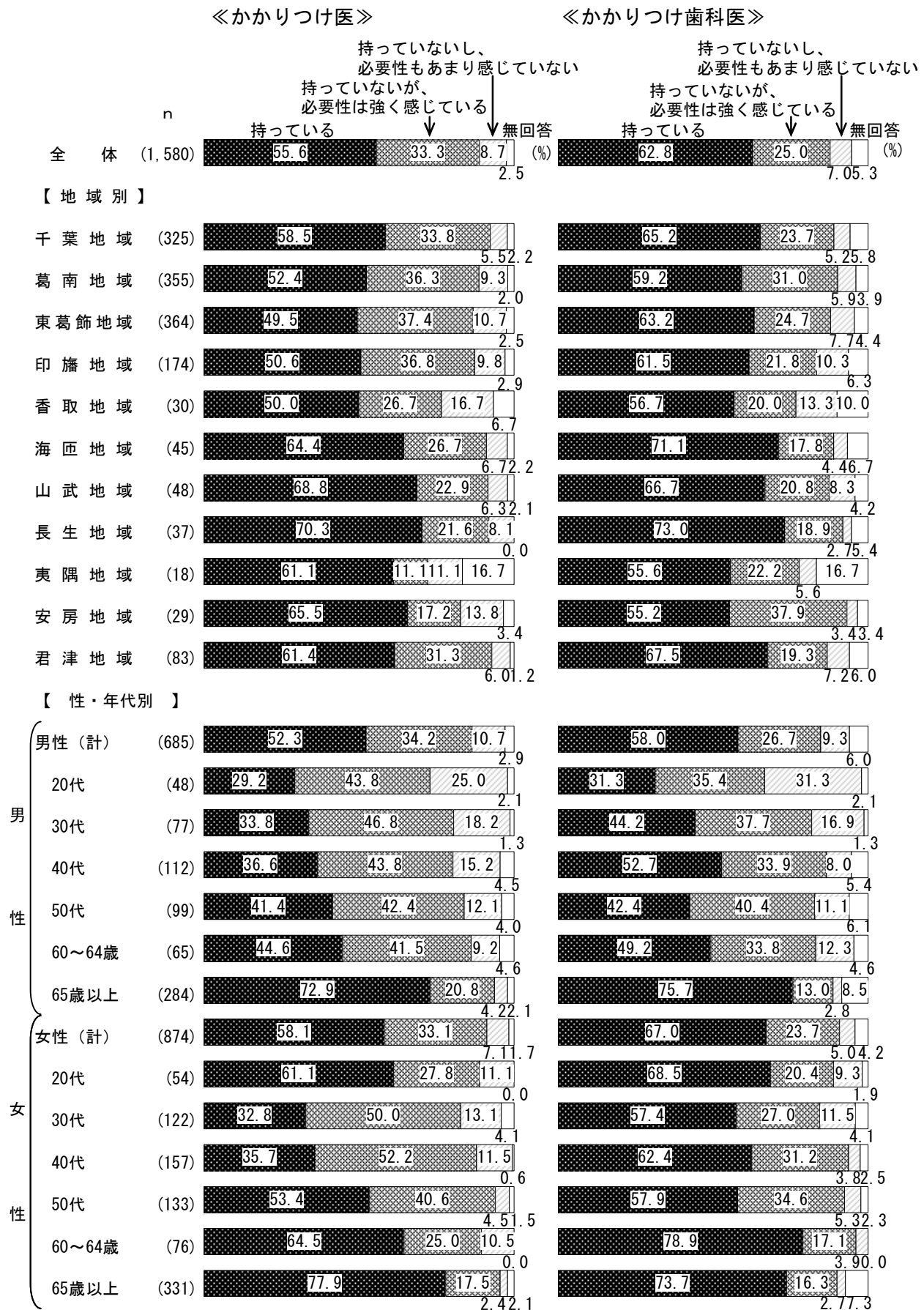
【地域別】

地域別にみると、かかりつけ医を「持っている」は“長生地域”（70.3％）で7割と他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は“長生地域”（73.0％）で7割台半ば、“海匠地域”（71.1％）で7割を超え、他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ薬局を「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は“東葛飾地域”（29.1％）で約3割と他の地域に比べて高くなっている。（図表2－8）

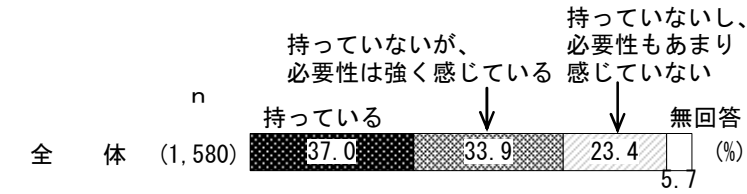
【性・年代別】

性・年代別に見ると、かかりつけ医を「持っている」は女性の65歳以上（77.9％）が約8割、男性の65歳以上（72.9％）が7割を超え、他の年代に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は女性の60～64歳（78.9％）で約8割、男性の65歳以上（75.7％）、女性の65歳以上（73.7％）で7割台半ばと高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は女性（40.3％）の方が高く、性年代別でみると、女性の65歳以上（58.9％）が約6割と高くなっている。（図表2－8）

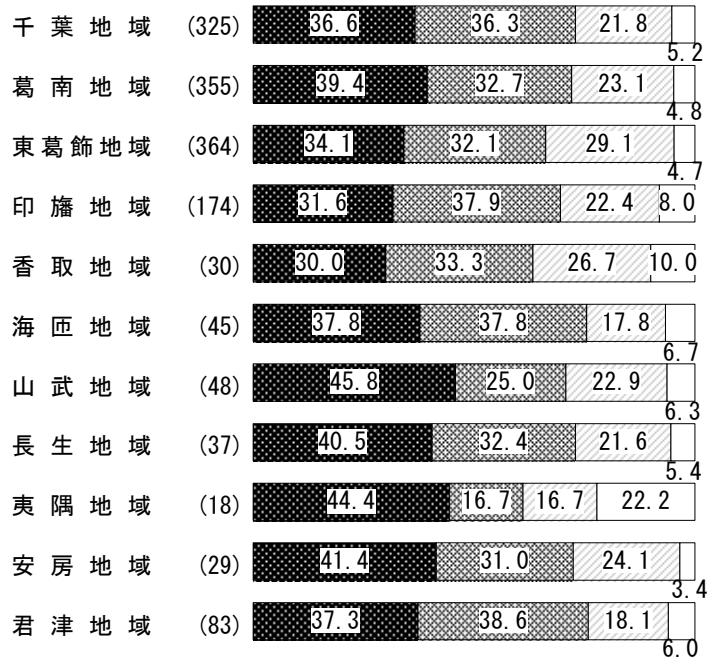
<図表2-8>かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



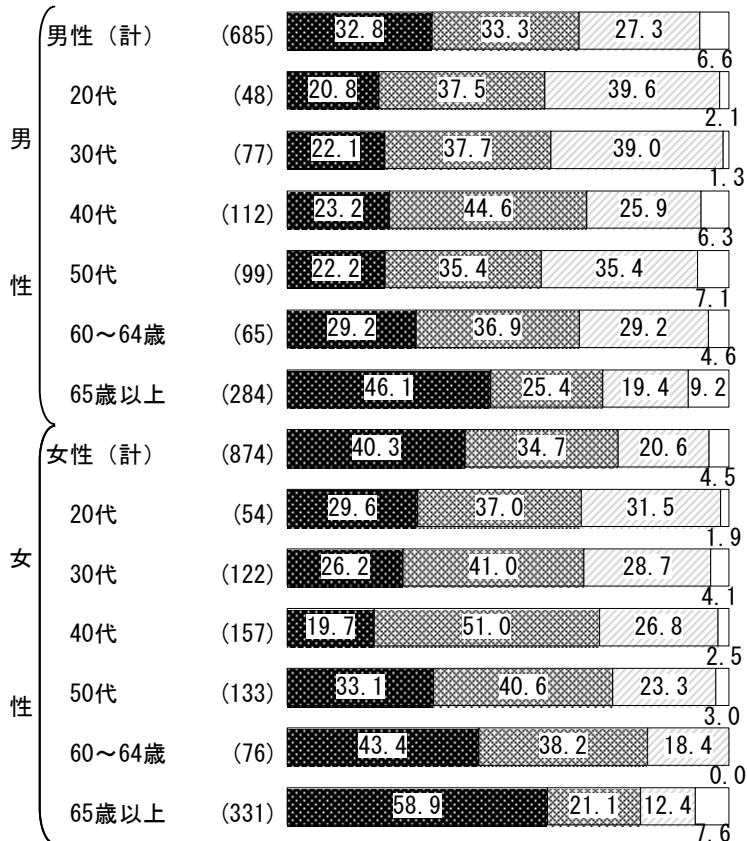
《かかりつけ薬局》



【 地 域 別 】



【 性・年代別 】



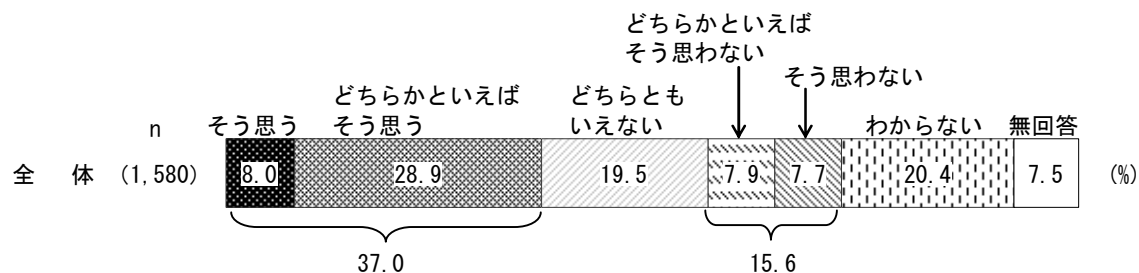
3 福祉について

(1) 安心して子育てできる環境

◇『そう思う』が約4割

問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。(○は1つ)

<図表3-1>安心して子育てできる環境



自分が安心して子育てできる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(8.0%)と「どちらかといえばそう思う」(28.9%)を合わせた『そう思う』(37.0%)は約4割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.9%)と「そう思わない」(7.7%)を合わせた『そう思わない』(15.6%)は1割台半ばとなっている。(図表3-1)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成25年度調査 (1,556)	37.9	14.3	47.8
平成26年度調査 (1,605)	36.7	15.0	48.4
平成27年度調査 (1,580)	37.0	15.6	47.4

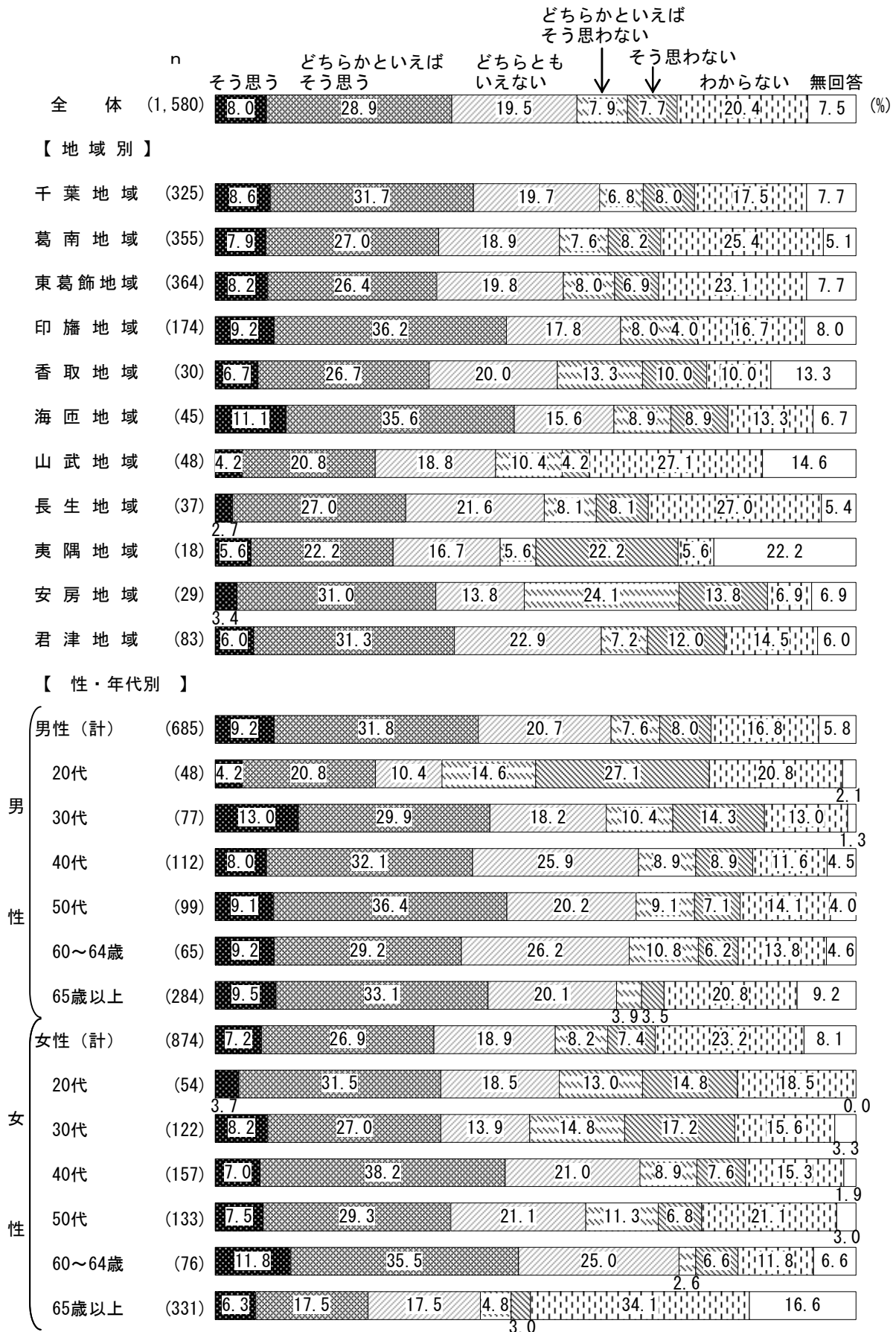
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“海匠地域”(46.7%)、“印旛地域”(45.4%)で4割台半ばと他の地域と比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は“安房地域”(37.9%)で約4割と高くなっている。(図表3-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性の40代(45.2%)で4割台半ば、男性の65歳以上(42.6%)で4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の20代(41.7%)で4割を超え、女性30代(32.0%)で3割を超え、女性20代(27.8%)で約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表3-2)

<図表3-2>安心して子育てできる環境／地域別、性・年代別



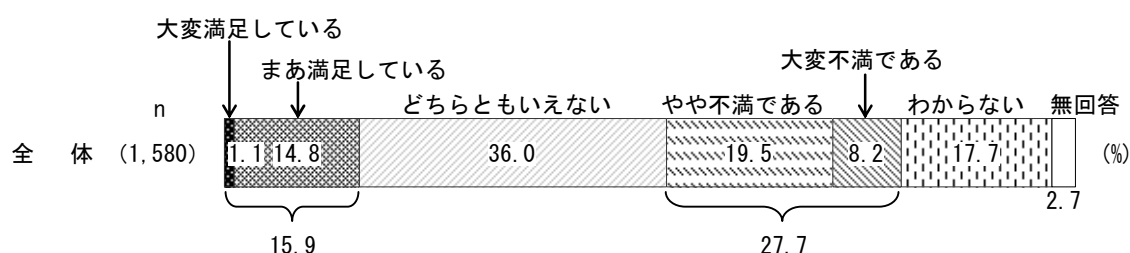
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について

◇『満足している』が1割台半ば、『不満である』が約3割

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じですか。

(○は1つ)

<図表3-3> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じているか聞いたところ、「大変満足している」(1.1%)と「まあ満足している」(14.8%)を合わせた『満足している』(15.9%)が1割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(19.5%)と「大変不満である」(8.2%)を合わせた『不満である』(27.7%)は約3割となっている。(図表3-3)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成25年度調査 (1,556)	15.7	29.3	55.0
平成26年度調査 (1,605)	15.5	25.8	58.8
平成27年度調査 (1,580)	15.9	27.7	56.4

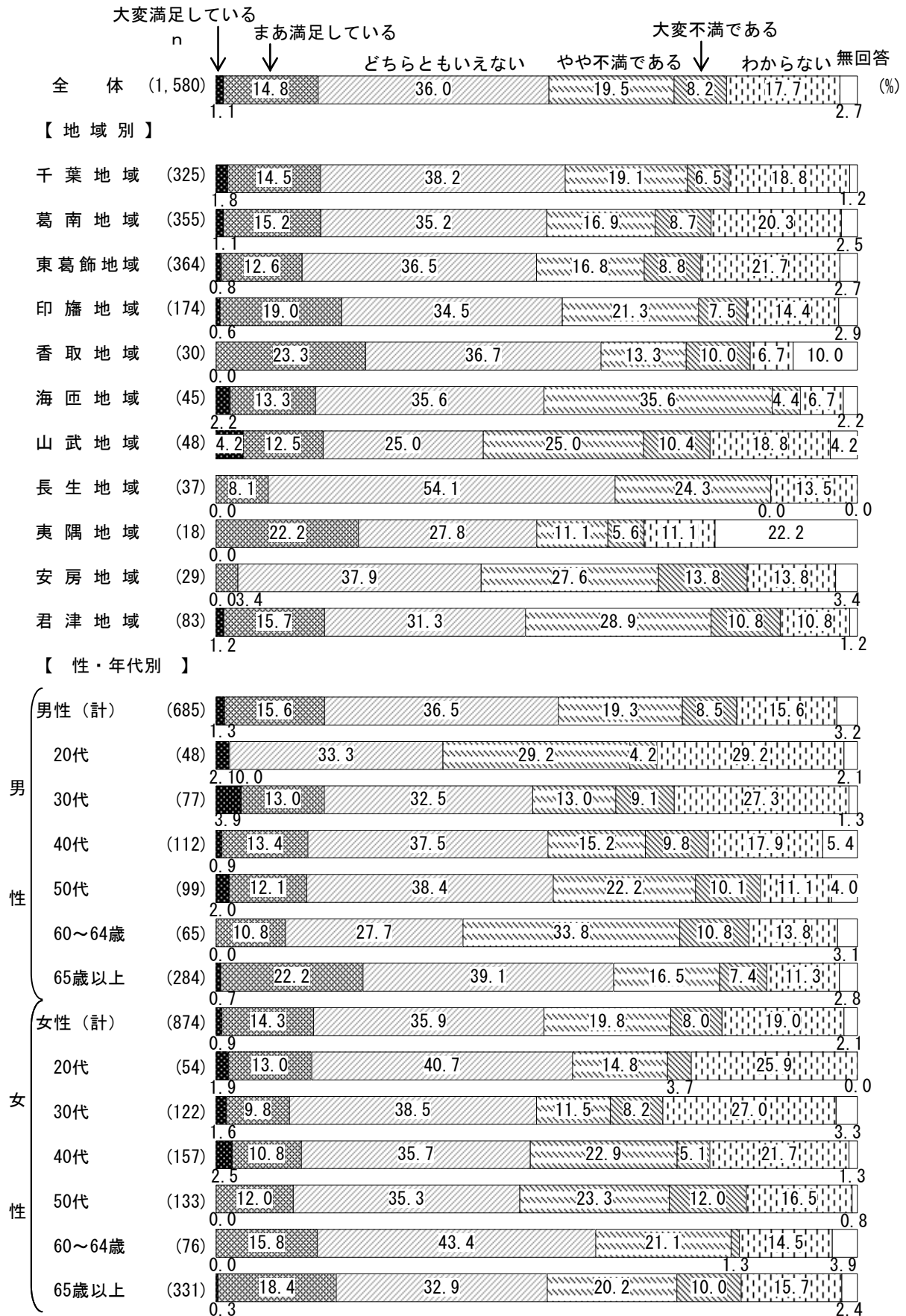
【地域別】

地域別にみると、『不満である』は“安房地域”(41.4%)で4割を超え、“海匝地域”(40.0%)で4割、“君津地域”(39.8%)で約4割と他の地域に比べて高くなっている。(図表3-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性65歳以上(22.9%)で2割を超えて高くなっている。一方、『不満である』は男性の60~64歳(44.6%)で4割台半ば、女性の50代(35.3%)で3割台半ばと高くなっている。(図表3-4)

＜図表３－４＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について／地域別、性・年代別

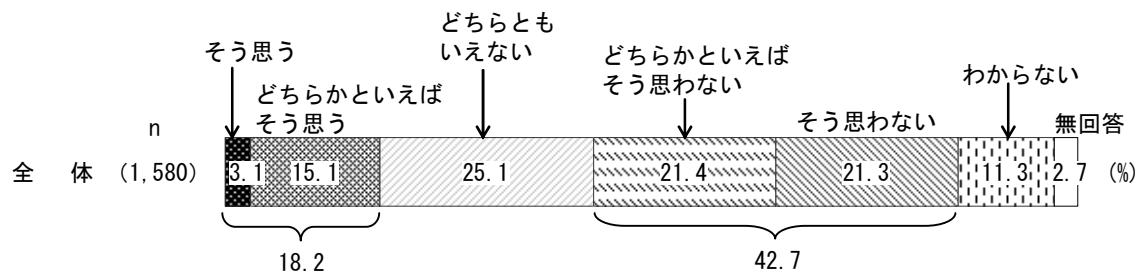


(3) 安心して暮らせる地域社会づくりについて

◇『そう思う』が約2割

問18 近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われていています。あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。(○は1つ)

<図表3-5>安心して暮らせる地域社会づくりについて



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.1%)と「どちらかといえばそう思う」(15.1%)を合わせた『そう思う』(18.2%)は約2割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(21.4%)と「そう思わない」(21.3%)を合わせた『そう思わない』(42.7%)は4割を超えている。(図表3-5)

【参考】平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）	16.1	37.9	46.1
平成27年度調査（1,580）	18.2	42.7	39.1

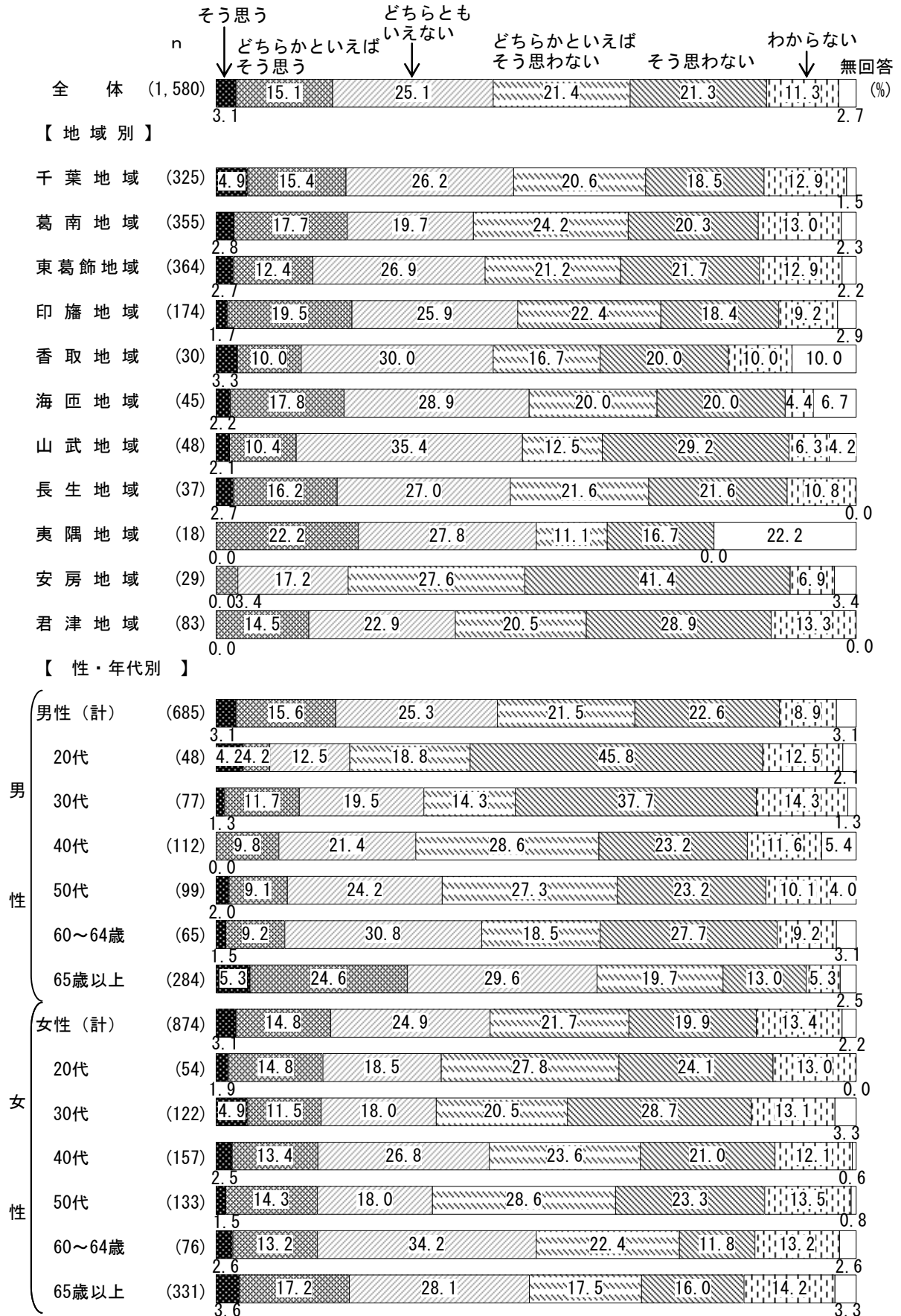
【地域別】

地域別にみると、『そう思わない』は“安房地域”（69.0%）で約7割と他の地域に比べて高くなっている。(図表3-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性65歳以上（29.9%）が約3割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の20代（64.6%）で6割台半ば、女性の50代（51.9%）で5割を超えて高くなっている。(図表3-6)

＜図表３－６＞安心して暮らせる地域社会づくりについて／地域別、性・年代別

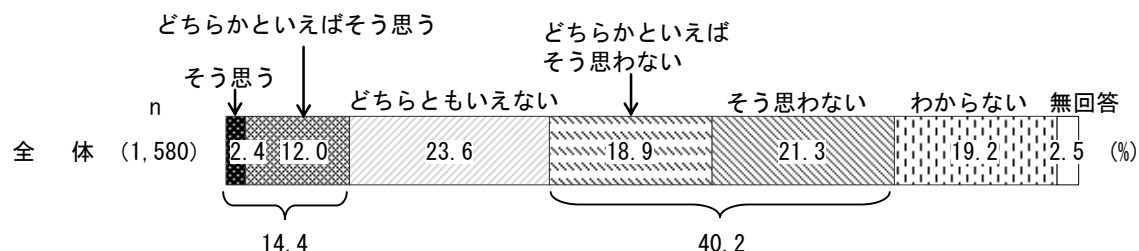


(4) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて

◇『そう思う』が1割台半ば

問19 あなたは、障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。(○は1つ)

＜図表3－7＞障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて



障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(2.4%)と「どちらかといえばそう思う」(12.0%)を合わせた『そう思う』(14.4%)は1割台半ばとなっており、「どちらかといえばそう思わない」(18.9%)と「そう思わない」(21.3%)を合わせた『そう思わない』(40.2%)は4割となっている。(図表3－7)

〔参考〕平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）	14.1	38.0	48.0
平成27年度調査（1,580）	14.4	40.2	45.4

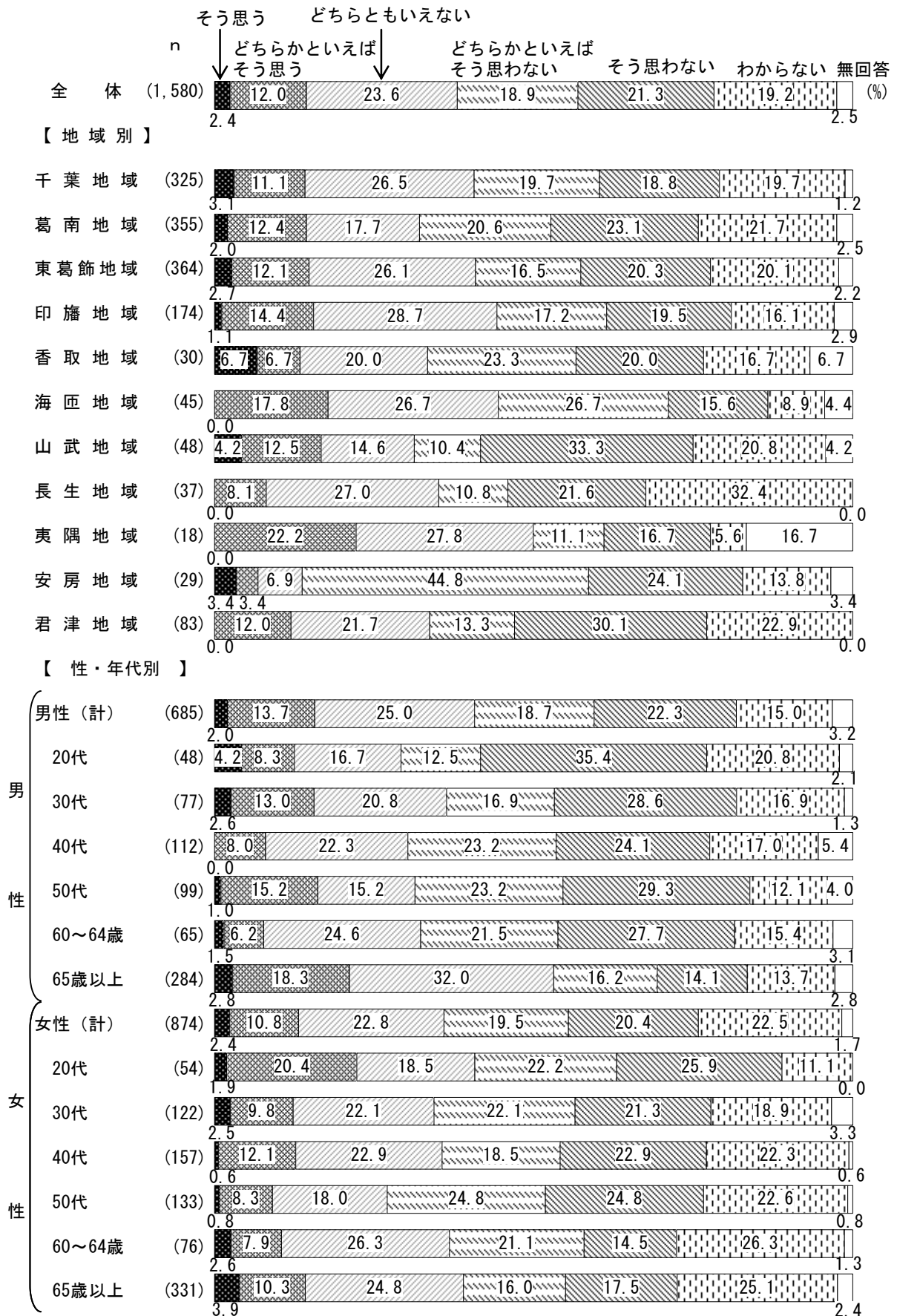
【地域別】

地域別にみると、『そう思わない』は“安房地域”（69.0%）で約7割と他の地域に比べて高くなっている。(図表3－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思わない』は男性の50代（52.5%）で5割を超え、女性の50代（49.6%）、男性の60～64歳（49.2%）で約5割と高くなっている。(図表3－8)

＜図表３－８＞障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて／地域別、性・年代別



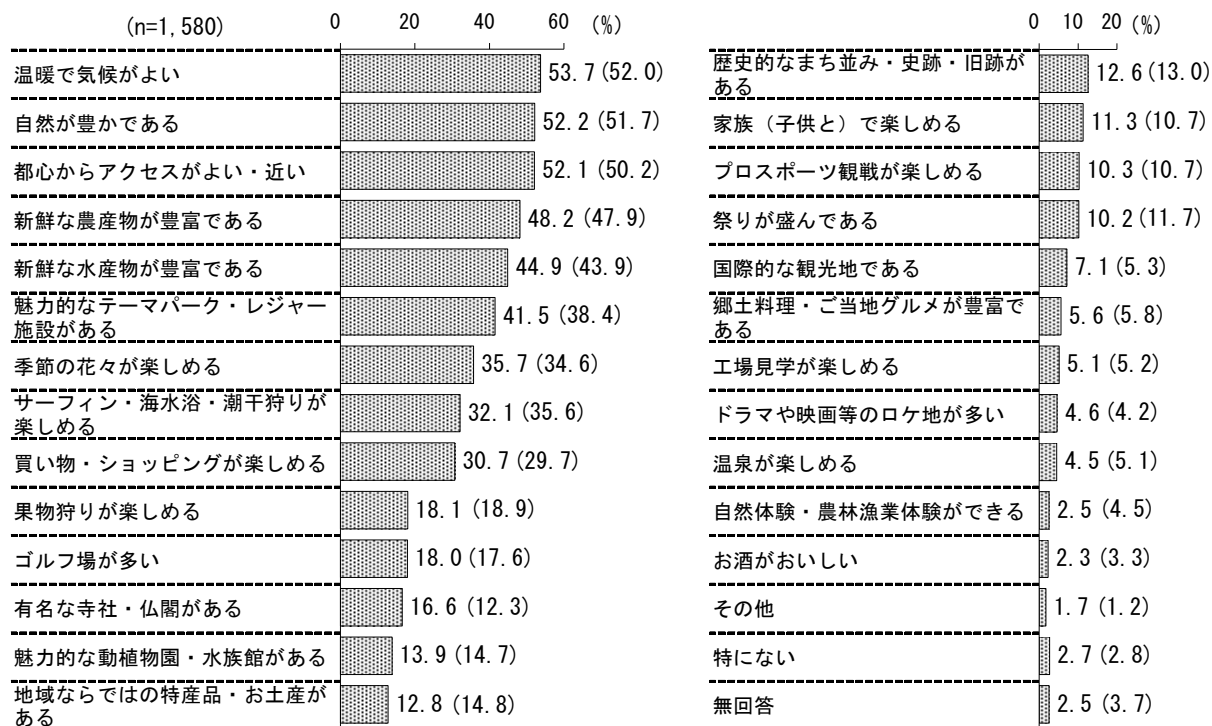
4 観光について

(1) 千葉県の魅力

◇「温暖で気候がよい」、「自然が豊かである」、「都心からアクセスがよい・近い」が5割を超える

問20 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表4-1> 千葉県の魅力 (複数回答)



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

千葉県の魅力は何だと思うか聞いたところ、「温暖で気候がよい」(53.7%)が5割台半ばと最も高くなっている。以下、「自然が豊かである」(52.2%)、「都心からアクセスがよい・近い」(52.1%)、「新鮮な農産物が豊富である」(48.2%)、「新鮮な水産物が豊富である」(44.9%)が続く。

(図表4-1)

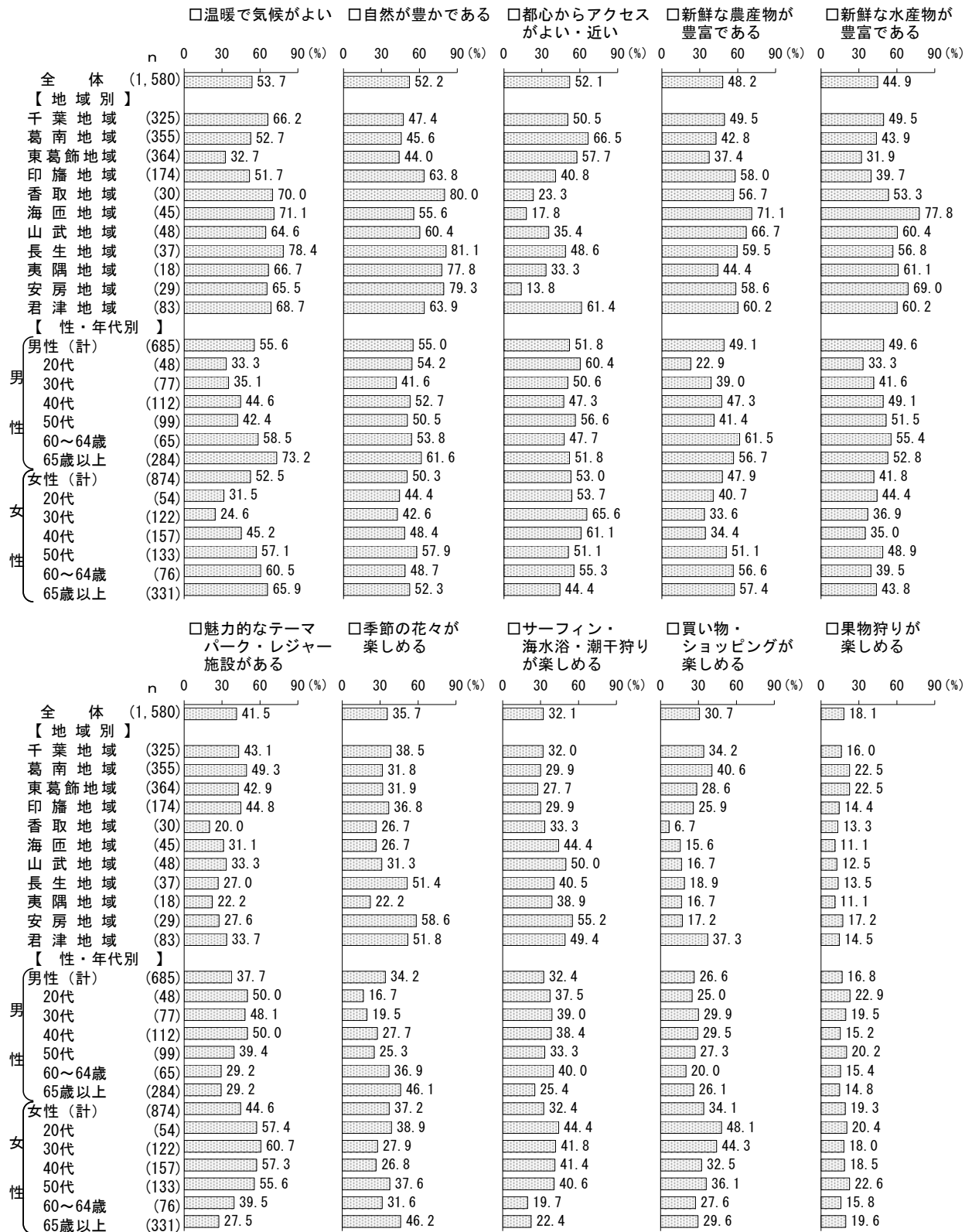
【地域別】

地域別にみると、「温暖で気候がよい」は“長生地域”(78.4%)で約8割と他の地域に比べて高くなっている。「自然が豊かである」は“長生地域”(81.1%)で8割を超え、“香取地域”(80.0%)で8割と高くなっている。「都心からアクセスがよい・近い」は“葛南地域”(66.5%)で6割台半ばと高くなっている。「新鮮な農産物が豊富である」は“海匝地域”(71.1%)で7割を超え、「新鮮な水産物が豊富である」は“海匝地域”(77.8%)で約8割、“安房地域”(69.0%)で約7割、「魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある」は“葛南地域”(49.3%)で約5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表4-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「温暖で気候がよい」は、男性65歳以上（73.2%）で7割台半ば、女性65歳以上（65.9%）で6割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。一方、女性30代（24.6%）で2割台半ばと、肯定的な割合が低い。「自然が豊かである」は男性の65歳以上（61.6%）で6割を超えて高くなっている。「都心からアクセスがよい・近い」は女性30代（65.6%）で6割台半ば、女性40代（61.1%）で6割を超えて高くなっている。「新鮮な農産物が豊富である」は男性60～64歳（61.5%）で6割を超え、女性65歳以上（57.4%）で約6割、男性65歳以上（56.7%）で5割台半ばと高くなっている。一方、男性の20代（22.9%）は2割を超えた程度であり、肯定的な割合が低い。「新鮮な水産物が豊富である」は男性（49.6%）の方が高く、性・年代別では男性60～64歳（55.4%）で5割台半ば、男性65歳以上（52.8%）で5割を超えて高くなっている。「魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある」は女性（44.6%）の方が高く、性・年代別では女性30代（60.7%）で6割、女性20代（57.4%）、女性40代（57.3%）、女性50代（55.6%）で5割台半ばと高くなっている。（図表4－2）

＜図表４－２＞千葉県の魅力／地域別、性・年代別（上位 10 項目）

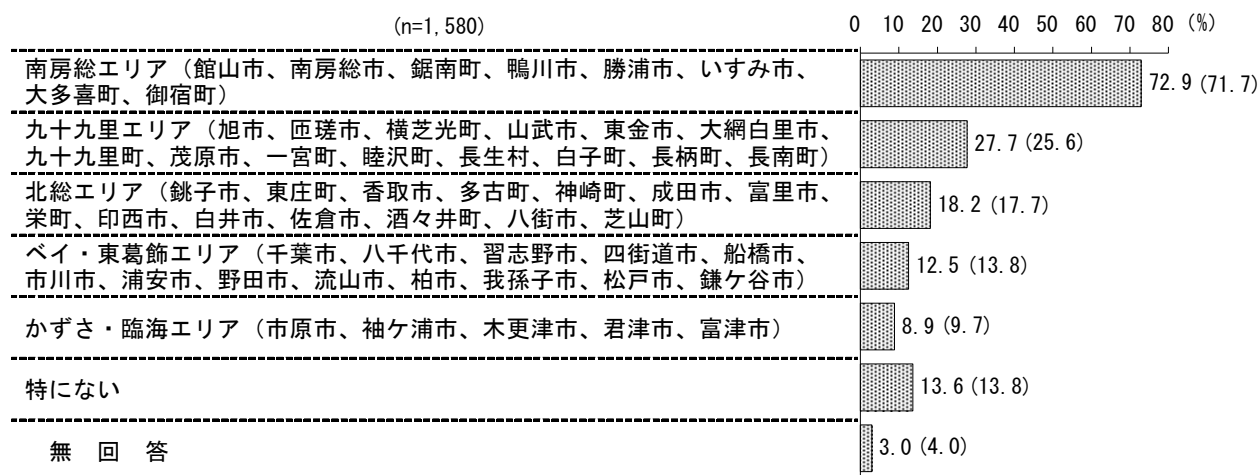


(2) 県内で旅行に行きたいエリア

◇「南房総エリア」が7割を超える

問21 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。
(○はいくつでも)

<図表4-3>県内で旅行に行きたいエリア（複数回答）



注）（ ）の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

県内で旅行に行きたいエリアはどこか聞いたところ、「南房総エリア」（72.9%）が7割を超えて最も高くなっている。以下、「九十九里エリア」（27.7%）、「北総エリア」（18.2%）、「ベイ・東葛飾エリア」（12.5%）、「かずさ・臨海エリア」（8.9%）が続く。（図表4-3）

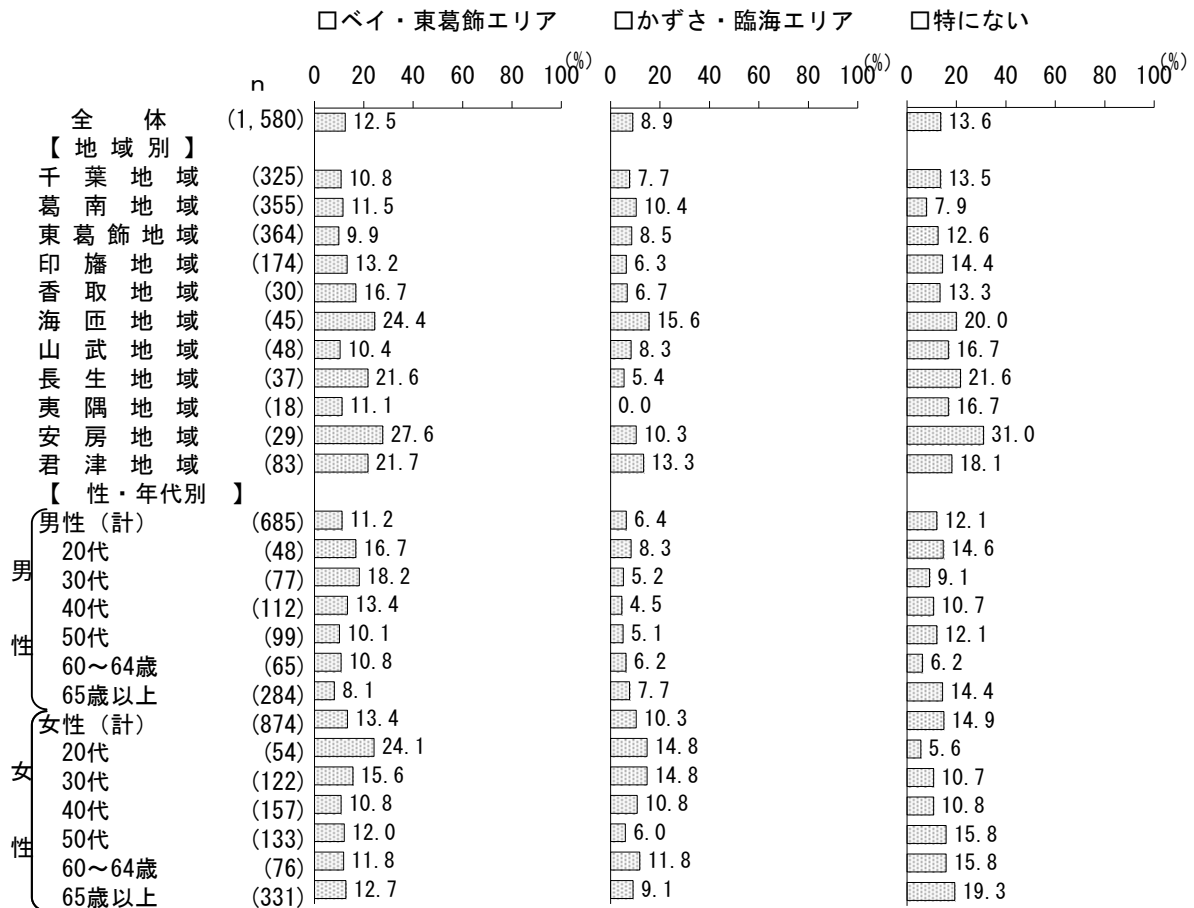
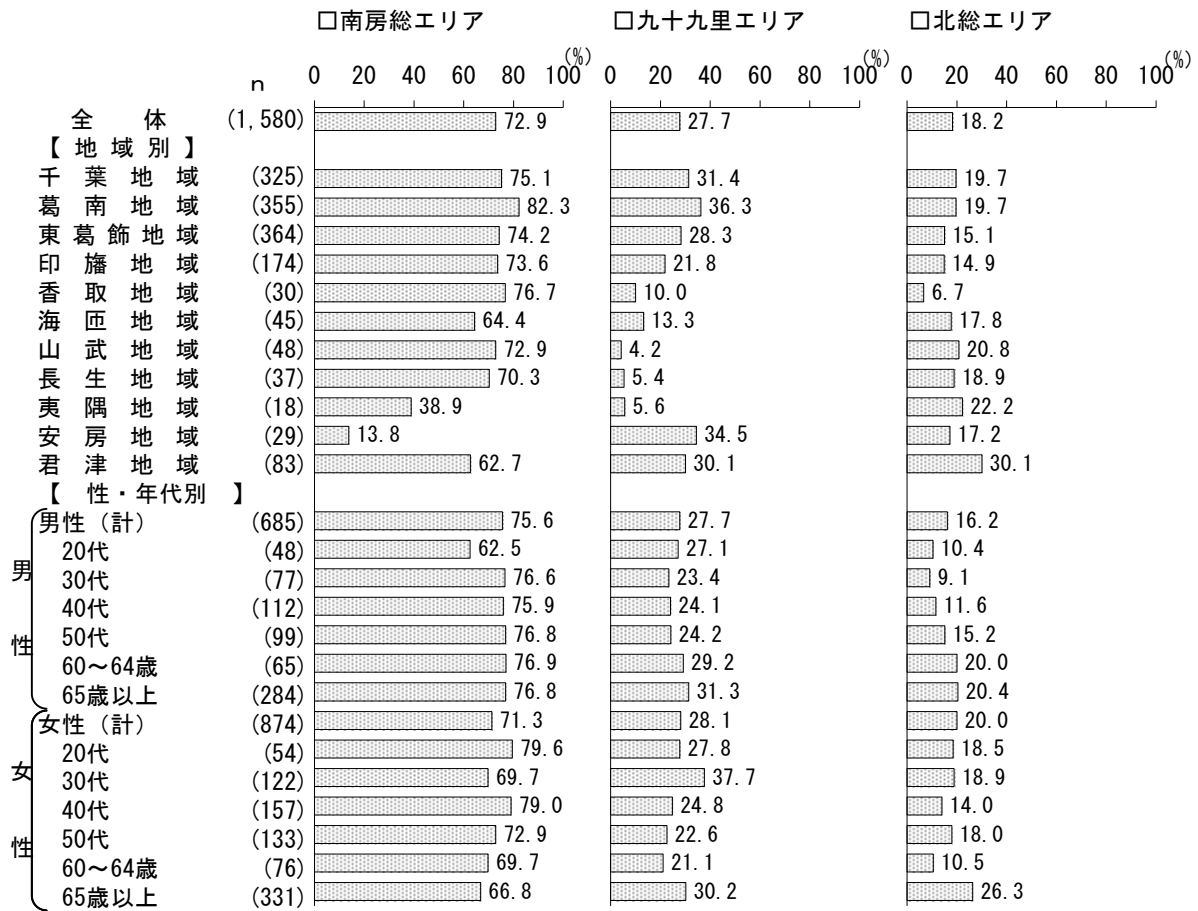
【地域別】

地域別にみると、「南房総エリア」は、「安房地域」（13.8%）、「夷隅地域」（38.9%）を除く全ての地域で6割以上と高く、「葛南地域」（82.3%）で8割を超えて特に高くなっている。「九十九里エリア」は「葛南地域」（36.3%）で3割台半ば、「北総エリア」は「君津地域」（30.1%）で3割と他の地域に比べて高くなっている。（図表4-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「南房総エリア」は男性の20代（62.5%）を除く全ての性・年代で2／3以上が選んでおり、高い。「九十九里エリア」は女性の30代（37.7%）で約4割と他の年代に比べて高くなっている。「北総エリア」は女性の65歳以上（26.3%）が2割台半ばと高くなっている。（図表4-4）

<図表4-4>県内で旅行に行きたいエリア／地域別、性・年代別

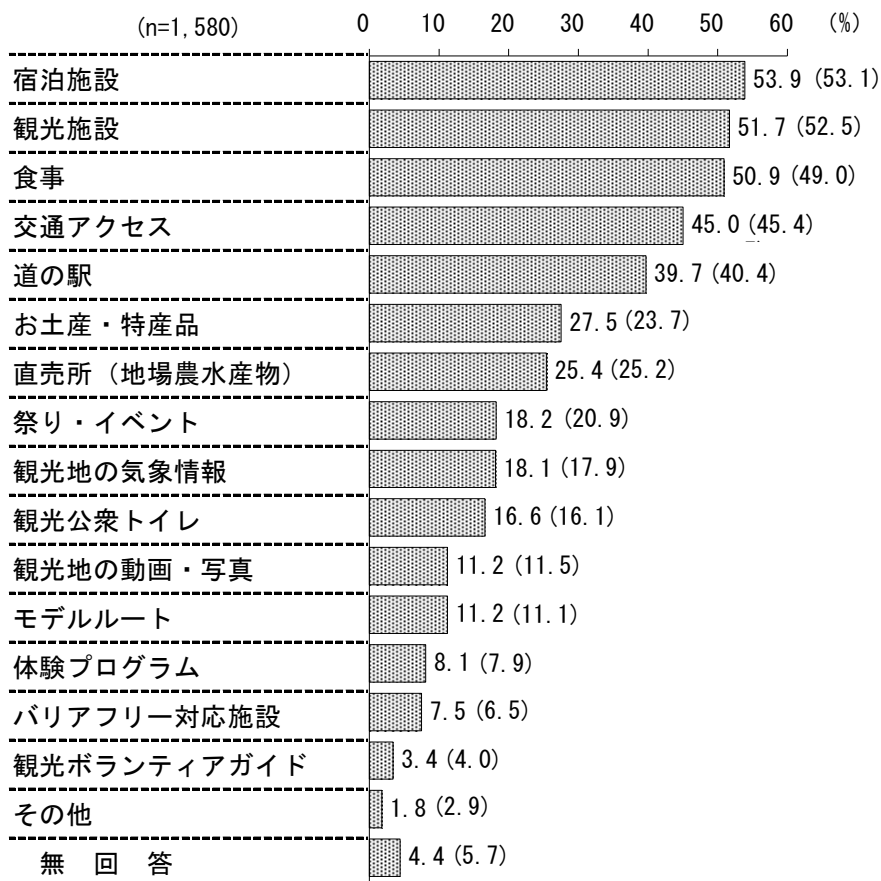


(3) 県内を観光する際に事前に知りたい情報

◇「宿泊施設」「観光施設」「食事」が5割以上

問22 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。(〇はいくつでも)

<図表4-5>県内を観光する際に事前に知りたい情報(複数回答)



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

県内を観光する際に事前に知りたい情報は何か聞いたところ、「宿泊施設」(53.9%)が5割台半ばで最も高くなっている。以下、「観光施設」(51.7%)、「食事」(50.9%)、「交通アクセス」(45.0%)、「道の駅」(39.7%)が続く。(図表4-5)

【地域別】

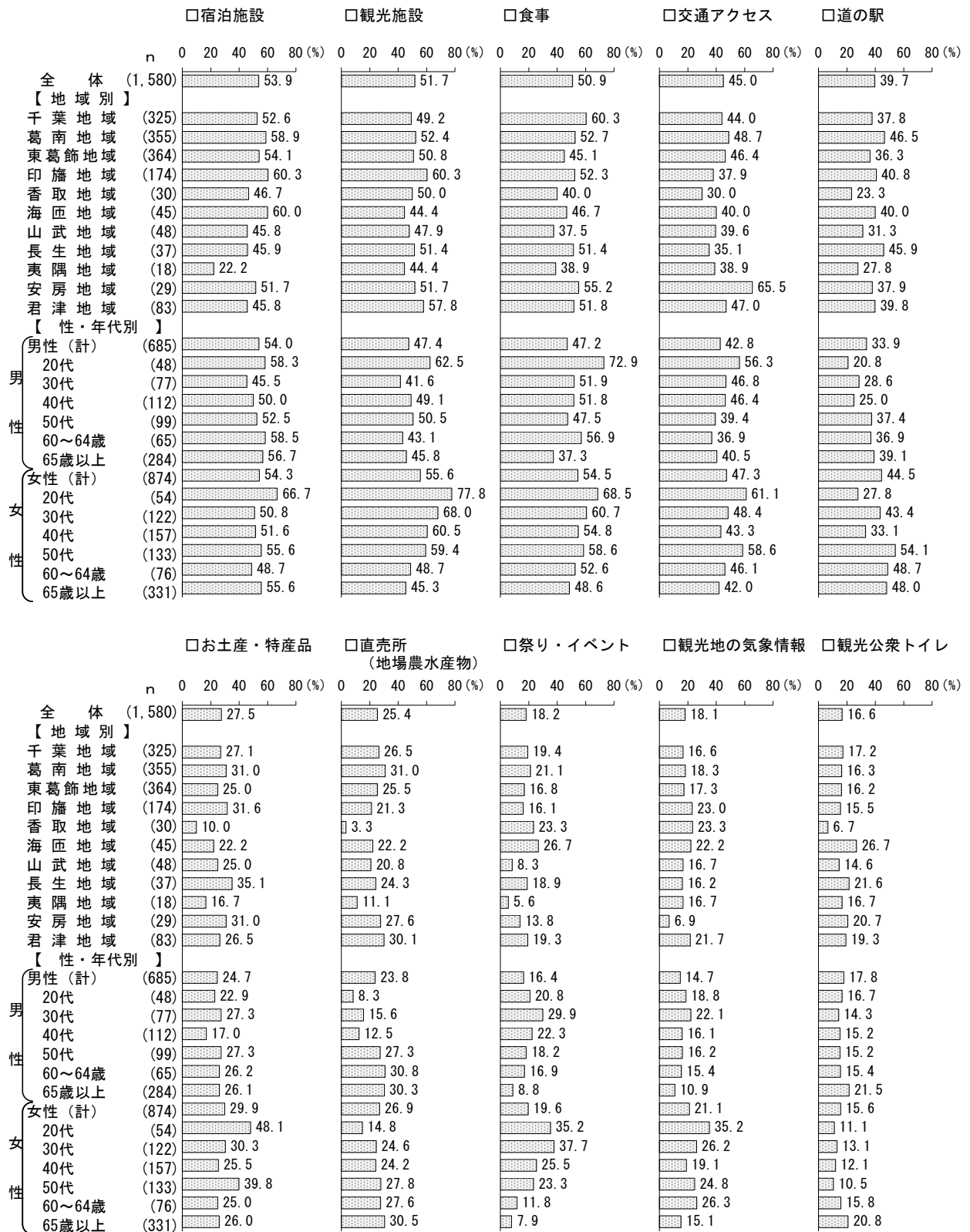
地域別にみると、「宿泊施設」は“印旛地域”(60.3%)、“海匝地域”(60.0%)で6割、「観光施設」は“印旛地域”(60.3%)で6割、「食事」は“千葉地域”(60.3%)で6割、「交通アクセス」は“安房地域”(65.5%)で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表4-6)

【性・年代別】

性別では、女性の方が「観光施設」(55.6%)、「食事」(54.5%)、「交通アクセス」(47.3%)、「道の駅」(44.5%)、「お土産・特産品」(29.9%)が高い。

性・年代別にみると、「観光施設」は女性の20代(77.8%)で約8割、「食事」は男性20代(72.9%)で7割を超え、女性20代(68.5%)で約7割、「交通アクセス」は女性20代(61.1%)で6割を超え、高くなっている。(図表4-6)

＜図表４－６＞県内を観光する際に事前に知りたい情報／地域別、性・年代別（上位 10 項目）

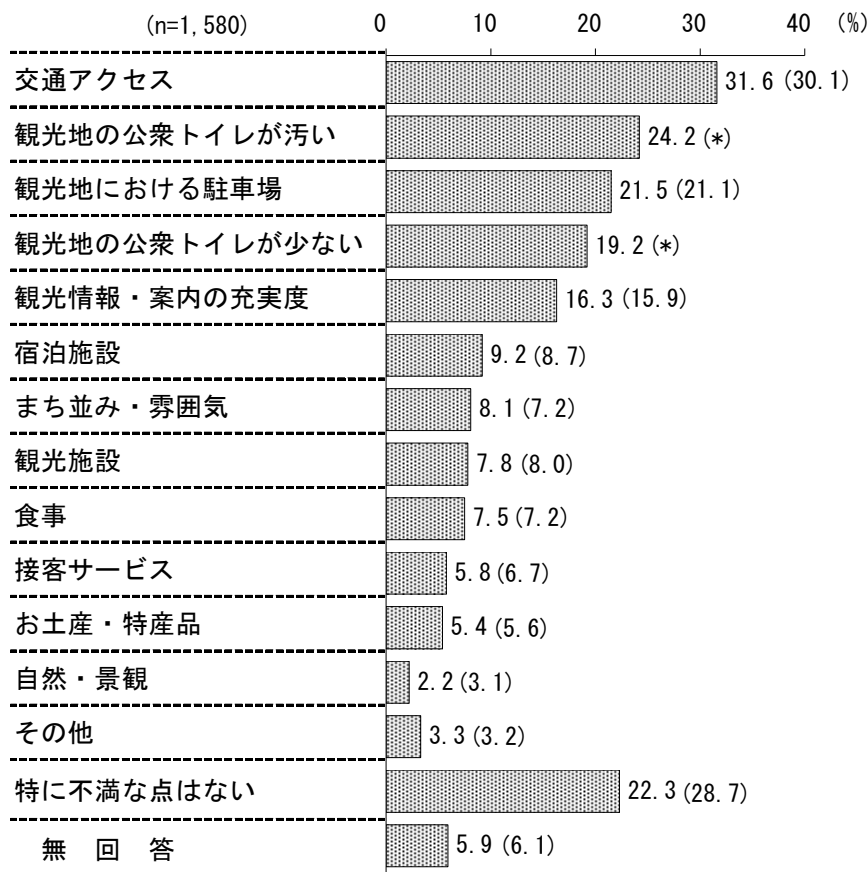


(4) 県内を観光する際の不満

◇「交通アクセス」が3割を超える

問23 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表4-7>県内を観光する際の不満(複数回答)



注1) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

注2) (*) は平成26年度「観光地における公衆トイレ」より選択肢分割のため非表示

県内を観光する際に不満に感じることを聞いたところ、「交通アクセス」(31.6%)が3割を超えて最も高くなっている。以下、「観光地の公衆トイレが汚い」(24.2%)、「観光地における駐車場」(21.5%)、「観光地の公衆トイレが少ない」(19.2%)が続く。(図表4-7)

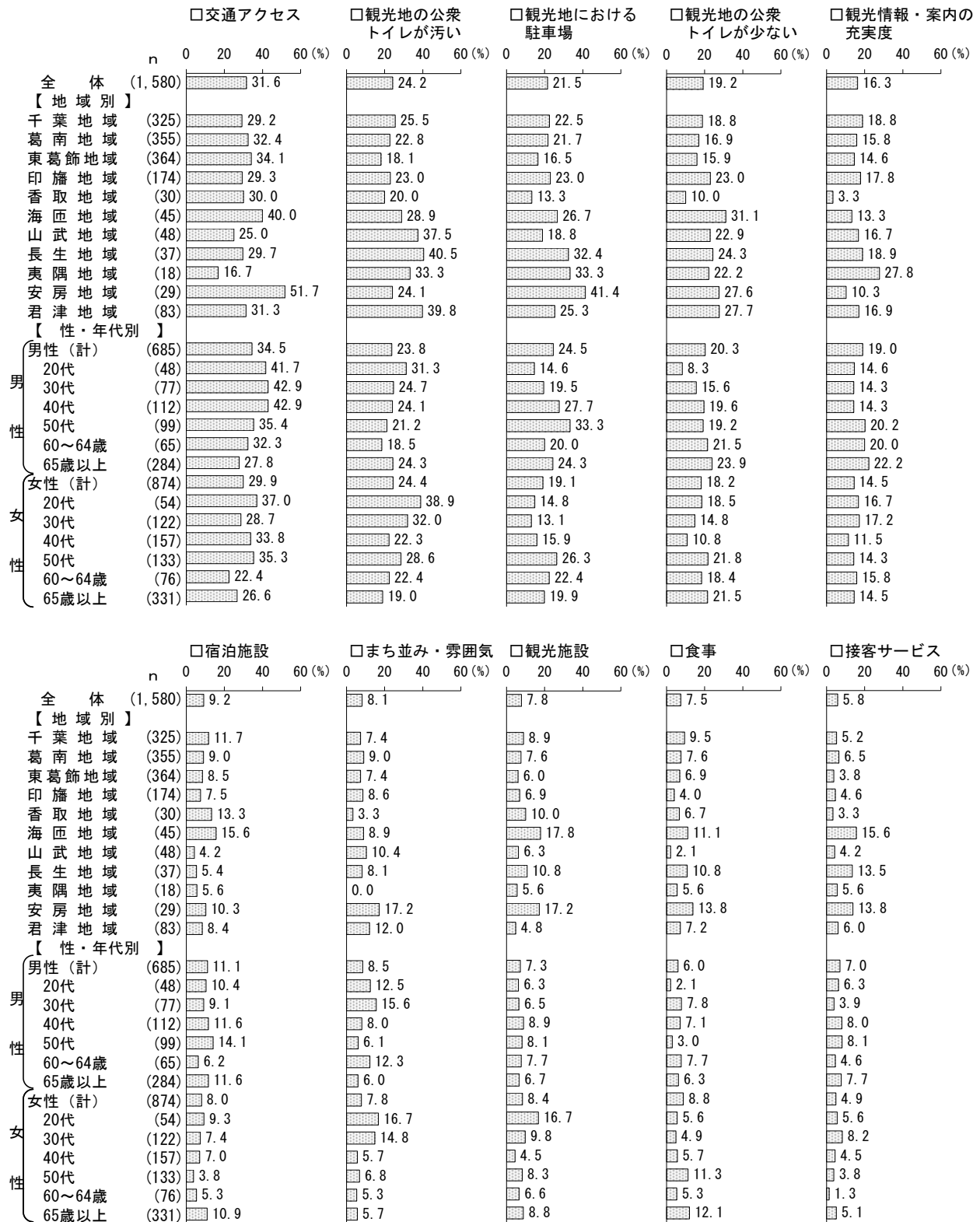
【地域別】

地域別にみると、「交通アクセス」は“安房地域”(51.7%)で5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。「観光地の公衆トイレが汚い」は“長生地域”(40.5%)で4割、“君津地域”(39.8%)、“山武地域”(37.5%)で約4割と高くなっている。「観光地における駐車場」は“安房地域”(41.4%)が4割を超えて高くなっている。(図表4-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「交通アクセス」は男性の30代・男性の40代(同率42.9%)、男性の20代(41.7%)で4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。「観光地の公衆トイレが汚い」は女性の20代(38.9%)で約4割、女性の30代(32.0%)で3割を超えて高くなっている。「観光地における駐車場」は男性の50代(33.3%)で3割台半ばと高くなっている。(図表4-8)

＜図表４－８＞県内を観光するときの不満／地域別、性・年代別（上位10項目）

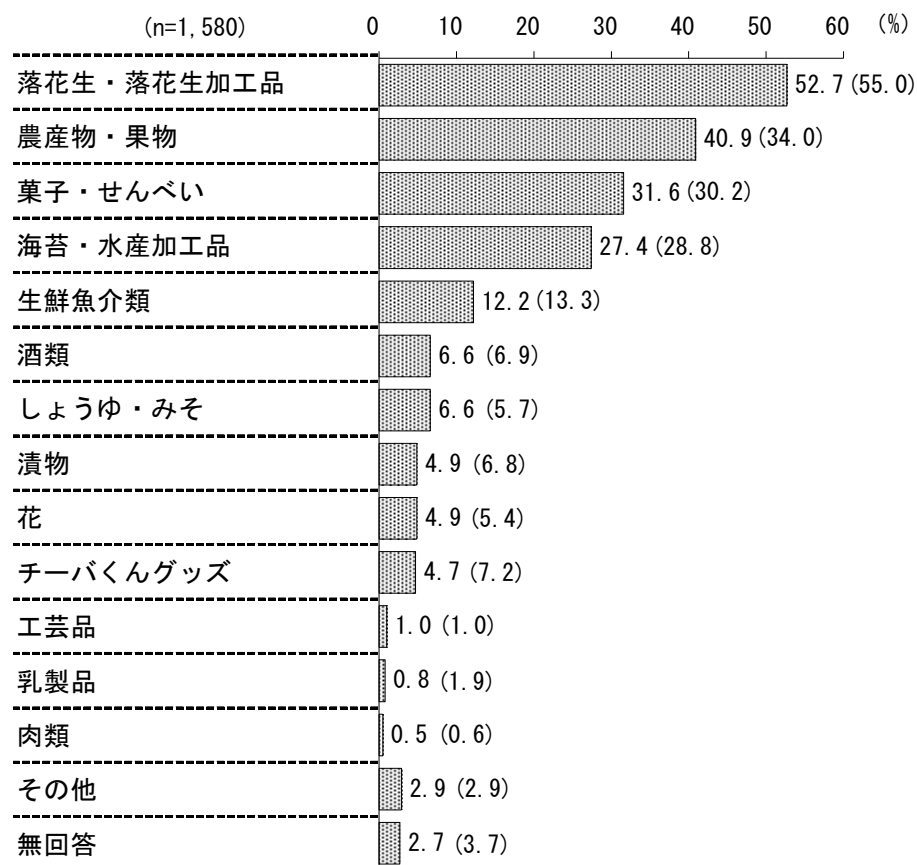


(5) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの

◇「落花生・落花生加工品」が5割を超える

問24 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。(〇は3つ)

<図表4-9> 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの(3つ)



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

県産品をお土産や贈答品として使うものを3つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」(52.7%)が5割を超えて最も高くなっている。以下、「農産物・果物」(40.9%)、「菓子・せんべい」(31.6%)、「海苔・水産加工品」(27.4%)が続く。(図表4-9)

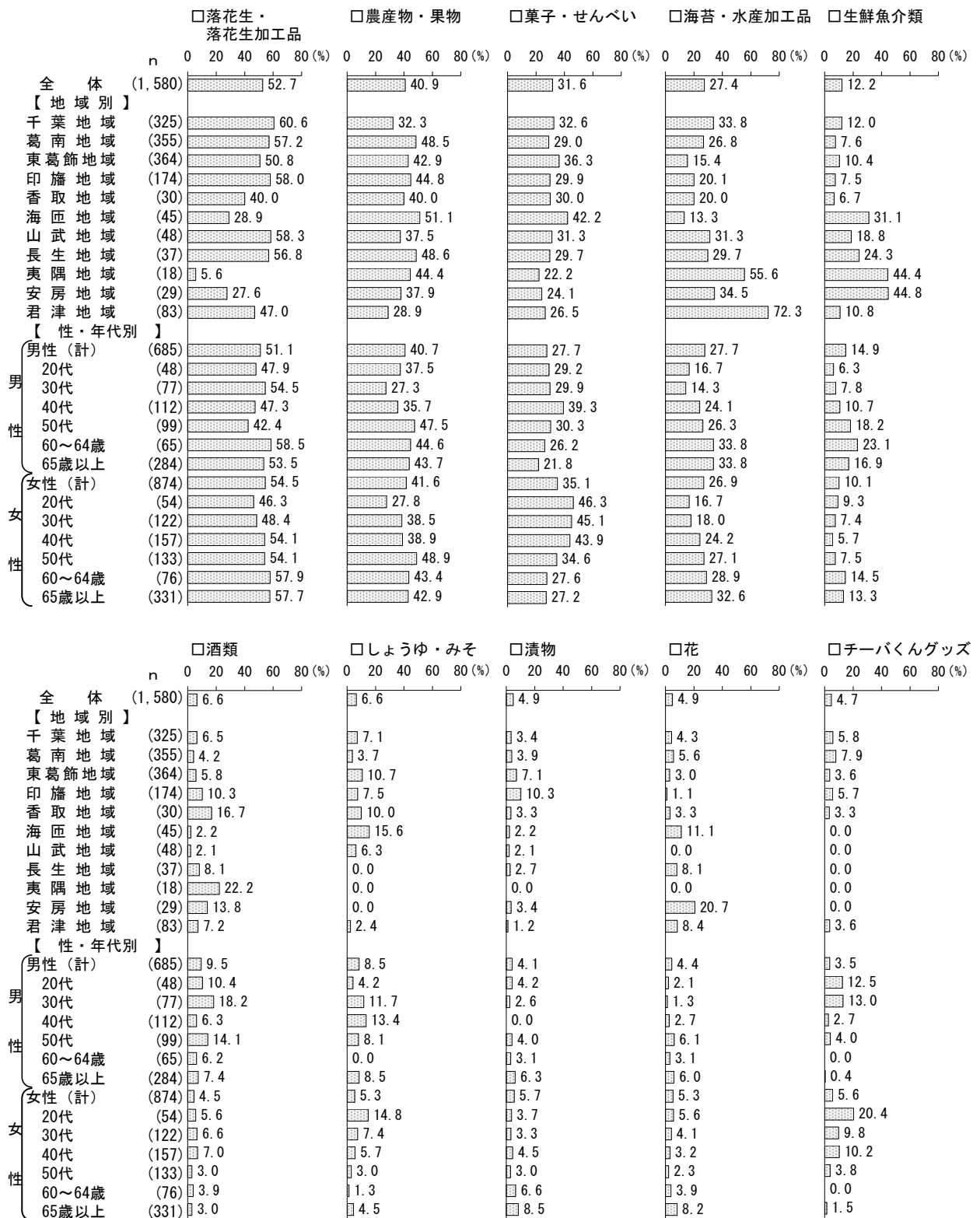
【地域別】

地域別にみると、「落花生・落花生加工品」は“千葉地域”(60.6%)で6割と他の地域と比べて高くなっている。「農産物・果物」は“海匝地域”(51.1%)で5割を超え、“長生地域”(48.6%)、“葛南地域”(48.5%)で約5割、「菓子・せんべい」は“海匝地域”(42.2%)で4割を超え、“東葛飾地域”(36.3%)で3割台半ばと高くなっている。「海苔・水産加工品」は“君津地域”(72.3%)で7割を超え、“夷隅地域”(55.6%)で5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表4-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「菓子・せんべい」女性の20代(46.3%)、女性の30代(45.1%)、女性の40代(43.9%)で4割台半ばと高くなっている。(図表4-10)

＜図表４－１０＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの、性・年代別（上位 10 項目）



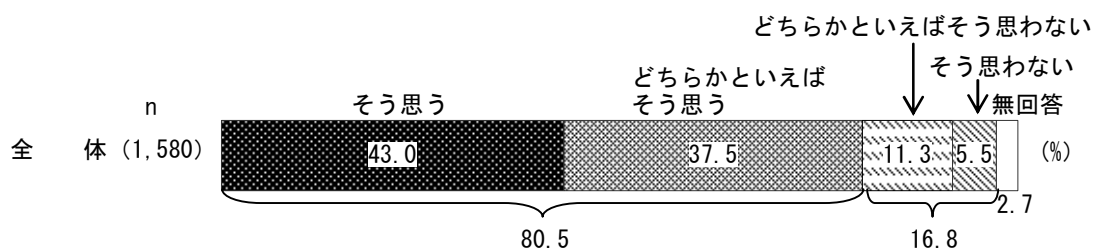
5 千葉県の農林水産物について

(1) 千葉県産農林水産物の購入意向

◇『そう思う』は8割

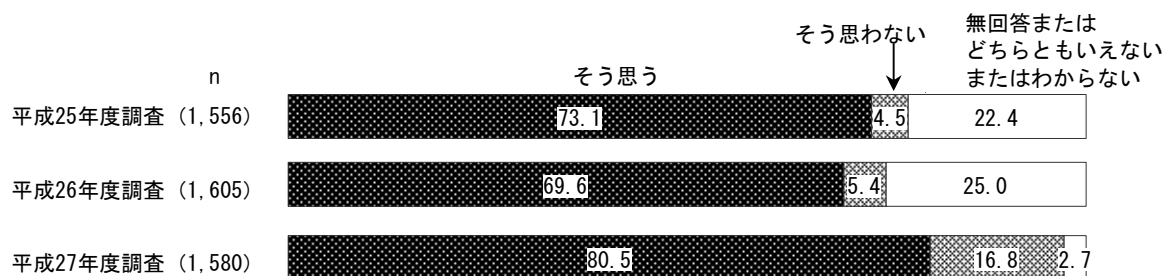
問25 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。(○は1つ)

<図表5-1>千葉県産農林水産物の購入意向



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(43.0%)が4割台半ば、「どちらかといえばそう思う」(37.5%)は約4割であり、これらを合わせた『そう思う』(80.5%)は8割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.3%)と「そう思わない」(5.5%)を合わせた『そう思わない』(16.8%)は1割台半ばとなっている。(図表5-1)

【参考】平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



※平成25年度・平成26年度は「どちらともいえない」の選択肢があるため、参考値

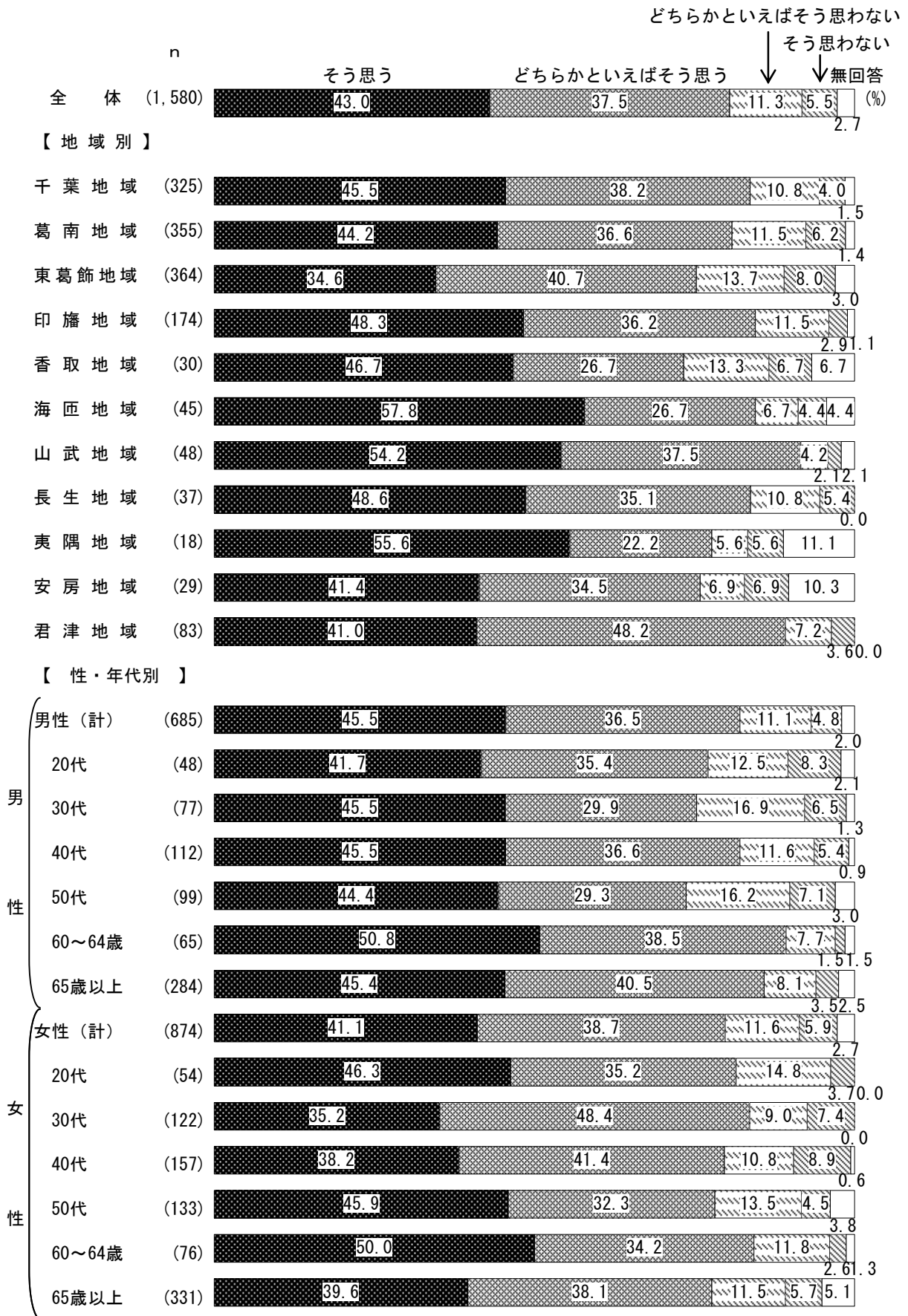
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“山武地域”(91.7%)で9割を超え、“君津地域”(89.2%)で約9割と他の地域に比べて高くなっている。(図表5-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の60～64歳(89.2%)は約9割、男性の65歳以上(85.9%)は8割台半ばと高くなっている。(図表5-2)

<図表5-2>千葉県産農林水産物の購入意向／地域別、性・年代別



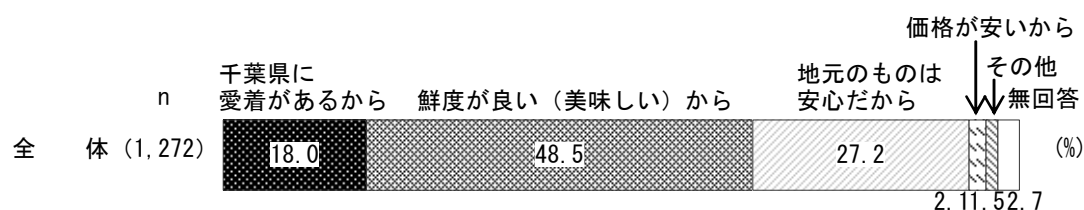
（１－１）千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

◇「鮮度が良い（美味しい）から」が約５割

（問 25 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」のいずれかをお答えの方に）

問25-1 その主な理由は何ですか。（○は１つ）

＜図表５－３＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由



千葉県産の農林水産物を購入したいと思う人の主な理由としては、「鮮度が良い（美味しい）から」（48.5%）が約５割と最も高い。以下、「地元のものは安心だから」（27.2%）、「千葉県に愛着があるから」（18.0%）となっている。（図表５－３）

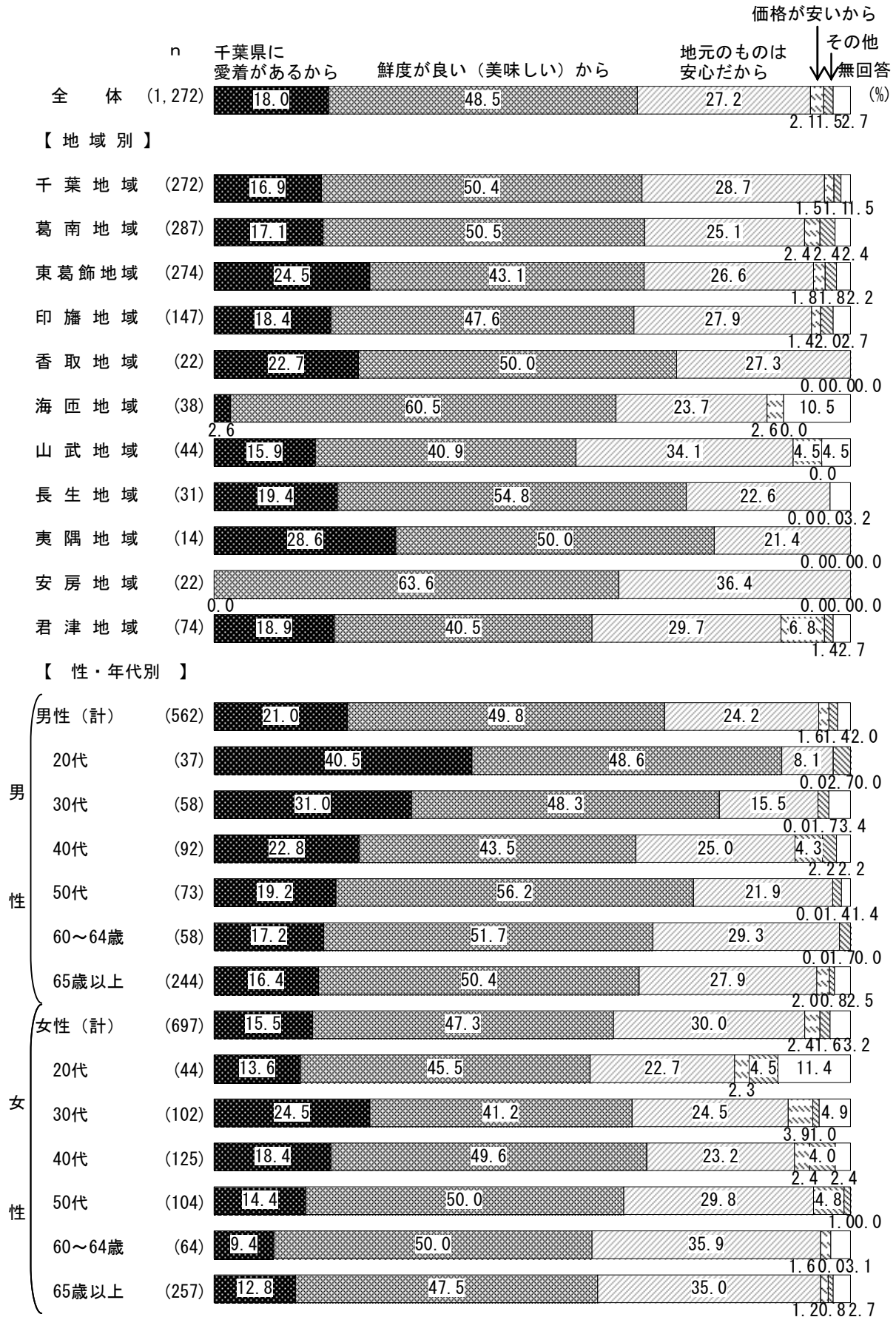
【地域別】

地域別にみると、「千葉県に愛着があるから」は“東葛飾地域”（24.5%）で２割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表５－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地元のものは安心だから」は女性60～64歳（35.9%）、女性65歳以上（35.0%）で３割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「千葉県に愛着があるから」は男性の20代（40.5%）で４割と高くなっている（図表５－４）

＜図表５－４＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由／地域別、性・年代別



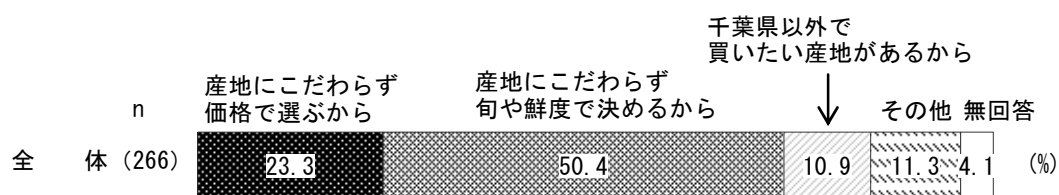
(1-2) 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

◇「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」が5割

(問25で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」のいずれかをお答えの方に)

問25-2 その主な理由は何ですか。(○は1つ)

＜図表5-5＞千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

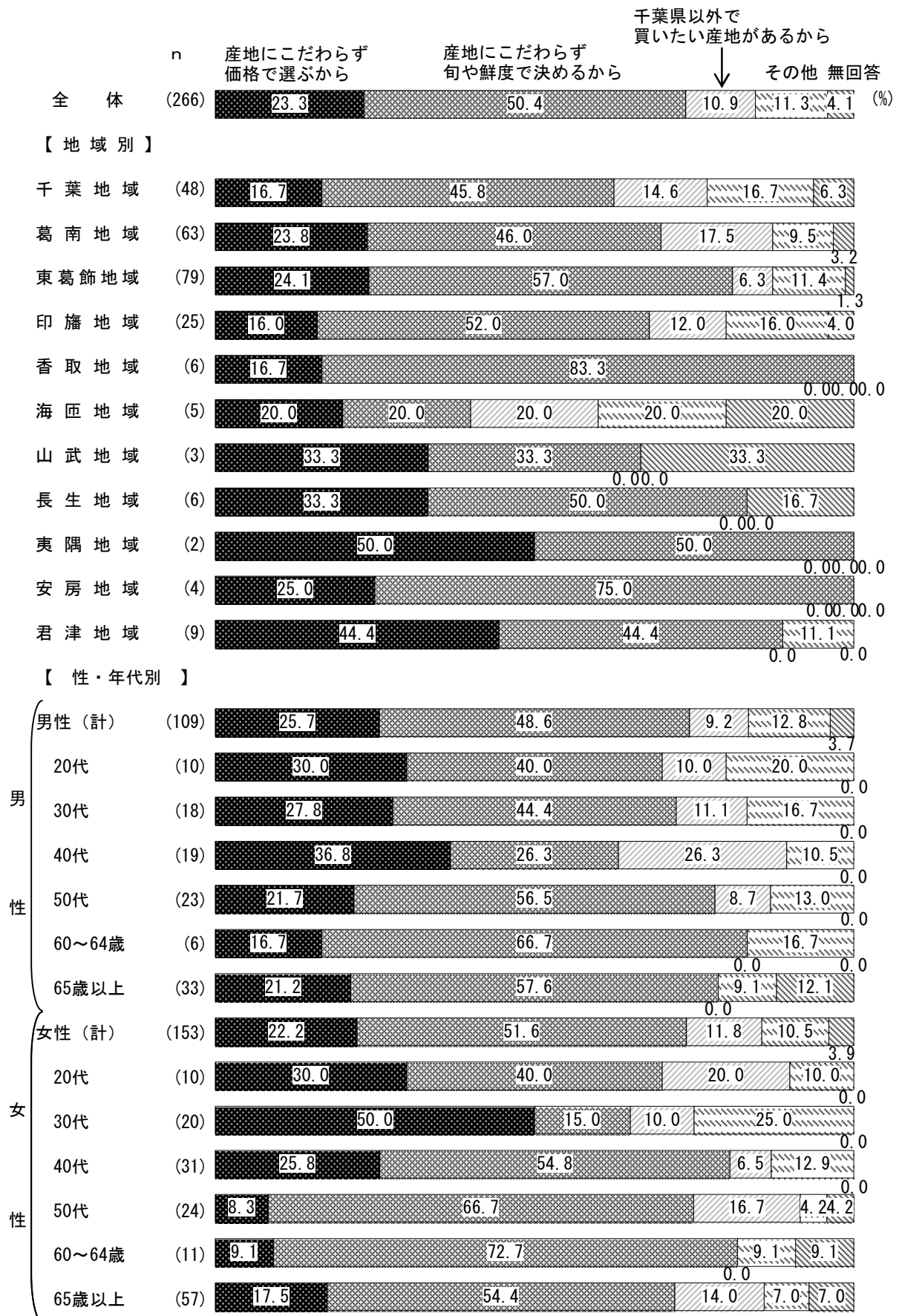


千葉県産の農林水産物を購入したいと思わない人の主な理由としては、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」(50.4%)が5割と最も高い。以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」(23.3%)、「千葉県以外で買いたい産地があるから」(10.9%)となっている。(図表5-5)

【性・年代別】

人数が少ないが、性・年代別にみると、「産地にこだわらず価格で選ぶから」は女性の30代(50.0%)で5割と他の年代に比べて高くなっている。(図表5-6)

＜図表５－６＞千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由／地域別、性・年代別



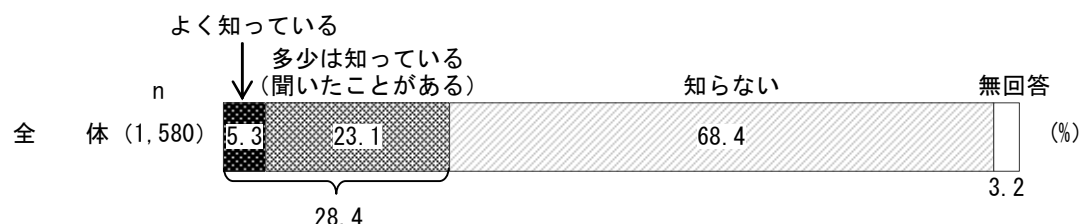
(2)「ちばエコ農産物」の認知度

◇『知っている』は約3割

問26 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以上に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。

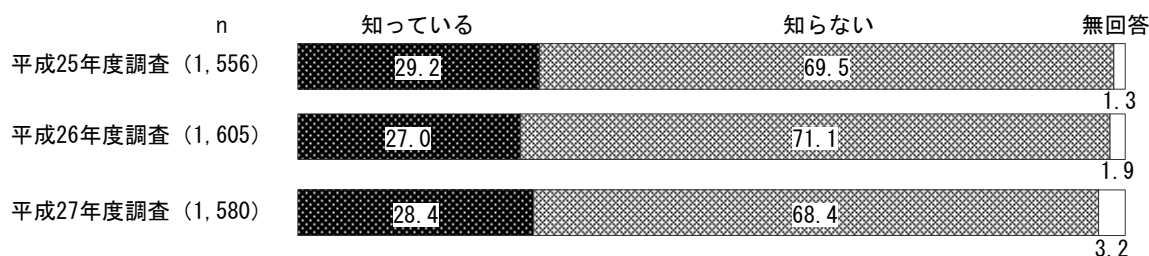
あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。(○は1つ)

＜図表5－7＞「ちばエコ農産物」の認知度



「ちばエコ農産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(5.3%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(23.1%)を合わせた『知っている』(28.4%)は約3割となっている。一方、「知らない」(68.4%)は約7割となっている。(図表5－7)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



【地域別】

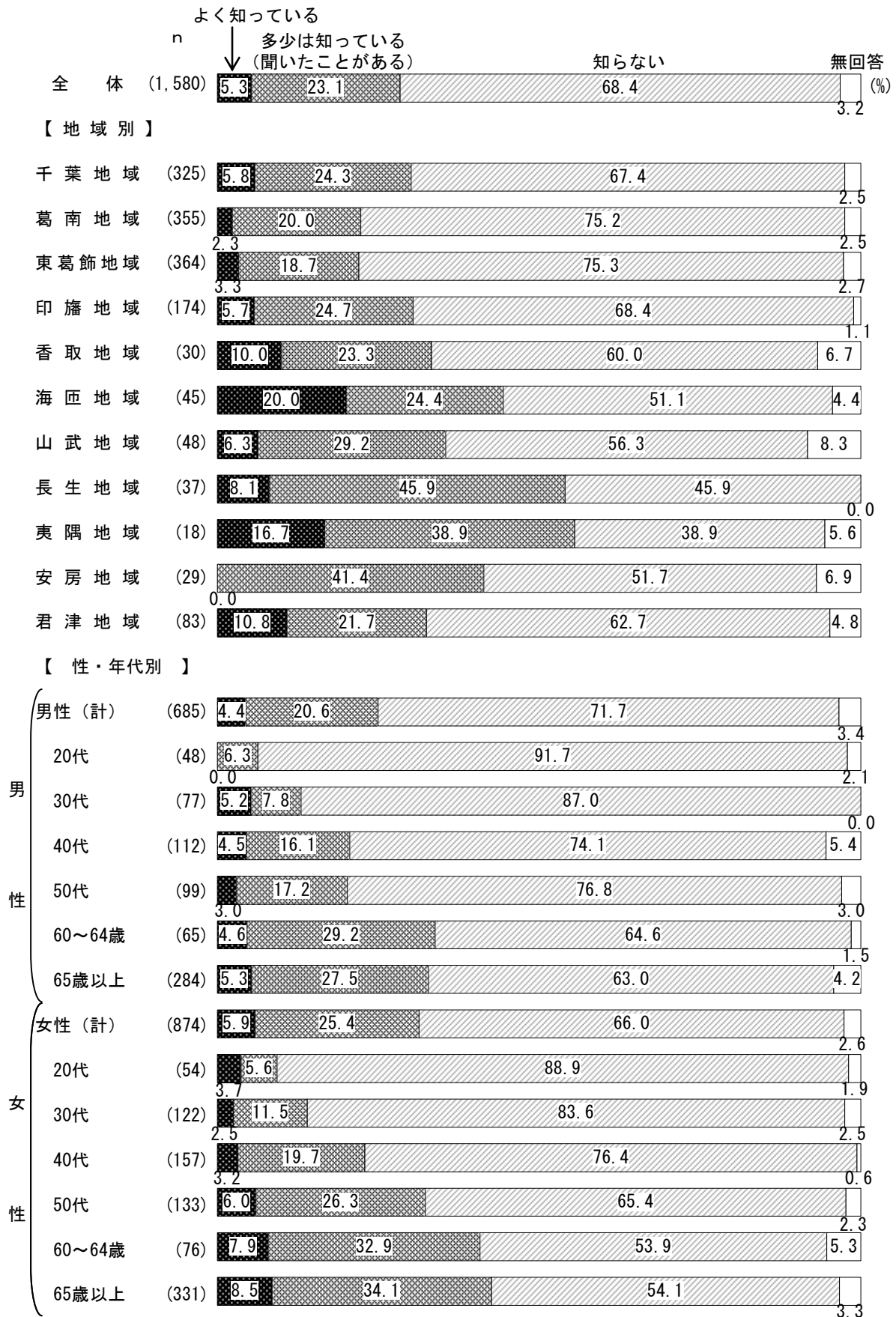
地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(55.6%)、“長生地域”(54.1%)で5割台半ば、“海匝地域”(44.4%)で4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。一方、『知らない』は“東葛飾地域”(75.3%)、“葛南地域”(75.2%)で7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

(図表5－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(42.6%)で4割を超え、女性の60～64歳(40.8%)で4割と他の年代に比べて高くなっている。一方『知らない』は男性の20代(91.7%)と9割を超え、女性の20代(88.9%)、男性の30代(87.0%)で約9割と高くなっている。(図表5－8)

<図表5-8>「ちばエコ農産物」の認知度／地域別、性・年代別



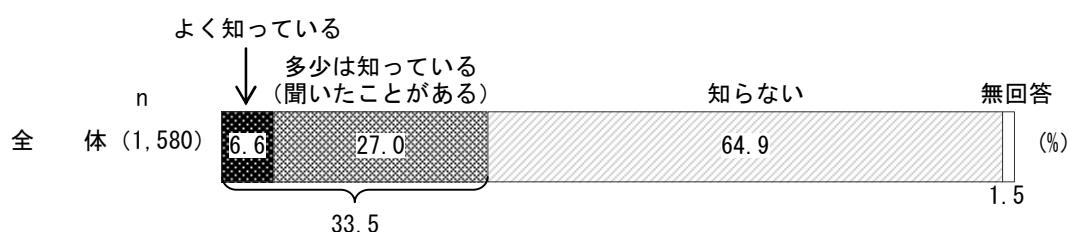
(3)「千葉ブランド水産物」の認知度

◇『知っている』は3割台半ば

問27 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

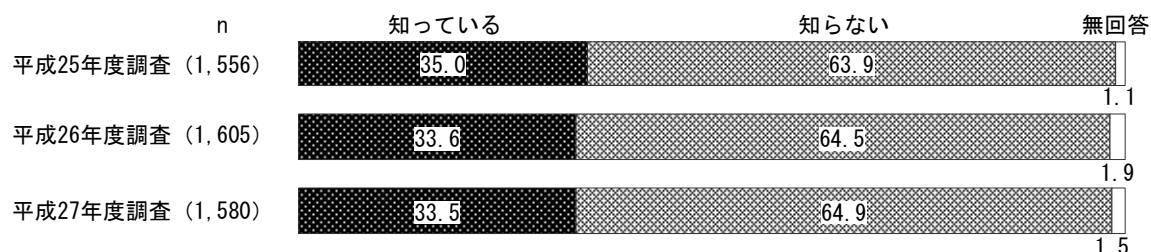
あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。(○は1つ)

＜図表5－9＞「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(6.6%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(27.0%)を合わせた『知っている』(33.5%)は3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(64.9%)は6割台半ばとなっている。(図表5－9)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



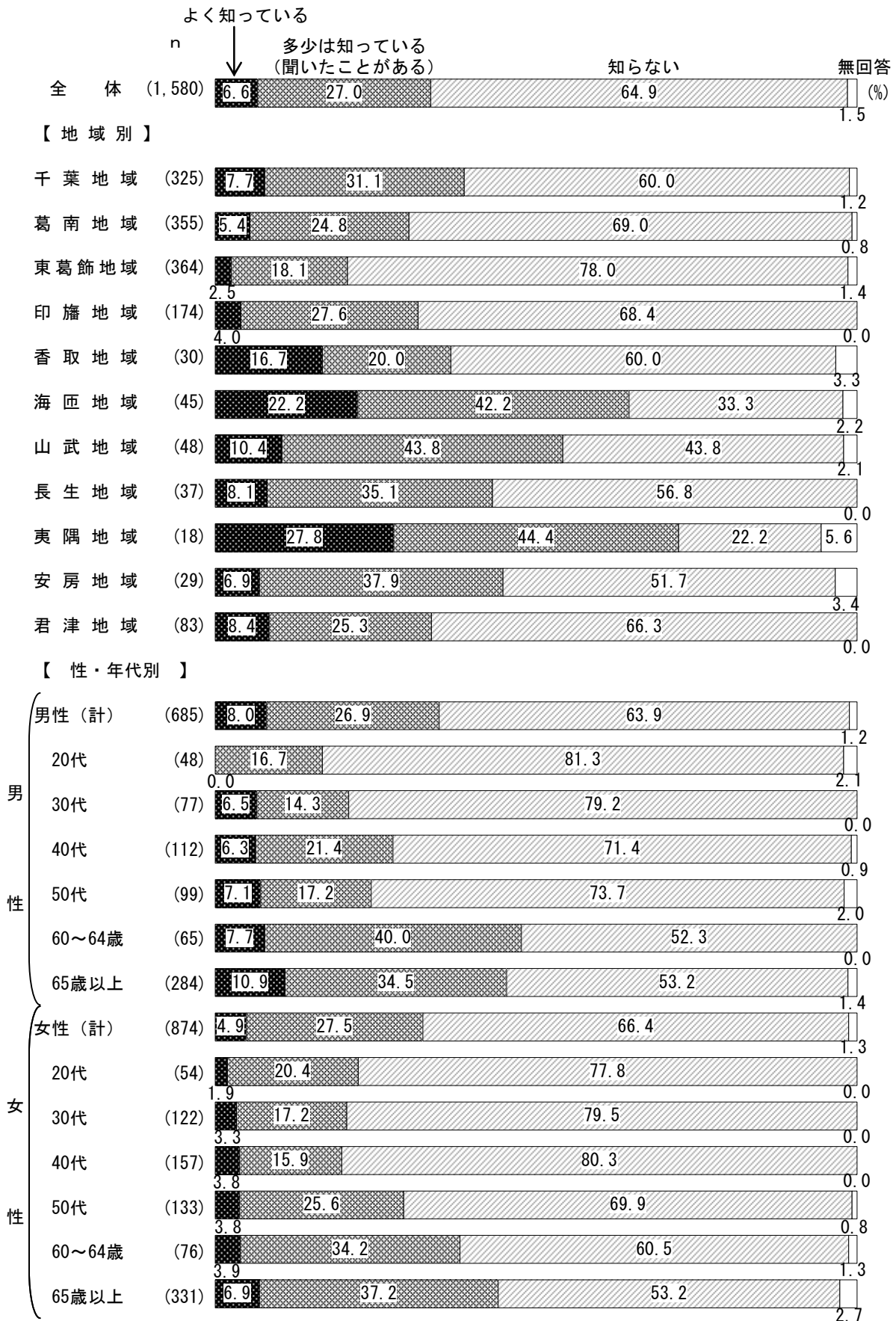
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(72.2%)で7割を超え、“海匝地域”(64.4%)で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。一方、『知らない』は、“東葛飾地域”(78.0%)で約8割と高くなっている。(図表5－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知らない』は男性の20代(81.3%)で8割を超え、女性の40代(80.3%)で8割、女性の30代(79.5%)、男性の30代(79.2%)、女性の20代(77.8%)で約8割と他の年代に比べて高くなっている。(図表5－10)

<図表5-10>「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



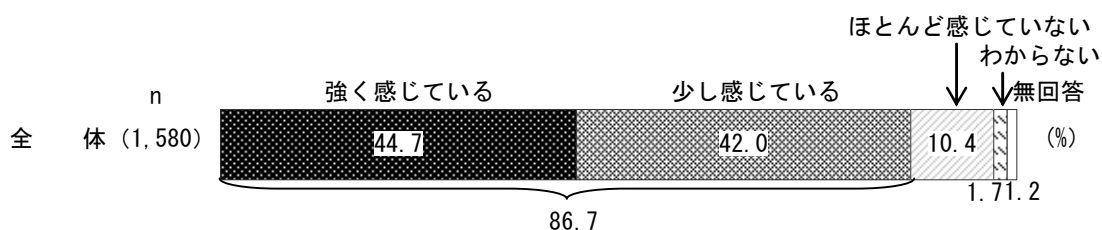
6 防災に関する取り組みについて

(1) 大地震や風水害への不安

◇『感じている』が8割台半ば

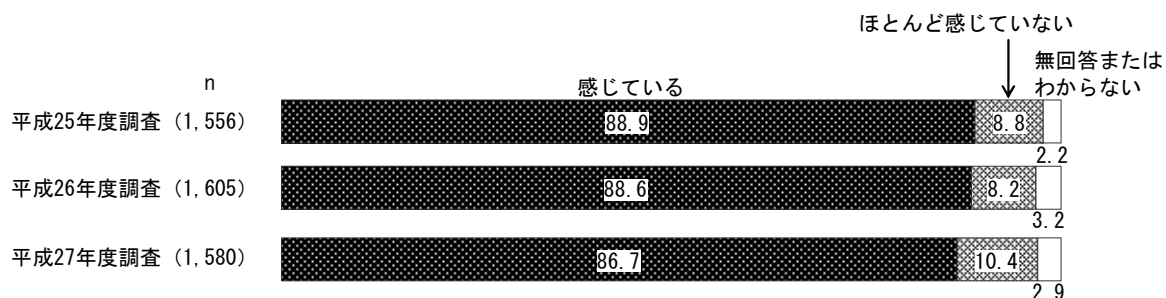
問28 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、近年、記録的な大雨や台風などにより国内では浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。(○は1つ)

<図表6-1>大地震や風水害への不安



大地震や風水害への不安を聞いたところ、「強く感じている」(44.7%)と「少し感じている」(42.0%)を合わせた『感じている』(86.7%)は8割台半ばとなっている。一方、「ほとんど感じていない」(10.4%)は1割である。(図表6-1)

【参考】平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



【地域別】

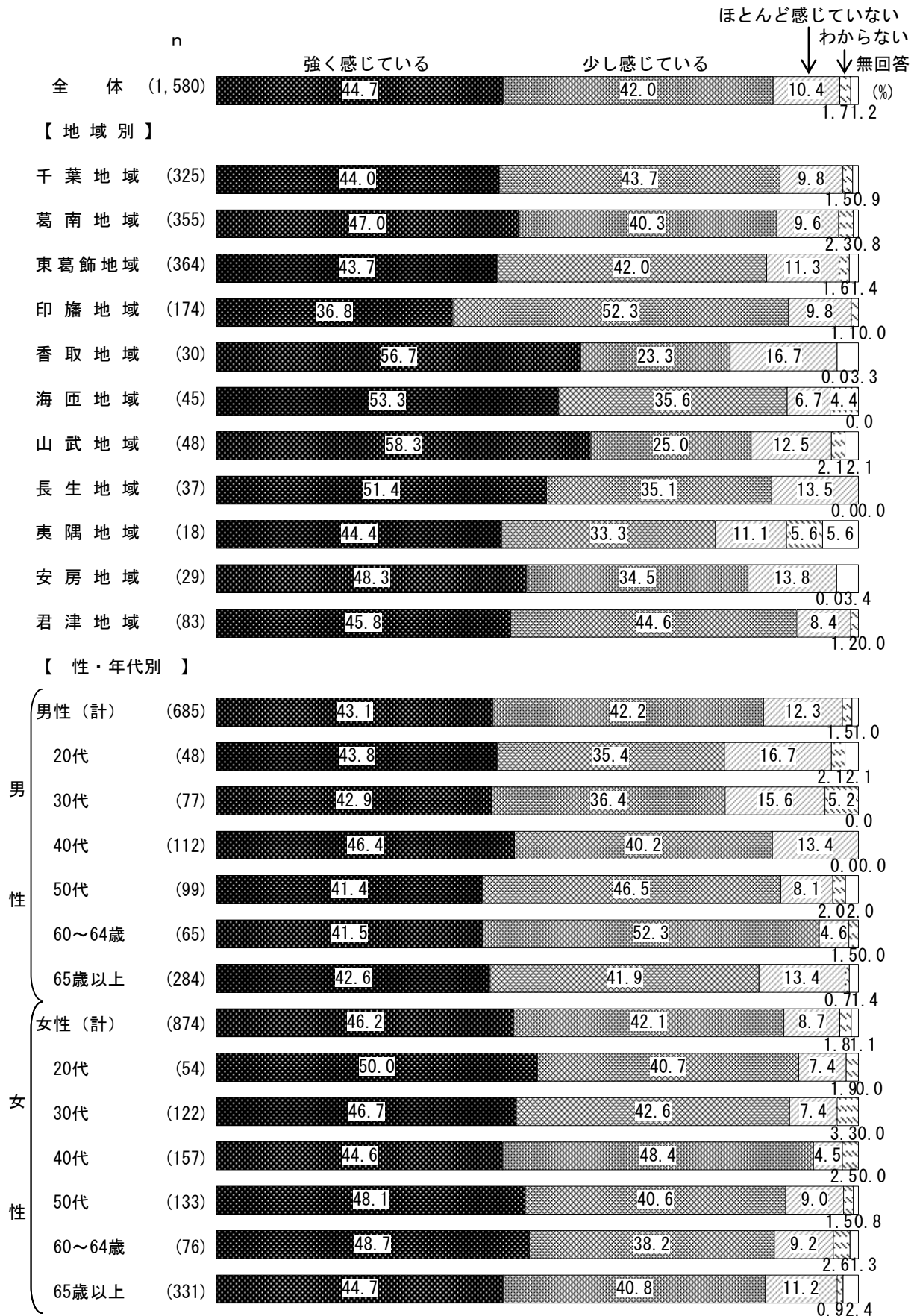
地域別にみると、“印旛地域”(36.8%)で「強く感じている」割合が全体に比べて低い。

(図表6-2)

【性・年代別】

性別でみると、『感じている』は女性(88.3%)が約9割、男性(85.3%)が8割台半ばと、女性の方が高い。性・年代別でみると男性の60~64歳(93.8%)、女性の40代(93.0%)で9割台半ばと特に高くなっている。(図表6-2)

＜図表６－２＞大地震や風水害への不安／地域別、性・年代別

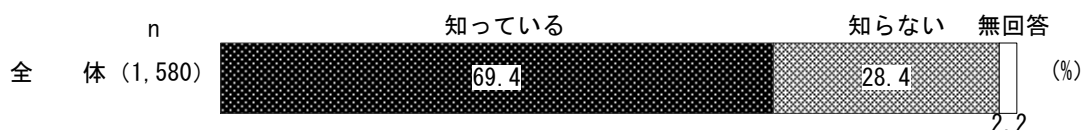


(2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度

◇「知っている」が約7割

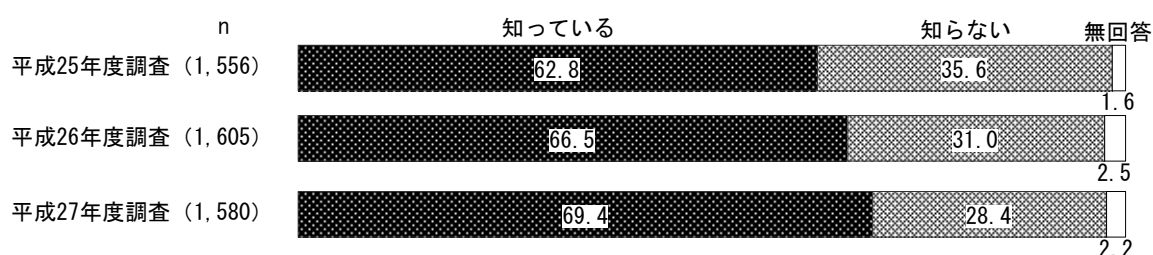
問29 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。(○は1つ)

＜図表6－3＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度



「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度を聞いたところ、「知っている」(69.4%)が約7割となっている。一方、「知らない」(28.4%)は約3割となっている。(図表6－3)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)



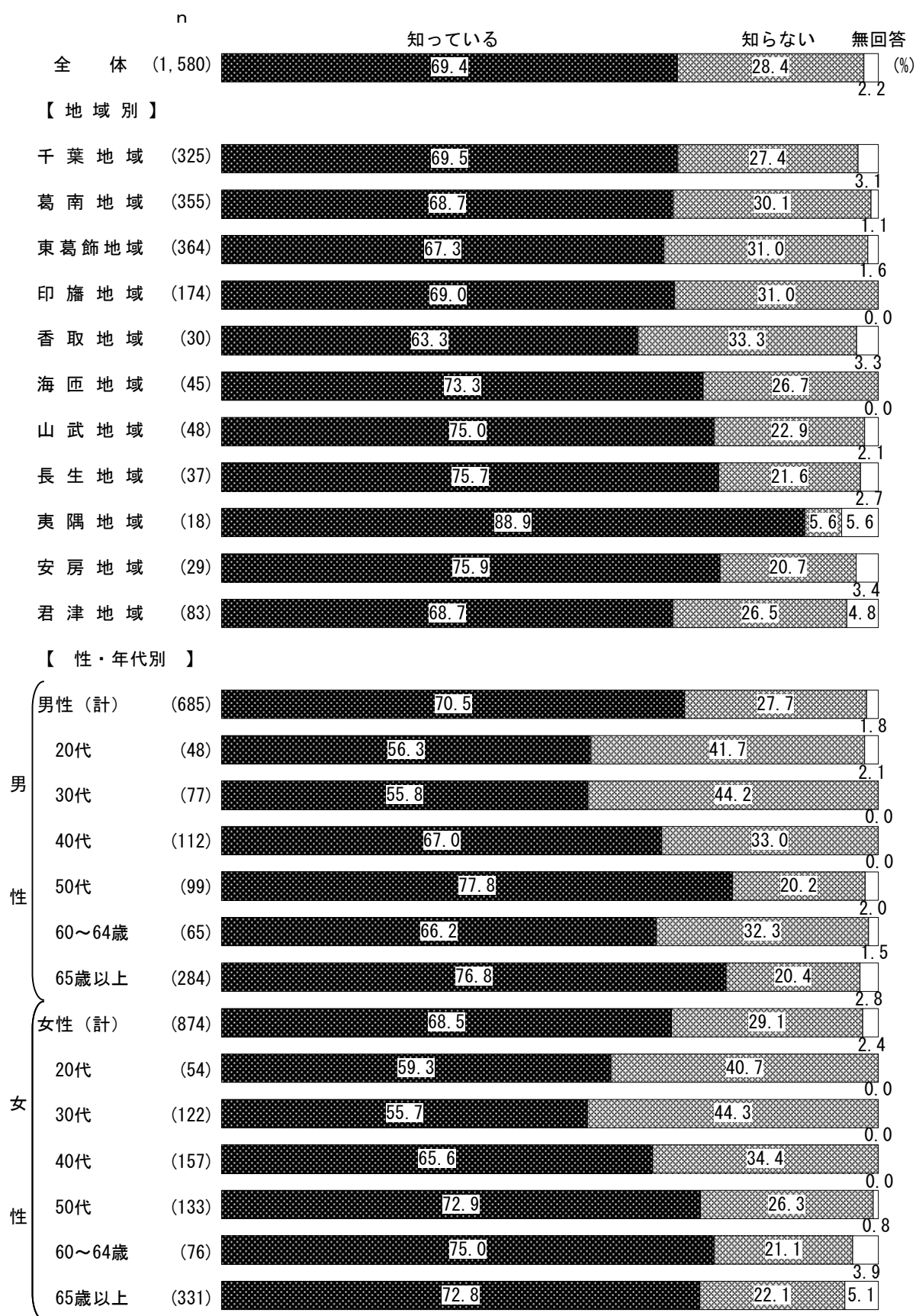
【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“夷隅地域”(88.9%)で約9割と他の地域に比べて高くなっている。(図表6－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は男性の50代(77.8%)で約8割、男性の65歳以上(76.8%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、「知らない」は女性の30代(44.3%)、男性の30代(44.2%)で4割台半ば、男性の20代(41.7%)、女性の20代(40.7%)で4割を超えて高くなっている。(図表6－4)

＜図表6－4＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度／地域別、性・年代別

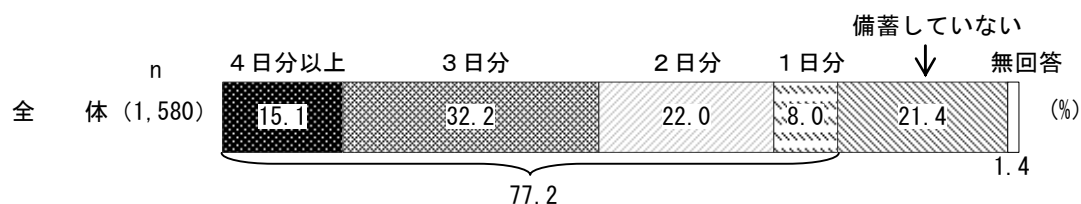


(3) 飲料水や食料の備蓄状況

◇『備蓄している』は約8割

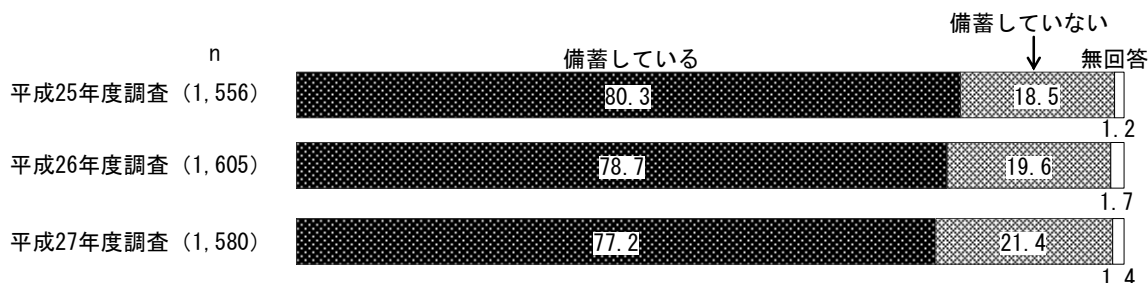
問30 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫等にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。(○は1つ)

＜図表6－5＞飲料水や食料の備蓄状況



飲料水や食料の備蓄状況を聞いたところ、「3日分」(32.2%)が3割を超え、「2日分」(22.0%)が2割を超え、「4日分以上」(15.1%)が1割台半ば、「1日分」(8.0%)が約1割となっており、この4つを合わせた『備蓄している』(77.2%)は約8割となっている。「備蓄していない」(21.4%)は2割を超えている。(図表6－5)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)



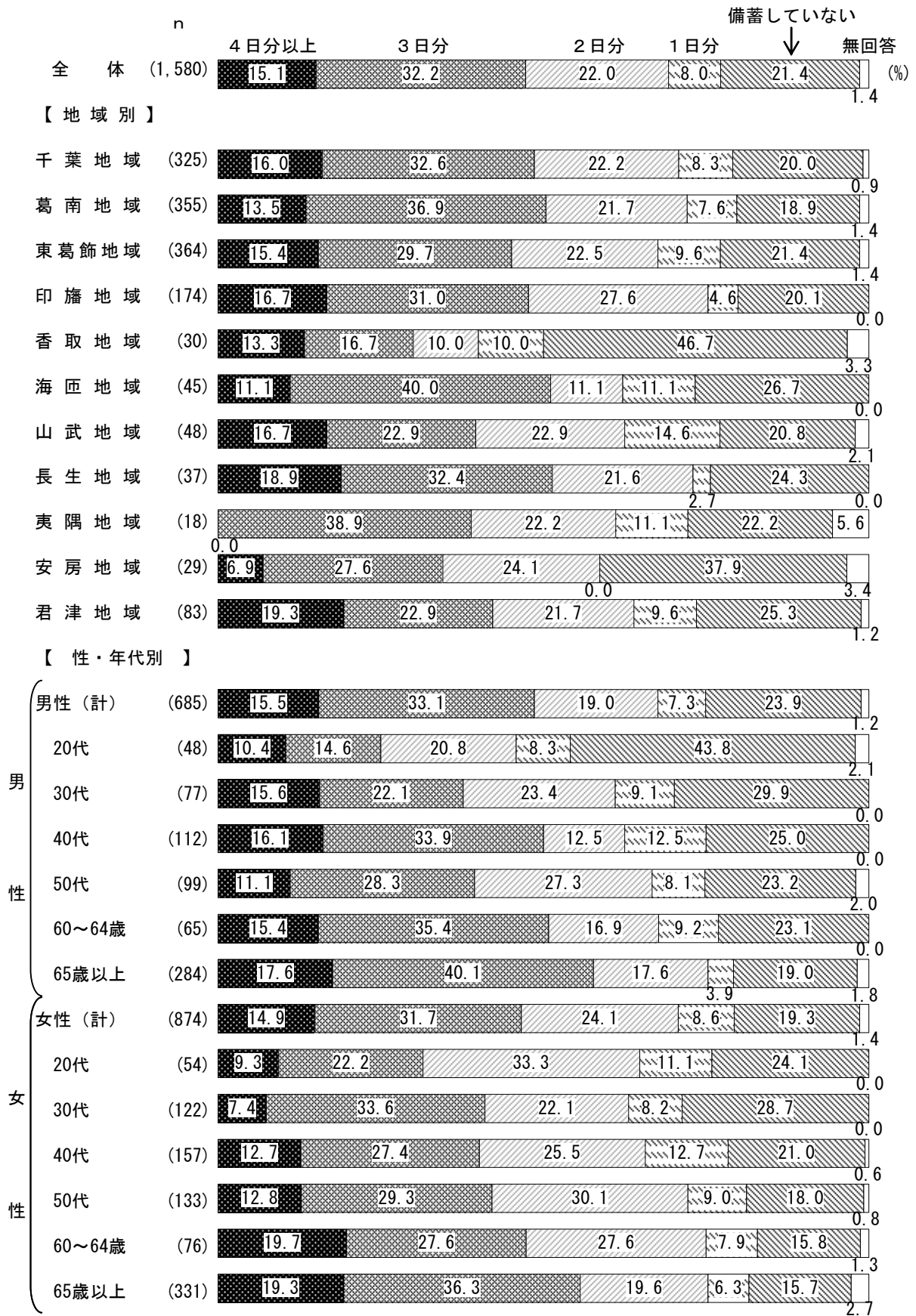
【地域別】

地域別にみると、『備蓄している』は“香取地域”(50.0%)、“安房地域”(58.6%)を除く全ての地域で7割以上と高くなっている。(図表6－6)

【性・年代別】

年齢層の高い方が『備蓄している』割合が高い傾向が見られる。一方、「備蓄していない」は男性の20代(43.8%)で4割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。(図表6－6)

＜図表６－６＞飲料水や食料の備蓄状況／地域別、性・年代別



(4) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

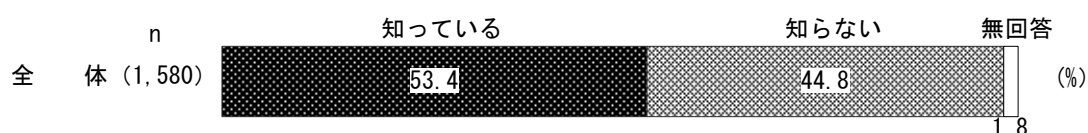
◇「知っている」は5割台半ば

問31 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。東日本大震災でも、使用できなくなりました。

あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

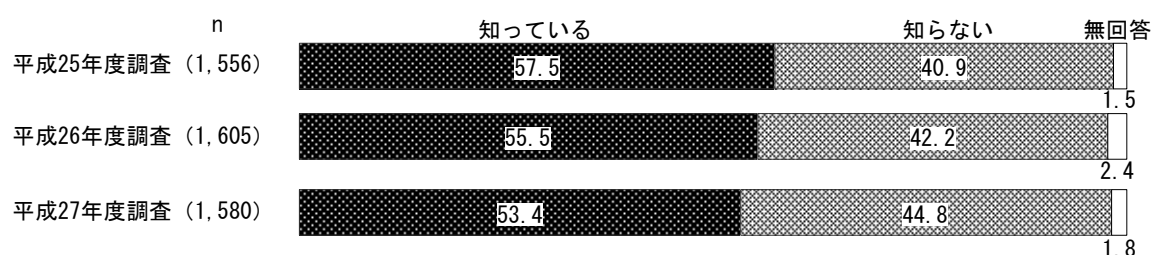
(○は1つ)

<図表6-7>災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度



災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度を聞いたところ、「知っている」(53.4%)は5割台半ばとなっている。一方、「知らない」(44.8%)は4割台半ばとなっている。(図表6-7)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



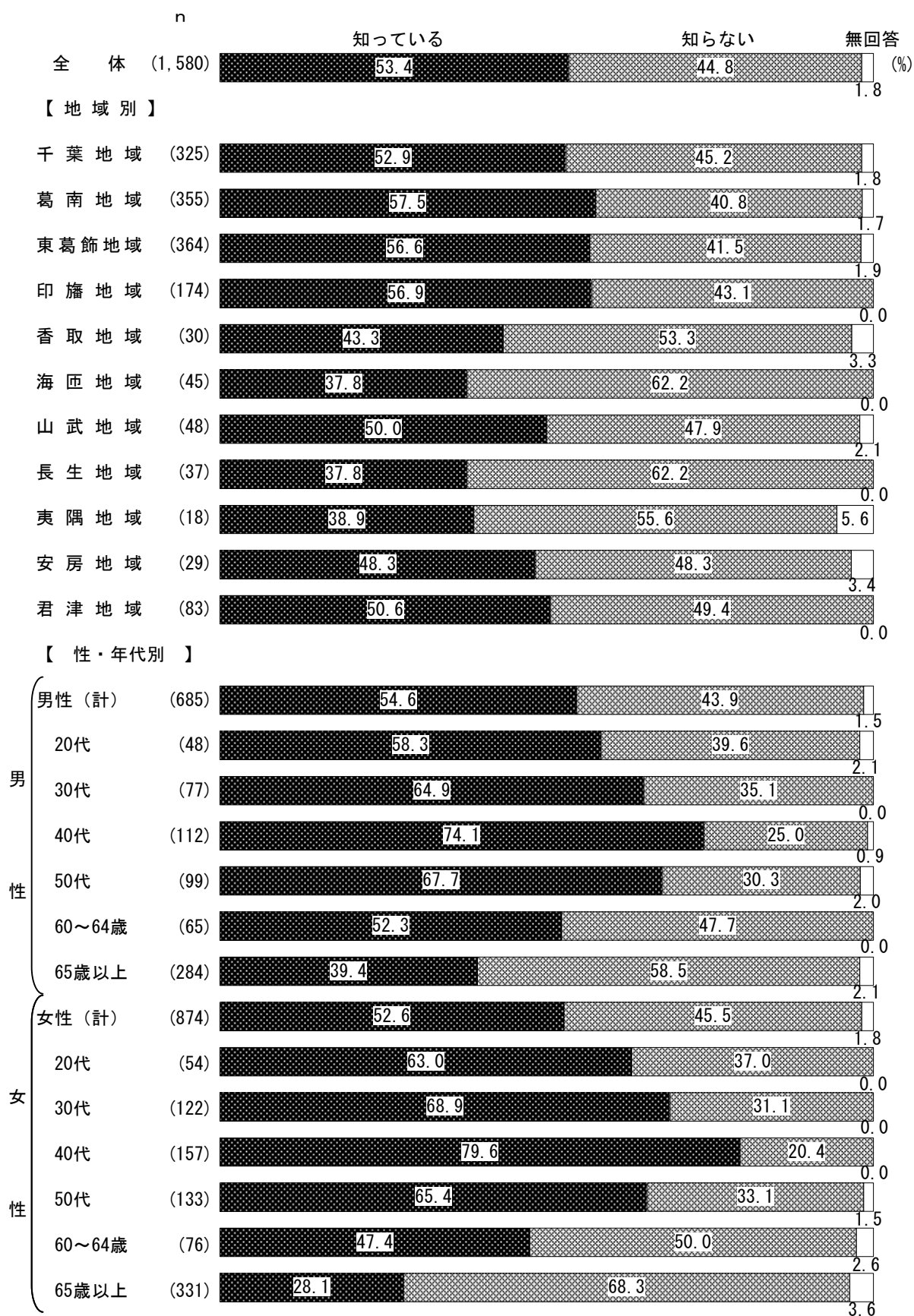
【地域別】

地域別にみると、「知らない」は“海匠地域”、“長生地域”(同率62.2%)で6割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表6-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は女性の40代(79.6%)で約8割、男性の40代(74.1%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表6-8)

<図表6-8>災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度／地域別、性・年代別



(5) 地震の被害を防ぐための対策

◇「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」が約6割

問32 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか。（行う予定ですか）。（〇はいくつでも）

＜図表6－9＞地震の被害を防ぐための対策（複数回答）

(n=1,580)



注）（ ）の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

地震の被害を防ぐための対策を聞いたところ、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（58.7%）が約6割で最も高く、以下、「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」（51.1%）が5割を超え、「住宅の建替え（昭和57年以降）」（9.3%）、「住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化」（9.1%）が約1割となっている。（図表6－9）

【地域別】

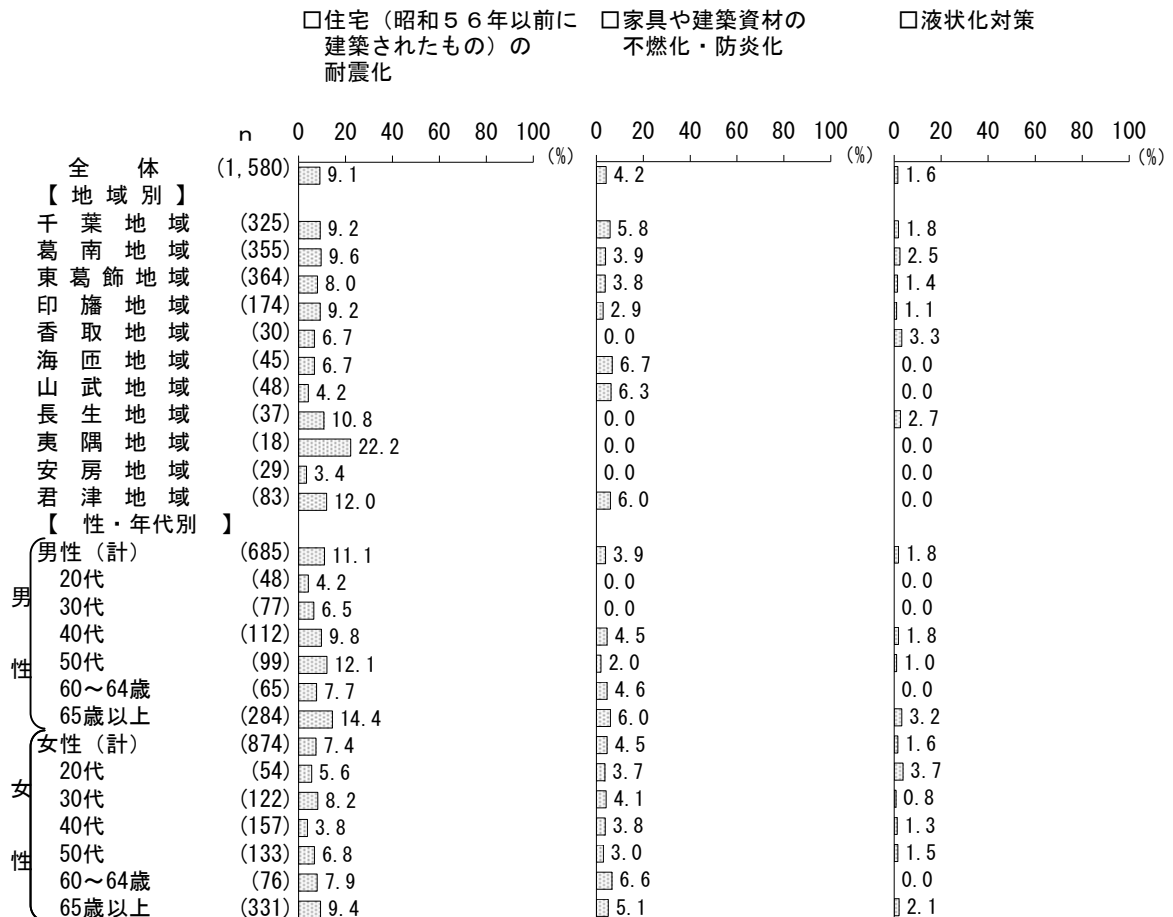
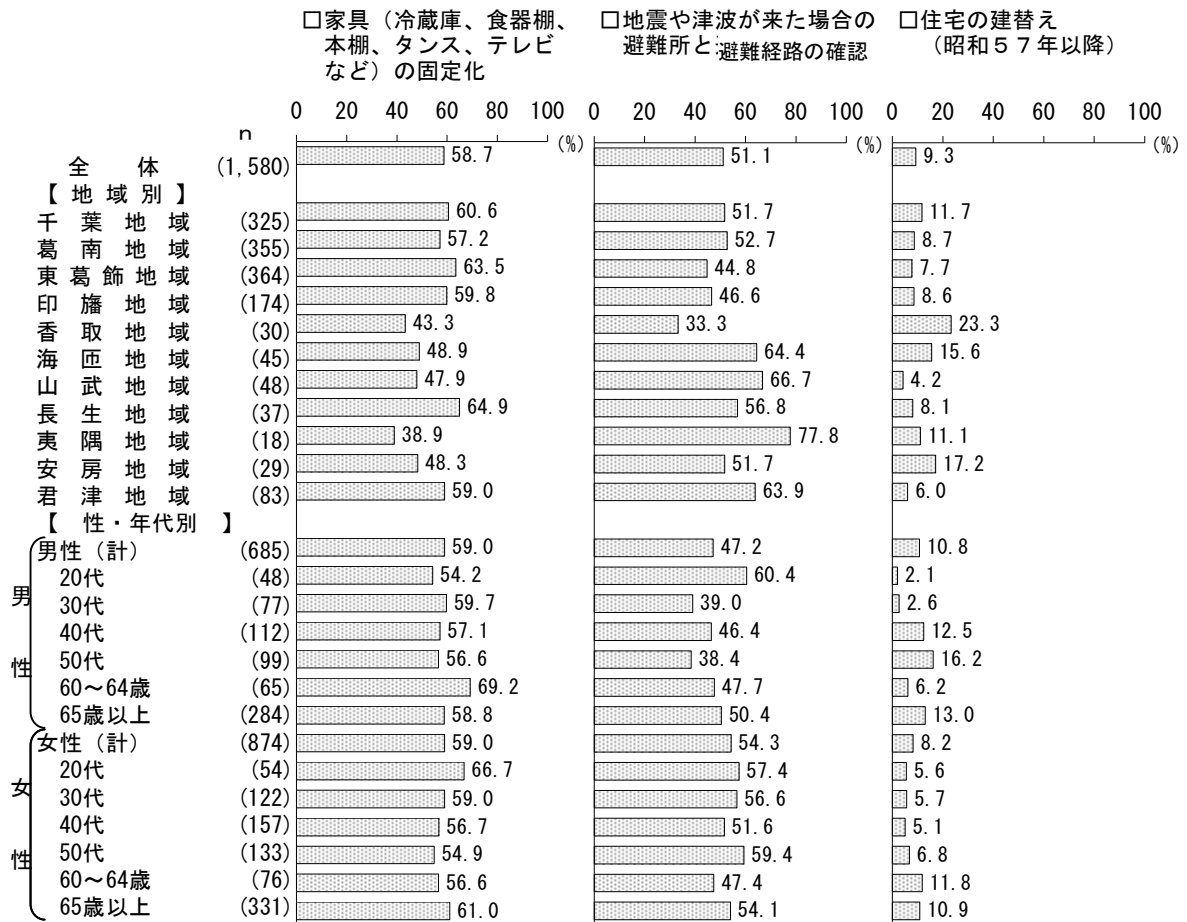
地域別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は“長生地域”（64.9%）、「東葛飾地域”（63.5%）で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」は“夷隅地域”（77.8%）が約8割と高くなっている。

（図表6－10）

【性・年代別】

性別で見ると、「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」は女性の方が高い。性・年代別では、女性は60～64歳（47.4%）を除いて全ての年代で5割以上となっており、特に、女性の50代（59.4%）で約6割と特に高くなっている。（図表6－10）

<図表6-10>地震の被害を防ぐための対策／地域別、性・年代別



7 地方分権について

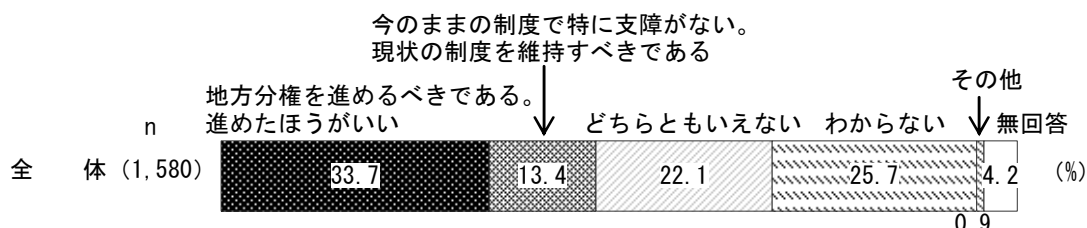
(1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か

◇「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」は3割台半ば

問 33 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。
こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。

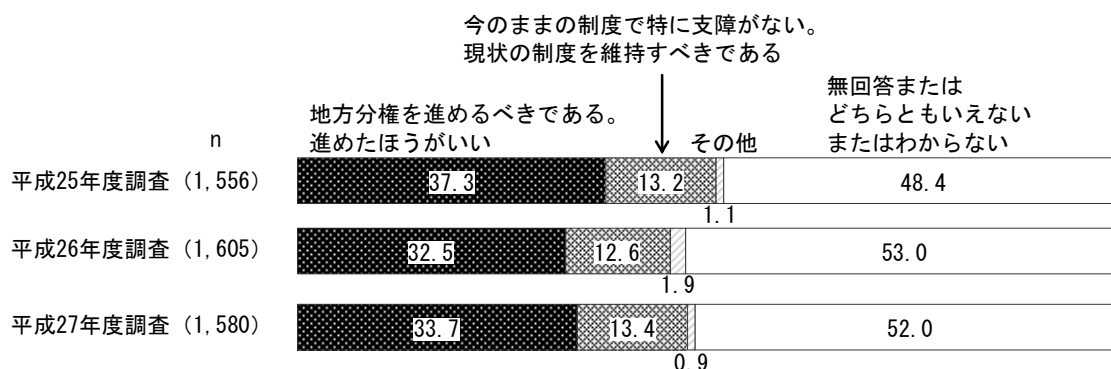
(○は1つ)

＜図表 7－1＞地方分権を今後さらに進めていくべきか否か



地方分権を今後さらに進めていくべきかどうかを聞いたところ、「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」(33.7%)は3割台半ばとなっており、「今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである」(13.4%)は1割台半ばとなっている。一方、「わからない」(25.7%)は2割台半ば、「どちらともいえない」(22.1%)が2割を超えている。(図表 7－1)

〔参考〕平成 25 年度・平成 26 年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



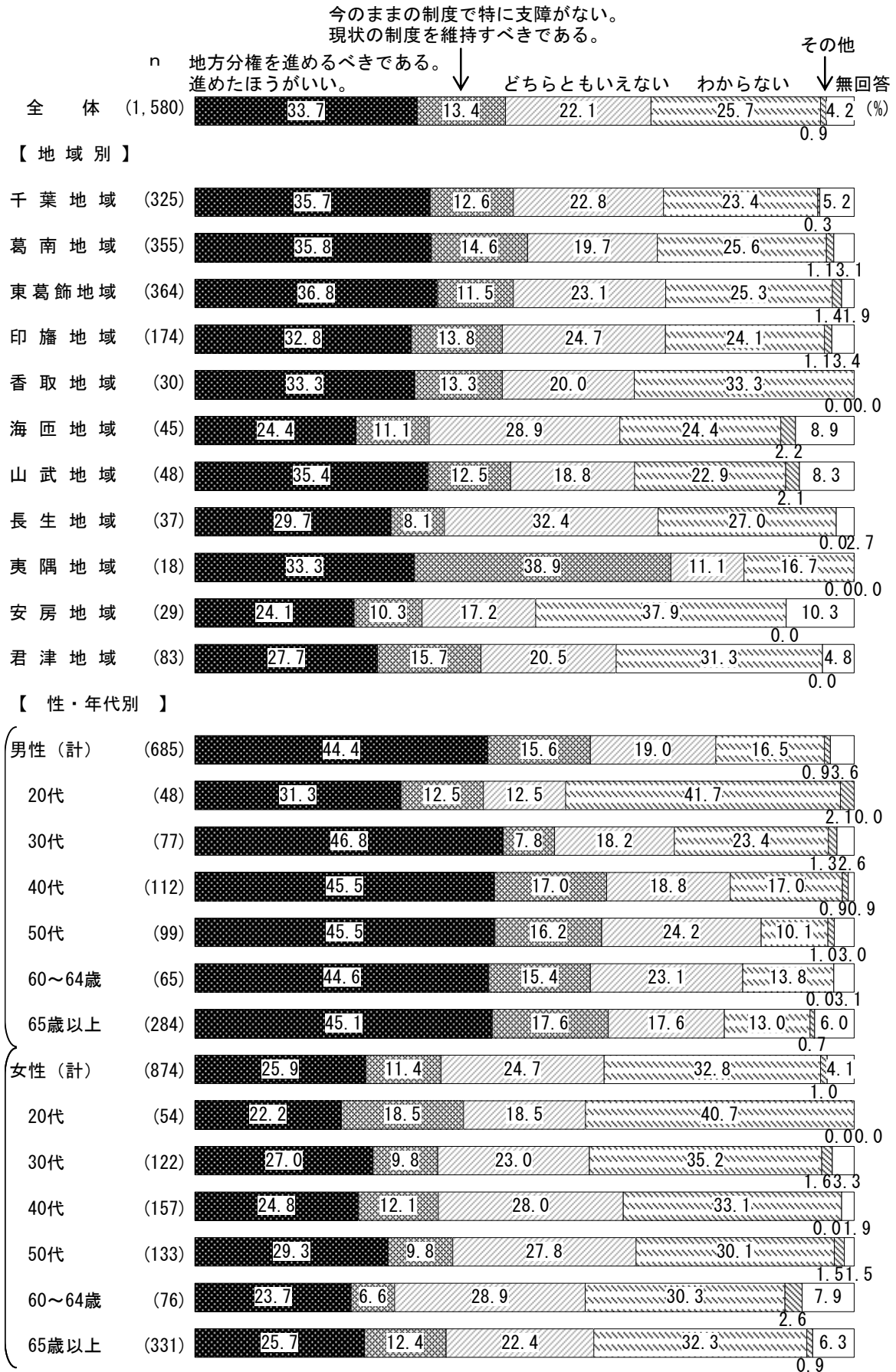
【地域別】

地域別にみると、「今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである」は“夷隅地域”(38.9%)で約4割と他の地域に比べて高くなっている。(図表 7－2)

【性・年代別】

性別でみると「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」は男性(44.4%)の方が高く、性・年代別では男性の20代(31.3%)を除く年代で4割台半ばと高くなっている。(図表 7－2)

＜図表７－２＞地方分権を今後さらに進めていくべきか否か／地域別、性・年代別



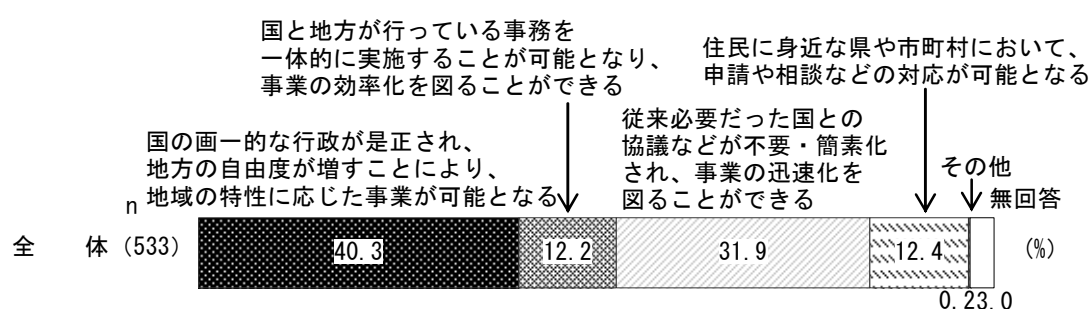
(1-1)「地方分権」で期待する主な効果

◇「国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能になる」が4割

(問33で「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」とお答えの方に)

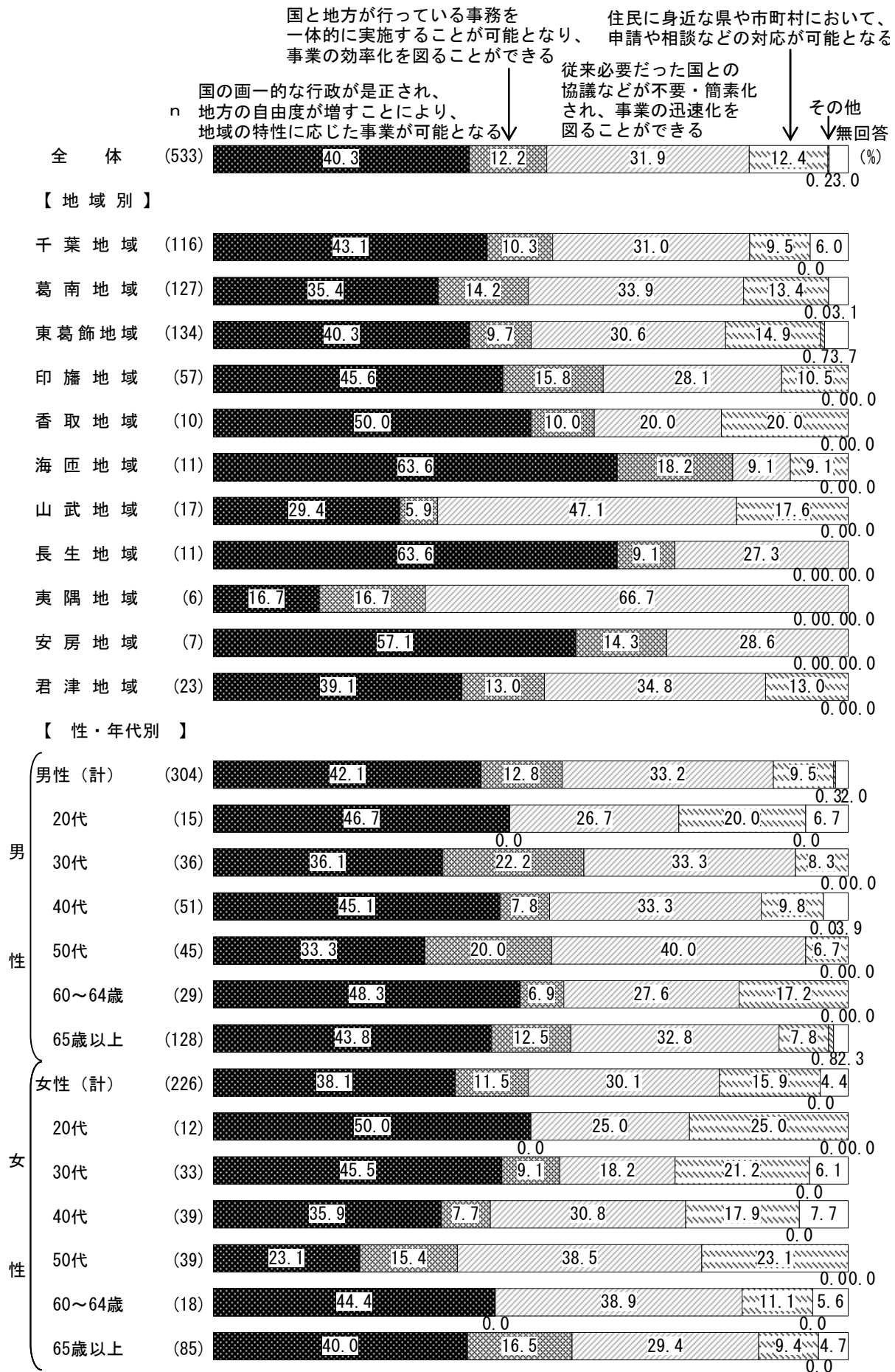
問33-1 あなたは、国から身近な県や市町村に権限や財源を移す「地方分権」を進めることにより、主にどのような効果を期待しますか。(○は1つ)

＜図表7-3＞「地方分権」で主に期待する効果



「地方分権を進めるべきである。進めた方がいい」と回答した人が、地方分権に期待する主な効果として「国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる」(40.3%)が4割と最も多く、次いで「従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる」(31.9%)が3割を超え、以下「住民に身近な県や市町村において、申請や相談などの対応が可能となる」(12.4%)、「国と地方が行っている事務を一体的に実施することが可能となり、事業の効率化を図ることができる」(12.2%)となっている。(図表7-3)

＜図表７－４＞「地方分権」で主に期待する効果／地域別、性・年代別



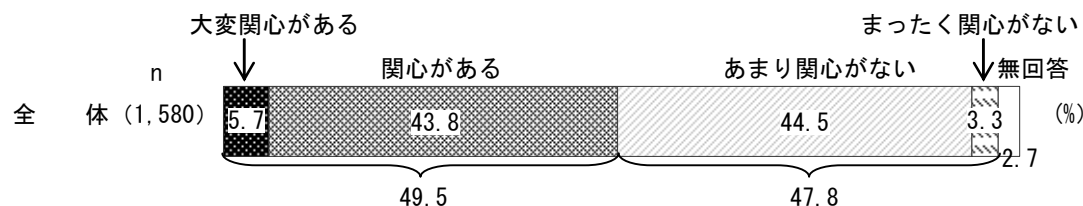
8 広報・広聴活動について

(1) 県の施策や政策などについての関心度

◇『関心がある』は約5割

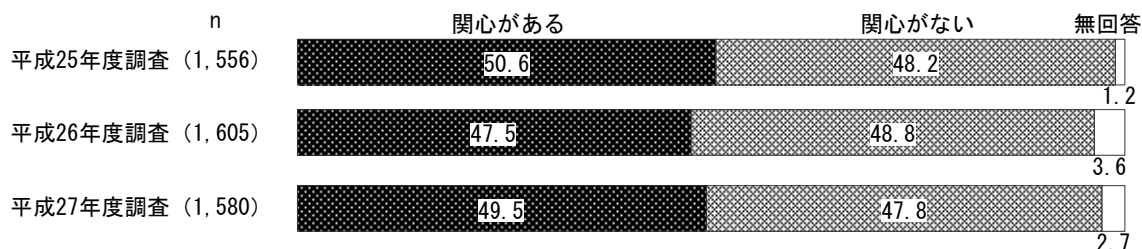
問34 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。(○は1つ)

<図表8-1>県の施策や政策などについての関心度



県の施策や政策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(5.7%)と「関心がある」(43.8%)を合わせた『関心がある』(49.5%)は約5割となっている。一方、「あまり関心がない」(44.5%)と「まったく関心がない」(3.3%)を合わせた『関心がない』(47.8%)も約5割となっている。(図表8-1)

【参考】平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



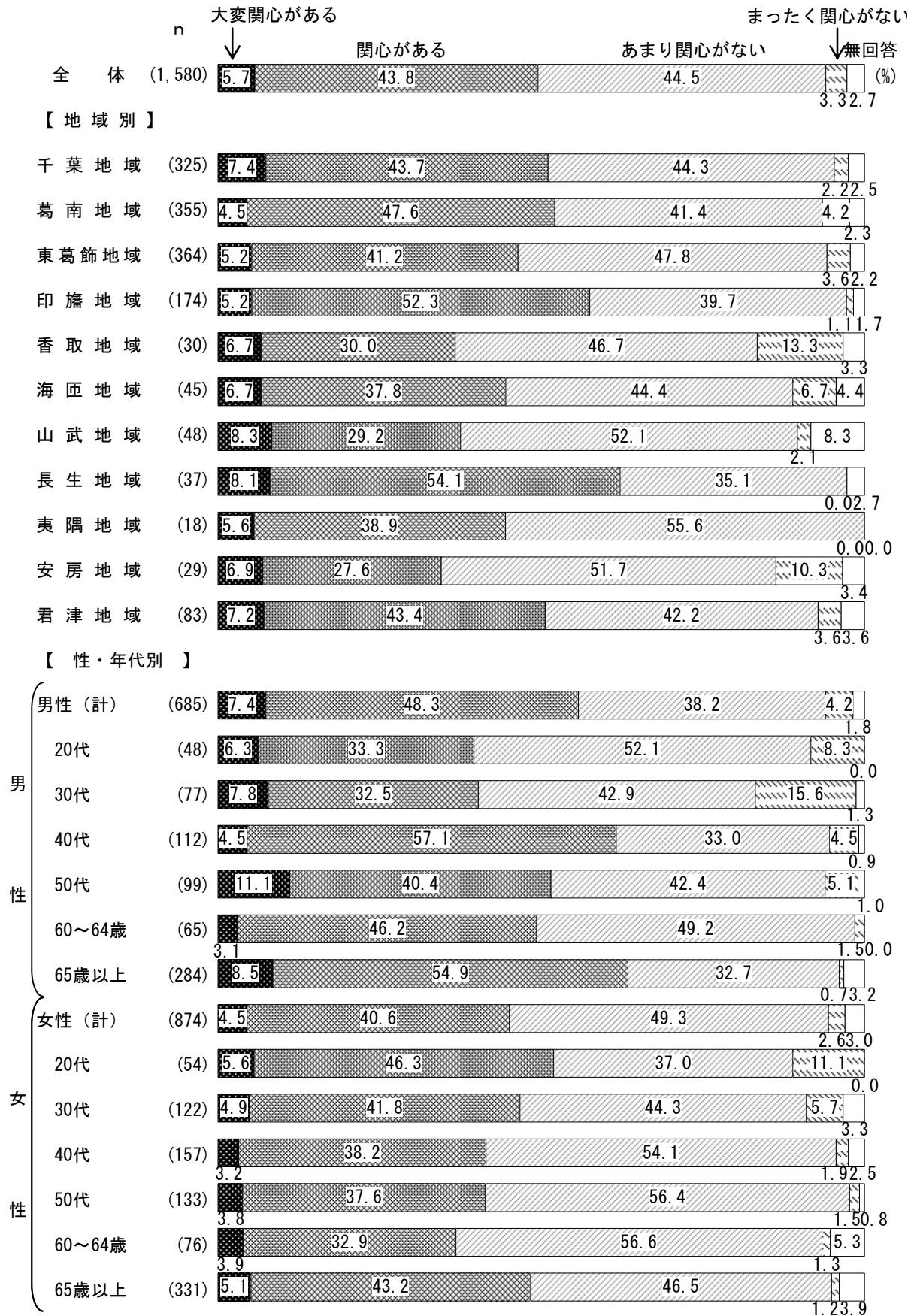
【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“長生地域”(62.2%)で6割を超え、“印旛地域”(57.5%)で約6割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-2)

【性・年代別】

性別でみると『関心がある』は男性(55.8%)で5割台半ばと高い。性・年代別でみると男性の65歳以上(63.4%)で6割台半ば、男性の40代(61.6%)で6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表8-2)

＜図表８－２＞県の施策や政策などについての関心度／地域別、性・年代別

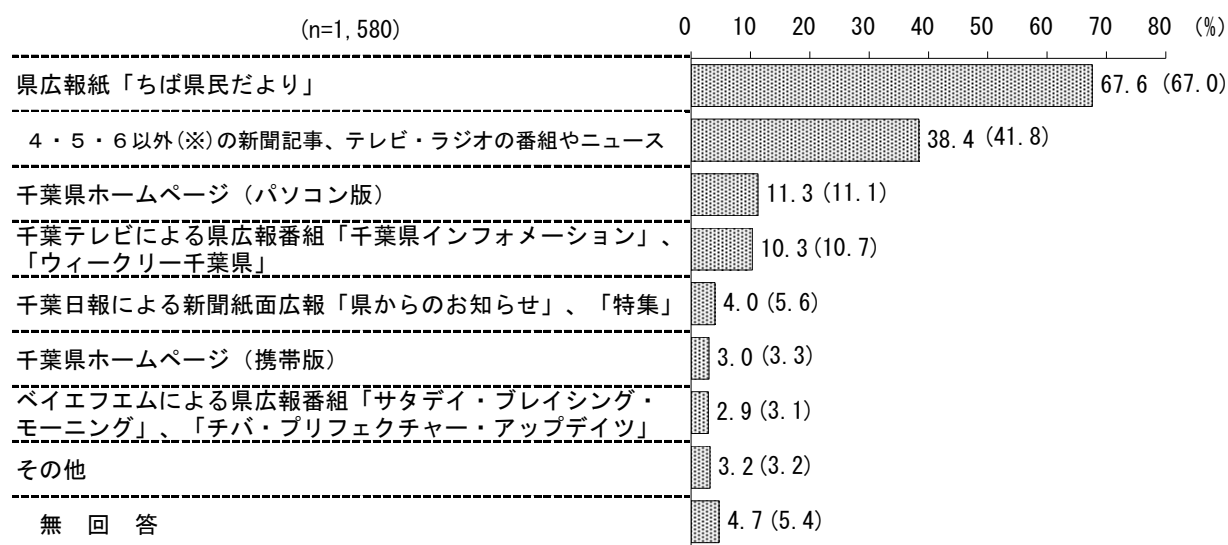


(2) 県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が約7割

問35 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(○はいくつでも)

<図表8-3> 県政に関する情報を得る手段 (複数回答)



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」(67.6%)が約7割で最も高く、以下、「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(38.4%)、「千葉県ホームページ (パソコン版)」(11.3%)、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(10.3%)と続いている。(図表8-3)

(※「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、4・5・6とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタデイ・ブレイジング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデート」』を指す)

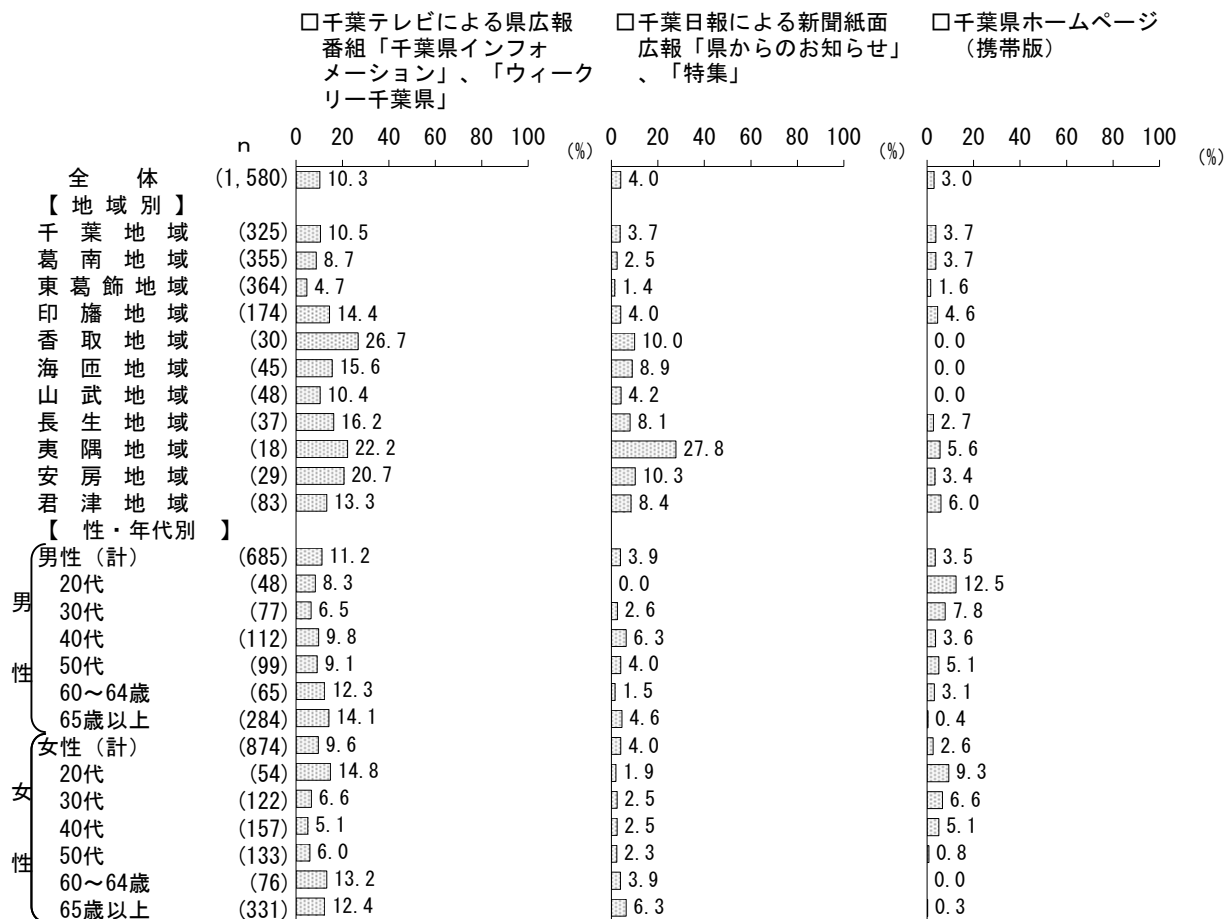
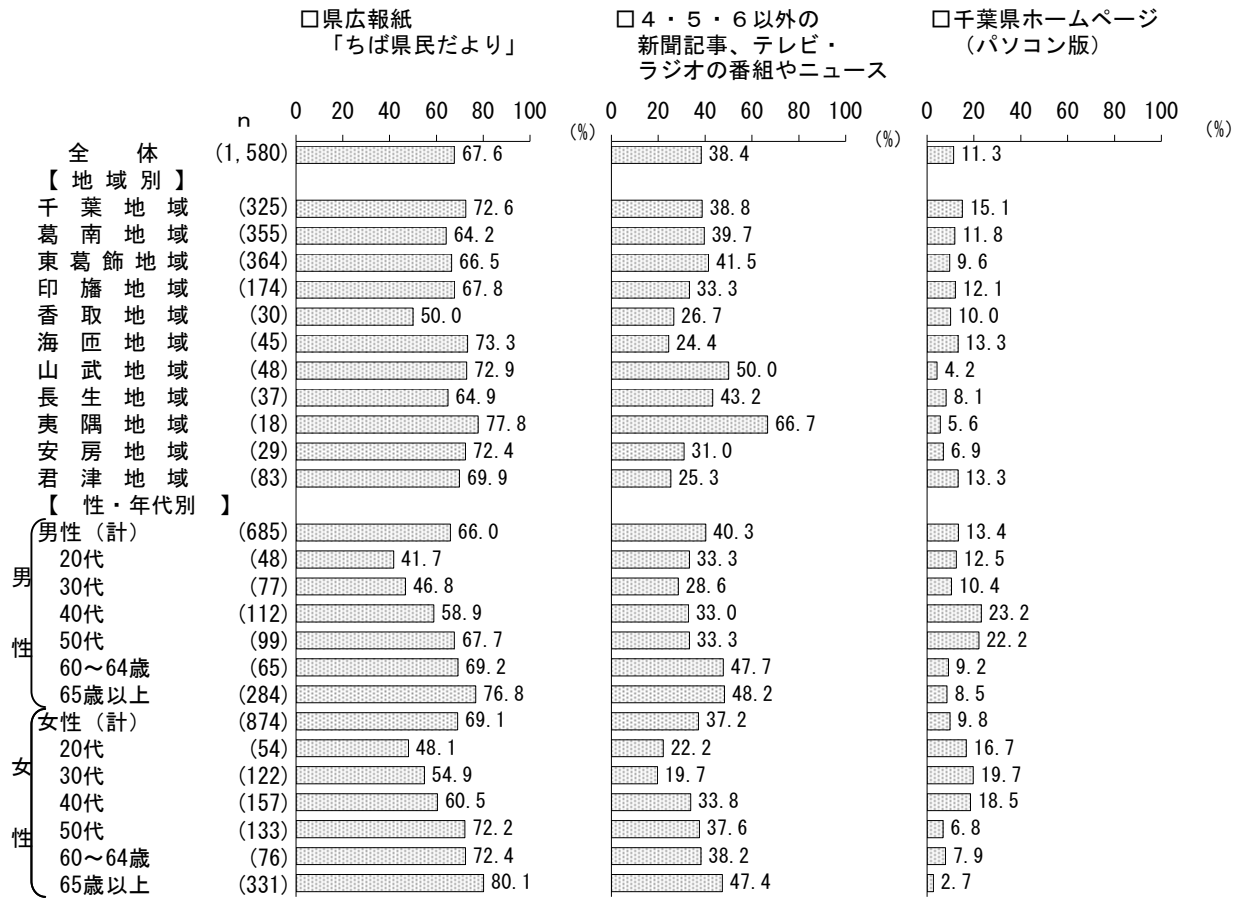
【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は“香取地域”(50.0%)以外の全ての地域で約6割台半ばから約8割となっている。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は“夷隅地域”(66.7%)で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表8-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は男女ともに年代が上がるほど高くなる傾向にあり、女性65歳以上(80.1%)は8割を超える。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の65歳以上(48.2%)、男性の60～64歳(47.7%)、女性の65歳以上(47.4%)で約5割と他の年代に比べて高くなっている。(図表8-4)

＜図表８－４＞県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位６項目）

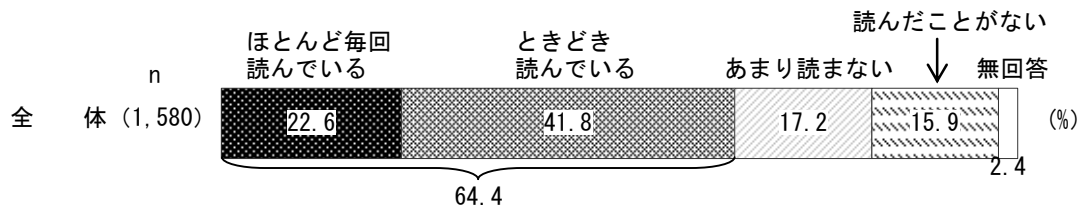


(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる』は6割台半ば

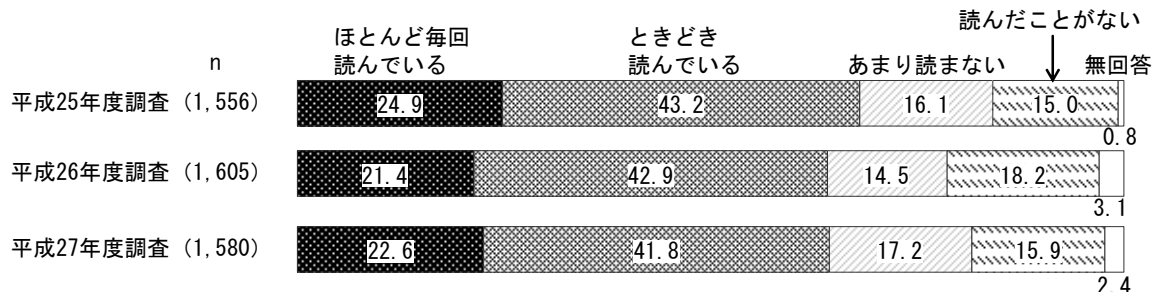
問36 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。(○は1つ)

<図表8-5> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(22.6%)は2割を超え、「ときどき読んでいる」(41.8%)は4割を超え、これらを合わせた『読んでいる』(64.4%)は6割台半ばとなっている。一方、「あまり読まない」(17.2%)は約2割、「読んだことがない」(15.9%)は1割台半ばとなっている。(図表8-5)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



【地域別】

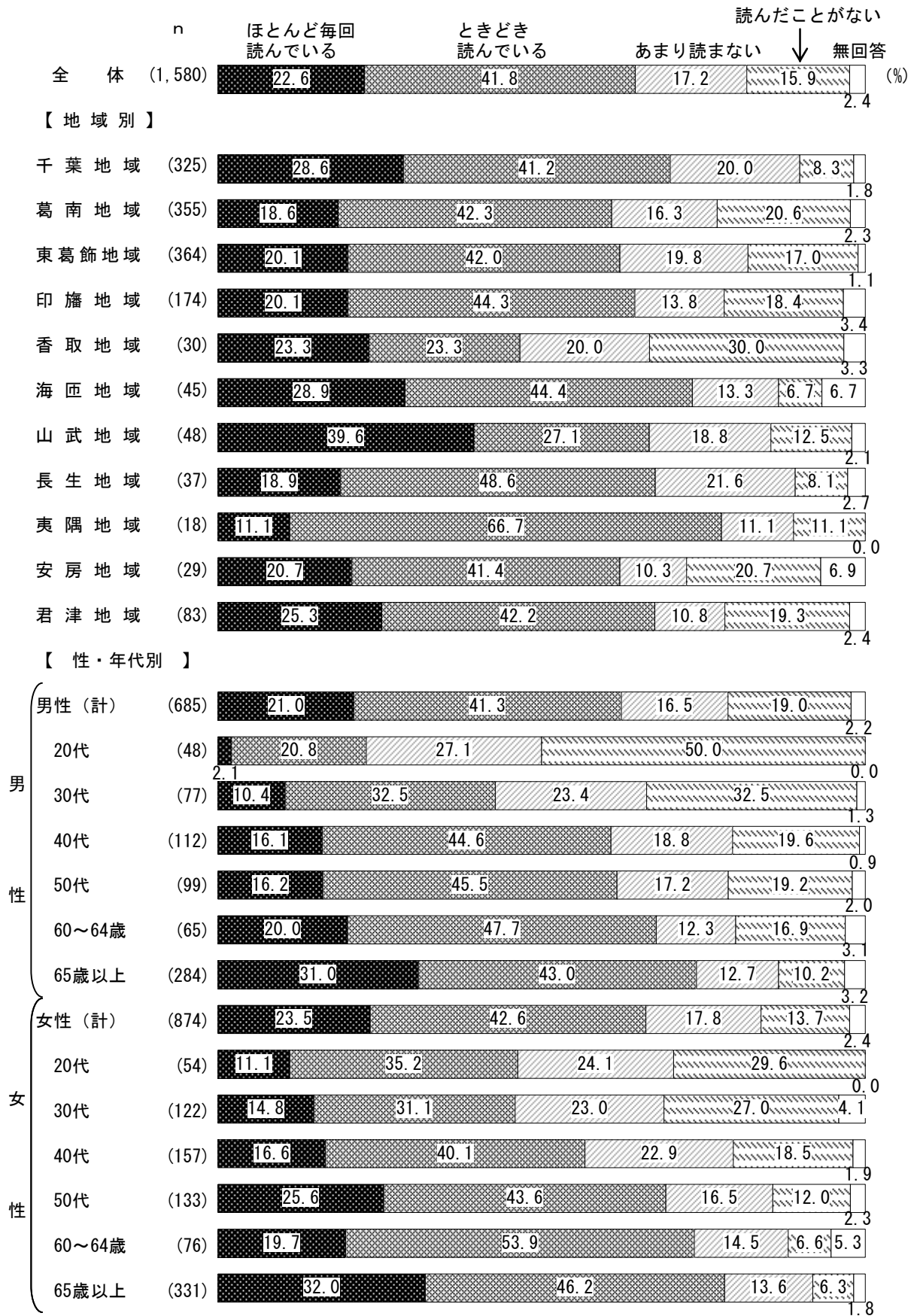
地域別にみると、『読んでいる』は“夷隅地域”(77.8%)で約8割、“海匝地域”(73.3%)で7割台半ば、“千葉地域”(69.8%)で約7割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-6)

【性・年代別】

年代が上がるにつれ、閲読頻度が高くなる傾向がみられ、性・年代別にみると『読んでいる』は女性の65歳以上(78.2%)で約8割、男性の65歳以上(73.9%)で7割台半ばと高くなっている。

一方、「読んだことがない」は男性の20代(50.0%)で5割と他の年代に比べて高くなっている。
(図表8-6)

＜図表８－６＞県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



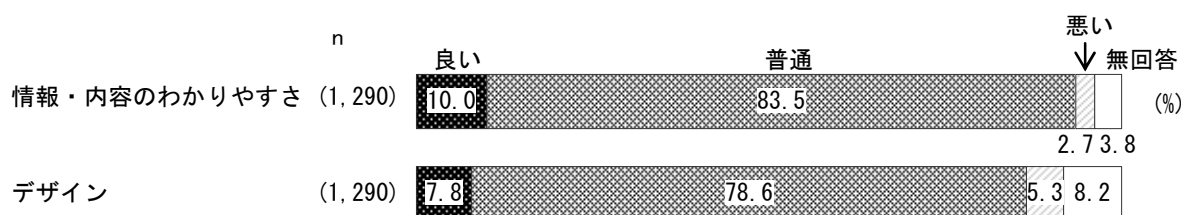
(3-1)「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさの「良い」は1割、デザインの「良い」は約1割

(問36で「ほとんど毎回読んでいる」「ときどき読んでいる」「あまり読まない」のいずれかをお答えの方に)

問36-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(〇はそれぞれ1つずつ)

<図表8-7>「ちば県民だより」の内容について

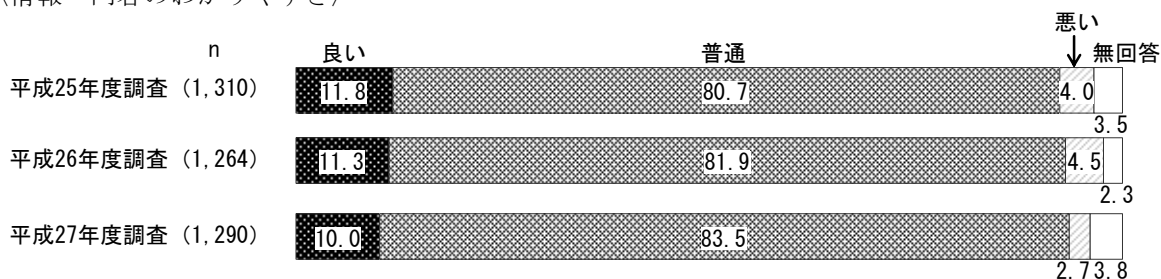


県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」と回答した1,290人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」(10.0%)は1割、「普通」(83.5%)は8割台半ばとなっている。〈デザイン〉において、「良い」(7.8%)は約1割、「普通」(78.6%)は約8割となっている。

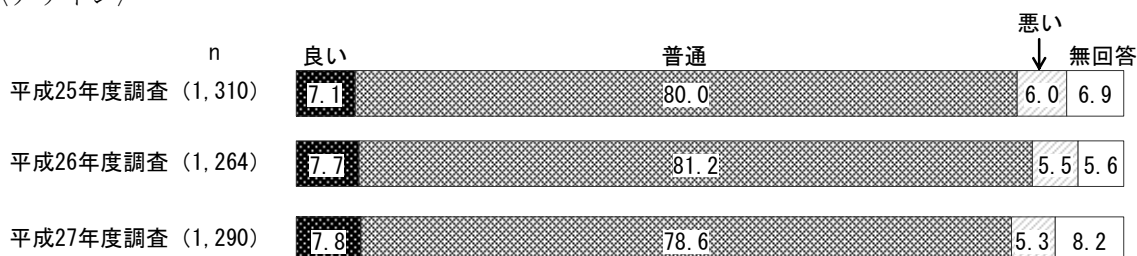
(図表8-7)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈デザイン〉



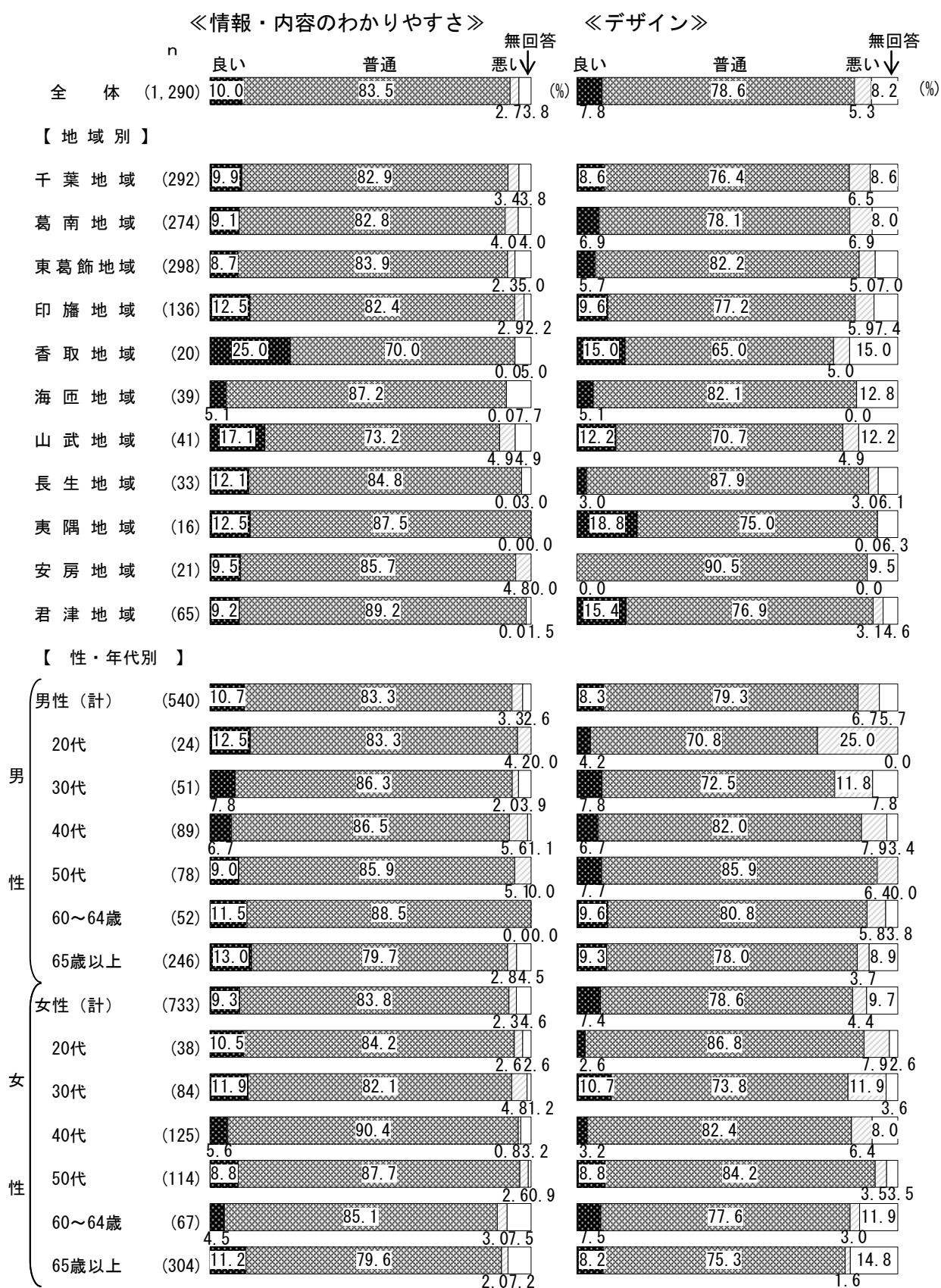
【地域別】

地域別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は「香取地域」(25.0%)で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっているが、いずれの地域でも「普通」が7割以上である。〈デザイン〉において、「普通」は「香取地域」を除く地域において7割から9割と高くなっている。(図表8-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉、〈デザイン〉において、「良い」は高くても1割台半ばに留まり、「普通」はすべての性・年代において7割から9割と高くなっている。(図表8-8)

＜図表８－８＞「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

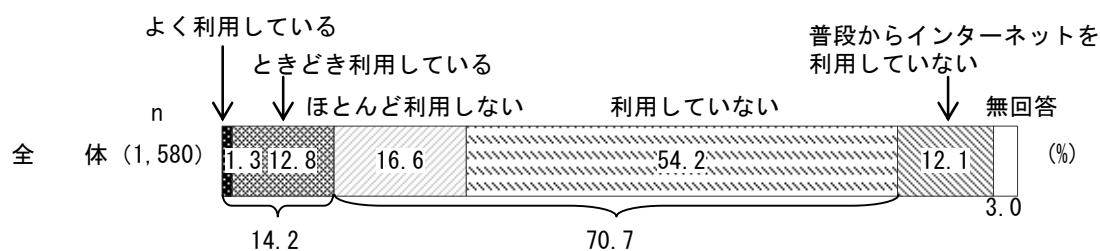


(4) 千葉県ホームページの利用頻度

◇『利用している』は1割台半ば

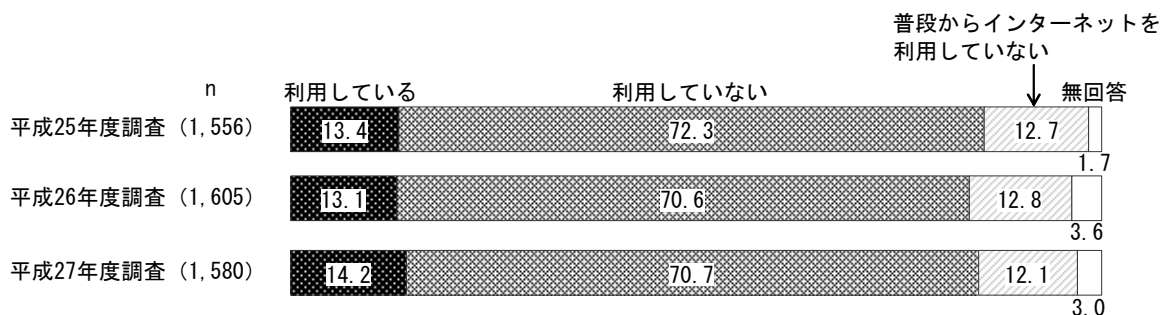
問37 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。(○は1つ)

<図表8-9>千葉県ホームページの利用頻度



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(1.3%)と「ときどき利用している」(12.8%)を合わせた『利用している』(14.2%)は1割台半ばとなっている。一方、「ほとんど利用しない」(16.6%)と「利用していない」(54.2%)を合わせた『利用していない』(70.7%)は7割となっている。(図表8-9)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



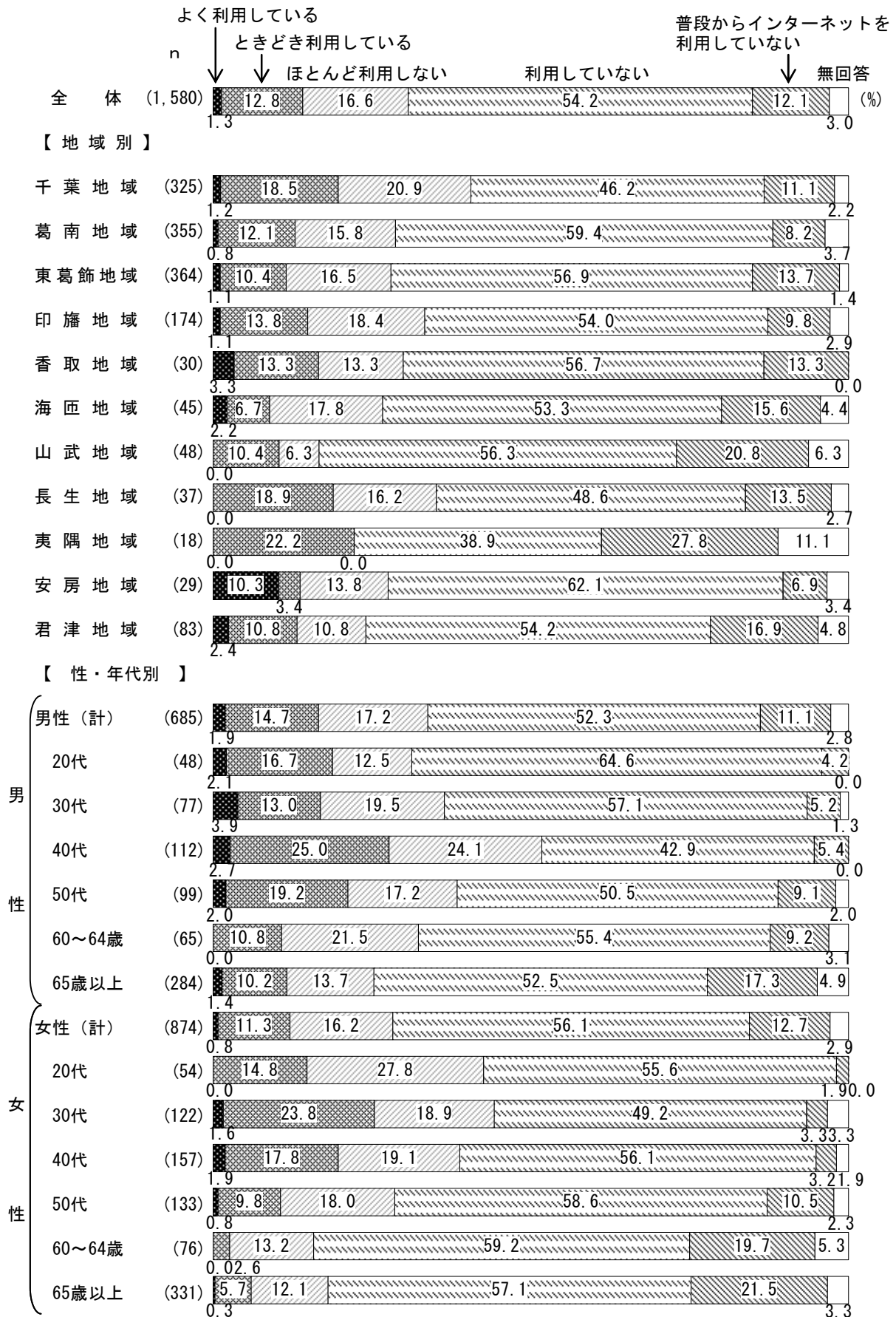
【地域別】

地域別にみると、『利用している』は“千葉地域”(19.7%)で約2割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用している』は男性の40代(27.7%)で約3割、女性の30代(25.4%)で2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表8-10)

＜図表８－１０＞千葉県ホームページの利用頻度／地域別、性・年代別



(4-1) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ

◇情報・内容のわかりやすさが「普通」は約8割

(問37で「よく利用している」「ときどき利用している」「ほとんど利用しない」のいずれかをお答えの方に)

問37-1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。(○は1つ)

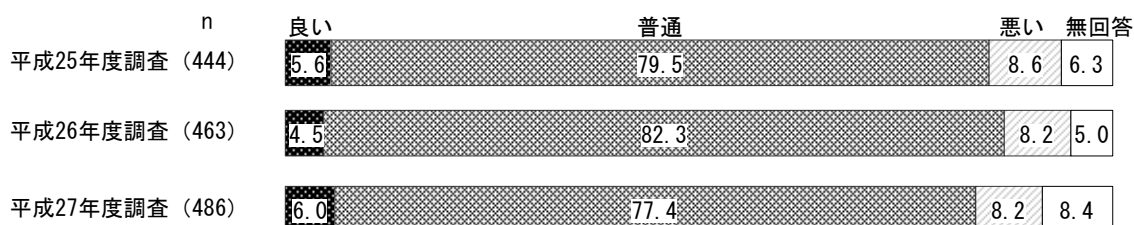
＜図表8-11＞千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ



千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「ほとんど利用しない」と回答した486人を対象に、千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさについて聞いたところ、「良い」(6.0%)は1割に達せず、「普通」(77.4%)は約8割、「悪い」(8.2%)は約1割となっている。

(図表8-11)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



【地域別】

地域別にみると、「普通」は“夷隅地域”(50.0%)以外で7割から9割と高くなっている。

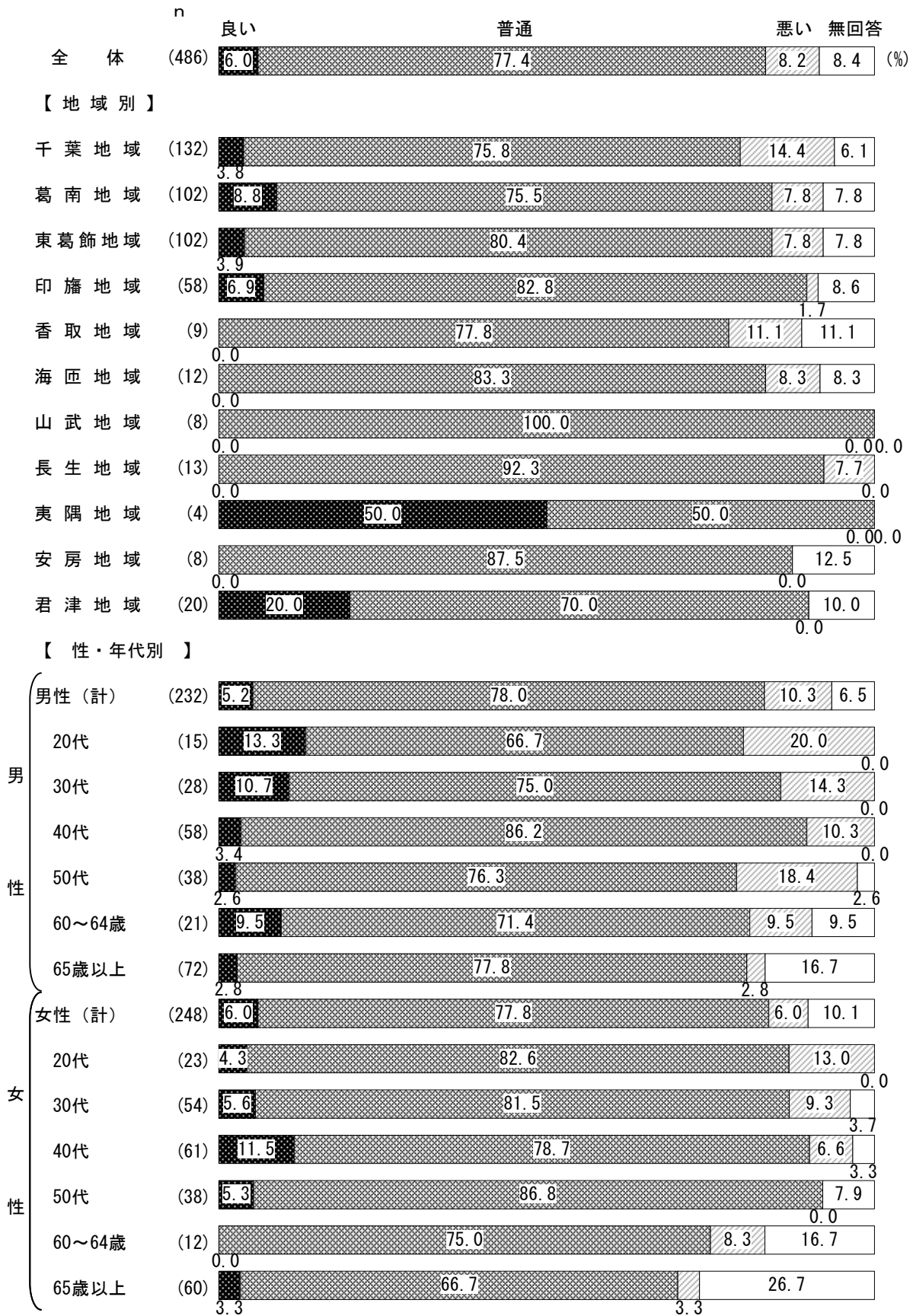
(図表8-12)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「普通」がいずれの世代でも6割台半ばから8割台半ばと高くなっている。

(図表8-12)

＜図表８－１２＞千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ／地域別、性・年代別

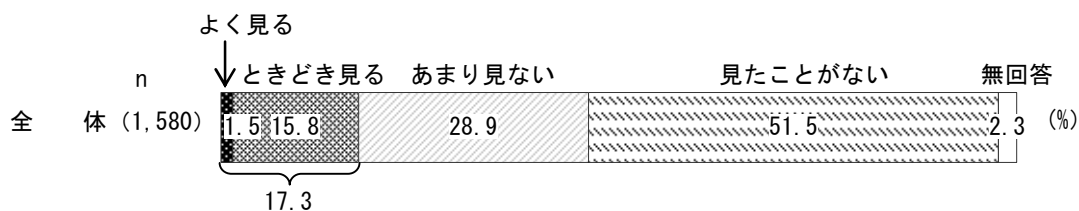


(5) 県の広報番組の視聴状況

◇『見る』は約2割

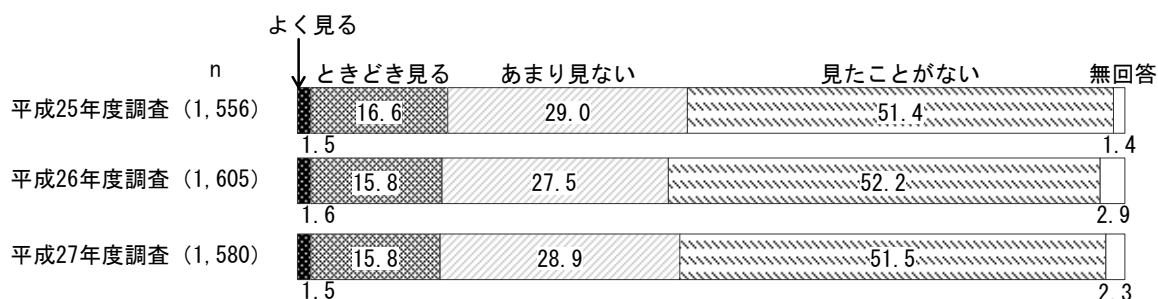
問38 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(○は1つ)

<図表 8-13> 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(1.5%)と「ときどき見る」(15.8%)を合わせた『見る』(17.3%)は約2割となっている。一方、「あまり見ない」(28.9%)は約3割で、「見たことがない」(51.5%)は5割を超えている。(図表 8-13)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



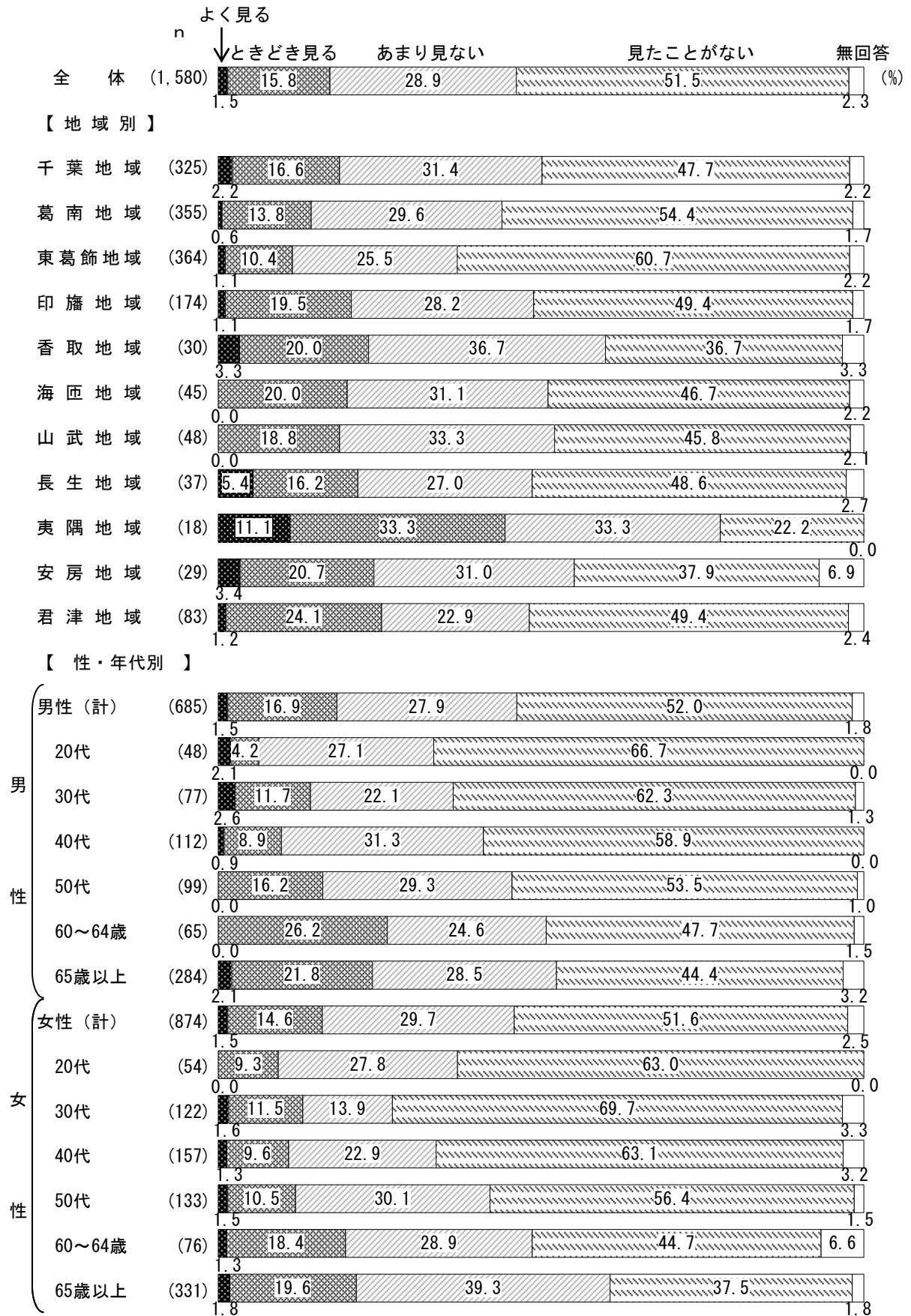
【地域別】

地域別にみると、『見る』は、“夷隅地域”(44.4%)で4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。一方、「見たことがない」は“東葛飾地域”(60.7%)で6割と高くなっている。(図表 8-14)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見る』は男性の60～64歳(26.2%)、男性の65歳以上(23.9%)で2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、「見たことがない」は女性の30代(69.7%)で約7割、男性の20代(66.7%)で6割台半ばと高くなっている。(図表 8-14)

<図表8-14> 県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

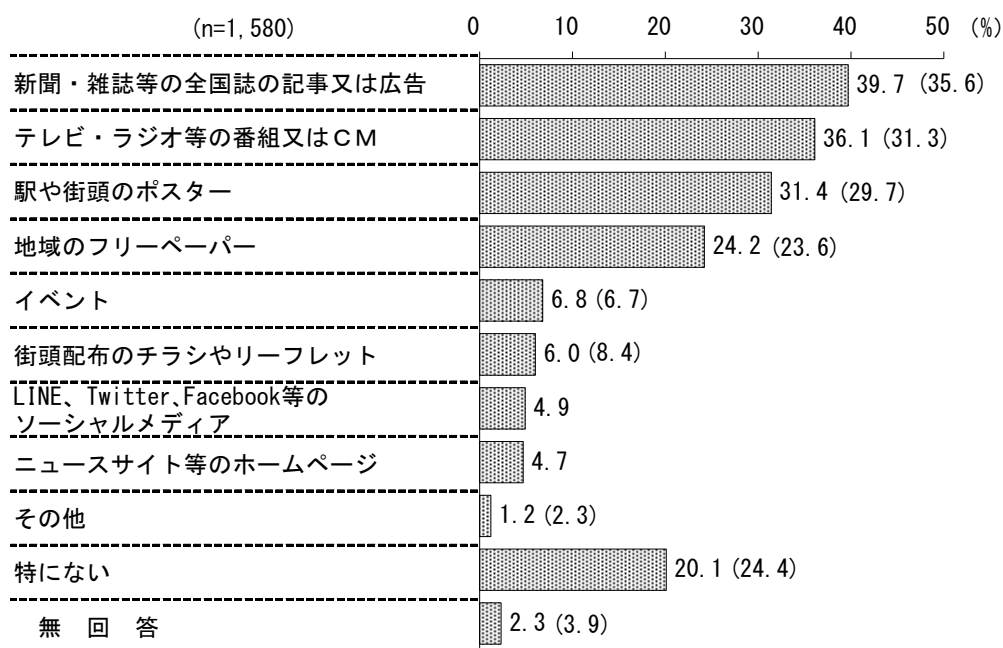


(6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

◇「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」が約4割

問39 あなたは、県の広報紙や広報番組（問35の選択肢「1」～「6」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（〇はいくつでも）

＜図表8-15＞県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況を聞いたところ、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」（39.7%）が約4割と最も高くなっており、以下、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」（36.1%）、「駅や街頭のポスター」（31.4%）、「地域のフリーペーパー」（24.2%）が続いている。（図表8-15）

（※問35の選択肢「1」～「6」に掲げるものとは、『1 県広報紙「ちば県民だより」』、『2 千葉県ホームページ（パソコン版）』、『3 千葉県ホームページ（携帯版）』、『4 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」』、『5 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」』、『6 ベイエフエムによる県広報番組「サタデー・ブレイシング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデート」』を指す）

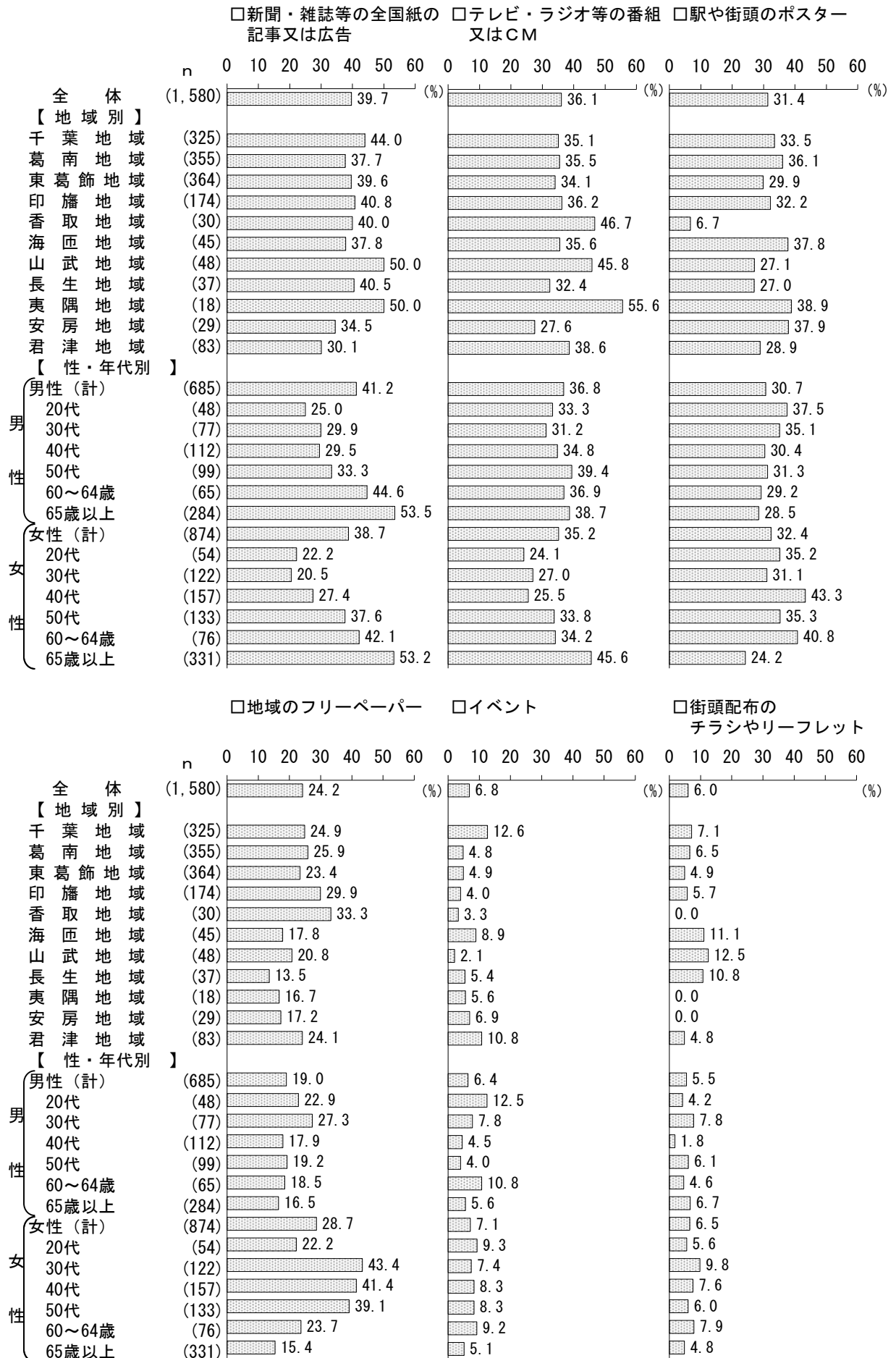
【地域別】

地域別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は“山武地域”、“夷隅地域”（同率50.0%）で5割と他の地域に比べて高くなっている。「駅や街頭のポスター」は“香取地域”（6.7%）で1割に達しておらず、低くなっている。（図表8-16）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は男性の65歳以上（53.5%）、女性の65歳以上（53.2%）で5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は女性の65歳以上（45.6%）で4割台半ばと高くなっている。（図表8-16）

＜図表８－１６＞県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況／地域別、性・年代別（上位６項目）

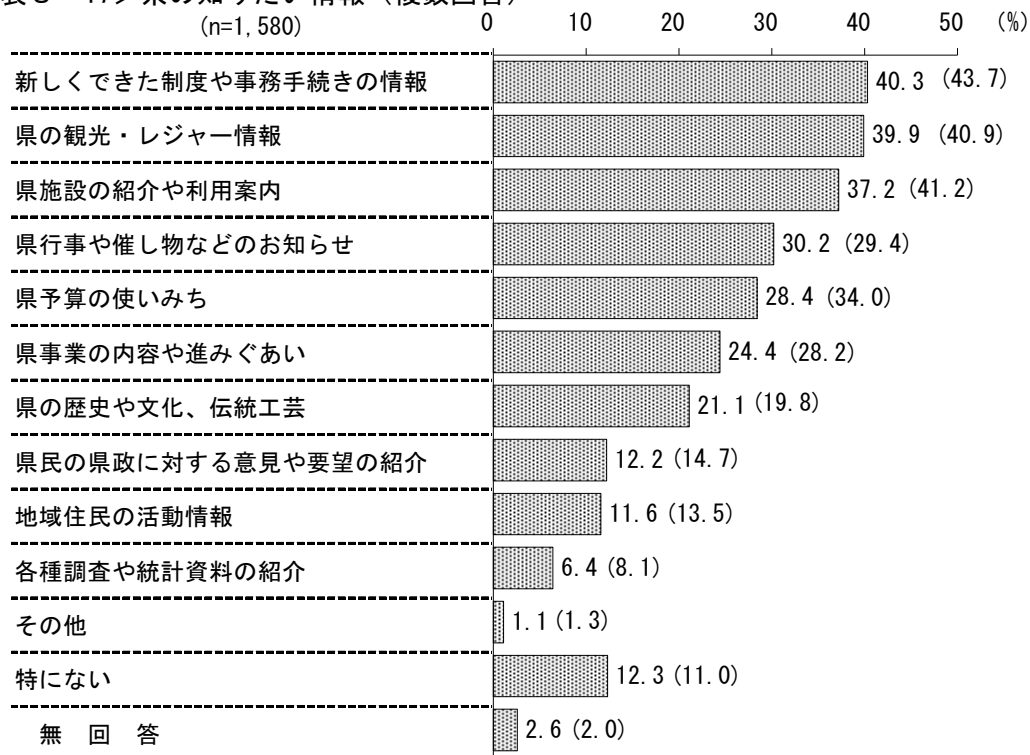


(7) 県の知りたい情報

◇「新しくできた制度や事務手続きの情報」が4割

問40 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。(○はいくつでも)

<図表8-17>県の知りたい情報(複数回答)



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

県の知りたい情報を聞いたところ、「新しくできた制度や事務手続きの情報」(40.3%)が4割と最も高くなっている。以下、「県の観光・レジャー情報」(39.9%)、「県施設の紹介や利用案内」(37.2%)と続いている。(図表8-17)

【地域別】

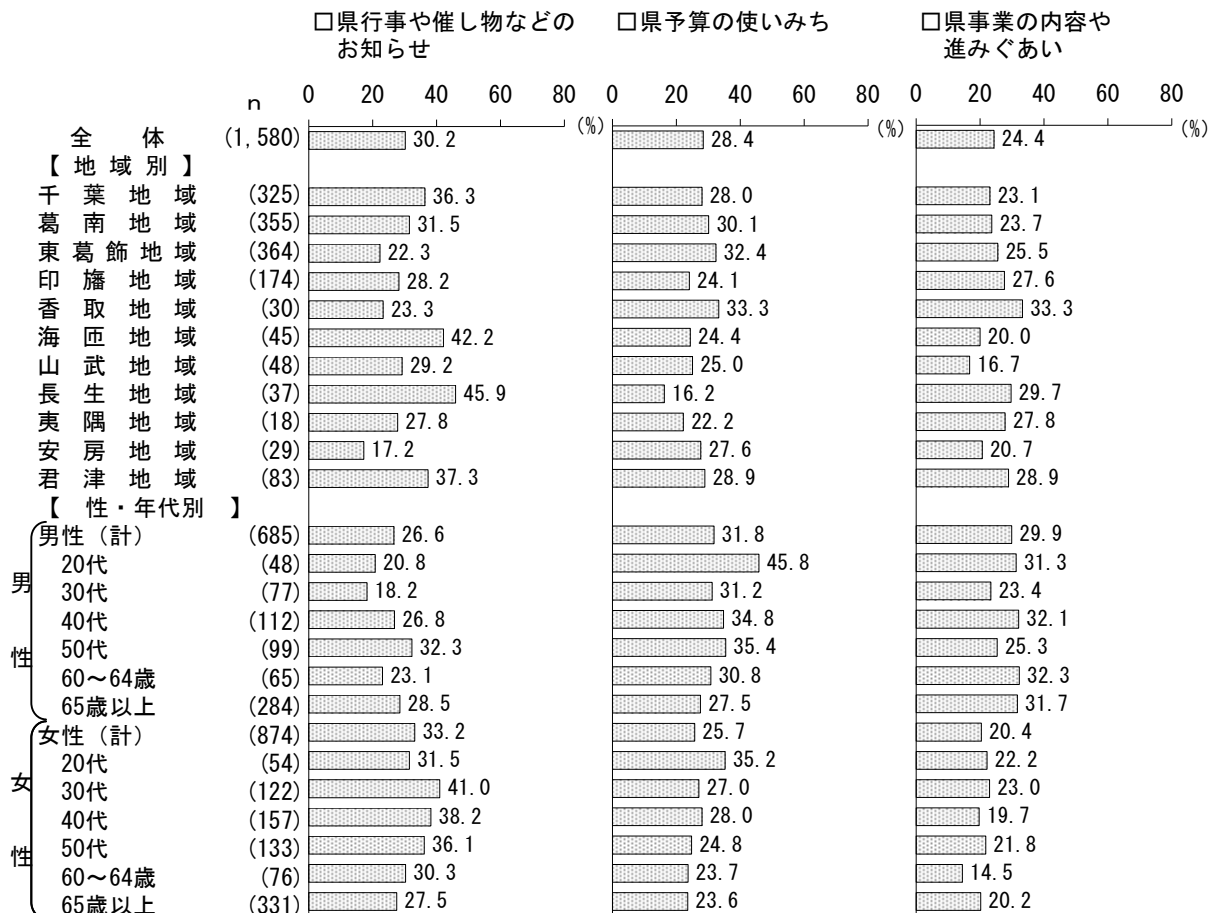
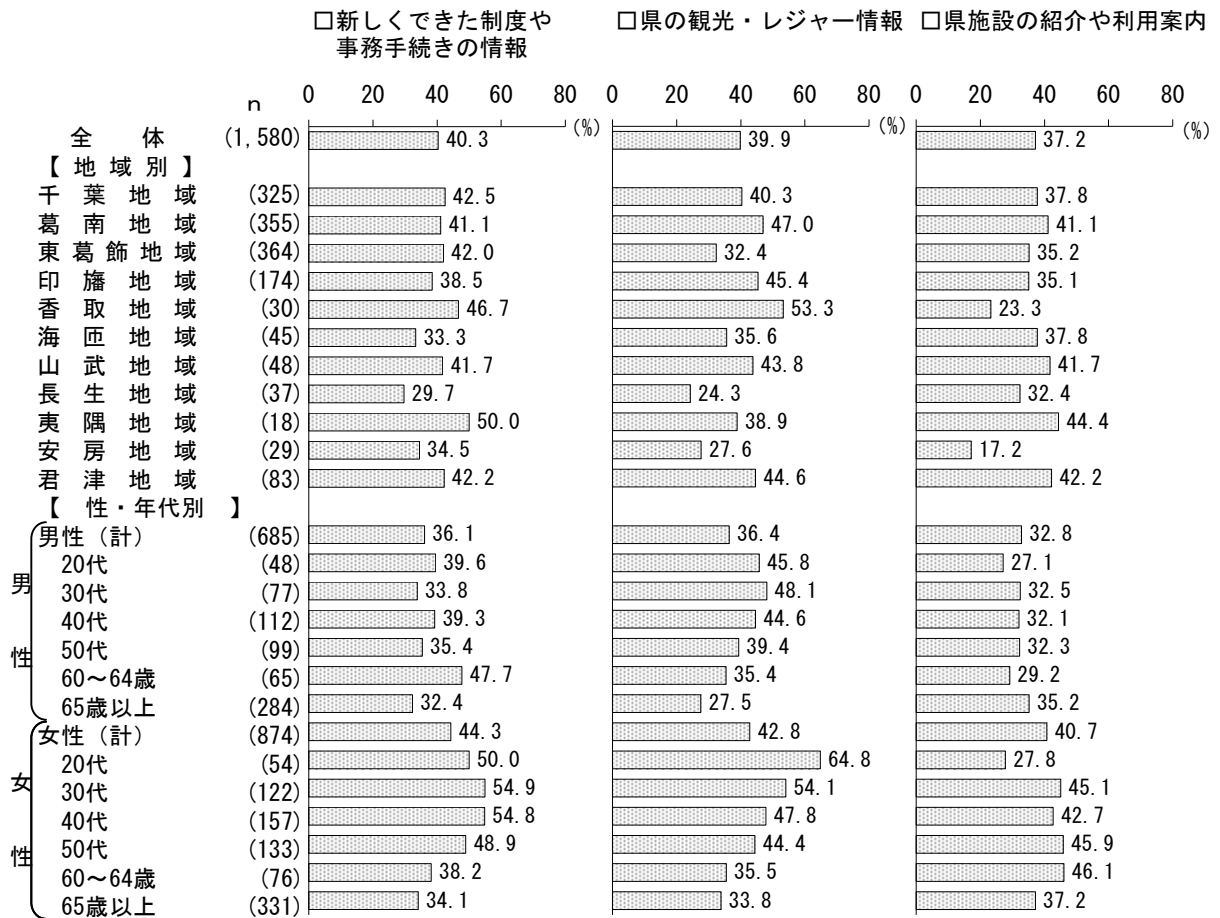
地域別にみると、「県の観光・レジャー情報」は、“香取地域”(53.3%)で5割台半ば、“葛南地域”(47.0%)で約5割と他の地域に比べて高くなっている。「県行事や催し物などのお知らせ」は“長生地域”(45.9%)で4割台半ばと高くなっている。(図表8-18)

【性・年代別】

性別でみると、「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性(44.3%)が4割台半ばと高く、性・年代別にみると、女性の30代(54.9%)、女性の40代(54.8%)で5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「県の観光・レジャー情報」は女性の20代(64.8%)で6割台半ば、「県施設の紹介や利用案内」は女性の60～64歳(46.1%)、女性の50代(45.9%)が4割台半ばと高くなっている。

(図表8-18)

＜図表８－18＞県の知りたい情報／地域別、性・年代別（上位６項目）

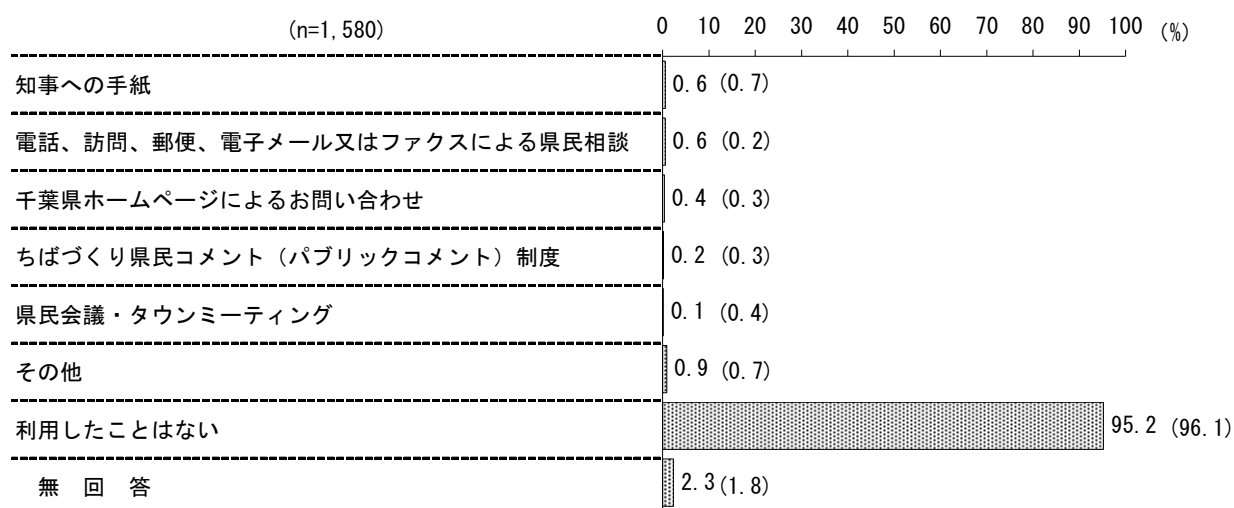


(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験

◇「利用したことはない」が9割台半ば

問41 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙など、以下にあげるものの中で今までに意見を述べたことがありますか。(〇はいくつでも)

<図表 8-19> 知事への手紙などで意見を述べた経験 (複数回答)



注) () の数字は平成 26 年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

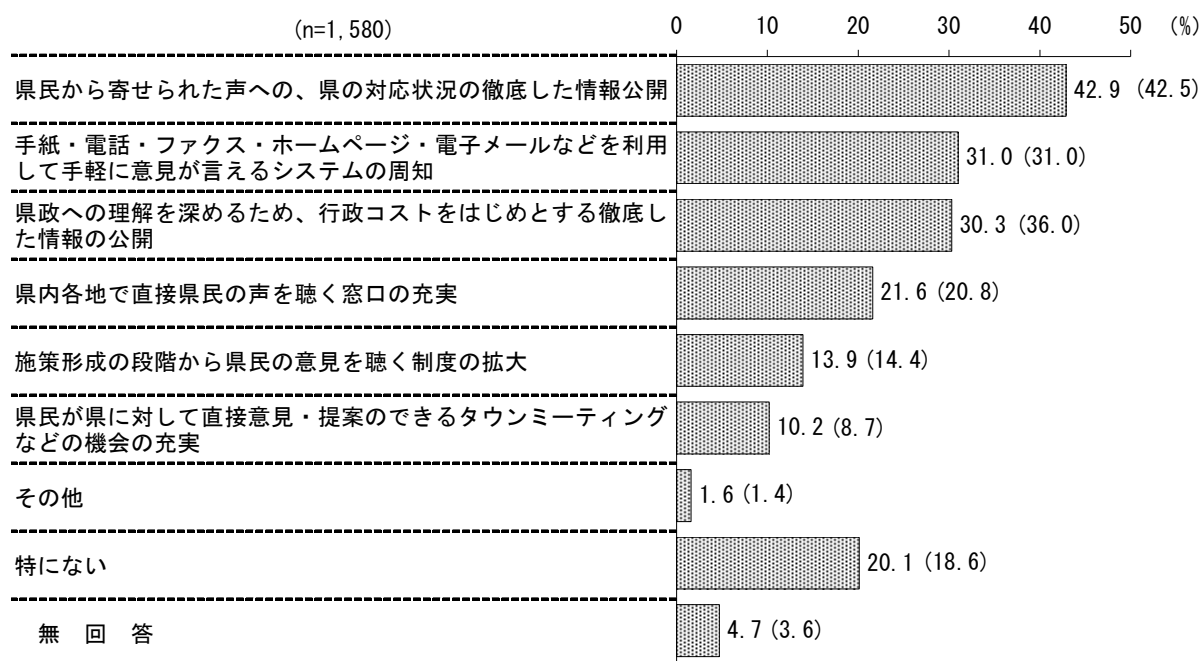
知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」(95.2%) が9割台半ばとなっている。利用したことのあるものでは、「知事への手紙」「電話、訪問、郵便、電子メール又はファクスによる県民相談」(同率0.6%) となっている。(図表 8-19)

(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

◇「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が4割を超える

問42 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

＜図表8-20＞県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと（複数回答）



注) () の数字は平成26年度の同様の項目による調査結果 n=1,605

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(42.9%)が4割を超えて最も高くなっている。以下、「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(31.0%)、「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(30.3%)などが続いている。(図表8-20)

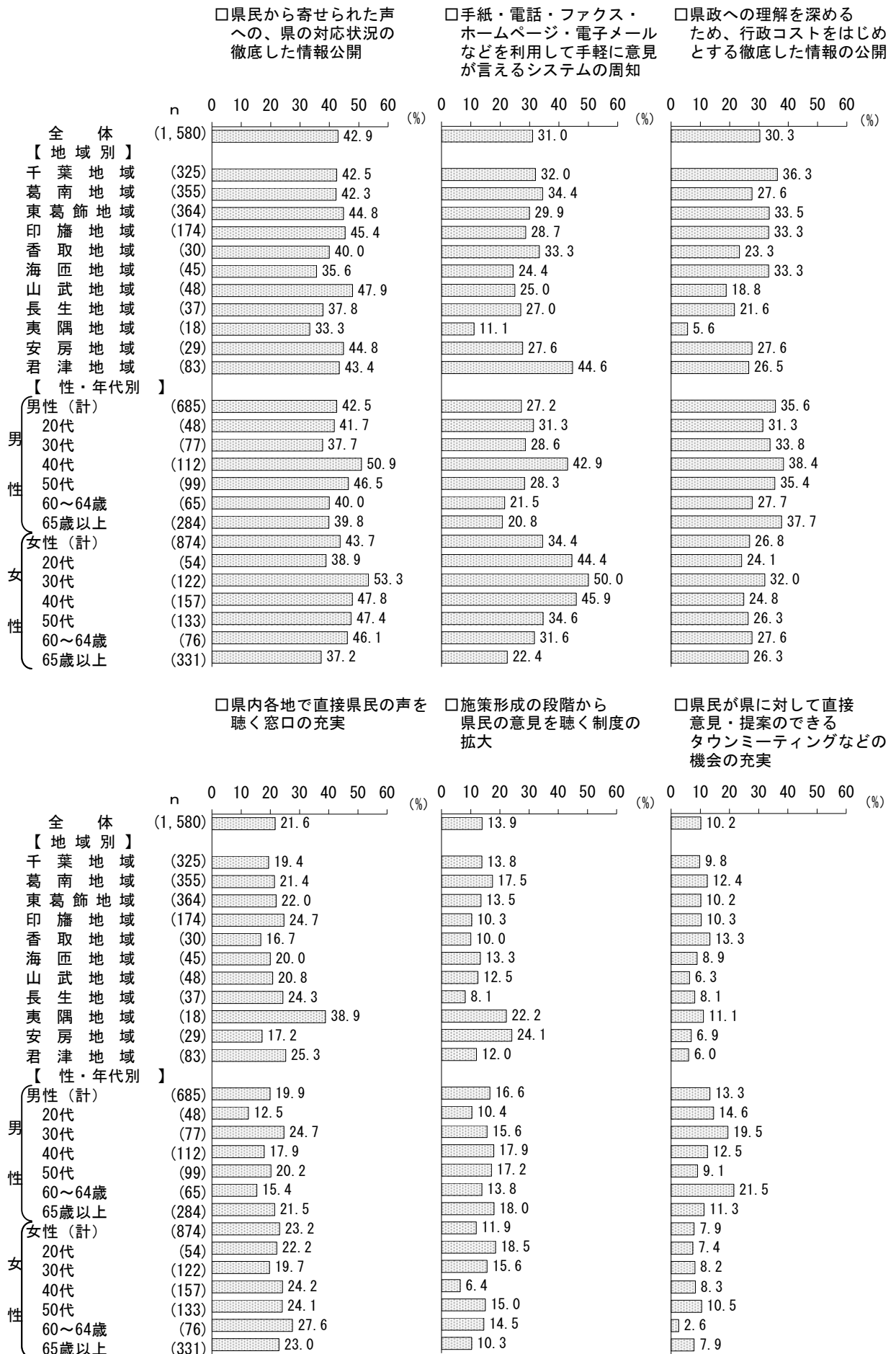
【地域別】

地域別にみると、「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」は“君津地域”(44.6%)で4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」は“千葉地域”(36.3%)で3割台半ばと高くなっている。(図表8-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は女性の30代(53.3%)で5割台半ば、「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」は女性の30代(50.0%)で5割と高くなっている。(図表8-21)

＜図表８－21＞県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと／地域別、性・年代別（上位６項目）

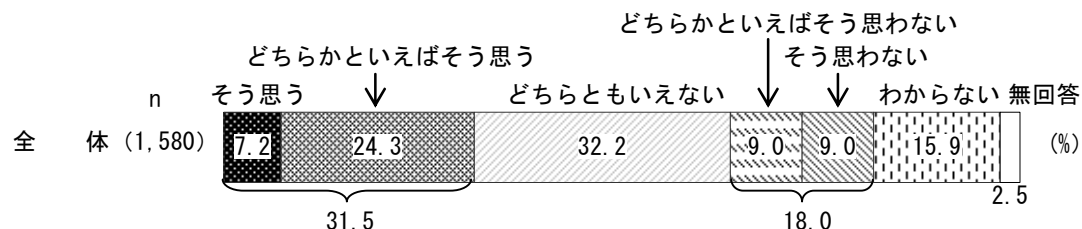


(10) 県政への意見の反映

◇『そう思う』は3割を超える

問43 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。(○は1つ)

<図表 8-22> 県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(7.2%)と「どちらかといえばそう思う」(24.3%)を合わせた『そう思う』(31.5%)は3割を超えている。一方、「そう思わない」(9.0%)と「どちらかといえばそう思わない」(9.0%)を合わせた『そう思わない』(18.0%)は約2割となっている。(図表 8-22)

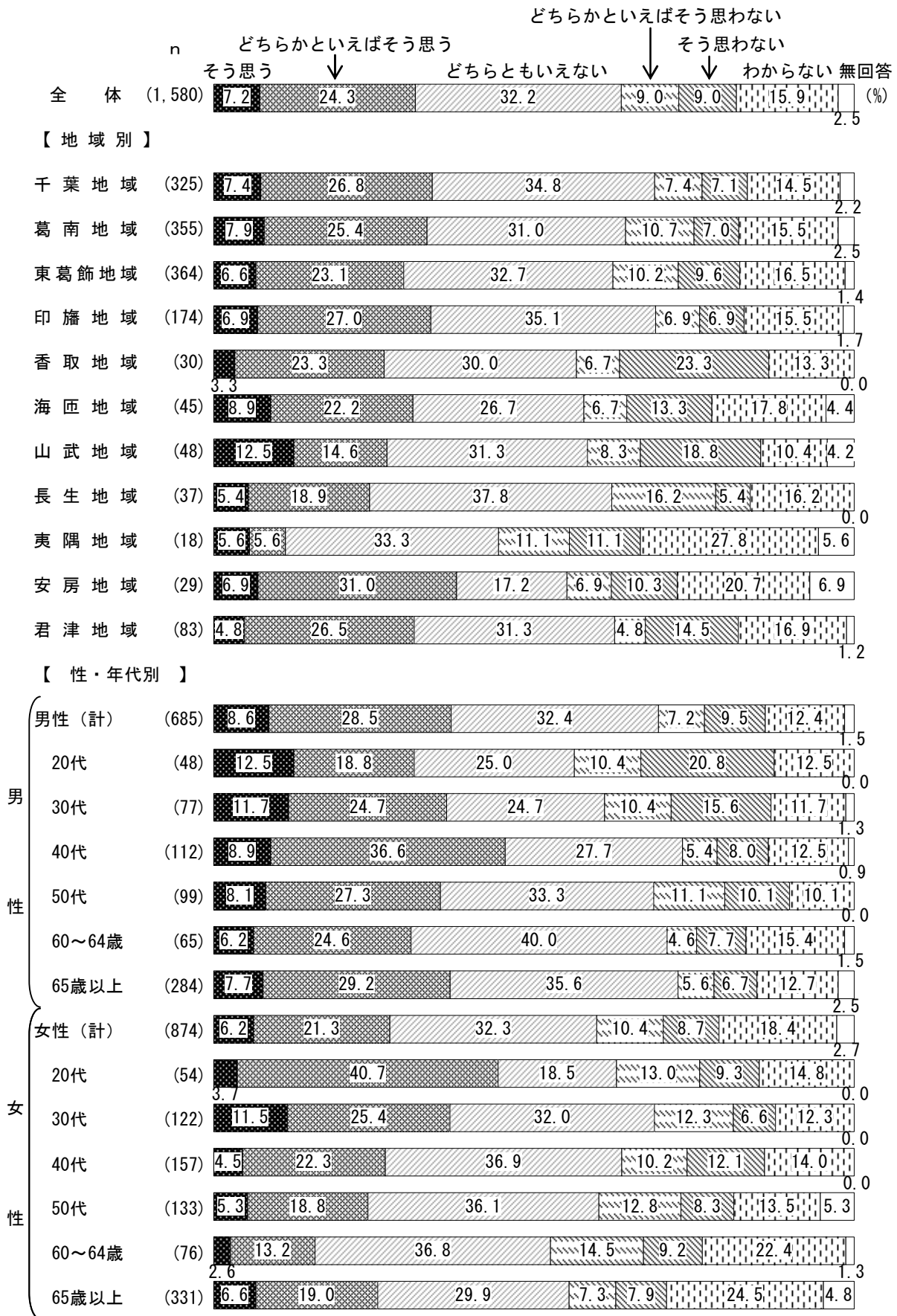
〔参考〕平成 25 度・平成 26 度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成25年度調査 (1,556)	32.7	16.5	50.8
平成26年度調査 (1,605)	29.0	17.1	53.9
平成27年度調査 (1,580)	31.5	18.0	50.5

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は、男性の40代 (45.5%)、女性の20代 (44.4%) で4割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の20代 (31.3%) で3割を超えて高くなっている。(図表 8-23)

＜図表８－23＞県政への意見の反映／地域別、性・年代別



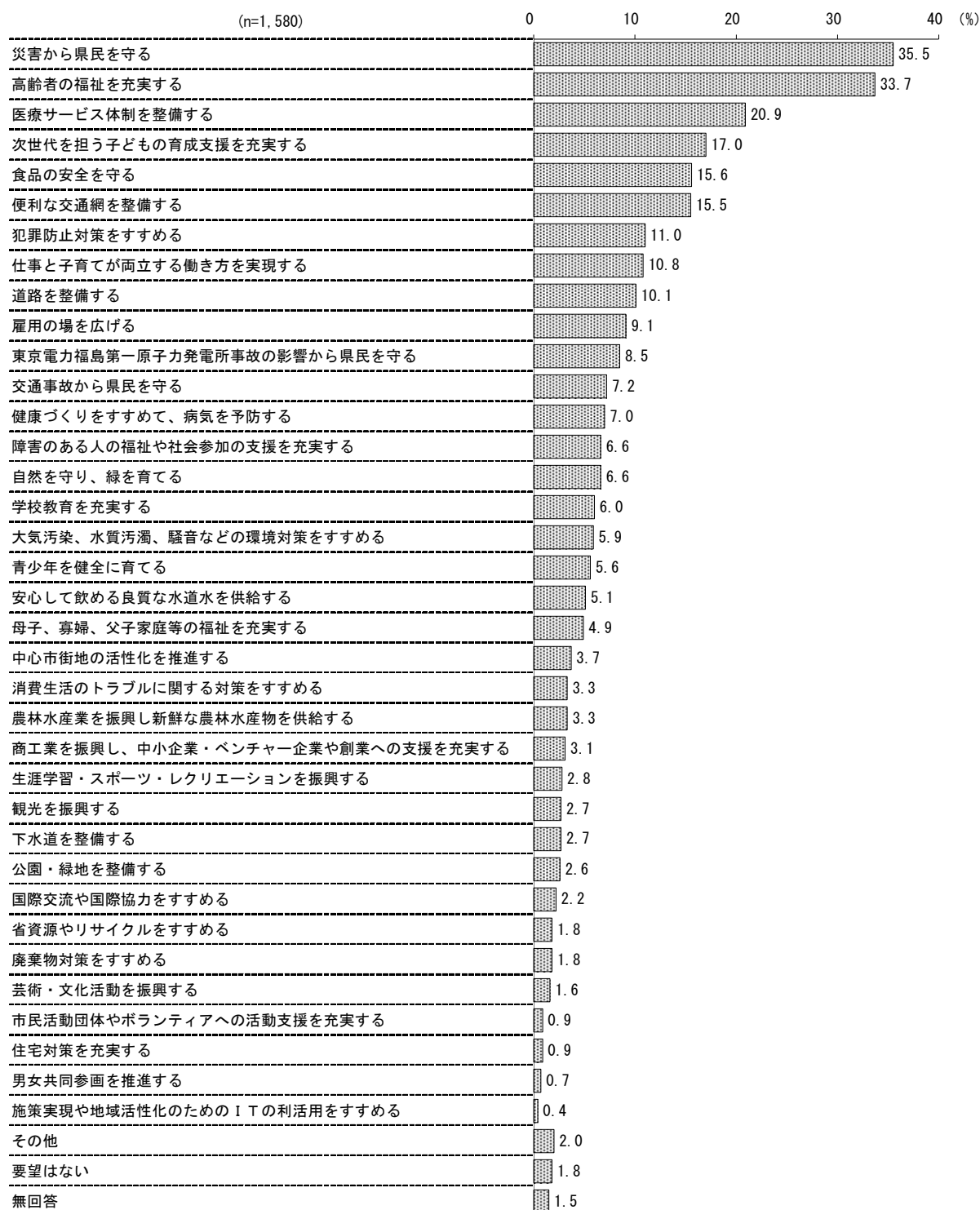
9 県政への要望

(1) 県政への要望

◇「災害から県民を守る」が3割台半ばで最も高く、次いで「高齢者の福祉を充実する」

問44 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

<図表9-1> 県政への要望（複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」(35.5%)が1位で、次いで「高齢者の福祉を充実する」(33.7%)が2位、「医療サービス体制を整備する」(20.9%)が3位となっており、県民からの要望が特に高い。以下、「次世代を担う子供の育成支援を充実する」(17.0%)、「食品の安全を守る」(15.6%)、「便利な交通網を整備する」(15.5%)と続いている。(図表9-1)

【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」は“千葉地域”、“葛南地域”、“山武地域”、“夷隅地域”の4つの地域で第1位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は“東葛飾地域”、“印旛地域”、“香取地域”“海匝地域”、“長生地域”、“安房地域”、“君津地域”で、「医療サービス体制を整備する」は“香取地域”で、「雇用の場を広げる」は“安房地域”で第1位となっている。(図表9-3~4)

【性・年代別】

性別にみると、順位は異なるが、男女ともに上位3位までは「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」となっている。

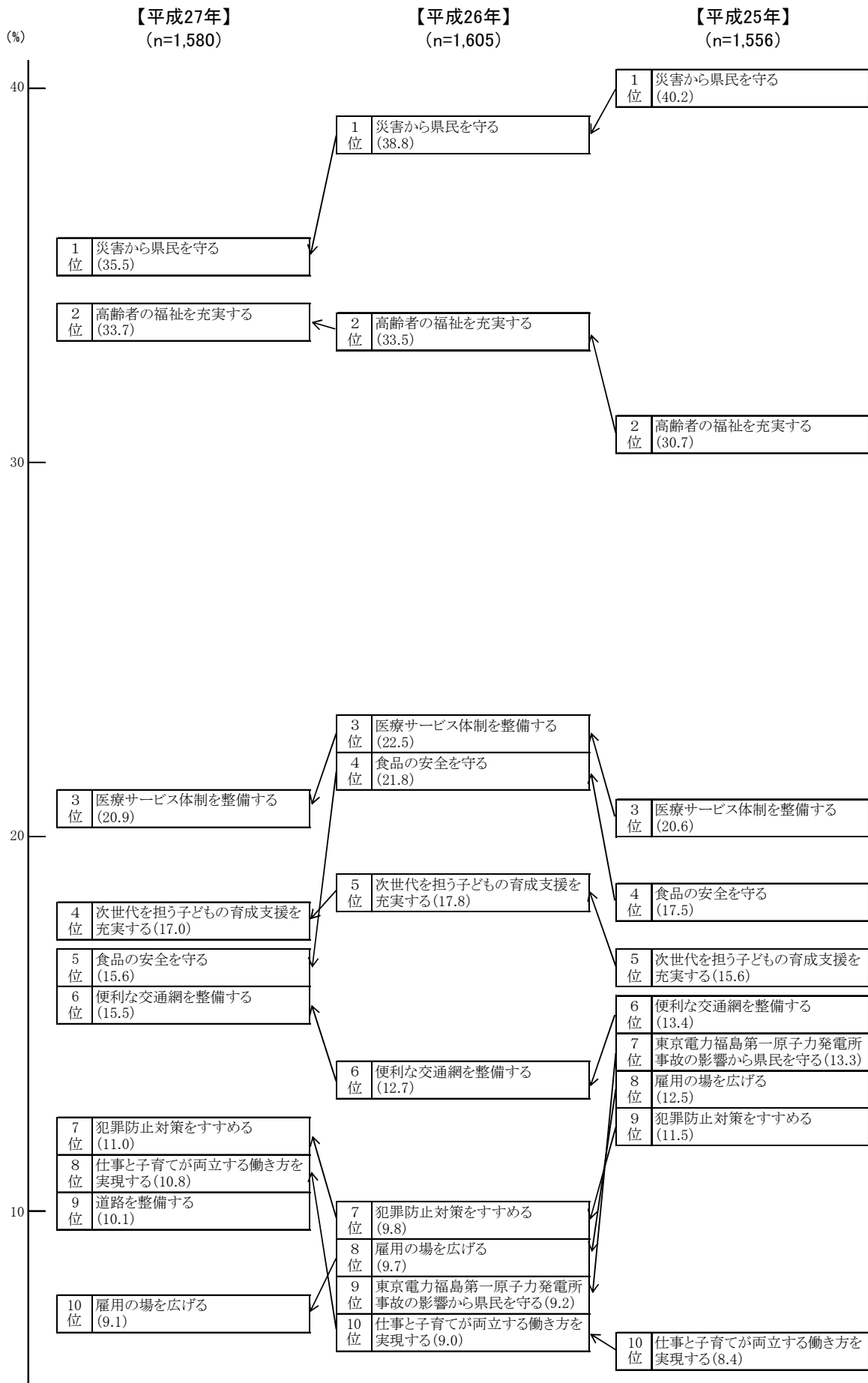
性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は、男性の50代(43.4%)、男性の30代(31.2%)、男性の40代(24.1%)、女性の20代(40.7%)、女性の30代(36.1%)、女性の40代(29.9%)で第1位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は、女性65歳以上(50.5%)、女性の50代(44.4%)、女性の60~64歳(43.4%)、男性の65歳以上(40.1%)、男性の60~64歳(38.5%)で第1位となっている。「便利な交通網を整備する」は男性の20代(33.3%)で第1位となっている。(図表9-3~4)

【参考】平成25年以降の同様の項目による調査結果との比較(上位10項目の推移)(図表9-2)

【経年変化の特徴】

1. 「災害から県民を守る」は、25年度(40.2%)、26年度(38.8%)に引き続き第1位(35.5%)だが、この2年で4.7ポイントの減少となっている。
2. 「高齢者の福祉を充実する」は、26年度(33.5%)と同程度の第2位(33.7%)、「医療サービス体制を整備する」は26年度(22.5%)に引き続き第3位(20.9%)となっている。
3. 26年度の第4位「食品の安全を守る」(21.8%)は第5位(15.6%)に、順位を下げた。

＜図表 9－2＞県政への要望／上位 10 項目の推移



＜図表９－３＞県政への要望（上位１位～５位）／地域別、性別、性・年代別

属性		順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体			1, 580	災害から県民を守る (35.5)	高齢者の福祉を充実する (33.7)	医療サービス体制を整備する (20.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.0)	食品の安全を守る (15.6)
【 地 域 別 】								
千 葉 地 域			325	災害から県民を守る (35.4)	高齢者の福祉を充実する (31.4)	医療サービス体制を整備する (20.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.7)	便利な交通網を整備する (18.2)
葛 南 地 域			355	災害から県民を守る (39.2)	高齢者の福祉を充実する (29.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.7)	医療サービス体制を整備する (19.4)	食品の安全を守る (14.9)
東葛飾地 域			364	高齢者の福祉を充実する (37.6)	災害から県民を守る (36.0)	医療サービス体制を整備する (19.5)	食品の安全を守る (17.0)	便利な交通網を整備する (15.7)
印 旛 地 域			174	高齢者の福祉を充実する (35.6)	災害から県民を守る (34.5)	医療サービス体制を整備する (29.3)	便利な交通網を整備する (17.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.2)
香 取 地 域			30	高齢者の福祉を充実する／医療サービス体制を整備する (33.3)		災害から県民を守る (26.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／雇用の場を広げる (16.7)	
海 匝 地 域			45	高齢者の福祉を充実する (40.0)	災害から県民を守る (35.6)	医療サービス体制を整備する (22.2)	便利な交通網を整備する (17.8)	道路を整備する
山 武 地 域			48	災害から県民を守る (41.7)	高齢者の福祉を充実する (25.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／医療サービス体制を整備する (22.9)		便利な交通網を整備する (16.7)
長 生 地 域			37	高齢者の福祉を充実する (40.5)	災害から県民を守る (32.4)	食品の安全を守る／雇用の場を広げる／医療サービス体制を整備する (21.6)		
夷 隅 地 域			18	災害から県民を守る (44.4)	便利な交通網を整備する (33.3)	高齢者の福祉を充実する (27.8)	食品の安全を守る／医療サービス体制を整備する (22.2)	
安 房 地 域			29	高齢者の福祉を充実する／雇用の場を広げる (41.4)		災害から県民を守る／便利な交通網を整備する／医療サービス体制を整備する／仕事と子育てが両立する働き方を実現する (20.7)		
君 津 地 域			83	高齢者の福祉を充実する (32.5)	災害から県民を守る (26.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.5)	医療サービス体制を整備する (16.9)	便利な交通網を整備する (14.5)
【 性・年代別 】								
男 性（計）			685	災害から県民を守る (33.1)	高齢者の福祉を充実する (29.2)	医療サービス体制を整備する (19.3)	便利な交通網を整備する (18.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.8)
20代			48	便利な交通網を整備する (33.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (27.1)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (25.0)	災害から県民を守る (18.8)	交通事故から県民を守る (16.7)
30代			77	災害から県民を守る (31.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (24.7)	便利な交通網を整備する (20.8)	道路を整備する (18.2)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (16.9)
40代			112	災害から県民を守る (24.1)	便利な交通網を整備する (23.2)	医療サービス体制を整備する (22.3)	道路を整備する (18.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.0)
50代			99	災害から県民を守る (43.4)	高齢者の福祉を充実する (31.3)	医療サービス体制を整備する (18.2)	便利な交通網を整備する (17.2)	犯罪防止対策をすすめる (15.2)
60～64歳			65	高齢者の福祉を充実する (38.5)	災害から県民を守る (30.8)	医療サービス体制を整備する (27.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.5)	便利な交通網を整備する (15.4)
65歳以上			284	高齢者の福祉を充実する (40.1)	災害から県民を守る (36.6)	医療サービス体制を整備する (20.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.0)	便利な交通網を整備する (14.8)
女 性（計）			874	高齢者の福祉を充実する (37.5)	災害から県民を守る (37.4)	医療サービス体制を整備する (22.8)	食品の安全を守る (18.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.5)
20代			54	災害から県民を守る (40.7)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (29.6)	高齢者の福祉を充実する (25.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／医療サービス体制を整備する (22.2)	
30代			122	災害から県民を守る (36.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (32.8)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (32.0)	医療サービス体制を整備する (17.2)	便利な交通網を整備する (15.6)
40代			157	災害から県民を守る (29.9)	高齢者の福祉を充実する (25.5)	医療サービス体制を整備する (23.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.3)	雇用の場を広げる (16.6)
50代			133	高齢者の福祉を充実する (44.4)	災害から県民を守る (40.6)	医療サービス体制を整備する (25.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／犯罪防止対策をすすめる (15.0)	
60～64歳			76	高齢者の福祉を充実する (43.4)	災害から県民を守る (39.5)	医療サービス体制を整備する (28.9)	便利な交通網を整備する (18.4)	雇用の場を広げる (14.5)
65歳以上			331	高齢者の福祉を充実する (50.5)	災害から県民を守る (39.3)	食品の安全を守る (26.6)	医療サービス体制を整備する (22.1)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (12.7)

＜図表 9－4＞県政への要望（上位 6 位～10 位）／地域別、性別、性・年代別

順位		n	6 位	7 位	8 位	9 位	10位	(%)
属性								
全 体		1,580	便利な交通網を整備する(15.5)	犯罪防止対策をすすめる(11.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.8)	道路を整備する(10.1)	雇用の場を広げる(9.1)	
【 地 域 別 】								
千 葉 地 域	325	食品の安全を守る(17.8)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(12.3)	犯罪防止対策をすすめる(11.4)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.2)	道路を整備する(8.3)		
葛 南 地 域	355	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(14.1)	道路を整備する(13.2)	犯罪防止対策をすすめる(13.0)	便利な交通網を整備する(12.1)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／健康づくりをすすめて、病気を予防する(7.6)		
東葛飾地 域	364	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(13.5)	犯罪防止対策をすすめる(12.6)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(11.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.2)	道路を整備する(9.9)		
印 旛 地 域	174	食品の安全を守る(14.9)	犯罪防止対策をすすめる(9.8)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(9.2)／道路を整備する(9.2)	交通事故から県民を守る／健康づくりをすすめて、病気を予防する／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(8.6)			
香 取 地 域	30	食品の安全を守る／便利な交通網を整備する(13.3)	母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する／学校教育を充実する(10.0)	中心市街地の活性化を推進する／雇用の場を広げる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(8.9)	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／青少年を健全に育てる／商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する／道路を整備する(6.7)			
海 匝 地 域	45	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(15.6)	食品の安全を守る／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する(13.3)	中心市街地の活性化を推進する／雇用の場を広げる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(8.9)	中心市街地の活性化を推進する／雇用の場を広げる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(8.9)			
山 武 地 域	48	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する(14.6)	食品の安全を守る(12.5)	雇用の場を広げる／農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する(10.4)	中心市街地の活性化を推進する／下水道を整備する(8.3)			
長 生 地 域	37	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる／学校教育を充実する(13.5)	青少年を健全に育てる／次世代を担う子どもの育成支援を充実する／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.8)	青少年を健全に育てる／次世代を担う子どもの育成支援を充実する／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.8)				
夷 隅 地 域	18	雇用の場を広げる(16.7)	交通事故から県民を守る／健康づくりをすすめて、病気を予防する／自然を守り、緑を育てる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する／道路を整備する／下水道を整備する(11.1)	交通事故から県民を守る／健康づくりをすすめて、病気を予防する／自然を守り、緑を育てる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する／道路を整備する／下水道を整備する(11.1)				
安 房 地 域	29	－	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(17.2)	道路を整備する(13.8)	食品の安全を守る／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する(10.3)			
君 津 地 域	83	食品の安全を守る／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／雇用の場を広げる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(13.3)	食品の安全を守る／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／雇用の場を広げる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(13.3)	食品の安全を守る／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／雇用の場を広げる／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(13.3)				
【 性・年代別 】								
男 性 (計)	685	道路を整備する(12.8)	犯罪防止対策をすすめる(12.4)	食品の安全を守る(11.8)	交通事故から県民を守る(10.2)	雇用の場を広げる(9.5)		
20代	48	道路を整備する／犯罪防止対策をすすめる(14.6)	医療サービス体制を整備する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／雇用の場を広げる(12.5)	医療サービス体制を整備する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／雇用の場を広げる(12.5)				
30代	77	犯罪防止対策をすすめる(14.3)	交通事故から県民を守る(13.0)	食品の安全を守る／高齢者の福祉を充実する／雇用の場を広げる(11.7)	食品の安全を守る／高齢者の福祉を充実する／雇用の場を広げる(11.7)			
40代	112	犯罪防止対策をすすめる(16.1)	高齢者の福祉を充実する(14.3)	雇用の場を広げる(12.5)	食品の安全を守る／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.7)			
50代	99	道路を整備する／雇用の場を広げる(14.1)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(10.1)	交通事故から県民を守る(9.1)	交通事故から県民を守る(9.1)			
60～64歳	65	食品の安全を守る／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／道路を整備する／犯罪防止対策をすすめる(13.8)	食品の安全を守る／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／道路を整備する／犯罪防止対策をすすめる(13.8)	食品の安全を守る／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／道路を整備する／犯罪防止対策をすすめる(13.8)				
65歳以上	284	食品の安全を守る(13.4)	交通事故から県民を守る／健康づくりをすすめて、病気を予防する(9.5)	犯罪防止対策をすすめる(8.8)	青少年を健全に育てる(8.5)			
女 性 (計)	874	便利な交通網を整備する(13.3)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(13.2)	犯罪防止対策をすすめる(10.2)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(10.0)	雇用の場を広げる(8.9)		
20代	54	便利な交通網を整備する(16.7)	食品の安全を守る／母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する(11.1)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／学校教育を充実する／犯罪防止対策をすすめる(9.3)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／学校教育を充実する／犯罪防止対策をすすめる(9.3)			
30代	122	犯罪防止対策をすすめる(14.8)	食品の安全を守る(13.1)	学校教育を充実する(12.3)	高齢者の福祉を充実する(11.5)	母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する(10.7)		
40代	157	便利な交通網を整備する(15.9)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(14.6)	犯罪防止対策をすすめる(14.0)	食品の安全を守る／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(12.7)			
50代	133	食品の安全を守る／便利な交通網を整備する(14.3)	道路を整備する(12.8)	健康づくりをすすめて、病気を予防する(11.3)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(8.3)			
60～64歳	76	食品の安全を守る／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(13.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／道路を整備する(9.2)	健康づくりをすすめて、病気を予防する／安心して飲める良質な水道水を供給する／学校教育を充実する(7.9)	健康づくりをすすめて、病気を予防する／安心して飲める良質な水道水を供給する／学校教育を充実する(7.9)			
65歳以上	331	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(12.4)	安心して飲める良質な水道水を供給する(9.4)	便利な交通網を整備する(9.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(8.8)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する(7.9)		

（１－１）各政策への具体的な要望

問45 問44で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問44で選んだ３項目についてのみ、具体的要望項目から１つずつ選んで番号に○をつけてください。（○はそれぞれ１つ）

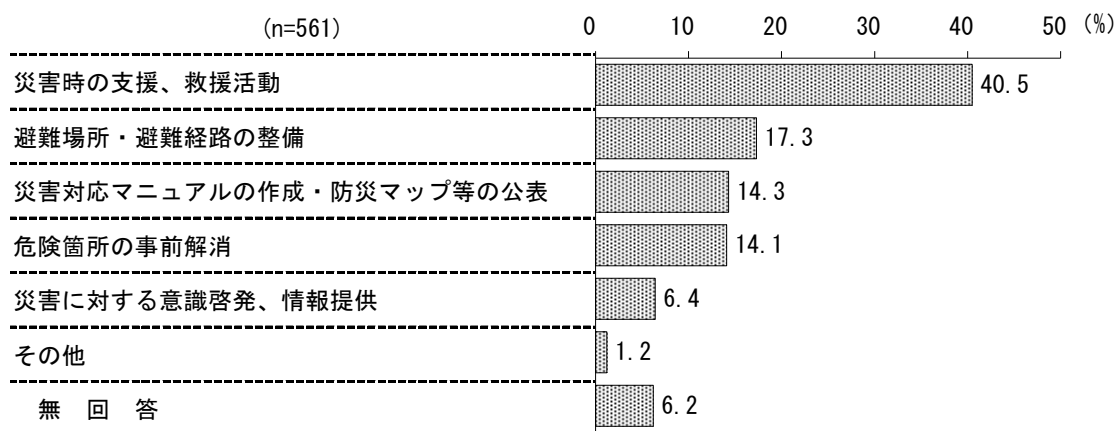
問44で県政への要望を３つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問45の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを明示する。

１ 災害から県民を守る（35.5%、１位）

「災害時の支援、救援活動」（40.5%）が４割と最も高く、以下、「避難場所・避難経路の整備」（17.3%）、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」（14.3%）、「危険箇所の事前解消」（14.1%）が続く。（図表９－５）

＜図表９－５＞災害から県民を守る

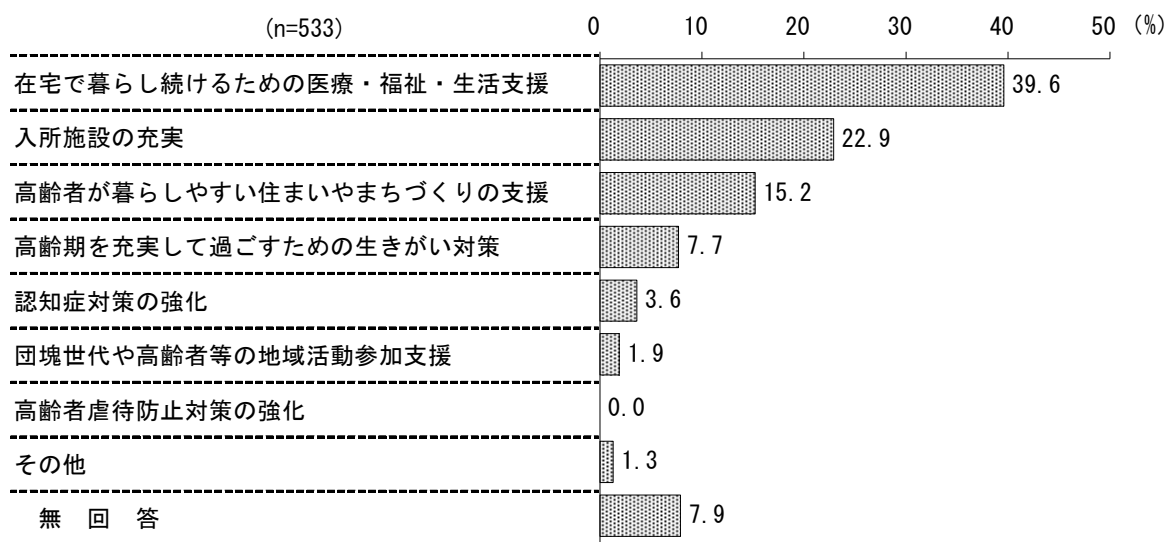


2 高齢者の福祉を充実する（33.7%、2位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（39.6%）が約4割で最も高く、以下、「入所施設の充実」（22.9%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（15.2%）が続く。

（図表9－6）

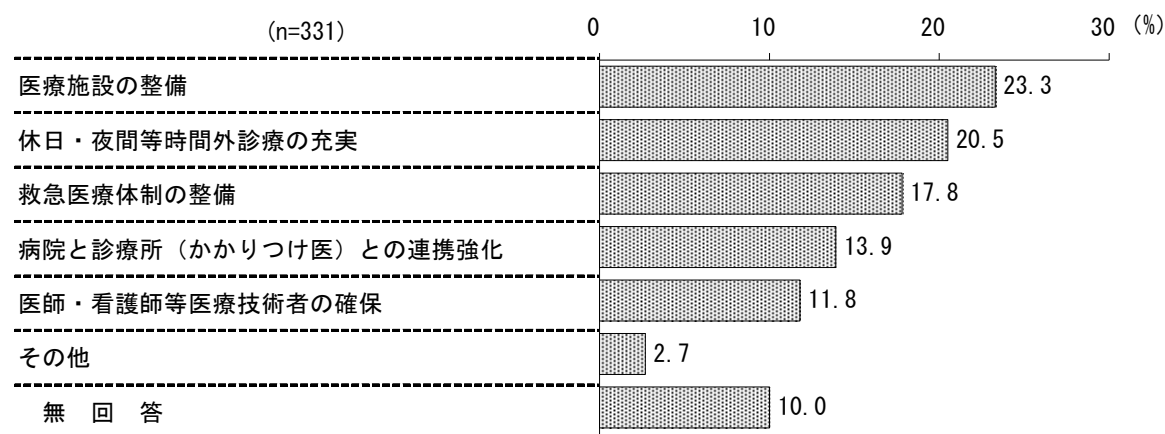
＜図表9－6＞高齢者の福祉を充実する



3 医療サービス体制を整備する（20.9%、3位）

「医療施設の整備」（23.3%）が2割台半ばで最も高く、以下、「休日・夜間等時間外診療の充実」（20.5%）、「救急医療体制の整備」（17.8%）が続く。（図表9－7）

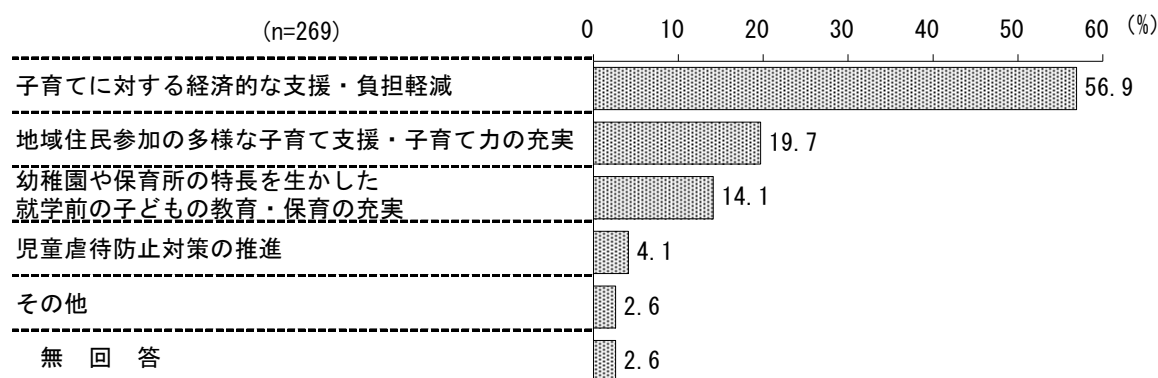
＜図表9－7＞医療サービス体制を整備する



4 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（17.0%、4位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（56.9%）が5割台半ばと最も高く、以下、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（19.7%）、「幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実」（14.1%）が続く。（図表9－8）

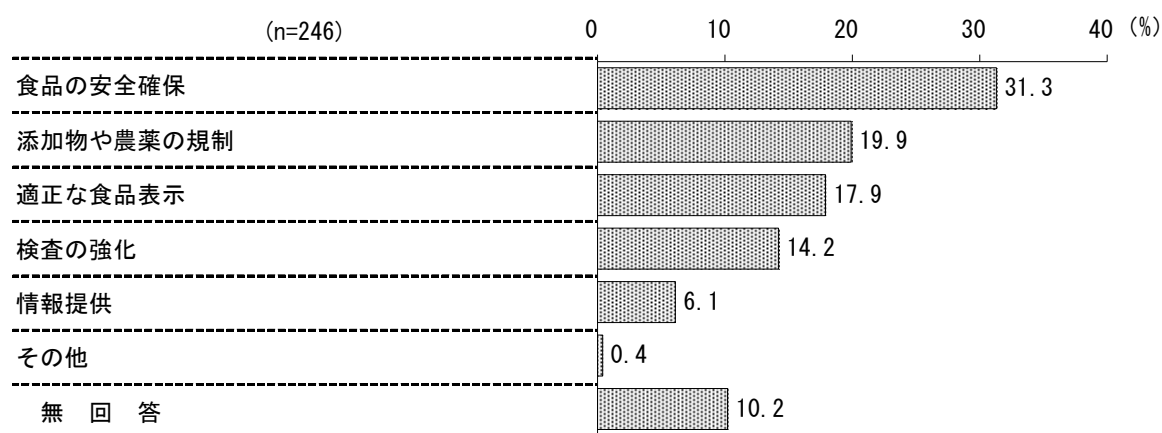
＜図表9－8＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



5 食品の安全を守る（15.6%、5位）

「食品の安全確保」（31.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（19.9%）、「適正な食品表示」（17.9%）、「検査の強化」（14.2%）が続く。（図表9－9）

＜図表9－9＞食品の安全を守る

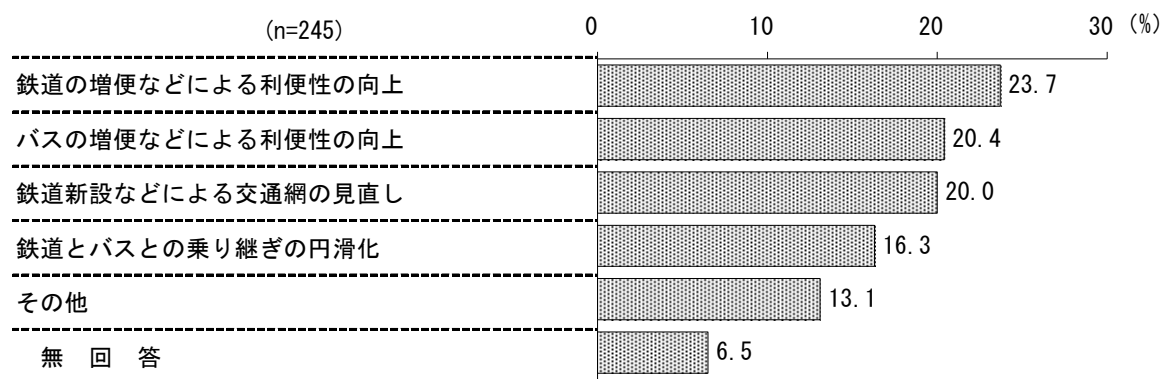


6 便利な交通網を整備する（15.5%、6位）

「鉄道の増便などによる利便性の向上」（23.7%）が2割台半ばと最も高く、以下、「バスの増便などによる利便性の向上」（20.4%）、「鉄道新設などによる交通網の見直し」（20.0%）が続く。

（図表9－10）

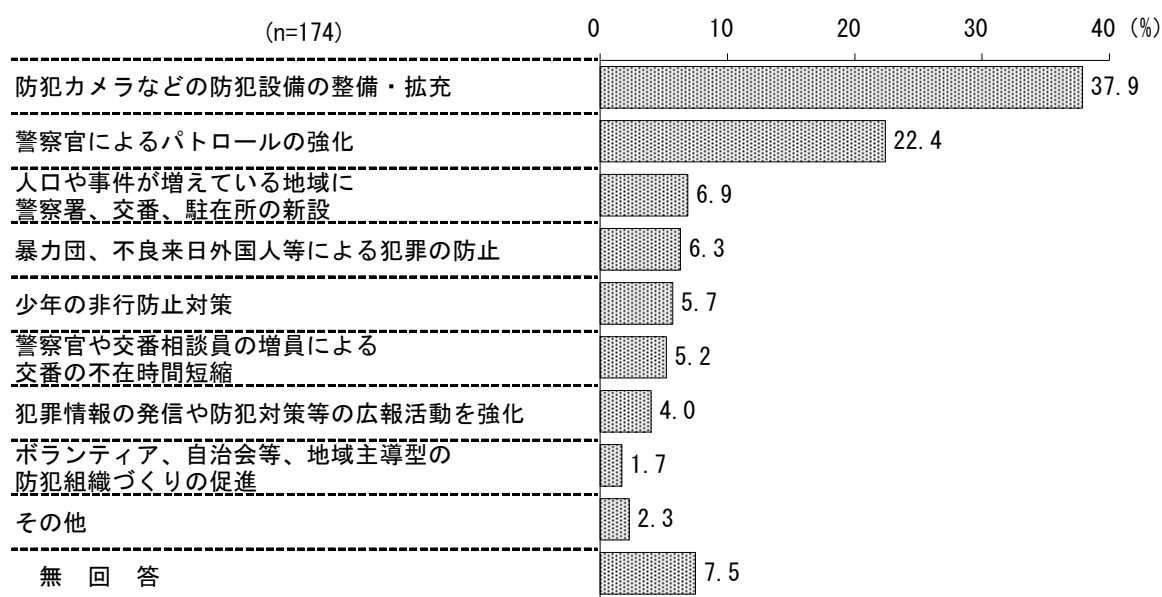
＜図表9－10＞便利な交通網を整備する



7 犯罪防止対策をすすめる（11.0%、7位）

「防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充」（37.9%）が約4割で最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（22.4%）が続く。（図表9－11）

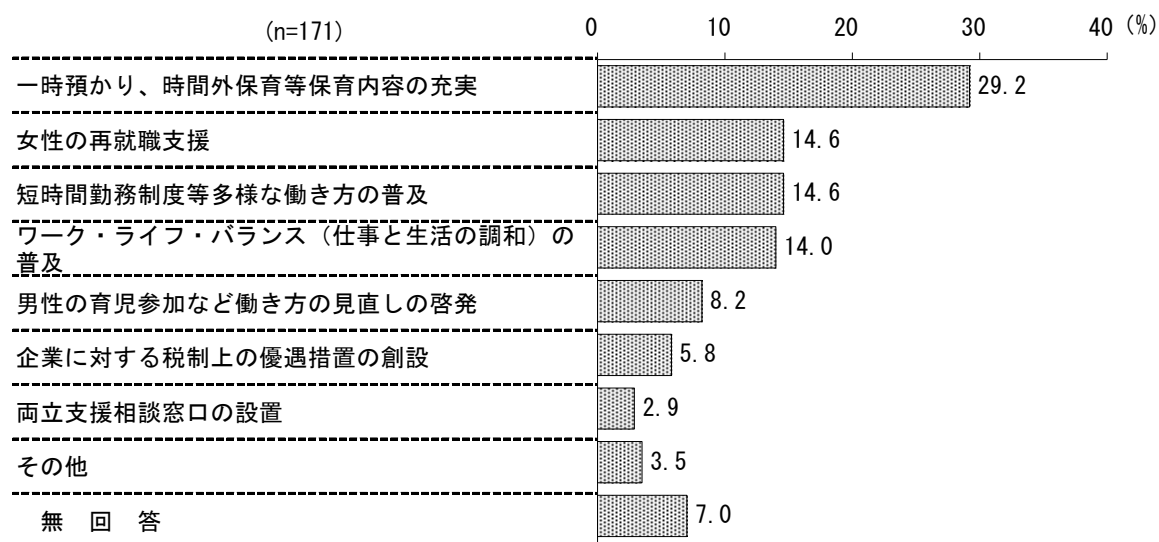
＜図表9－11＞犯罪防止対策をすすめる



8 仕事と子育てが両立する働き方を実現する（10.8%、8位）

「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（29.2%）が約3割と最も高く、以下、「女性の再就職支援」、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（同率14.6%）、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及」（14.0%）が続く。（図表9－12）

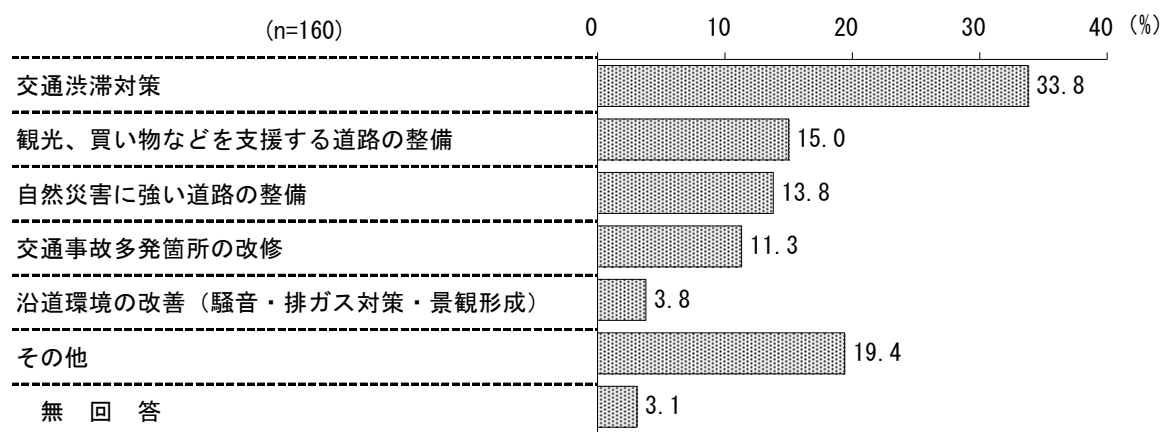
＜図表9－12＞仕事と子育てが両立する働き方を実現する



9 道路を整備する（10.1%、9位）

「交通渋滞対策」（33.8%）が3割台半ばと最も高く、以下、「観光、買い物などを支援する道路の整備」（15.0%）、「自然災害に強い道路の整備」（13.8%）が続く。（図表9－13）

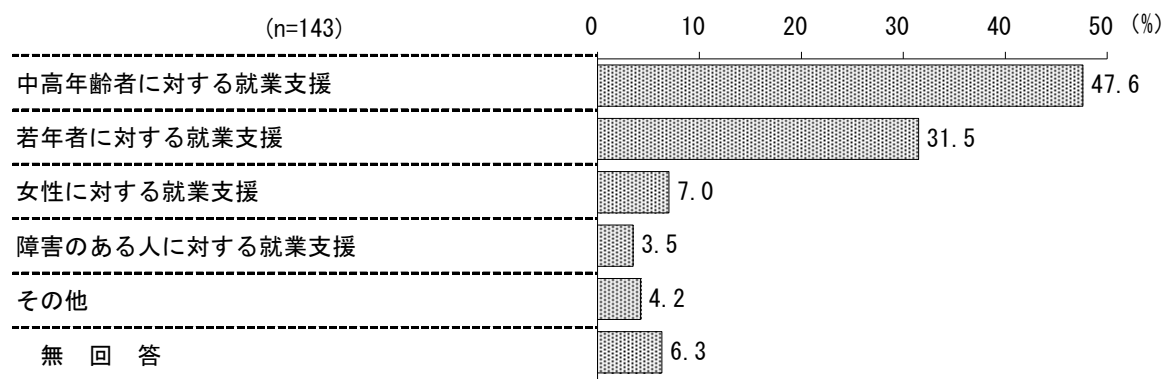
＜図表9－13＞道路を整備する



10 雇用の場を広げる（9.1%、10 位）

「中高年齢者に対する就業支援」（47.6%）が約 5 割と最も高く、以下、「若年者に対する就業支援」（31.5%）が続く。（図表 9－14）

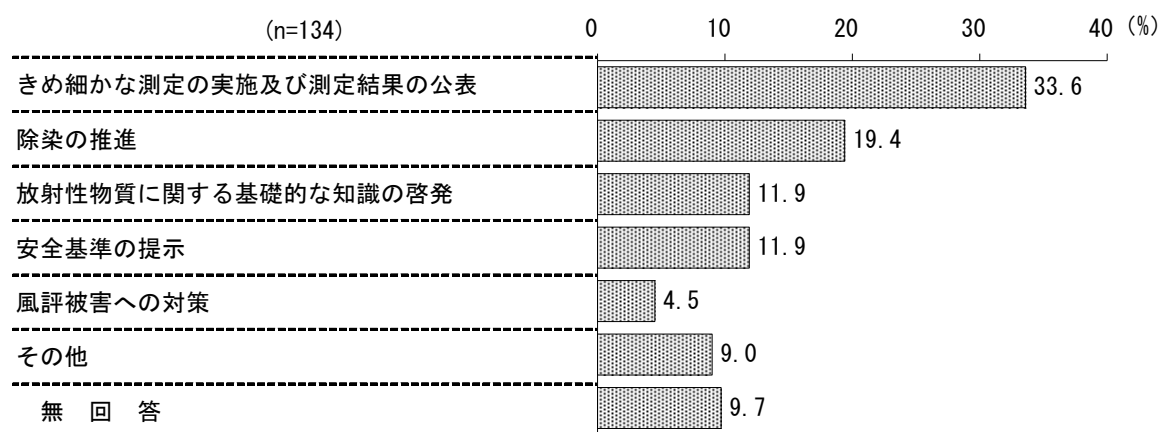
＜図表 9－14＞雇用の場を広げる



11 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る（8.5%、11 位）

「きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表」（33.6%）が 3 割台半ばで最も高く、以下、「除染の推進」（19.4%）が続く。（図表 9－15）

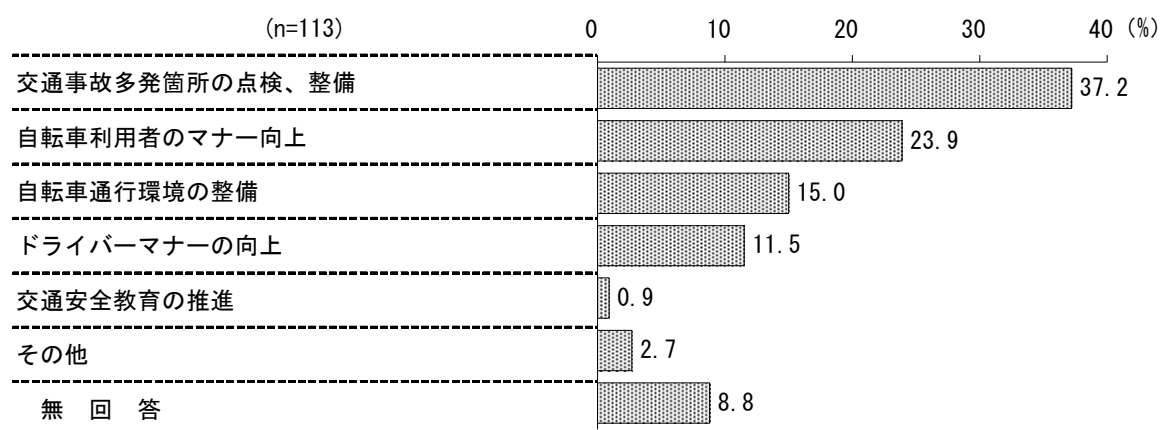
＜図表 9－15＞東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る



12 交通事故から県民を守る（7.2%、12 位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（37.2%）が約4割で最も高く、以下、「自転車利用者のマナー向上」（23.9%）、「自転車通行環境の整備」（15.0%）が続く。（図表9-16）

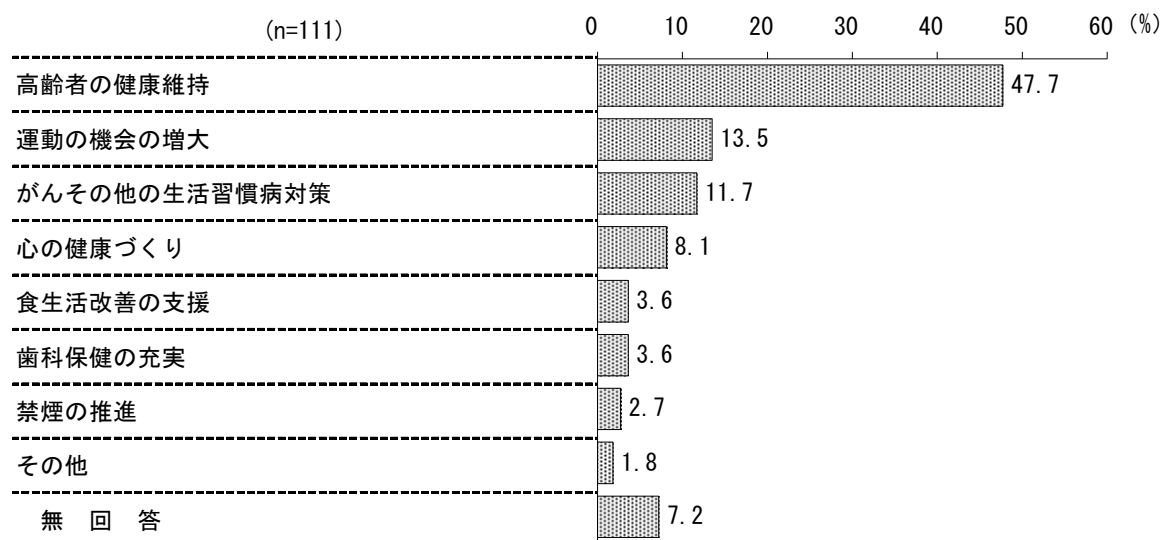
＜図表9-16＞交通事故から県民を守る



13 健康づくりをすすめて、病気を予防する（7.0%、13 位）

「高齢者の健康維持」（47.7%）が約5割で最も高く、以下、「運動の機会の増大」（13.5%）が続く。（図表9-17）

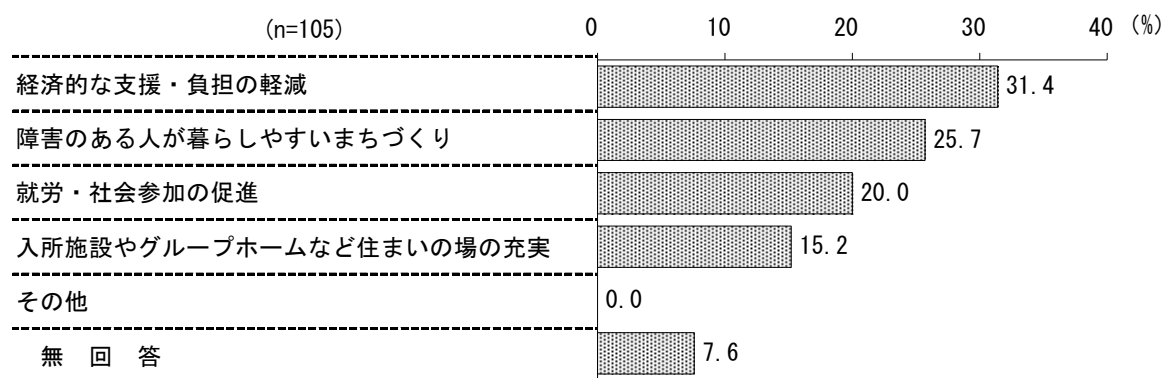
＜図表9-17＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



14 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（6.6%、14 位）

「経済的な支援・負担の軽減」（31.4%）が3割を超えて最も高く、以下、「障害のある人が暮らしやすいまちづくり」（25.7%）、「就労・社会参加の促進」（20.0%）が続く。（図表9－18）

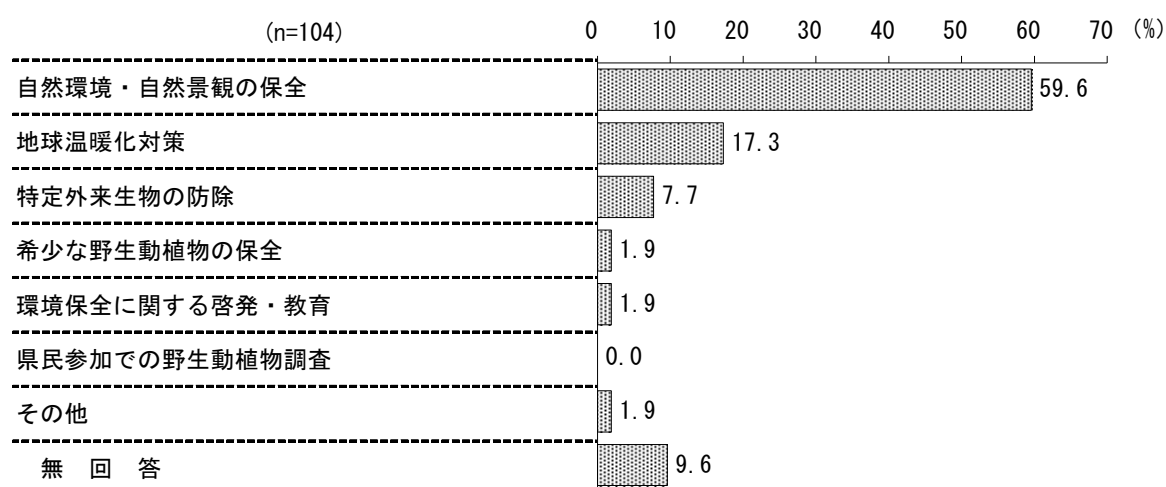
＜図表9－18＞障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



14 自然を守り、緑を育てる（6.6%、14 位）

「自然環境・自然景観の保全」（59.6%）が約6割と高く、以下、「地球温暖化対策」（17.3%）が続く。（図表9－19）

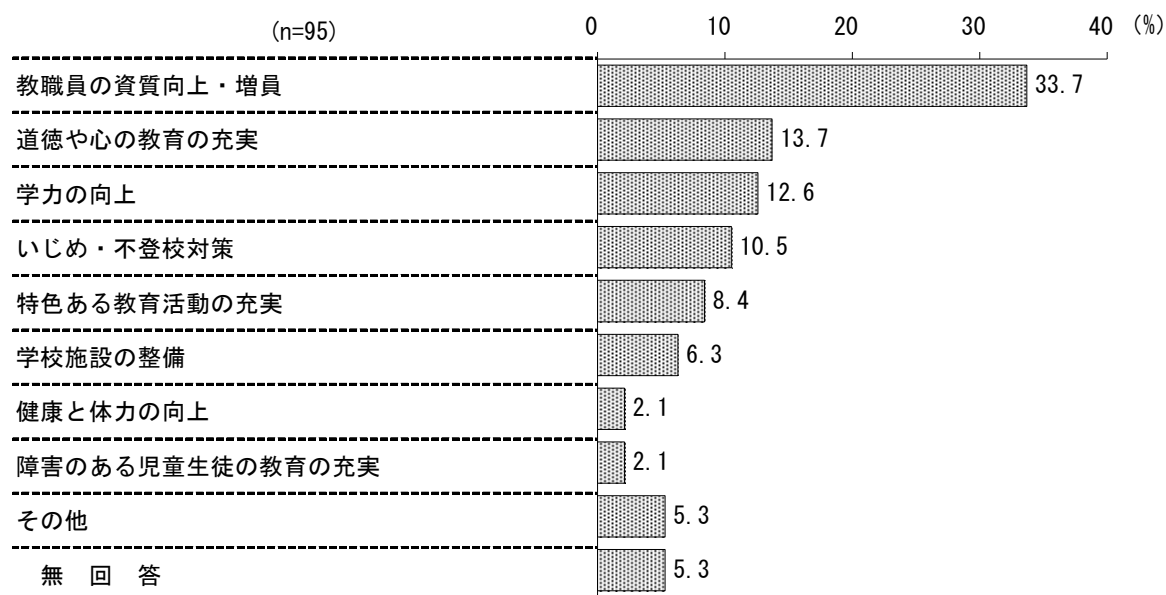
＜図表9－19＞自然を守り、緑を育てる



16 学校教育を充実する（6.0%、16 位）

「教職員の資質向上・増員」（33.7%）が3割台半ばと最も高く、以下、「道徳や心の教育の充実」（13.7%）が続く。（図表9－20）

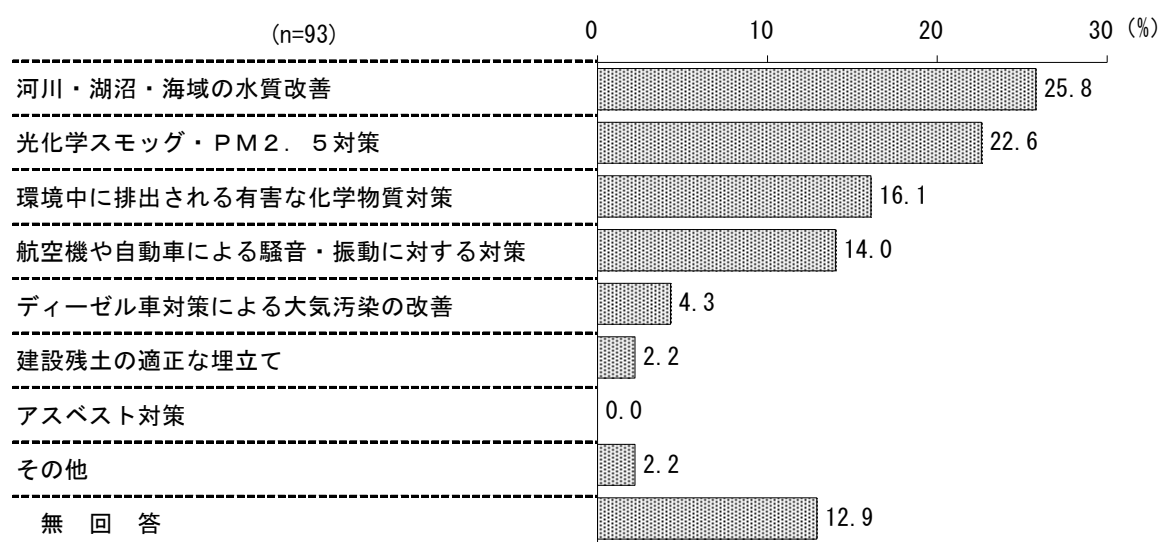
<図表9－20>学校教育を充実する



17 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（5.9%、17 位）

「河川・湖沼・海域の水質改善」（25.8%）が2割台半ばで最も高く、以下、「光化学スモッグ・PM2.5対策」（22.6%）、「環境中に排出される有害な化学物質対策」（16.1%）、「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」（14.0%）が続く。（図表9－21）

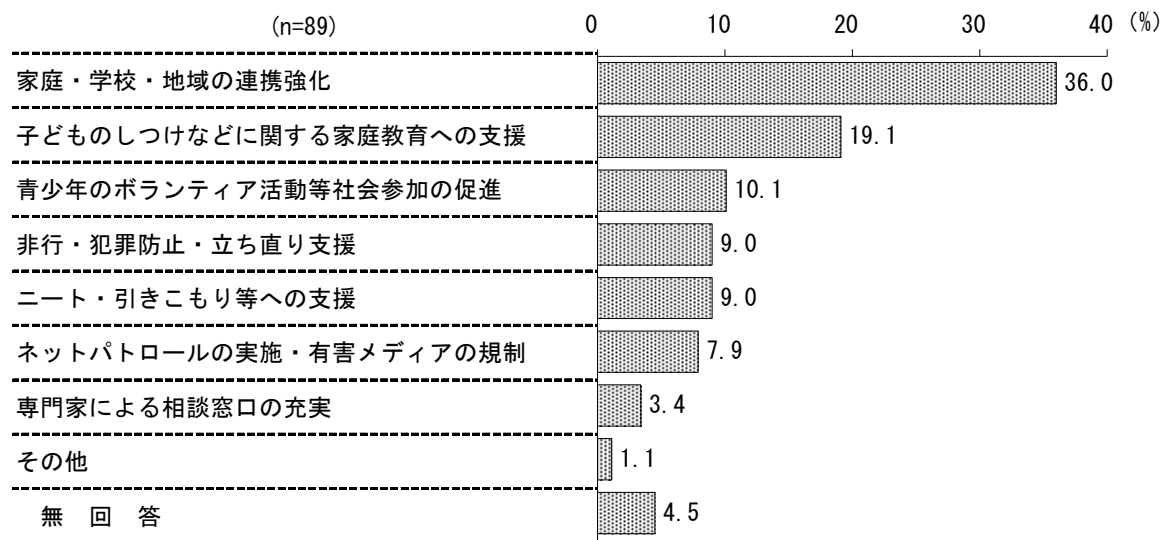
<図表9－21>大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



18 青少年を健全に育てる（5.6%、18 位）

「家庭・学校・地域の連携強化」（36.0%）が3割台半ばと最も高く、以下、「子どものしつけなどに関する家庭教育への支援」（19.1%）が続く。（図表9-22）

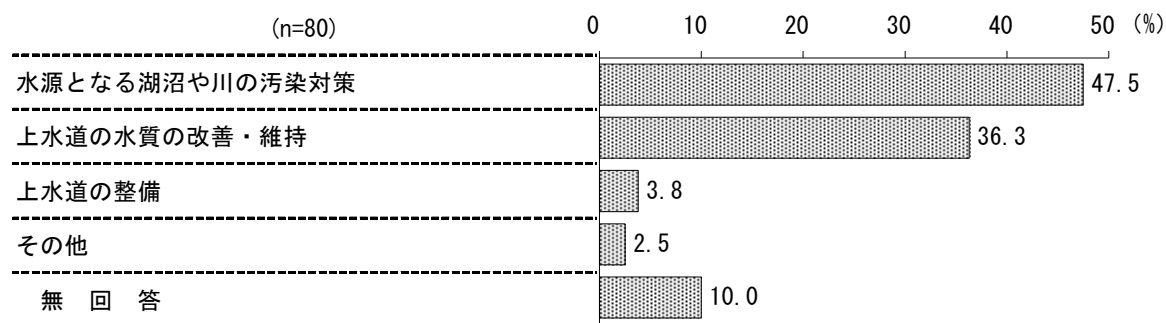
＜図表9-22＞青少年を健全に育てる



19 安心して飲める良質な水道水を供給する（5.1%、19 位）

「水源となる湖沼や川の汚染対策」（47.5%）が約5割と最も高く、以下、「上水道の水質の改善・維持」（36.3%）が続く。（図表9-23）

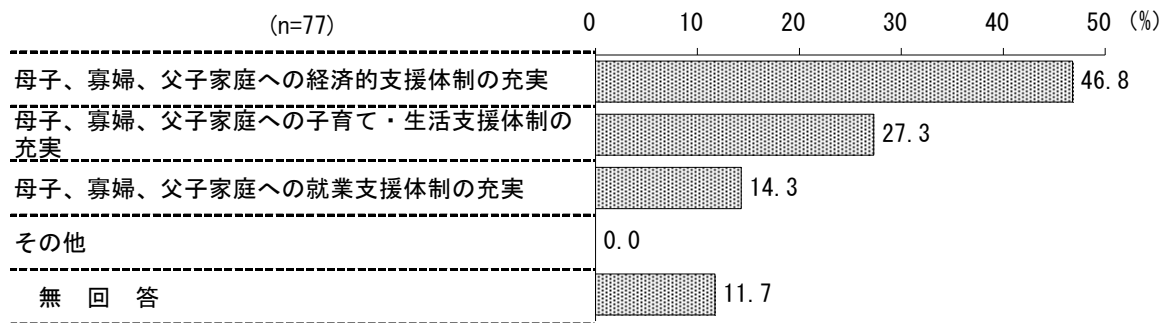
＜図表9-23＞安心して飲める良質な水道水を供給する



20 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する（4.9%、20 位）

「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」（46.8%）が4割台半ばで最も高く、以下、「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」（27.3%）が続く。（図表9－24）

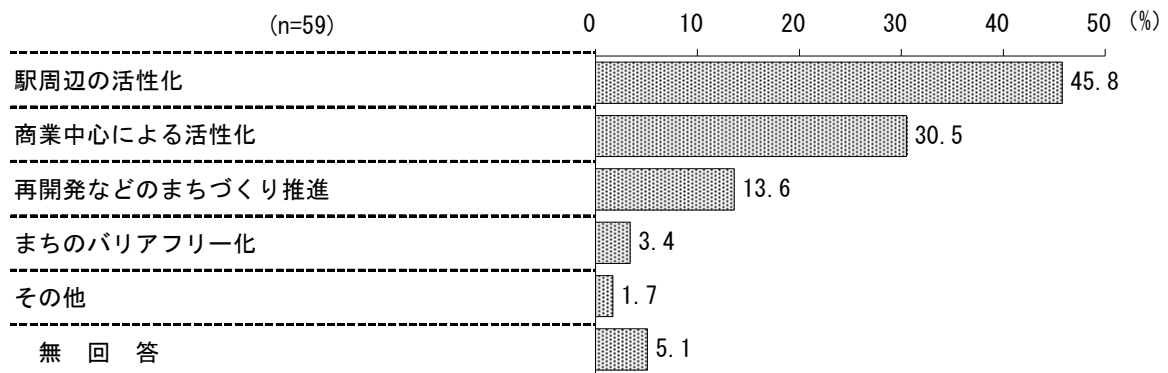
＜図表9－24＞母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する



21 中心市街地の活性化を推進する（3.7%、21 位）

「駅周辺の活性化」（45.8%）が4割台半ばで最も高く、以下、「商業中心による活性化」（30.5%）が続く。（図表9－25）

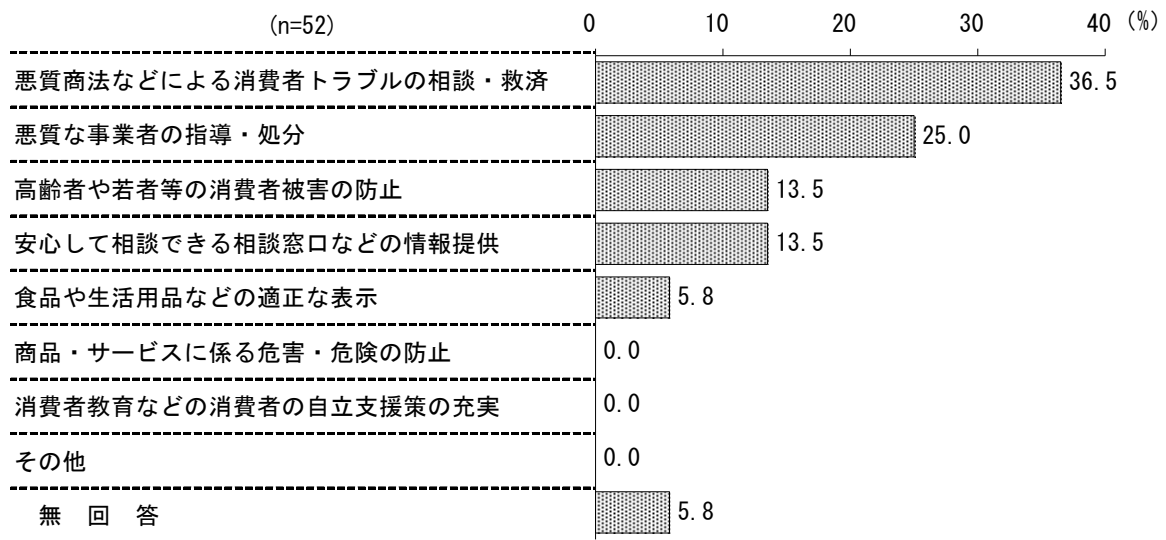
＜図表9－25＞中心市街地の活性化を推進する



22 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（3.3%、22 位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（36.5%）が3割台半ばと最も高く、以下、「悪質な事業者の指導・処分」（25.0%）が続く。（図表9－26）

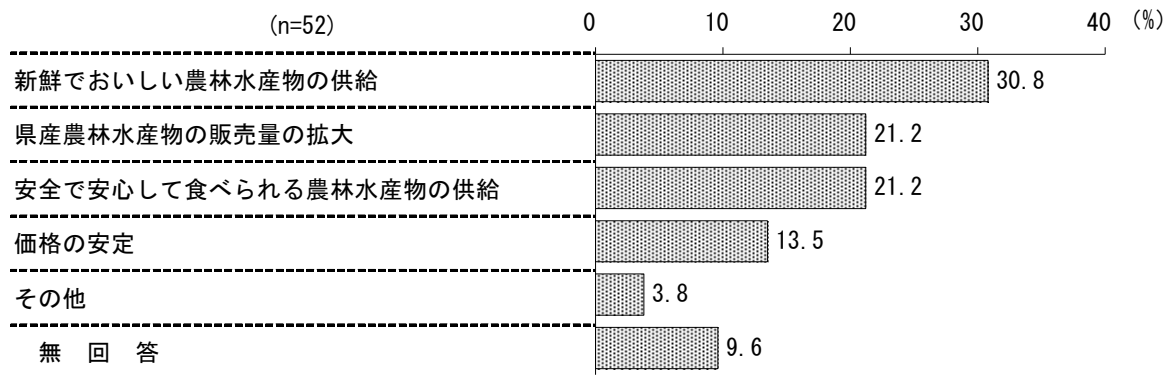
＜図表9－26＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



22 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（3.3%、22 位）

「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（30.8%）が3割と最も高く、以下、「県産農林水産物の販売量の拡大」、「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（同率21.2%）が続く。（図表9－27）

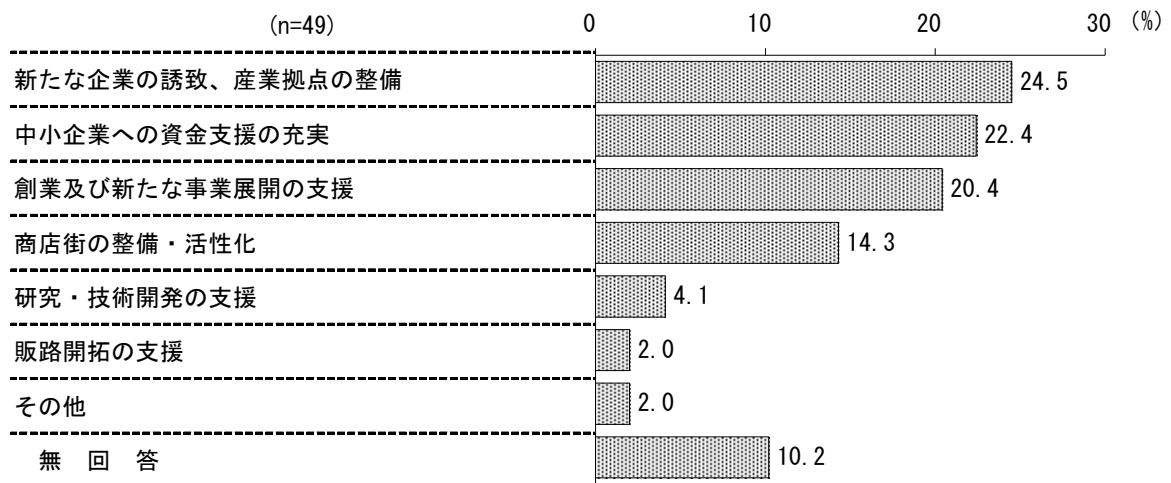
＜図表9－27＞農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



24 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する（3.1%、24 位）

「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（24.5%）が2割台半ばと最も高く、以下「中小企業への資金支援の充実」（22.4%）、「創業及び新たな事業展開の支援」（20.4%）、「商店街の整備・活性化」（14.3%）が続く。（図表9-28）

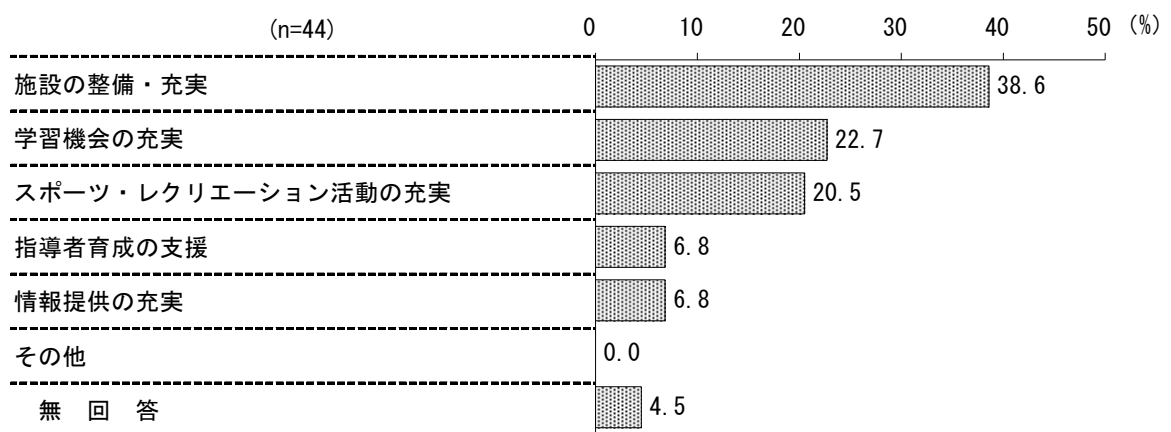
＜図表9-28＞商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する



25 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.8%、25 位）

「施設の整備・充実」（38.6%）が約4割で最も高く、以下、「学習機会の充実」（22.7%）、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（20.5%）が続く。（図表9-29）

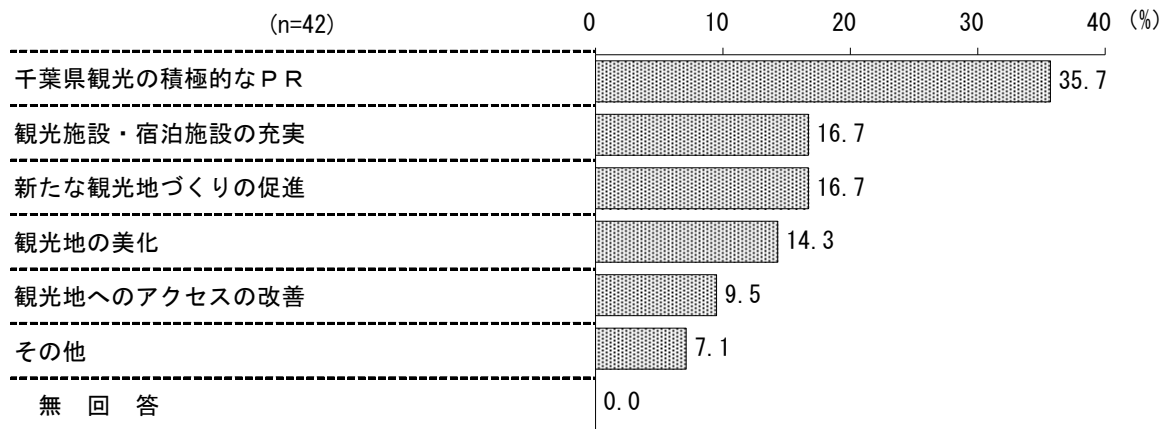
＜図表9-29＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



26 観光を振興する（2.7%、26 位）

「千葉県観光の積極的なPR」（35.7%）が3割台半ばと最も高く、以下、「観光施設・宿泊施設の充実」、「新たな観光地づくりの促進」（同率16.7%）が続く。（図表9-30）

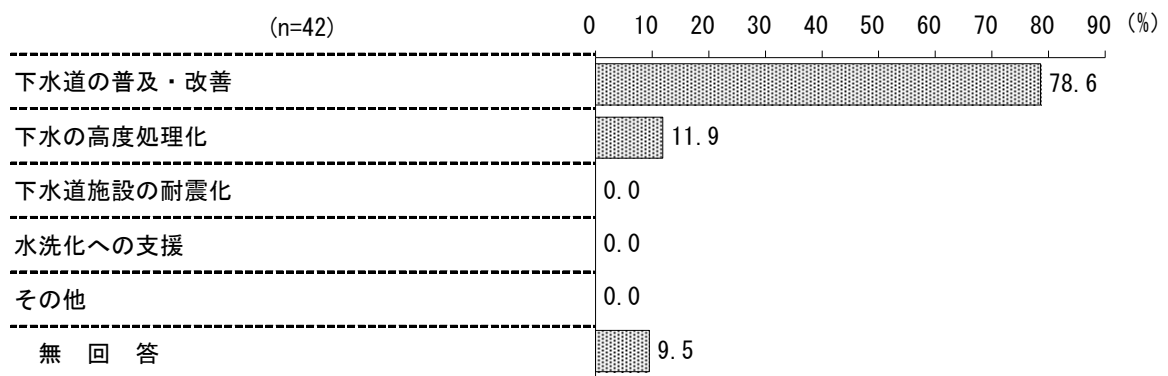
＜図表9-30＞観光を振興する



26 下水道を整備する（2.7%、26 位）

「下水道の普及・改善」（78.6%）が約8割で最も高い。（図表9-31）

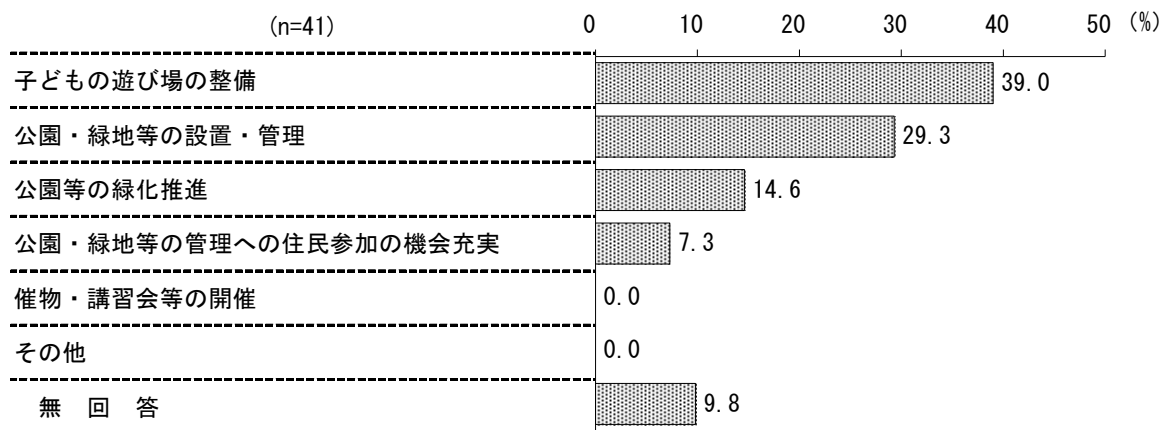
＜図表9-31＞下水道を整備する



28 公園・緑地を整備する（2.6%、28位）

「子どもの遊び場の整備」（39.0%）が約4割と最も高く、以下、「公園・緑地等の設置・管理」（29.3%）が続く。（図表9-32）

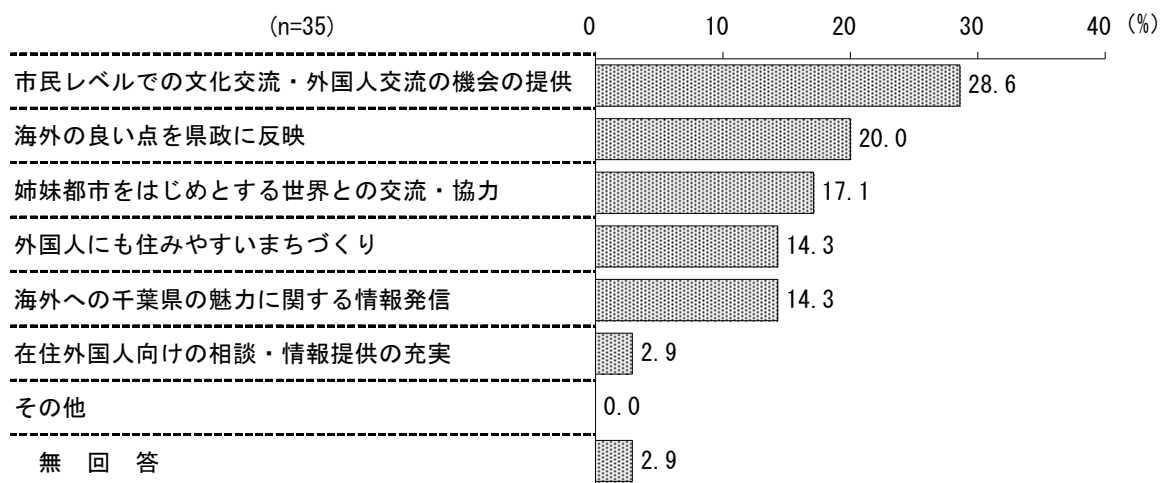
＜図表9-32＞公園・緑地を整備する



29 国際交流や国際協力をすすめる（2.2%、29位）

「市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供」（28.6%）が約3割と最も高く、以下、「海外の良い点を県政に反映」（20.0%）が続く。（図表9-33）

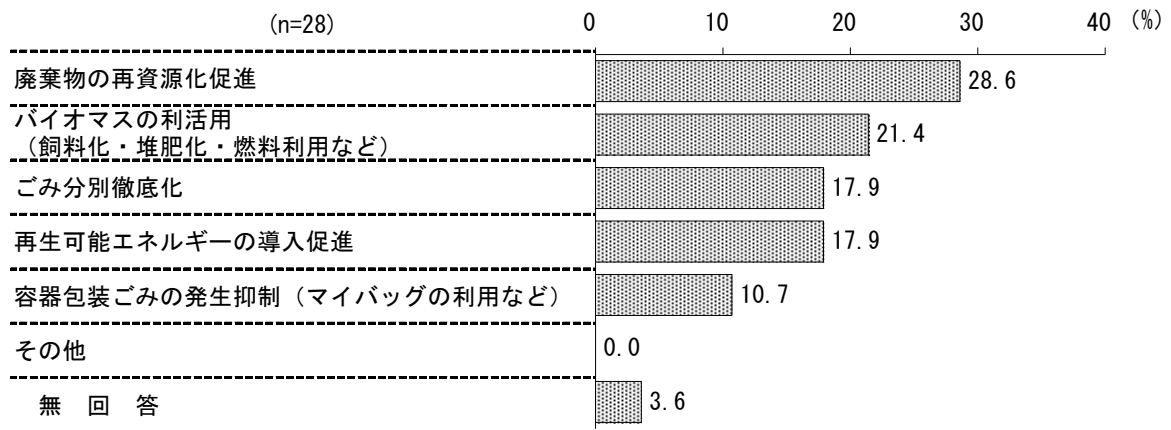
＜図表9-33＞国際交流や国際協力をすすめる



30 省資源やリサイクルをすすめる（1.8%、30 位）

「廃棄物の再資源化促進」（28.6%）が約 3 割と最も高く、以下、「バイオマスの利活用（飼育化・堆肥化・燃料利用など）」（21.4%）が続く。（図表 9－34）

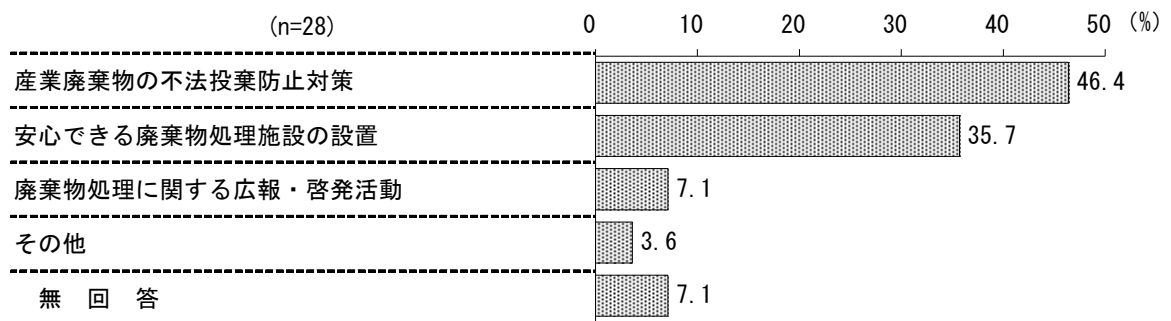
＜図表 9－34＞省資源やリサイクルをすすめる



30 廃棄物対策をすすめる（1.8%、30 位）

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（46.4%）が 4 割台半ばと最も高く、以下、「安心できる廃棄物処理施設の設置」（35.7%）が続く。（図表 9－35）

＜図表 9－35＞廃棄物対策をすすめる



32 芸術・文化活動を振興する（1.6%、32 位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（53.8%）が 5 割台半ばで最も高い。（図表 9－36）

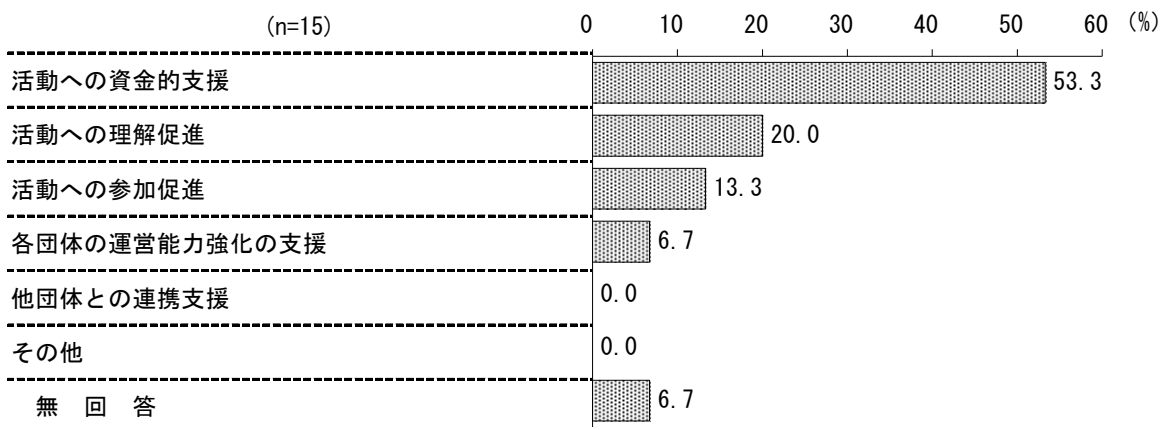
<図表 9－36> 芸術・文化活動を振興する



33 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する（0.9%、33 位）

n が少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9－37）

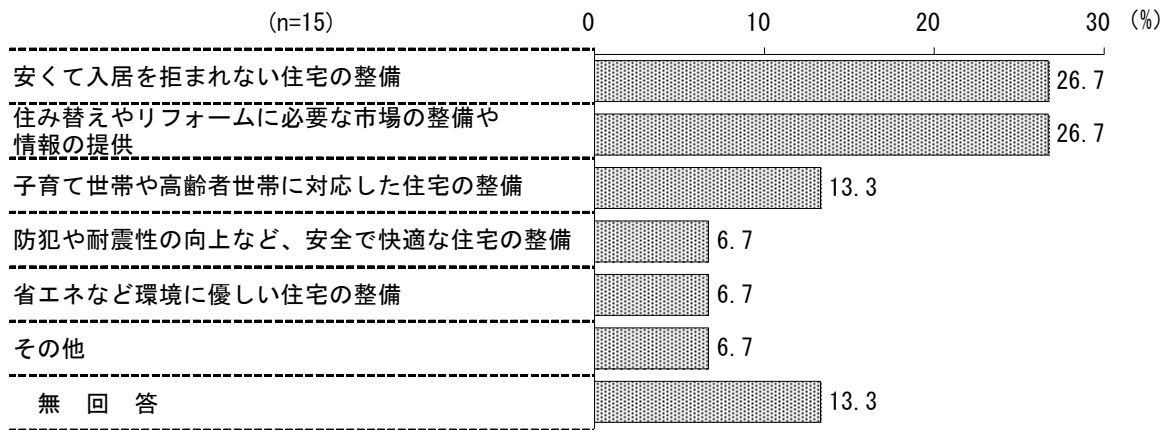
<図表 9－37> 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する



33 住宅対策を充実する（0.9%、33 位）

n が少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9－38）

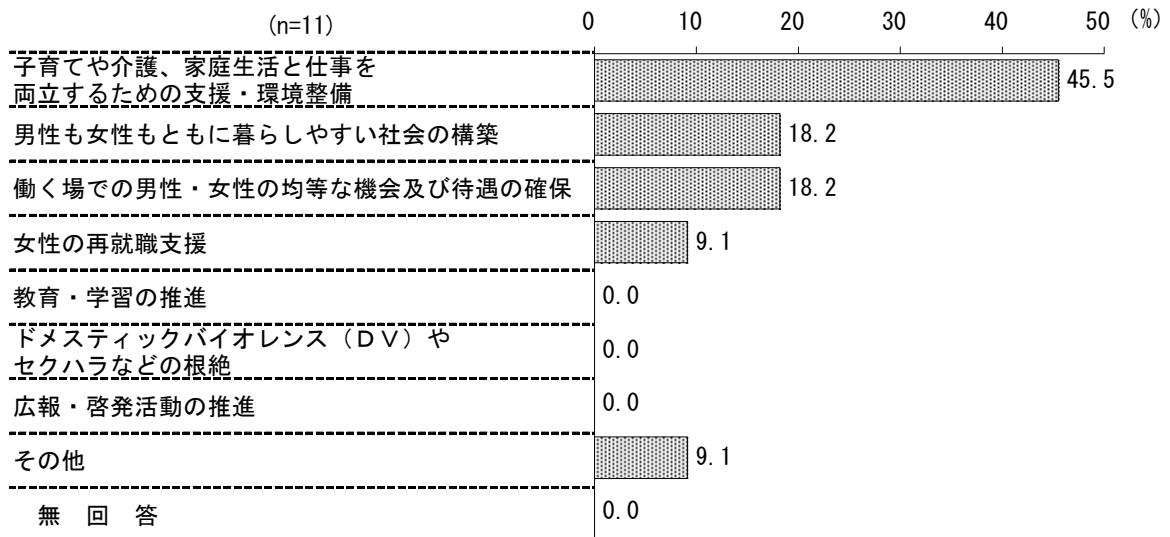
＜図表 9－38＞住宅対策を充実する



35 男女共同参画を推進する（0.7%、35 位）

n が少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9－39）

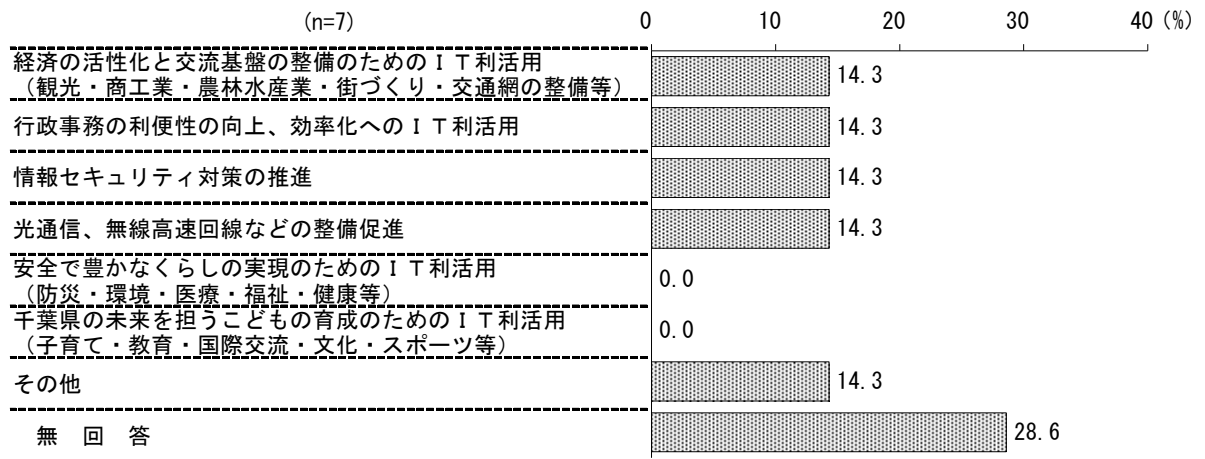
＜図表 9－39＞男女共同参画を推進する



36 施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用をすすめる（0.4%、36位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表９－40）

<図表９－40> 施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用をすすめる



10 自由回答

問 県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、349人から延べ434件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計37項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋して記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に関する要望	77
第2位	道路を整備する	43
第3位	便利な交通網を整備する	42
第4位	高齢者の福祉を充実する	25
第5位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	15
第6位	県政の情報発信について	14
〃	雇用の場を広げる	14
〃	犯罪防止対策をすすめる	14
第9位	公園・緑地・水辺を整備する	13
第10位	観光を振興する	10
〃	災害から県民を守る	10
〃	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	10
第13位	医療サービス体制を整備する	9
第14位	学校教育を充実する	8
〃	交通事故から県民を守る	8
第16位	市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する	7
〃	中心市街地の活性化を推進する	7
第18位	下水道を整備する	6
〃	自然を守り、緑を育てる	6
〃	青少年を健全に育てる	6
第21位	アクアラインについて	5
〃	芸術・文化活動を振興する	5
〃	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	5
第24位	仕事と子育てが両立する働き方を実現する	4
〃	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	4
〃	母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する	4
第27位	省資源やりサイクルをすすめる	3

（次ページに続く）

順位	項目	件数
第27位	省資源やリサイクルをすすめる	3
第28位	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する	2
〃	食品の安全を守る	2
〃	廃棄物対策をすすめる	2
第31位	暴力団対策	1
〃	健康づくりをすすめて、病気を予防する	1
〃	施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用をすすめる	1
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	1
	その他	41
	その他 うち、国政への要望	5
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	13
	合 計	443

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

○他県の者に対し、千葉を自慢できるポイントが欲しい。ディズニーとか落花生とかではなく、～が一番など。千葉県人なら～が出来るとか、～を知っていると、千葉出身者同士が将来手を組みやすい、キズナを作るべきだと思います。千葉出身であるだけで、仕事につながる事もあります。（男性、30代、葛南地域）

○千葉県には多くの施設があり、土地柄にも恵まれ、本当に良いところだと思います。ただ東京が隣にあるので全国的に見ると印象が弱まり、緑の多いところを単に田舎と取られてしまうのが少し残念です。大きなテーマパークというよりもっと根本から斬新でスタイリッシュな街づくりが行われれば、美意識高めな若年層の心も集まるのではと思います。長文失礼しました。（女性、30代、山武地域）

○県の予算支出の明細が不明。税の使われ方が適正か否かの判断ができない。例えば、総務管理の人件費については平均でなく職種別（正規職員のみ）の人件費。公共支出の効率的支出が行われているか否か不明。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○保育園の数は増えてきましたが、質がバラバラです。底上げ指導もあわせてお願い致します。電柱の地中化などは行わないのでしょうか。（男性、40代、千葉地域）

○県が国の方針により町村合併を促進した結果、行政と住民との距離が精神的、物理的に遠くなってきている。地域主権が強く叫ばれている時、行政を身近なものに感じる諸配慮が必要ではないか。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○国政・県政・市政のそれぞれの役割と関係性を解り易く整理し、無駄の少ない、県民の為になる行政をお願いします。（男性、65歳以上、印旛地域）

○「経世在民」趣意の如く、公僕に徹し、県民をリードして欲しい（サラリーマン意識の払拭）。
（男性、60～64歳、千葉地域）

○今の県政の努力に満足です。県政経の発展に少なからず応援又は協力していきたいと思っております。日々、御苦勞様です。以上。（女性、65歳以上、君津地域）

○選挙公報を全有権者世帯に配布してほしい。インターネット上に掲載しているようだが、ネット環境がなく見ることができず、立候補者、政党の政策・公約の情報が入らず、投票するのに判断できない。税金が高い、もっと緊縮を！（男性、30代、葛南地域）

■道路を整備する

○先日、車（相手）、自転車（私）事故になり、もっと自転車の道路を良くしてもらいたいです。歩道にポールがあるが、75才ではスムーズに通れません。段差もありすぎ、平らにしてほしい。（女性、65歳以上、千葉地域）

○子供達の通学路が車道と同じ所を歩いている。古い家や住んでいない家が道路にそっていっぱいあるのに、車道を広げて歩道を作れないかとも思っている。
（女性、60～64歳、印旛地域）

○県道脇の草が伸びて、駐車場から出る時の視界が悪い。もっと短く刈ってもらうか、長さの短い植木を植えてほしい。街灯を増やしてほしい。（女性、40代、千葉地域）

○学校・保育所・病院に行く道が細い所が多く、車で行きづらいので、整備してほしいです。
（女性、30代、海匝地域）

○車いすでも安全に通れる舗道の整備が出来ないでしょうか。又、自転車の事故が多く思われます。規律の徹底など、力を入れてほしいです。（女性、65歳以上、千葉地域）

○街が古いところや新しく大きなショッピングモールが出来たところなどは交通渋滞が酷いので、道路整備の推進を期待します。（男性、30代、千葉地域）

○道路が陥没していると区役所へ意見したら、2～3日で対応してもらえて、大変助かりました。ありがとうございます。この前も事件がありましたが、子供達の連れさりなどが心配です。通学路など、もう少し外灯、道路整備をやって頂きたいです（財政は厳しいとは思いますが…）。
（女性、30代、千葉地域）

○観光、農水産物の流通ともに、道路網の整備が重要だと思います。高速道でなくて良いのでバイパス化など、スムーズに県の端々までストレスなく通行できる道路網の整備を最優先で行って欲しい。（男性、40代、海匝地域）

■便利な交通網を整備する

○千葉県は遠いと思われるので、交通網を整備し、他県より観光をPRした方がよいと思う。
(男性、60～64歳、東葛飾地域)

○やはり神奈川、埼玉に比べると鉄道網が弱いと思います。北総線、東葉高速線の値下げは急務、あとは都心西部（渋谷、池袋）への県内からの直通路線があれば、県人口が増え、活性化するかと（いわゆる「千葉都民」が増えますが…）。（男性、20代、葛南地域）

○JR線千葉駅止まりが多く、東京から成田までの直通がもっとふえる事を願う。四街道インターが近い千代田なので直通バスの増便が欲しい。（女性、65歳以上、印旛地域）

○鉄道とバスの乗り継ぎが悪く、15分以上待つこともある為、バスの増便をお願いしたいと思っています。早朝、終バスの時間も改善していただきたい。高齢者向けの、金額を安く乗れる鉄道やバスのシルバーパスのような形で設定した回数券のようなものも実施して頂きたいと思います。（女性、65歳以上、葛南地域）

■高齢者の福祉を充実する

○高齢者や障害者に対して、もっと手厚い福祉を望みます。各市へのその方面への教育も進めてほしい。担当者の知識が浅く、役に立たない事が多い。市によって差が大きい。（女性、50代、葛南地域）

○とても住みづらい県です。神奈川県、東京都と住んだ経験がありますが、子育て、高齢者とも支援が少なく、せつないです。また、納税している人々に対する反映も、とても少ないです。就労者年代が利用できる公の施設の拡充（利用時間帯の延長や利用料の引き下げ、あるいは無料化）を希望しています。（女性、40代、千葉地域）

○我が家は、夫婦合わせて158才です。1人娘は外国で1人生活、老後（もう老後ですが）、福祉の関係でどのような手続きをすればと不安ばかりです。2人ともおかげ様で看護もいらない生活です。末筆ながら知事の老人へのホーム等の充実をお願いします。

（女性、65歳以上、葛南地域）

○少子高齢化に備えた対策が必要。高齢者の社会保障費抑制と同時に、高齢者がお金を払ってもかまわないようなサービスの創設が必要。（男性、50代、東葛飾地域）

○一人暮らしが多くなっているため、地域住民が互いに安心して暮らせる社会がほしいです。私は77歳ですが話し相手がいません。70歳の妹を介護（パーキンソン）をしています。私は一人で住んでいます。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○保育園の数は増えてきましたが、質がバラバラです。底上げ指導もあわせてお願い致します。
電柱の地中化などを行わないのでしょうか。（男性、40代、千葉地域）

○子育てがしたいと思う様な町づくり、学校の少人数制、子供たちが外で沢山遊ぶ事が出来る様に、地域の目が行き届く様にしてほしいです。お年寄りもどンドン外に出られる様な公園作り、コミュニティ作り。（女性、50代、葛南地域）

○とても住みづらい県です。神奈川県、東京都と住んだ経験がありますが、子育て、高齢者とも支援が少なく、せつないです。また、納税している人々に対する反映も、とても少ないです。就労者年代が利用できる公の施設の拡充（利用時間帯の延長や利用料の引き下げ、あるいは無料化）を希望しています。（女性、40代、千葉地域）

○保育所を増やし、預けやすくしてほしい。（女性、30代、葛南地域）

○千葉県は、気候も良く、とても住みやすい県だと思います。これから大きくなる子どもたちのために学びやすい、環境を作ってほしいです（千葉県内の地域差が大きすぎます）。食を大切に
する子供たちを育てるために、力を入れてもらいたい。健康な一生を送るためには、食はと
ても大切、重要です。（女性、50代、東葛飾地域）

■県政情報の発信や活動のPRについて

○現在広報等お知らせ事項等ホームページで検索との項目が多いが、パソコン等インターネットの設備がない人間の対応が出来ていない（セキュリティ、ウイルス対策で、インターネットに接続していない）。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○アンケートに回答していて、県政のことを今まで全く気にしていなかったことに気づきました。私のような県政に興味のない人にも耳に、目に触れやすく、ソーシャルメディアなどを活用し、PRしてってください。「ちば県民だより」というのは、どのように配布されているかも分かりません。新聞に折り込みされているのですか？ 新聞も電子版で見ているので、折り込みでは手に入りません。（女性、30代、葛南地域）

○このように県民の意見を大切にしてほしい。時々このような世論調査を実施し、県民の考えや意見を政治に取り入れてほしい。お願いします。（女性、65歳以上、夷隅地域）

■雇用の場を広げる

○南房総の館山市に住んでいますが、とにかく就業場所が少ないです。豊かな生活を送る為にも、将来も安心した人生を送る為にも、雇用の場所を増やして下さい。よろしくお願い致します。
(男性、40代、安房地域)

○少子高齢化対応で65歳以上の職業確保、仕事の創作など実現のため、公務員だけで考えるだけでなく、県民有志のアイデアを募集、参画のシステム、有志を募る動きを推進させるプロジェクト等を活発にしたら森田県政の起爆剤になると思います。地域創生の時代に戦略的な活動のステップの時代になるといい。(男性、65歳以上、千葉地域)

○高齢者(70歳以上)が働ける企業・団体・組合を作ってほしい。
(男性、65歳以上、葛南地域)

○18才以上の若者に、仕事をあたえてもらいたい！ 若者が住みやすく、税金を優遇してもらいたい！ 年寄り中心の、世の中で、かわいそすぎる！ 次の世代を優遇してもらいたい！
(男性、40代、君津地域)

■犯罪防止対策をすすめる

○以前から交通の便も良く住みやすい地域だったが、近年富に外国人の姿が目立ち始め、治安、風紀の悪化、トラブル等を目にする機会がかなり増えた。地域の環境悪化防止は今後の子育て、高齢化社会にとって大きな不安をのぞく最優先事項と感じている。人種差別は断固反対だが、しっかりと地域のルールとマナーを守って生活してもらえる様、指導体制等、強化されたし。
(女性、50代、葛南地域)

○県民が安心安全に暮らせる街づくり。災害は天災なので想像外の事が起こりうる事。長期的に対策・改善を望みます。防犯・マナー～例えば、歩きタバコ、ゴミのポイ捨て、未成年者の夜間歩行など、人で改善を図れるものは積極的に取り組んで欲しい！ その罰金を県税の足しにすれば文句は無い！！(男性、40代、東葛飾地域)

○千葉県民はモラルがない、マナーが悪い人が他県より多い気がする。小中学校での道德教育を充実させてほしい。そう思う理由は自動車、自転車の悪質なドライバーが目立つからです。歩行者もケータイを見ながら歩くのが多い。(男性、40代、千葉地域)

問 この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、146人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋して記載した。

○初めてこういう形の行政に関するアンケート調査というものを体験しましたが、良いことだと思います。この結果がどう使われるのかは分かりませんが、集計結果を公表してほしいと思います。そして、どう対応していくのかも知りたいです。そうすればもっと行政に関心を持てると思います。（女性、50代、葛南地域）

○結果だけにとらわれることなく、住民が何を望んでいるのか、どうすれば千葉県がより活性化するのか考えて頂き、それらを一人一人に役割を明確にして下されば、県民全体で取り組んでいけるのではないかと思います。（男性、30代、印旛地域）

○県の公式ホームページに対象者限定の特設ページを作り、対象者のみ送られたパスワードを使って解答出来る様にして頂きたいと思いました。（男性、20代、葛南地域）

○選択肢が多すぎて解けない感じがする。つまらない質問もある。どれだけ役に立つかも不安がある。（女性、60～64歳、東葛飾地域）

○県と財政困難な所、私どもの調査がお役に立てば…。そして、一つでも実施できる方向を願っております。高齢者の一人として、自立は人間としての尊いこと、そして望むこと。国はその手助けを少しでもしていただけたら幸いです。（女性、65歳以上、葛南地域）

○かなりボリュームがあります。問が具体的ではなく、抽象的な印象のものもあり、困りました。
（女性、40代、葛南地域）

○良い機会を与えて頂きました。千葉県の発達を願っています。今後は千葉県便り、千葉テレビ、ホームページを活用してみたいと感じました。（女性、65歳以上、千葉地域）

○このアンケートから県行政として何ができるのかな？という疑問があります。しかし、少しでもアンケートの結果から良い県政の行動ができるなら、私達も少しでも協力して行動したいと思います。（男性、60～64歳、葛南地域）

○この種の調査は3000人といわず、もっと人数を増やし、定期的に実施されてはいかがでしょうか？（男性、65歳以上、葛南地域）

(付) 調査票および単純集計結果

第50回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 2 回答は、原則としてあてはまるものに○をつけてください。質問は、(○は1つ)、(○は3つまで)、(○はいくつでも) などと表示していますので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、次の質問に進んでください。
- 3 お答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選び、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- 4 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、8月31日(月)までに郵便ポストに投函してください。
※調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。
- 5 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043-223-2469

FAX 043-227-3613

【環境と生活について】

問 1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住みたいと思いますか。n = 1, 580 (○は1つ)

73.5 住みたい

4.7 千葉県内のよそへ移りたい

5.3 千葉県外に移りたい

5.5 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい

8.2 わからない → 次のページ問2へお進みください

2.8 無回答

→ (問1で「1」とお答えの方に)

問 1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住みたいと思う理由は何ですか。

n = 1, 161 (○は3つまで)

25.1 地域の人とのつながりを大切に考えているから

14.7 家族の思い出がつまっているから

12.9 引っ越しの負担が大きいから

61.7 自分の土地や家があるから

35.3 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから

8.9 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っているから

27.5 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから

9.3 治安や風紀がよいから

39.8 住み慣れていて愛着があるから

20.0 親、兄弟や親戚が近くにいるから

4.7 仕事や商売に都合がよいから

2.3 その他(具体的に)

0.5 無回答

→ (問1で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に)

問 1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

n = 245 (○は3つまで)

30.6 その時々家族の状況(子どもの成長、親の面倒を見るなど)にあった住まいを考えているから

5.3 一ヶ所にとどまることが難しいから

36.7 生活環境をより良くしたいから

15.9 より良質で広い住宅に住みたいから

4.5 近所の人とのつきあいがうまくいっていないから

34.7 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから

16.7 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っていないから

10.2 自然環境に恵まれていないから

9.0 治安や風紀が悪いから

14.3 愛着を感じないから

11.8 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから

17.1 その他(具体的に) 1.6 無回答

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	いえない どちらとも	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
n=1,580					
(ア) ごみ処理などの環境衛生について	72.1	19.7	4.6	1.1	2.5
(イ) 騒音・振動などについて	57.5	26.2	11.8	1.1	3.4
(ウ) 大気汚染・悪臭などについて	57.5	27.3	9.1	2.4	3.7
(エ) 海・川などの汚れについて	26.6	37.9	17.2	13.9	4.3

問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般についてどう感じですか。(○は1つ)
n=1,580

8.2 大変満足している	13.5 どちらともいえない	2.2 大変不満である
60.7 まあ満足している	11.6 やや不満である	0.9 わからない 2.7 無回答

問4 あなたは、現在お住まいの地域の周辺・自然環境についてどう思いますか。

n=1,580 (○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	いえない どちらとも	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
(ア) 防犯対策について	32.7	47.8	12.2	4.5	2.7
(イ) 交通安全対策について	29.0	47.0	16.4	4.6	3.0
(ウ) 緑の豊かさについて	58.9	28.9	8.0	1.3	2.8
(エ) 文化施設について	25.2	44.9	20.2	6.5	3.2

問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような周辺・自然環境全般についてどう感じですか。

n=1,580 (○は1つ)

5.4 大変満足している	26.1 どちらともいえない	2.4 大変不満である
45.6 まあ満足している	15.8 やや不満である	1.6 わからない 3.2 無回答

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	いえない どちらとも	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
n=1,580					
(ア) 道路の整備	39.5	30.4	26.2	1.4	2.5
(イ) 排水(下水道)の整備	50.1	26.5	15.3	5.3	2.8
(ウ) 上水道の整備	55.8	26.8	8.1	6.3	3.0

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。 (○はそれぞれ1つずつ)

n = 1,580	大変満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
(ア) 通勤・通学の便について	10.0	43.5	12.9	15.1	7.3	5.3	5.9
(イ) 買い物の便について	15.3	50.0	11.0	15.9	5.4	0.3	2.1
(ウ) 近所や職場での人間関係について	7.2	47.1	31.3	6.3	2.2	2.7	3.2
(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について	25.9	50.3	12.8	3.7	1.7	2.6	3.0
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について	2.8	26.7	30.8	22.2	13.7	1.3	2.5
(カ) 心の安定や充実感について	8.3	41.7	28.7	12.4	3.8	1.9	3.2
(キ) 仕事面や働く機会について	5.1	29.2	29.6	12.2	5.1	12.0	6.8
(ク) レジャー・余暇活動について	5.8	34.9	32.3	12.7	3.7	6.1	4.5
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について	2.8	21.5	41.3	15.3	6.2	9.4	3.5
(コ) 防災対策について	3.2	25.3	41.9	14.0	4.3	8.0	3.4
(サ) 商品の安全や悪質商法に関する相談体制について	1.3	13.4	42.7	7.5	2.9	28.7	3.6
(シ) 子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について	2.5	22.8	33.7	8.6	3.4	24.3	4.6

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n = 1,580 (○は1つ)

5.0 大変満足している	22.8 どちらともいえない	2.2 大変不満である
54.9 まあ満足している	11.6 やや不満である	1.3 わからない
		2.2 無回答

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。

n = 1,580 (○は1つ)

4.8 大変関心がある	46.9 あまり関心がない
38.8 まあ関心がある	7.6 まったく関心がない
	1.9 無回答

※ ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。 n=1,580 (○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 4.9 定期的に参加している |
| 6.1 時々参加している |
| 22.1 参加したことがある |
| 11.1 参加したことはないが、今後参加してみたいと思う |
| 54.1 参加したことはない |
| 1.8 無回答 |

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。 n=1,580 (○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 5.4 定期的に参加している | 8.6 活動したことはないが、今後活動してみたいと思う |
| 5.9 時々活動している | 52.2 活動したことはない |
| 25.8 活動したことがある | 2.0 無回答 |

※ ここでいう「ボランティア活動」は、市民活動団体等の活動への参加のみならず、個人が行う地域活動全般を含む、幅広いボランティアとしての活動を指します。

【健康について】

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。 n=1,580 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 18.4 そう思う | 11.5 どちらかといえばそう思わない |
| 32.8 どちらかといえばそう思う | 10.5 そう思わない |
| 19.7 どちらともいえない | 5.1 わからない |
| | 2.0 無回答 |

問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。 n=1,580 (○は1つ)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 16.8 週に3日以上 (年151日以上) | 5.6 年に1～3日 |
| 25.3 週に1日～2日 (年51日～150日) | 24.4 運動・スポーツは行わなかった |
| 14.3 月に1～3日 (年12日～50日) | 6.3 わからない |
| 5.4 3か月に1～2日 (年4日～11日) | 1.9 無回答 |

※ ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。

問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。 n=1,580 (○は1つ)

- | | | |
|-------------------|--------------------|---------|
| 22.8 そう思う | 9.6 どちらかといえばそう思わない | |
| 37.3 どちらかといえばそう思う | 10.3 そう思わない | |
| 15.0 どちらともいえない | 3.5 わからない | 1.5 無回答 |

問 15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。

n = 1,580 (○はそれぞれ1つずつ)

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局
55.6 持っている	62.8 持っている	37.0 持っている
33.3 持っていないが、必要性は強く感じている	25.0 持っていないが、必要性は強く感じている	33.9 持っていないが、必要性は強く感じている
8.7 持っていないし、必要性もあまり感じていない	7.0 持っていないし、必要性もあまり感じていない	23.4 持っていないし、必要性もあまり感じていない
2.5 無回答	5.3 無回答	5.7 無回答

【福祉について】

問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。 n = 1,580 (○は1つ)

8.0 そう思う	7.9 どちらかといえばそう思わない
28.9 どちらかといえばそう思う	7.7 そう思わない
19.5 どちらともいえない	20.4 わからない
	7.5 無回答

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどうお感じですか。(○は1つ)

n = 1,580

1.1 大変満足している	36.0 どちらともいえない	8.2 大変不満である
14.8 まあ満足している	19.5 やや不満である	17.7 わからない
		2.7 無回答

問18 近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われています。あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。 n = 1,580(○は1つ)

3.1 そう思う	21.4 どちらかといえばそう思わない
15.1 どちらかといえばそう思う	21.3 そう思わない
25.1 どちらともいえない	11.3 わからない
	2.7 無回答

問 19 あなたは障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。

n = 1,580 (○は1つ)

2.4 そう思う	18.9 どちらかといえばそう思わない
12.0 どちらかといえばそう思う	21.3 そう思わない
23.6 どちらともいえない	19.2 わからない
	2.5 無回答

【観光について】

問20 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。

n=1,580(○はいくつでも)

52.2 自然が豊かである	48.2 新鮮な農産物が豊富である
53.7 温暖で気候がよい	44.9 新鮮な水産物が豊富である
35.7 季節の花々が楽しめる	5.6 郷土料理・ご当地グルメが豊富である
4.5 温泉が楽しめる	2.3 お酒がおいしい
18.0 ゴルフ場が多い	12.8 地域ならではの特産品・お土産がある
32.1 サーフィン・海水浴・潮干狩りが楽しめる	18.1 果物狩りが楽しめる
10.3 プロスポーツ観戦が楽しめる	10.2 祭りが盛んである
41.5 魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある	2.5 自然体験・農林漁業体験ができる
13.9 魅力的な動植物園・水族館がある	4.6 ドラマや映画等のロケ地が多い
16.6 有名な神社・仏閣がある	11.3 家族（子供と）で楽しめる
12.6 歴史的なまち並み・史跡・旧跡がある	52.1 都心からアクセスがよい・近い
30.7 買い物・ショッピングが楽しめる	7.1 国際的な観光地である
5.1 工場見学が楽しめる	1.7 その他（具体的に
	2.7 特にない
	2.5 無回答

問21 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

n=1,580 (○はいくつでも)

12.5 ベイ・東葛飾エリア（千葉市、八千代市、習志野市、四街道市、船橋市、市川市、浦安市、野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、鎌ケ谷市）	
8.9 かずさ・臨海エリア（市原市、袖ケ浦市、木更津市、君津市、富津市）	
18.2 北総エリア（銚子市、東庄町、香取市、多古町、神崎町、成田市、富里市、栄町、印西市、白井市、佐倉市、酒々井町、八街市、芝山町）	
27.7 九十九里エリア（旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、東金市、大網白里市、九十九里町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町）	
72.9 南房総エリア（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）	
13.6 特にない	3.0 無回答

問22 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。

(○はいくつでも)

n=1,580

51.7 観光施設	39.7 道の駅
53.9 宿泊施設	25.4 直売所（地場農水産物）
7.5 バリアフリー対応施設	3.4 観光ボランティアガイド
50.9 食事	8.1 体験プログラム
27.5 お土産・特産品	16.6 観光公衆トイレ
18.2 祭り・イベント	11.2 観光地の動画・写真
11.2 モデルルート	18.1 観光地の気象情報
45.0 交通アクセス	1.8 その他（具体的に
	4.4 無回答

問23 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。 n=1,580(○はいくつでも)

7.5 食事	2.2 自然・景観
7.8 観光施設	16.3 観光情報・案内の充実度
9.2 宿泊施設	19.2 観光地の公衆トイレが少ない
5.8 接客サービス	24.2 観光地の公衆トイレが汚い
5.4 お土産・特産品	21.5 観光地における駐車場
31.6 交通アクセス	3.3 その他 (具体的に)
8.1 まち並み・雰囲気	22.3 特に不満な点はない 5.9 無回答

問24 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。 n=1,580 (○は3つまで)

4.9 花	6.6 酒類
40.9 農産物・果物	6.6 しょうゆ・みそ
52.7 落花生・落花生加工品	0.8 乳製品
0.5 肉類	31.6 菓子・せんべい
12.2 生鮮魚介類	1.0 工芸品
27.4 海苔・水産加工品	4.7 チーバくんグッズ
4.9 漬物	2.9 その他 (具体的に) 2.7 無回答

【千葉県の農林水産物について】

問25 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。 n=1,580 (○は1つ)

43.0 そう思う	11.3 どちらかといえばそう思わない	
37.5 どちらかといえばそう思う	5.5 そう思わない	2.7 無回答

(問25で「1」「2」のいずれかをお答えの方に)

→ 問25-1 その主な理由は何ですか。 n=1,272(○は1つ)

18.0 千葉県に愛着があるから	2.1 価格が安いから
48.5 鮮度が良い(美味しい)から	1.5 その他(具体的に)
27.2 地元のものは安心だから	2.7 無回答

(問25で「3」「4」のいずれかをお答えの方に)

→ 問25-2 その主な理由は何ですか。 n=266 (○は1つ)

23.3 産地にこだわらず価格で選ぶから	10.9 千葉県以外で買いたい産地があるから
50.4 産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから	11.3 その他(具体的に) 4.1 無回答

問26 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以下に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。

あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。 n=1,580 (○は1つ)

5.3 よく知っている	68.4 知らない
23.1 多少は知っている(聞いたことがある)	3.2 無回答

- 問27 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。
- あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。 n = 1,580 (○は1つ)

6.6 よく知っている	64.9 知らない
27.0 多少は知っている（聞いたことがある）	1.5 無回答

【防災に関する取り組みについて】

- 問28 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、近年、記録的な大雨や台風などにより国内では浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。 n = 1,580 (○は1つ)

44.7 強く感じている	10.4 ほとんど感じていない
42.0 少し感じている	1.7 わからない 1.2 無回答

- 問29 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。 n = 1,580 (○は1つ)

69.4 知っている	28.4 知らない	2.2 無回答
------------	-----------	---------

- 問30 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。 n = 1,580 (○は1つ)

15.1 4日分以上	22.0 2日分	21.4 備蓄していない
32.2 3日分	8.0 1日分	1.4 無回答

- 問31 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。
- あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。 n = 1,580 (○は1つ)

53.4 知っている	44.8 知らない	1.8 無回答
------------	-----------	---------

- 問32 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。 n = 1,580 (○はいくつでも)

58.7 家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化	
9.1 住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化	
9.3 住宅の建替え（昭和57年以降）	
4.2 家具や建築資材の不燃化・防炎化	
1.6 液状化対策	
51.1 地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認	
4.9 その他（具体的に	7.6 無回答

【地方分権について】

問33 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。

あなたは、こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきだと思いますか。

n = 1,580 (○は1つ)

33.7 地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい

13.4 今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである

22.1 どちらともいえない

25.7 わからない

0.9 その他(具体的に

4.2 無回答

)

(問33で「1」とお答えの方に)

問33-1 あなたは、国から身近な県や市町村に権限や財源を移す「地方分権」を進めることにより、主にどのような効果を期待しますか。

n = 533 (○は1つ)

40.3 国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる

(例) 社会福祉施設の整備にあたり、安全に配慮した上で、国の定めた基準を緩和することにより、施設建設のコストを削減することができる

12.2 国と地方が行っている事務を一体的に実施することが可能となり、事業の効率化を図ることができる

(例) ハローワークの事務を国から県に移譲することにより、国が行う職業紹介と県が行う生活・就労相談を併せて実施し、効率的な雇用施策を行うことができる

31.9 従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる(例) 道路や公園、住宅地等の位置・規模など、まちづくりの基本方針を定める都市計画に係る国への協議を廃止することにより、計画決定までの期間が短縮化され、早期に事業着手することができる

12.4 住民に身近な県や市町村において、申請や相談などの対応が可能となる

(例) 未熟児等の医療費支給に係る認定権限を県から市町村に移譲することにより、より身近な窓口で手続きが可能となり、住民の利便性向上を図ることができる

0.2 その他(具体的に

3.0 無回答

)

【広報・広聴活動について】

問34 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。

n = 1,580 (○は1つ)

5.7 大変関心がある

44.5 あまり関心がない

43.8 関心がある

3.3 まったく関心がない

2.7 無回答

問35 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。

n=1,580 (○はいくつでも)

67.6	県広報紙「ちば県民だより」
11.3	千葉県ホームページ（パソコン版）
3.0	千葉県ホームページ（携帯版）
4.0	千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」
10.3	千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」
2.9	ベイエフエムによる県広報番組「サタデー・ブレイシング・モーニング」、 「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」
38.4	4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース
3.2	その他（具体的に
4.7	無回答

問36 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。

n=1,580(○は1つ)

22.6	ほとんど毎回読んでいる	15.9	読んだことがない
41.8	ときどき読んでいる	2.4	無回答
17.2	あまり読まない		

(問36で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

→ 問36-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(○はそれぞれ1つずつ)

n=1,290

情報・内容のわかりやすさ				デザイン			
10.0	良い	83.5	普通	2.7	悪い	7.8	良い
3.8	無回答					78.6	普通
						5.3	悪い
						8.2	無回答

問37 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。

n=1,580(○は1つ)

1.3	よく利用している	54.2	利用していない
12.8	ときどき利用している	12.1	普段からインターネットを利用して いない
16.6	ほとんど利用しない	3.0	無回答

→ (問37で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

問37-1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。

(○は1つ)

n=486

6.0	良い	77.4	普通	8.2	悪い	8.4	無回答
-----	----	------	----	-----	----	-----	-----

問38 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。

n=1,580(○は1つ)

1.5	よく見る	28.9	あまり見ない
15.8	ときどき見る	51.5	見たことがない
		2.3	無回答

問39 あなたは、県の広報紙や広報番組（問35の選択肢「1」～「6」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。 n=1,580(○はいくつでも)

39.7 新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告	4.9 LINE、Twitter、Facebook 等のソーシャルメディア
36.1 テレビ・ラジオ等の番組又はCM	6.8 イベント
24.2 地域のフリーペーパー	1.2 その他（具体的に）
31.4 駅や街頭のポスター	20.1 特にない
6.0 街頭配布のチラシやリーフレット	2.3 無回答
4.7 ニュースサイト等のホームページ	

問40 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。 n=1,580 (○はいくつでも)

24.4 県事業の内容や進みぐあい	6.4 各種調査や統計資料の紹介
28.4 県予算の使いみち	11.6 地域住民の活動情報
40.3 新しくできた制度や事務手続きの情報	39.9 県の観光・レジャー情報
12.2 県民の県政に対する意見や要望の紹介	21.1 県の歴史や文化、伝統工芸
30.2 県行事や催し物などのお知らせ	1.1 その他（具体的に）
37.2 県施設の紹介や利用案内	12.3 特にない 2.6 無回答

問41 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙など、以下に掲げるものの中で今までに意見を述べたことがありますか。 n=1,580 (○はいくつでも)

0.6 知事への手紙	
0.6 電話、訪問、郵便、電子メール又はファクスによる県民相談	
0.4 千葉県ホームページによるお問い合わせ	
0.1 県民会議・タウンミーティング	
0.2 ちばづくり県民コメント（パブリックコメント）制度	
0.9 その他（具体的に）	
95.2 利用したことはない	2.3 無回答

問42 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。 n=1,580 (○は3つまで)

30.3 県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開	
13.9 施策形成の段階から県民の意見を聴く制度の拡大	
10.2 県民が県に対して直接意見・提案のできるタウンミーティングなどの機会の充実	
31.0 手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知	
21.6 県内各地で直接県民の声を聴く窓口の充実	
42.9 県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開	
1.6 その他（具体的に）	
20.1 特にない	4.7 無回答

問43 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。 n=1,580 (○は1つ)

7.2 そう思う	9.0 どちらかといえばそう思わない
24.3 どちらかといえばそう思う	9.0 そう思わない
32.2 どちらともいえない	15.9 わからない 2.5 無回答

【県政への要望】

問44 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

なお、各要望項目の内容については、次の「問45」の具体的要望項目欄に例示を記載していますので参考にしてください。

n = 1,580

- 35.5 災害から県民を守る
- 3.3 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
- 15.6 食品の安全を守る
- 7.2 交通事故から県民を守る
- 3.7 中心市街地の活性化を推進する
- 2.2 国際交流や国際協力をすすめる
- 15.5 便利な交通網を整備する
- 6.6 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
- 4.9 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する
- 33.7 高齢者の福祉を充実する
- 17.0 次世代を担う子どもの育成支援を充実する
- 5.6 青少年を健全に育てる
- 0.7 男女共同参画を推進する
- 0.9 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する
- 7.0 健康づくりをすすめて、病気を予防する
- 20.9 医療サービス体制を整備する
- 5.9 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
- 6.6 自然を守り、緑を育てる
- 1.8 省資源やリサイクルをすすめる
- 1.8 廃棄物対策をすすめる
- 3.1 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する
- 2.7 観光を振興する
- 9.1 雇用の場を広げる
- 10.8 仕事と子育てが両立する働き方を実現する
- 3.3 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
- 10.1 道路を整備する
- 2.7 下水道を整備する
- 0.9 住宅対策を充実する
- 2.6 公園・緑地を整備する
- 5.1 安心して飲める良質な水道水を供給する
- 6.0 学校教育を充実する
- 2.8 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
- 1.6 芸術・文化活動を振興する
- 11.0 犯罪防止対策をすすめる
- 0.4 施策実現や地域活性化のためのITの利活用をすすめる
- 8.5 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る
- 2.0 その他（具体的に
- 1.8 要望はない
- 1.5 無回答

(問44で「1」～「36」のうち1つでもお答えの方は、次の問45にお進みください。

問44で「37」または「38」だけにお答えの方は、18ページのF 1にお進みください。)

→ 問 45 問 44 で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。
問 44 で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

問 44 の番号及び項目		具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
1 n=561 災害から県民を守る を選んだ方	⇒	14.3 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 40.5 災害時の支援、救援活動 17.3 避難場所・避難経路の整備 14.1 危険箇所の事前解消 6.4 災害に対する意識啓発、情報提供 1.2 その他（具体的に） 6.2 無回答
2 n=52 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方	⇒	36.5 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 25.0 悪質な事業者の指導・処分 5.8 食品や生活用品などの適正な表示 - 商品・サービスに係る危害・危険の防止 - 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 13.5 高齢者や若者等の消費者被害の防止 13.5 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 - その他（具体的に） 5.8 無回答
3 n=246 食品の安全を守る を選んだ方	⇒	31.3 食品の安全確保 17.9 適正な食品表示 14.2 検査の強化 6.1 情報提供 19.9 添加物や農薬の規制 0.4 その他（具体的に） 10.2 無回答
4 n=113 交通事故から県民を 守る を選んだ方	⇒	37.2 交通事故多発箇所の点検、整備 0.9 交通安全教育の推進 15.0 自転車通行環境の整備 2.7 その他 23.9 自転車利用者のマナー向上（具体的に） 11.5 ドライバーマナーの向上 8.8 無回答
5 n=59 中心市街地の活性化を 推進する を選んだ方	⇒	3.4 まちのバリアフリー化 1.7 その他 13.6 再開発などのまちづくり推進（具体的に） 45.8 駅周辺の活性化 5.1 無回答 30.5 商業中心による活性化
6 n=35 国際交流や国際協力を すすめる を選んだ方	⇒	20.0 海外の良い点を県政に反映 14.3 外国人にも住みやすいまちづくり 17.1 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 28.6 市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供 2.9 在住外国人向けの相談・情報提供の充実 14.3 海外への千葉県の魅力に関する情報発信 - その他（具体的に） 2.9 無回答
7 n=245 便利な交通網を整備 する を選んだ方	⇒	23.7 鉄道の増便などによる利便性の向上 20.4 バスの増便などによる利便性の向上 20.0 鉄道新設などによる交通網の見直し 16.3 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化 13.1 その他（具体的に） 6.5 無回答
8 n=105 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 する を選んだ方	⇒	20.0 就労・社会参加の促進 15.2 入所施設やグループホームなど住まいの場の充実 25.7 障害のある人が暮らしやすいまちづくり 31.4 経済的な支援・負担の軽減 - その他（具体的に） 7.6 無回答
9 n=77 母子、寡婦、父子家庭等 の福祉を充実する を選んだ方	⇒	27.3 母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実 14.3 母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実 46.8 母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実 - その他（具体的に） 11.7 無回答

問 44 の番号及び項目		具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
10 n=533 高齢者の福祉を充実 する を選んだ方	⇒	39.6 在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 22.9 入所施設の充実 15.2 高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 7.7 高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 1.9 団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 - 高齢者虐待防止対策の強化 3.6 認知症対策の強化 1.3 その他（具体的に) 7.9 無回答
11 n=269 次世代を担う子どもの 育成支援を充実する を選んだ方	⇒	56.9 子育てに対する経済的な支援・負担軽減 19.7 地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 14.1 幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の 充実 4.1 児童虐待防止対策の推進 2.6 その他（具体的に) 2.6 無回答
12 n=89 青少年を健全に育てる を選んだ方	⇒	10.1 青少年のボランティア活動等社会参加の促進 36.0 家庭・学校・地域の連携強化 19.1 子どものしつけなどに関する家庭教育への支援 3.4 専門家による相談窓口の充実 7.9 ネットパトロールの実施・有害メディアの規制 9.0 非行・犯罪防止・立ち直り支援 9.0 ニート・引きこもり等への支援 1.1 その他（具体的に) 4.5 無回答
13 n=11 男女共同参画を推進 する を選んだ方	⇒	18.2 男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 - 教育・学習の推進 45.5 子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 9.1 女性の再就職支援 18.2 働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 - ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶 - 広報・啓発活動の推進 9.1 その他（具体的に) - 無回答
14 n=15 市民活動団体やボラン ティアへの活動支援を充実 する を選んだ方	⇒	53.3 活動への資金的支援 6.7 各団体の運営能力強化の支援 20.0 活動への理解促進 - その他 13.3 活動への参加促進 (具体的に) - 他団体との連携支援 6.7 無回答
15 n=111 健康づくりをすすめて、 病気を予防する を選んだ方	⇒	13.5 運動の機会の増大 8.1 心の健康づくり 47.7 高齢者の健康維持 3.6 歯科保健の充実 2.7 禁煙の推進 11.7 がんその他の生活習慣病対策 3.6 食生活改善の支援 1.8 その他（具体的に) 7.2 無回答
16 n=331 医療サービス体制を 整備する を選んだ方	⇒	11.8 医師・看護師等医療技術者の確保 13.9 病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 23.3 医療施設の整備 20.5 休日・夜間等時間外診療の充実 17.8 救急医療体制の整備 2.7 その他（具体的に) 10.0 無回答

問 44 の番号及び項目		具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
17 n=93 大気汚染、水質汚濁、 騒音などの環境対策を すすめる を選んだ方	⇒	4.3 ディーゼル車対策による大気汚染の改善 22.6 光化学スモッグ・PM2.5 対策 - アスベスト対策 14.0 航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 25.8 河川・湖沼・海域の水質改善 2.2 建設残土の適正な埋立て 16.1 環境中に排出される有害な化学物質対策 2.2 その他（具体的に） 12.9 無回答
18 n=104 自然を守り、緑を 育てる を選んだ方	⇒	59.6 自然環境・自然景観の保全 1.9 環境保全に関する啓発・教育 1.9 希少な野生動植物の保全 - 県民参加での野生動植物調査 7.7 特定外来生物の防除 1.9 その他（具体的に） 17.3 地球温暖化対策 9.6 無回答
19 n=28 省資源やリサイクルを すすめる を選んだ方	⇒	17.9 ごみ分別徹底化 28.6 廃棄物の再資源化促進 10.7 容器包装ごみの発生抑制（マイバッグの利用など） 17.9 再生可能エネルギーの導入促進 21.4 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） - その他（具体的に） 3.6 無回答
20 n=28 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	⇒	46.4 産業廃棄物の不法投棄防止対策 35.7 安心できる廃棄物処理施設の設置 7.1 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 3.6 その他（具体的に） 7.1 無回答
21 n=49 商工業を振興し、中小企 業・ベンチャー企業や創 業への支援を充実する を選んだ方	⇒	24.5 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 22.4 中小企業への資金支援の充実 20.4 創業及び新たな事業展開の支援 4.1 研究・技術開発の支援 2.0 販路開拓の支援 14.3 商店街の整備・活性化 2.0 その他（具体的に） 10.2 無回答
22 n=42 観光を振興する を選んだ方	⇒	14.3 観光地の美化 9.5 観光地へのアクセスの改善 16.7 観光施設・宿泊施設の充実 7.1 その他 35.7 千葉県観光の積極的なPR （具体的に） 16.7 新たな観光地づくりの促進 - 無回答
23 n=143 雇用の場を広げる を選んだ方	⇒	31.5 若年者に対する就業支援 3.5 障害のある人に対する 就業支援 47.6 中高年齢者に対する就業支援 4.2 その他（具体的に） 7.0 女性に対する就業支援 6.3 無回答
24 n=171 仕事と子育てが両立 する働き方を実現する を選んだ方	⇒	14.6 女性の再就職支援 2.9 両立支援相談窓口の設置 14.0 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 8.2 男性の育児参加など働き方の見直しの啓発 14.6 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 5.8 企業に対する税制上の優遇措置の創設 29.2 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 3.5 その他（具体的に） 7.0 無回答
25 n=52 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を供 給する を選んだ方	⇒	30.8 新鮮でおいしい農林水産物の供給 13.5 価格の安定 21.2 県産農林水産物の販売量の拡大 21.2 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 3.8 その他（具体的に） 9.6 無回答

問 44 の番号及び項目		具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
26 道路を整備する を選んだ方	⇒	33.8 交通渋滞対策 11.3 交通事故多発箇所の改修 3.8 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 15.0 観光、買い物などを支援する道路の整備 13.8 自然災害に強い道路の整備 19.4 その他（具体的に ） 3.1 無回答
27 下水道を整備する を選んだ方	⇒	78.6 下水道の普及・改善 - 水洗化への支援 - 下水道施設の耐震化 - その他（具体的に ） 11.9 下水の高度処理化 9.5 無回答
28 住宅対策を充実する を選んだ方	⇒	26.7 安くて入居を拒まれない住宅の整備 13.3 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 6.7 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 26.7 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 6.7 省エネなど環境に優しい住宅の整備 6.7 その他（具体的に ） 13.3 無回答
29 公園・緑地を整備する を選んだ方	⇒	29.3 公園・緑地等の設置・管理 14.6 公園等の緑化推進 39.0 子どもの遊び場の整備 7.3 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 - 催物・講習会等の開催 - その他（具体的に ） 9.8 無回答
30 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	⇒	36.3 上水道の水質の改善・維持 3.8 上水道の整備 47.5 水源となる湖沼や川の汚染対策 2.5 その他（具体的に ） 10.0 無回答
31 学校教育を充実する を選んだ方	⇒	33.7 教職員の資質向上・増員 2.1 障害のある児童生徒の教育の 12.6 学力の向上 充実 2.1 健康と体力の向上 6.3 学校施設の整備 8.4 特色ある教育活動の充実 5.3 その他 13.7 道徳や心の教育の充実 （具体的に ） 10.5 いじめ・不登校対策 5.3 無回答
32 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方	⇒	6.8 指導者育成の支援 22.7 学習機会の充実 20.5 スポーツ・レクリエーション活動の充実 6.8 情報提供の充実 38.6 施設の整備・充実 - その他（具体的に ） 4.5 無回答
33 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方	⇒	53.8 文化・芸術にふれる機会の拡充 30.8 文化・芸術活動への支援 11.5 伝統文化や文化財などの継承と活用 - 文化施設等の幅広い活用 3.8 その他（具体的に ） - 無回答
34 犯罪防止対策を すすめる を選んだ方	⇒	22.4 警察官によるパトロールの強化 37.9 防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充 4.0 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 5.2 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 6.9 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 5.7 少年の非行防止対策 6.3 暴力団、不良来日外国人等による犯罪の防止 1.7 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりの推進 2.3 その他（具体的に ） 7.5 無回答

問 44 の番号及び項目		具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
35 n = 7 施策実現や地域活性化 のための IT の利活用を 進める を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> - 安全で豊かなくらしの実現のための IT 利活用 (防災・環境・医療・福祉・健康等) - 千葉県の未来を担うこどもの育成のための IT 利活用 (子育て・教育・国際交流・文化・スポーツ等) <p>14.3 経済の活性化と交流基盤の整備のための IT 利活用 (観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等)</p> <p>14.3 行政事務の利便性の向上、効率化への IT 利活用</p> <p>14.3 情報セキュリティ対策の推進</p> <p>14.3 光通信、無線高速回線などの整備促進</p> <p>14.3 その他（具体的に)</p> <p>28.6 無回答</p>
36 n = 134 東京電力福島第一原子 力発電所事故の影響か ら県民を守る を選んだ方	⇒	<p>33.6 きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表</p> <p>11.9 放射性物質に関する基礎的な知識の啓発</p> <p>11.9 安全基準の提示</p> <p>4.5 風評被害への対策</p> <p>19.4 除染の推進</p> <p>9.0 その他（具体的に)</p> <p>9.7 無回答</p>

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1,580 (○は1つ)

43.4 男性	55.3 女性	1.3 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1,580 (○は1つ)

6.5	20～29 歳	17.1	40～49 歳	8.9	60～64 歳	
12.6	30～39 歳	14.7	50～59 歳	38.9	65 歳以上	1.3 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1, 580 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
0.8 農林漁業	0.8 農林漁業	6.2 管理職	34.9 主婦・主夫
2.3 商工サービス業	0.6 商工サービス業	17.9 専門技術・事務職	0.8 学生
3.7 自由業	0.9 自由業	11.1 販売・サービス職	11.5 その他
		4.9 労務職	()
			3.6 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。 n = 1, 580 (○は1つ)

49.2 はい	47.5 いいえ	3.3 無回答
---------	----------	---------

(F 4で「2」とお答えの方に)

→ F 4-1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。 (○は1つ)
n = 750

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.9 農林漁業	0.1 農林漁業	13.9 管理職	33.5 無職
3.6 商工サービス業	0.4 商工サービス業	17.9 専門技術・事務職	
5.1 自由業	0.4 自由業	10.5 販売・サービス職	
		8.9 労務職	3.9 無回答

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。 n = 1, 580 (○は1つ)

16.7 未婚	70.6 既婚 (配偶者有)	10.2 既婚 (配偶者離死別)	2.5 無回答
---------	----------------	------------------	---------

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。 (○は1つ)
n = 1, 580

15.8 1人	13.4 3人	0.3 5人以上	
43.6 2人	1.3 4人	21.9 子どもはいない	3.7 無回答

(F 6で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に)

→ F 6-1 一緒にお住まいのあなたのお子さんと次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。
n = 1, 175 (○はいくつでも)

6.1 0～2歳の子ども	7.2 大学・大学院在学中の子ども
7.2 3歳以上の未就学の子ども	27.4 学校を終えた未婚の子ども
16.3 小学校・中学校在学中の子ども	14.5 結婚した子ども
6.6 高校在学中の子ども	23.8 同居している子どもはいない
1.7 短大・高専・各種学校・専修学校に在学中の子ども	8.9 無回答

F 7 あなたと一緒に暮らしの御家族の構成は次の中のどれに該当しますか。 (○は1つ)

n = 1, 580

8.5 単身	45.3 二世帯世帯 (親と子)	3.7 その他 (具体的に)
28.3 夫婦のみ	9.6 三世帯世帯 (親と子と孫)	4.7 無回答

F 8 お宅には 65 歳以上の方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めてお答えください。

n = 1, 580 (○は 1 つ)

59.6	いる	38.6	いない	1.8	無回答
------	----	------	-----	-----	-----

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n = 1, 580 (○は 1 つ)

62.8	持家（一戸建）	4.0	公社・UR 都市機構・区市町村営住宅
14.7	分譲マンション	1.0	社宅などの給与住宅
2.2	民間の借家（一戸建）	0.1	住み込み・寮・寄宿舍
9.9	賃貸のアパート・マンション	0.8	その他（具体的に
		4.6	無回答

F 10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。

n = 1, 580 (○は 1 つ)

0.7	1 年未満	3.5	5 年～10 年未満	17.6	20 年～30 年未満
1.5	1 年～3 年未満	4.1	10 年～15 年未満	62.3	30 年以上
1.2	3 年～5 年未満	4.4	15 年～20 年未満	0.4	わからない
				4.4	無回答

F 11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1, 580 (○は 1 つ)

15.8	千葉市	2.6	八千代市	0.4	大網白里市
1.3	銚子市	2.0	我孫子市	0.6	印旛郡酒々井町
7.4	市川市	0.5	鴨川市	-	印旛郡栄町
8.8	船橋市	1.7	鎌ケ谷市	-	香取郡神崎町
0.8	館山市	1.5	君津市	-	香取郡多古町
1.8	木更津市	0.8	富津市	0.5	香取郡東庄町
8.5	松戸市	1.6	浦安市	0.5	山武郡九十九里町
2.5	野田市	1.5	四街道市	-	山武郡芝山町
1.5	茂原市	1.1	袖ケ浦市	0.5	山武郡横芝光町
2.0	成田市	0.7	八街市	-	長生郡一宮町
2.5	佐倉市	1.6	印西市	-	長生郡睦沢町
0.7	東金市	1.1	白井市	0.5	長生郡長生町
0.8	旭 市	0.9	富里市	-	長生郡白子町
2.0	習志野市	0.5	南房総市	0.4	長生郡長柄町
6.3	柏 市	0.8	匝瑳市	-	長生郡長南町
0.4	勝浦市	1.4	香取市	0.3	夷隅郡大多喜町
4.7	市原市	0.9	山武市	-	夷隅郡御宿町
2.0	流山市	0.4	いすみ市	-	安房郡鋸南町
				4.6	無回答

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県へのご意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

8月31日（月）までに、ポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 27 年度

(第 50 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 27 年 12 月発行

(平成 27 年 8 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9
